津市総合計画策定のための
市民意識調査結果報告書

平成 28 年 10 月

津　市

目　次

Ⅰ　調査の概要及び報告書の基本事項 1
1　調査の概要 1
（1）調査目的 1
（2）調査について 1
（3）配布数及び回収結果 1
2　本調査報告書の基本的な事項 1
（1）数値の基本的な取り扱いについて 1
（2）標本誤差について 2
（3）前回調査との比較について 2
Ⅱ　調査結果 3
1　回答者の属性 3
（1）性別 3
（2）年齢 3
（3）居住地 5
（4）職業 6
（5）通勤・通学先 8
（6）家族構成 11
（7）居住歴・居住年数 14
2　津市での暮らしについて 17
（1）津市への愛着度 17
（2）定住意向と転居する場合の転居先候補 21
（3）定住意向の主な理由 25
3　市政に対する評価 28
（1）美しい環境と共生するまちづくり 28
（2）安全で安心して暮らせるまちづくり 32
（3）豊かな文化と心を育むまちづくり 36
（4）活力のあるまちづくり 40
（5）参加と協働のまちづくり 44
（6）市政全般の満足度 47
（7）居住地別のまちづくりの目標に関する満足度評価 49
（8）居住地別のまちづくりの目標に関する重要度評価 63
4　これからのまちづくりについて 77
（1）現在の津市に対するイメージと今後の将来像 77
（2）津市の将来像に連想するキーワード 97

（３）総合的な住みやすさ 107
（４）生活で心配に思うこと 109
（５）優先順位が高い分野 115
（６）優先順位が低い分野 125
（７）行財政改革で特に進めるべきもの 135
Ⅲ　自由意見 136
資料　アンケート調査票 148

Ⅰ　調査の概要及び報告書の基本事項

１　調査の概要

（１）調査目的

本調査は、津市の新たな総合計画の策定にあたって、津市への愛着度や定住意向をはじめ、市政に対する評価や今後重視したい取り組みの方向などの市民意識の実態を把握し、総合計画策定にかかる基礎資料とするために実施したものです。

（２）調査について

対　　象	津市に居住する 15 歳以上の男女 （住民基本台帳無作為抽出：平成 28 年７月 25 日現在）
方　　法	郵送による配付・回収
期　　間	平成 28 年７月 29 日から８月 26 日まで
項　　目	１　回答者の属性（あなた自身について） ２　津市での暮らしについて ３　市政に対する評価 ４　これからのまちづくりについて ５　自由意見

（３）配布数及び回収結果

配布数	7,000
有効回収数	2,678
有効回収率	38.3%

２　本調査報告書の基本的な事項

（１）数値の基本的な取り扱いについて

・グラフにおける比率はすべて%で表示していますが、小数点第２位を四捨五入して小数点第１位まで示しているため、%の合計が 100.0%にならない場合もあります。

・各グラフ及び集計表の比率は、母数に対する割合を示しています。

・母数となるべき実数は回答者数「N」として示し、複数回答が可能な設問についても、比率算出の母数は回答者数とし、それぞれの選択肢の比率を算出しています。（例えば３つまで回答する設問では最大 300%となります）。

（２）標本誤差について

無作為抽出にて行った調査結果を基に全体を推計した値と、全体をもれなく調査した結果の値を比較した際に統計的に生じる差が標本誤差です。今回の調査における有効回収数は 2,678 であり、ある設問で選択された回答が有効回収数の 50%（回答率 50%）であった場合の標本誤差は±2.6%（回答率 50%で誤差が最大）となります。

つまり、今回の調査を基に 15 歳以上の市民全体の意識を推計すると、回答率 50%であった場合、標本誤差を含め 47.4%～52.6%の回答があったと推計されます。ただし、性別、年齢別、居住地別等の属性ごとにみる場合には、有効回収数が少数となることから、標本誤差が大きくなるためデータの取扱いには注意が必要です。

無作為抽出の場合、標本誤差は次の式で計算されます。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

N：母集団（調査の対象となる集団の総数）

n：比率算出の基数（有効回収数）

P：回答比率（ある選択肢の回答割合）

信頼水準：±1.96（標本誤差が目的とする誤差の範囲にある確率が 95%の場合の係数）

（標本誤差及び信頼範囲の数値例）

回答比率	標本誤差	信頼範囲
10%（または 90%）	±1.6	8.4%～11.6%　（88.4%～91.6%）
20%（または 80%）	±2.1	17.9%～22.1%　（77.9%～82.1%）
30%（または 70%）	±2.4	27.6%～32.4%　（67.6%～72.4%）
40%（または 60%）	±2.5	37.5%～42.5%　（57.5%～62.5%）
50%	±2.6	47.4%～52.6%

【条件】母集団：津市の 15 歳以上人口：245,892 人
（平成 28 年 8 月末現在　住民基本台帳）
基　数：2,678
（今回調査有効回収数）
信頼水準：±1.96

（３）前回調査との比較について

・平成 24 年に実施した「津市総合計画後期基本計画策定のための住民意識調査（以下「前回調査」という。）」において、同じ内容の設問がある場合には適宜前回値との比較を行っています。

Ⅱ　調査結果

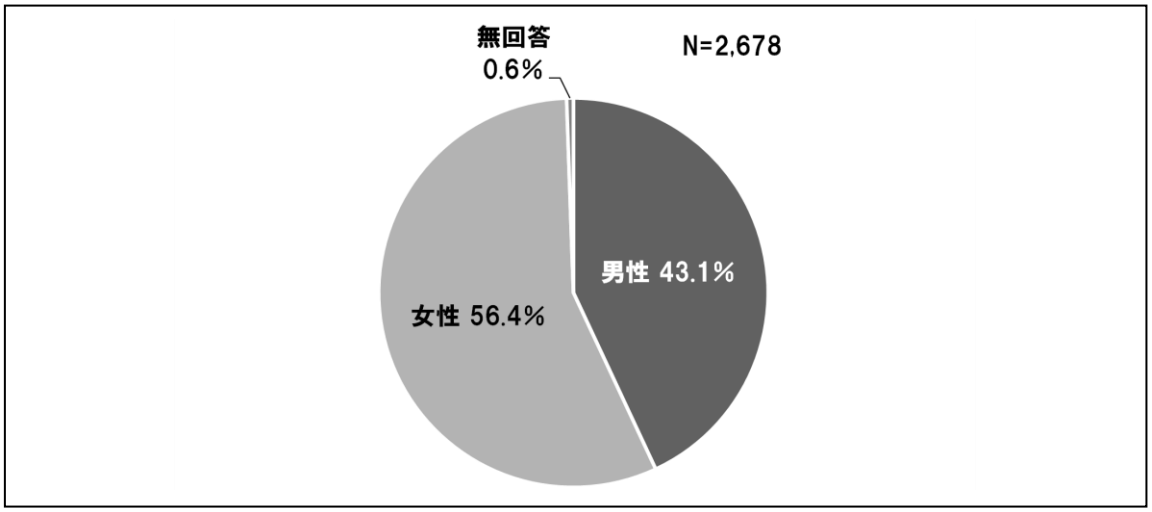
1　回答者の属性

（１）性別

設問１　あなたの性別は？　＜１つだけに○印＞

回答者の性別構成は、「女性」（56.4%）、「男性」（43.1%）となっています。

図表Ⅱ-1-1　性別（全体）



（２）年齢

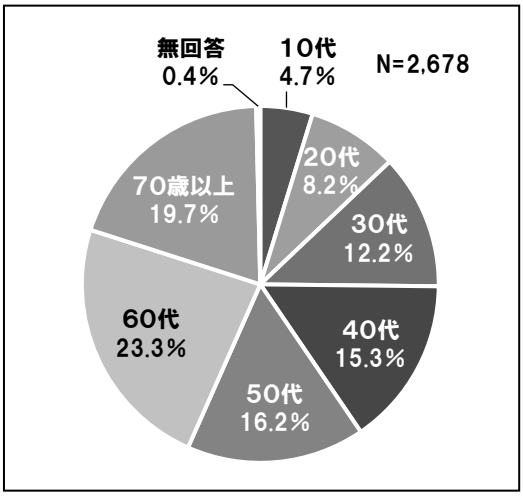
設問２　あなたの年齢は？　＜１つだけに○印＞

①全体

回答者の年齢構成は、「60 代」（23.3%）や「70 歳以上」（19.7%）が多く、両者を合わせた 60 歳以上の回答者が全体の４割以上を占めています。

その他の年代では「50 代」（16.2%）、「40 代」（15.3%）、「30 代」（12.2%）、「20 代」（8.2%）、「10 代」（4.7%）と、年代が下がるほど回答者全体に占める割合も低くなっています。

図表Ⅱ-1-2　年齢（全体）



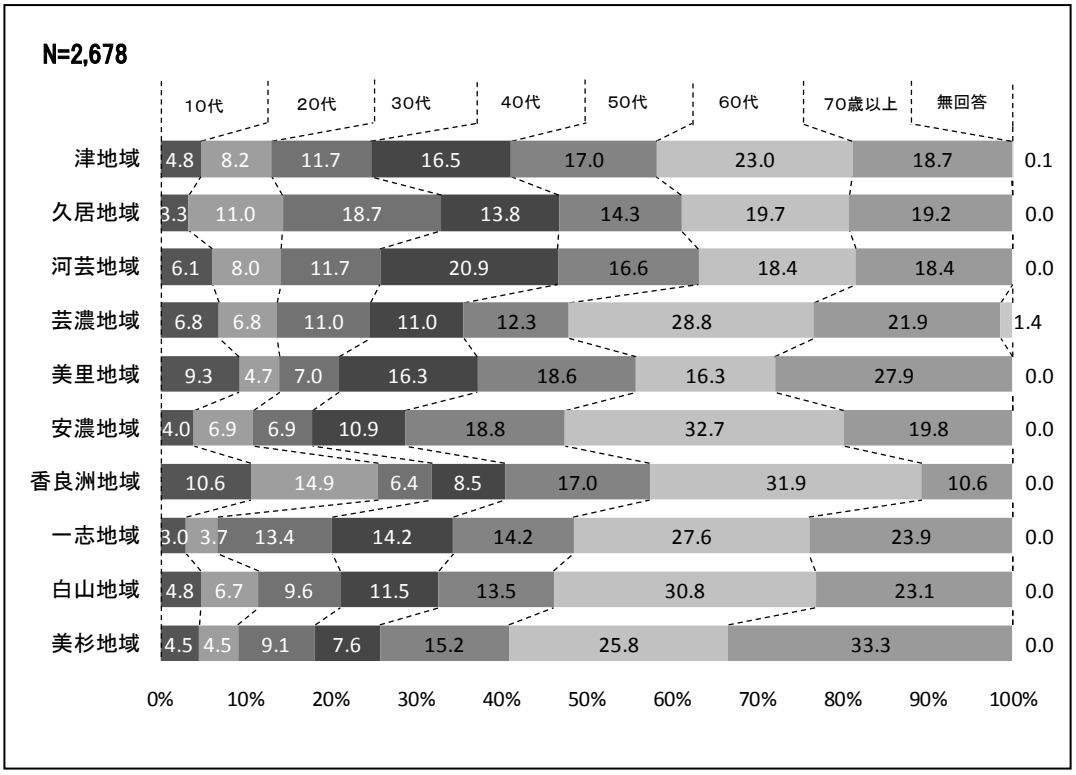
②居住地別にみた年齢

居住地別の年齢構成をみると、60 歳以上(60 代＋70 歳以上)は「美杉地域」(59.1%)、「白山地域」(53.9%)、「安濃地域」(52.5%)、「一志地域」(51.5%)、「芸濃地域」(50.7%) で多く、いずれも 5 割以上を占めています。

60 歳以上の割合がやや少ない「久居地域」や「河芸地域」では 30 代、40 代が比較的多く、「久居地域」では 30 代が 18.7%、「河芸地域」では 40 代が 20.9%を占めています。

10 代と 20 代が最も多いのは「香良洲地域」で、共に 1 割を超えており、その合計は 25.5%を占めています。

図表Ⅱ-1-3 年齢(居住地別)

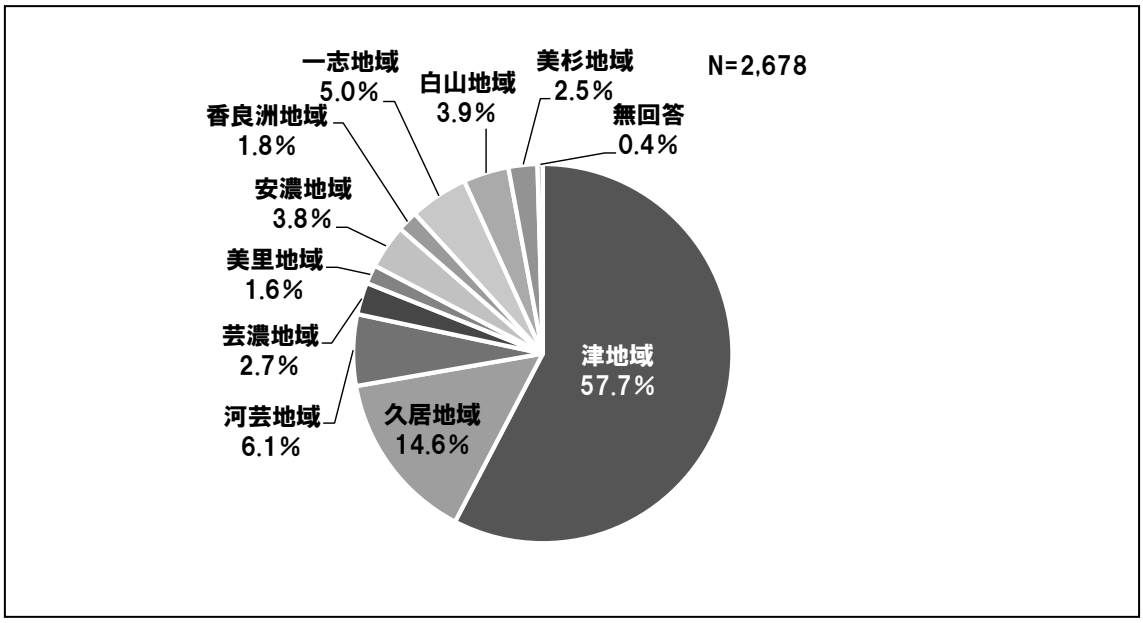


（３）居住地

設問３　あなたのお住まいは？　＜１つだけに○印＞

居住地区では、「津地域」（57.7%）が最も多く、全体の半数以上を占めています。次いで「久居地域」（14.6%）が多く、両地域合わせて 72.3%となっています。その他の地域はいずれも 10%未満となっています。

図表Ⅱ-1-4　居住地（全体）



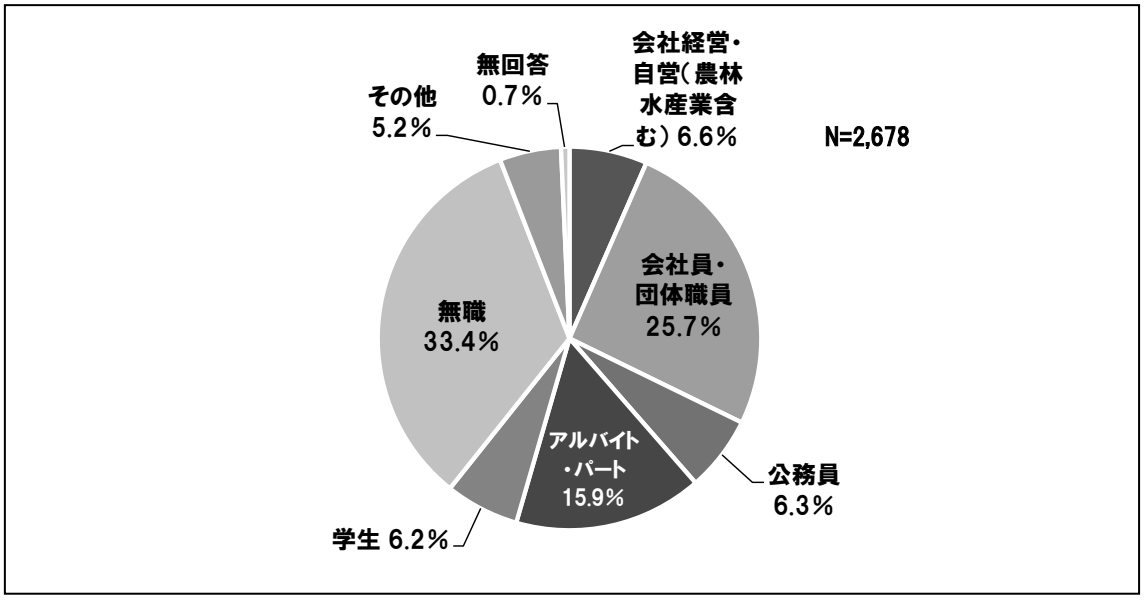
（４）職業

設問４　あなたの職業は？　＜１つだけに○印＞

①全体

回答者の職業については、「無職」（33.4%）が最も多く、次いで「会社員･団体職員」（25.7%）、「アルバイト･パート」（15.9%）、「会社経営・自営(農林水産業含む)」（6.6%）、「公務員」（6.3%）、「学生」（6.2%）の順となっています。

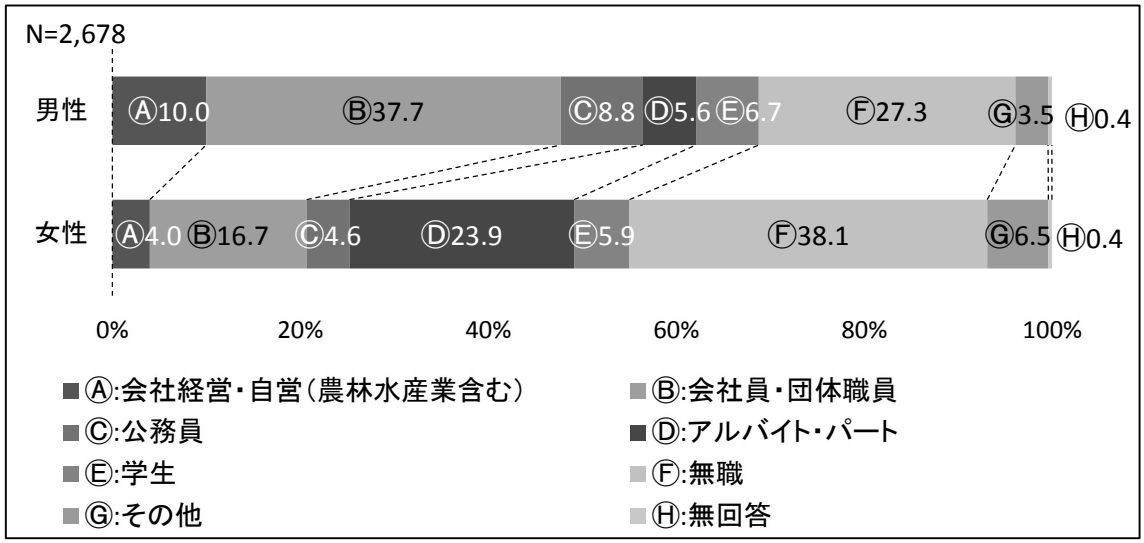
図表Ⅱ-1-5　職業（全体）



②性別にみた職業

性別にみると、男性では「会社員・団体職員」（37.7%）で最も多く、次いで「無職」（27.3%）、「会社経営・自営（農林水産業含む）」（10.0%）となっています。女性では「無職」（38.1%）が最も多く、次いで「アルバイト･パート」（23.9%）、「会社員･団体職員」（16.7%）の順となっています。

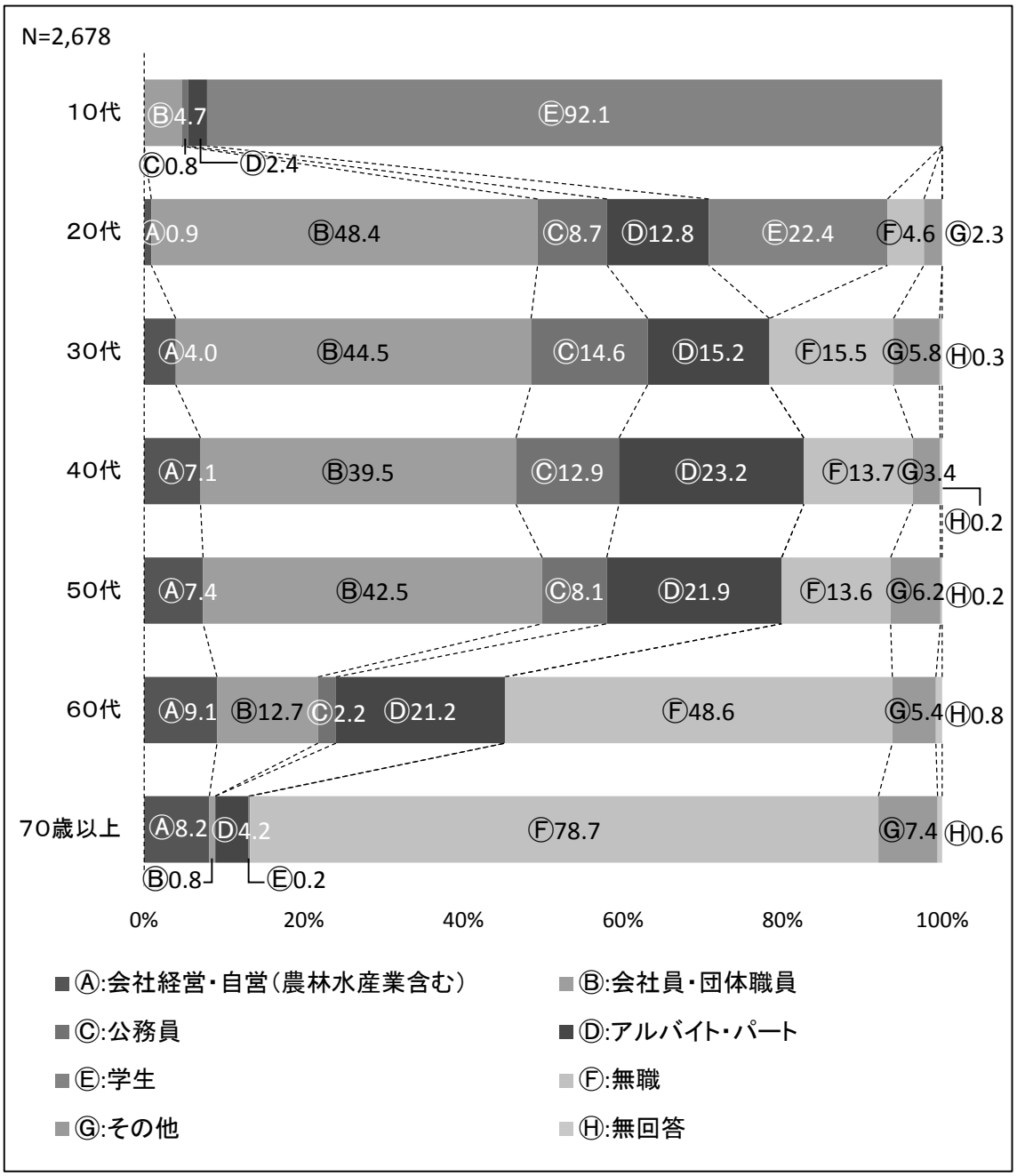
図表Ⅱ-1-6　職業（性別）



③年齢別にみた職業

年齢別にみると、10 代では「学生」（92.1%）が最も多く、20 代から 50 代にかけては「会社員・団体職員」が 4 割から 5 割程度を占めています。また 40 代から 60 代にかけては「アルバイト・パート」が 2 割程度となっています。

図表Ⅱ-1-7 職業（年齢別）



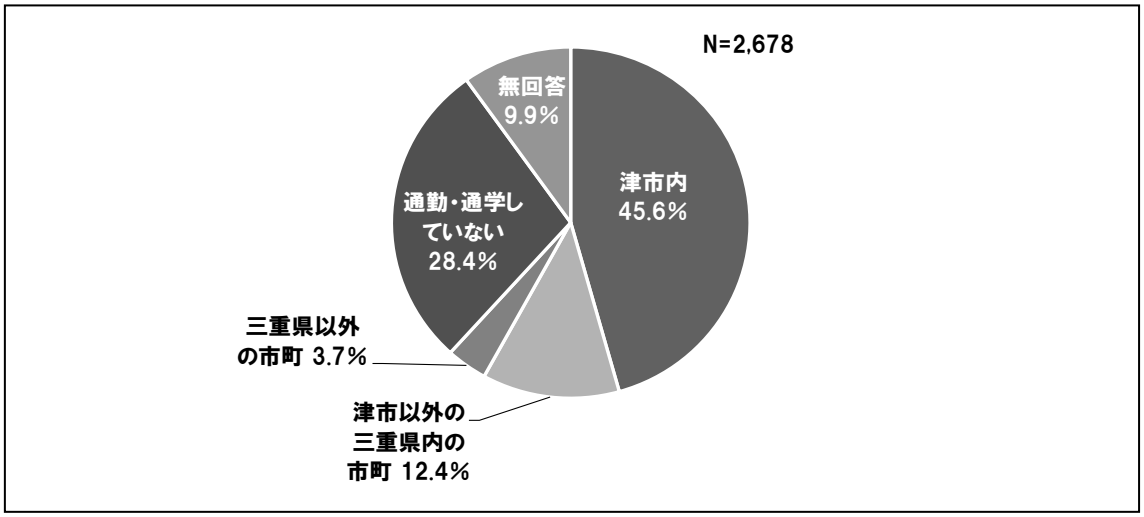
（５）通勤・通学先

設問５　通勤・通学先はどこですか？　＜１つだけに○印＞

①全体

通勤・通学先では「津市内」が 45.6%で最も多く、次いで「津市以外の三重県内の市町（上位３位が順に鈴鹿市、松阪市、四日市市）」が 12.4%、「三重県以外の市町（主に名古屋市）」が 3.7%で、合わせて 16.1%が市外への通勤・通学者となっており、「通勤・通学していない」は 28.4%となっています。

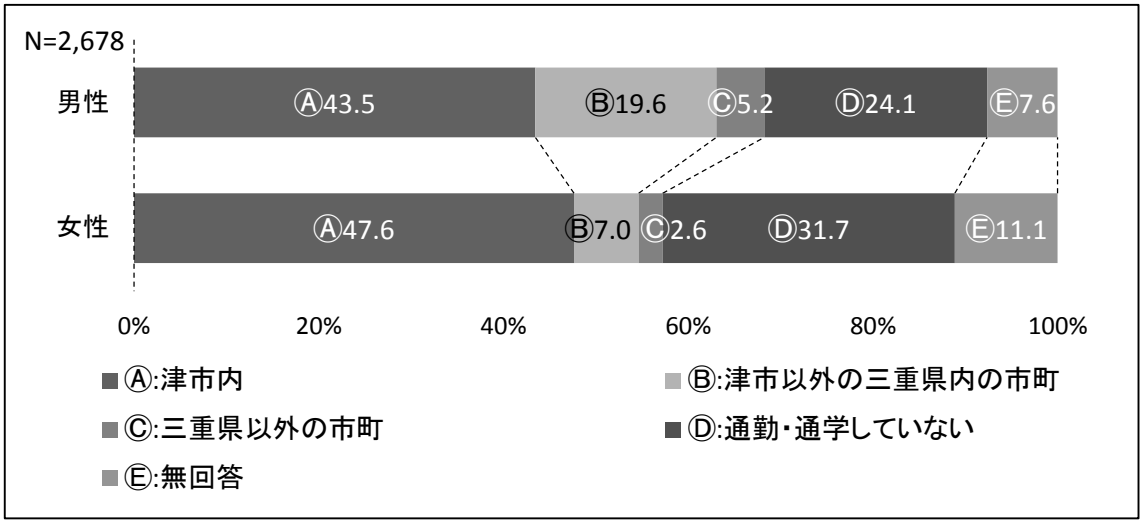
図表Ⅱ-1-8　通勤･通学先（全体）



②性別にみた通勤・通学先

性別にみると、男性、女性ともに「津市内」が４割超で最も多く、次いで「通勤・通学していない」となっています。男性は「津市以外の三重県内の市町」（19.6%）、「三重県以外の市町」（5.2%）と約４分の１が市外への通勤･通学者となっています。

図表Ⅱ-1-9　通勤･通学先（性別）

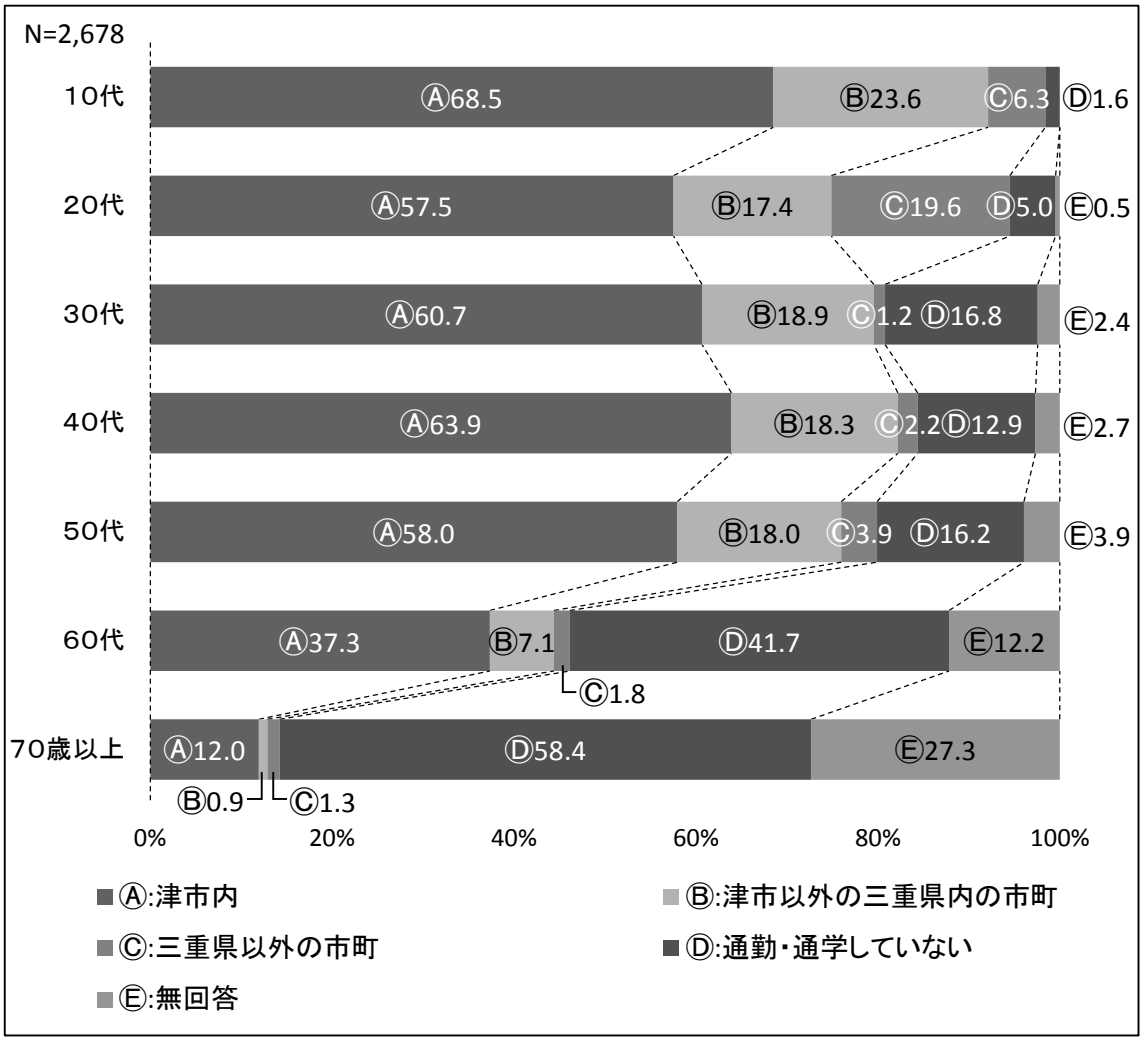


③年齢別にみた通勤・通学先

年齢別にみると、10 代から 50 代にかけて「津市内」が最も多く、60 代以上では「通勤・通学していない」が多くなっています。

10 代の通勤・通学先で「津市以外の三重県内の市町」が 23.6%となっており、他の年代と比較して最も多く、20 代では、「三重県以外の市町」（19.6%）が他の年代と比較して最も多くなっています。

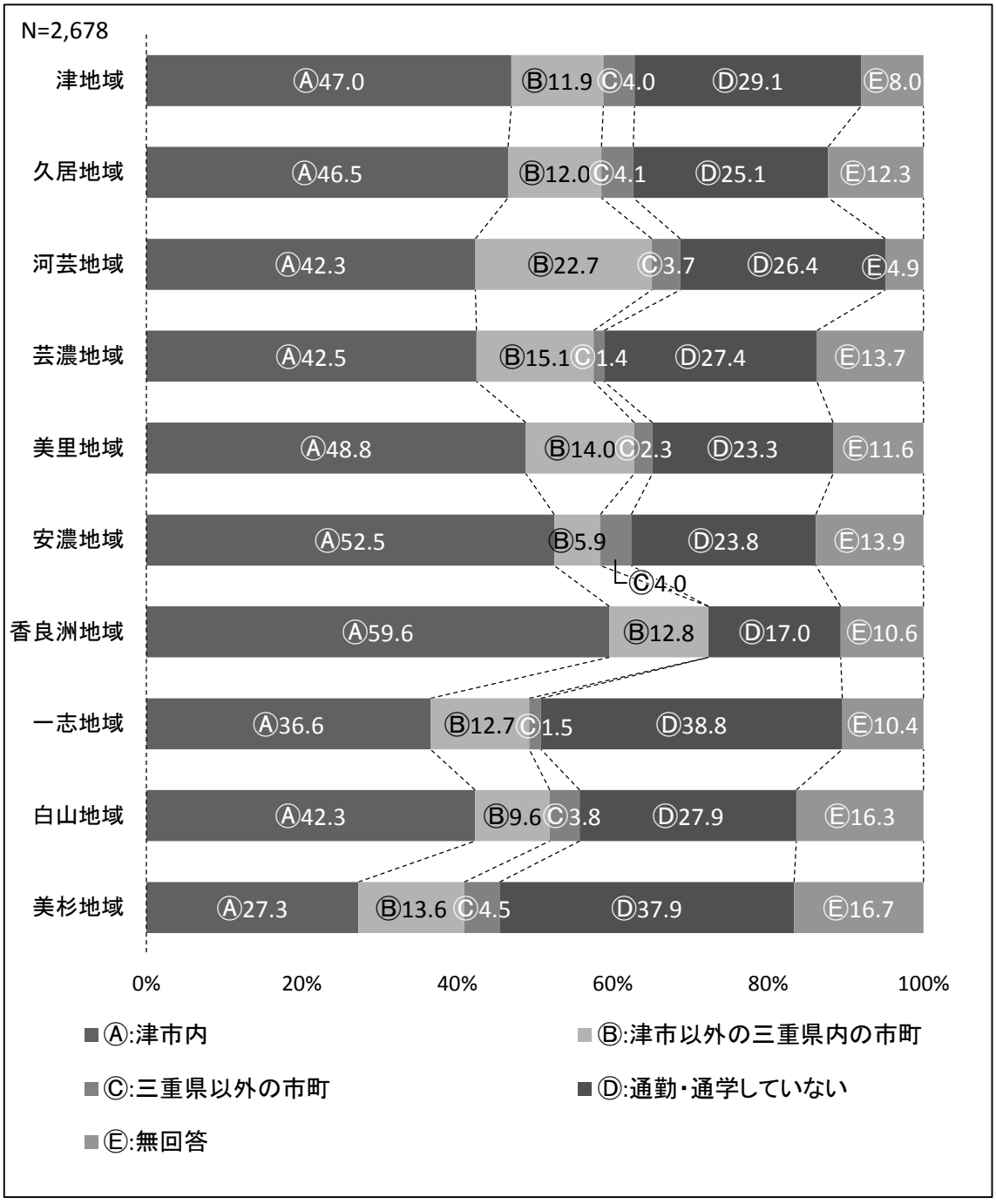
図表Ⅱ-1-10 通勤・通学先（年齢別）



④居住地別にみた通勤・通学先

居住地別にみると、一志・美杉地域を除く他の地域では「津市内」が最も多く、また、１～２割程度が、市外への通勤・通学となっています。

図表Ⅱ-1-11　通勤・通学先（居住地別）



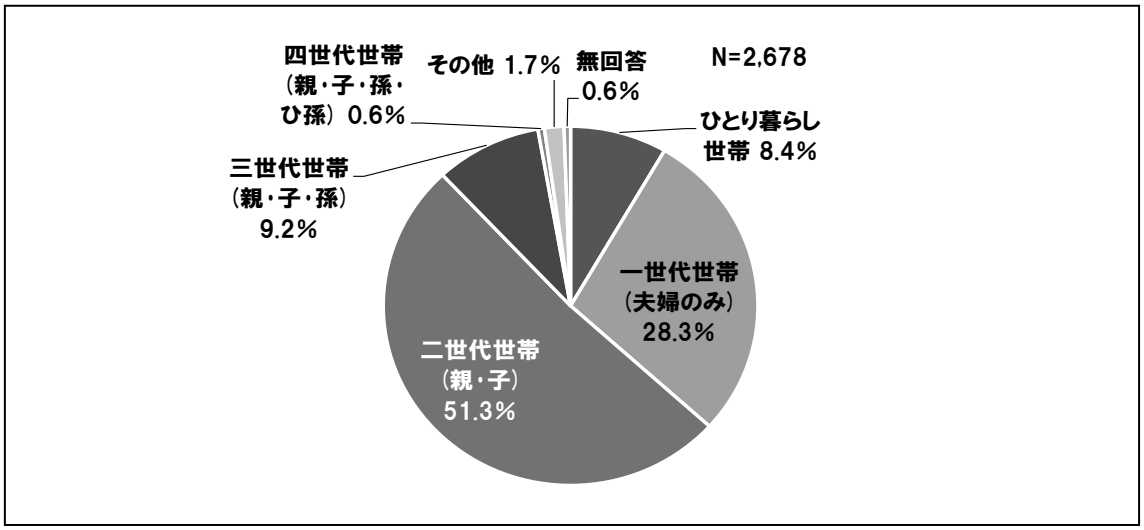
（６）家族構成

設問６　ご家族の構成は？＜１つだけに○印＞　※現在のお住まいでお答えください

①全体

家族構成では、「二世代世帯（親･子）」が 51.3%と最も多くなっています。次いで「一世代世帯（夫婦のみ）」が 28.3%を占めています。「二世代世帯（親･子）」（51.3%）、「三世代世帯（親･子･孫）」（9.2%）、「四世代世帯（親･子･孫･ひ孫）」（0.6%）の合計は 61.1%で、複数世代の家族が約６割を占めています。

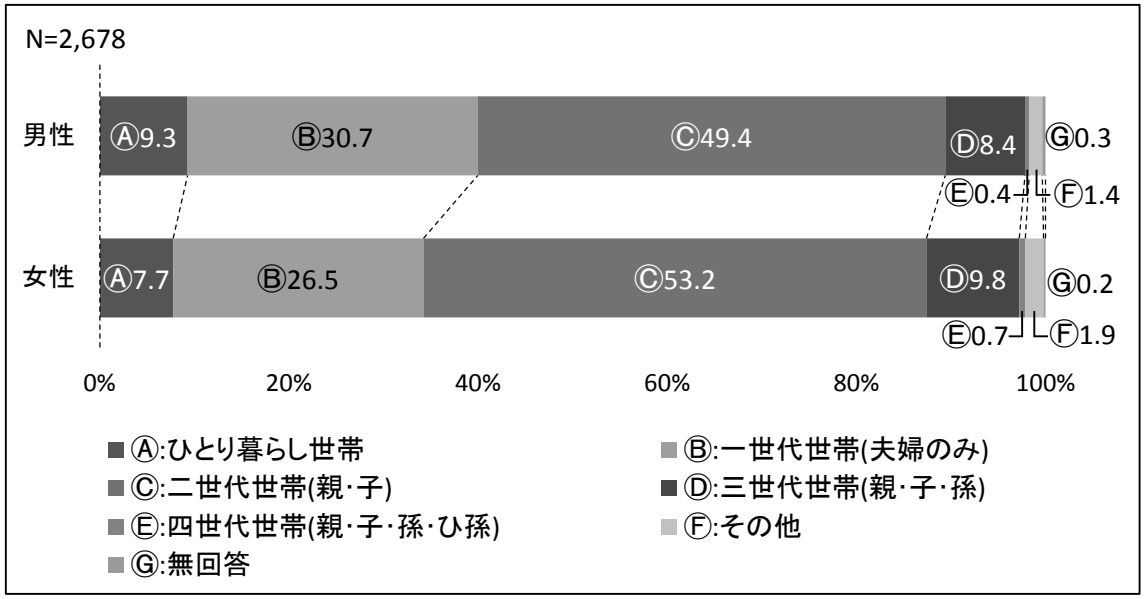
図表Ⅱ-1-12　家族構成（全体）



②性別にみた家族構成

性別にみても、男性、女性ともに「二世代世帯（親･子）」が半数近くを占め最も多くなっていますが、女性の方がより多世代世帯の割合が高く、一方で男性は「一世代世帯（夫婦のみ）」（30.7%）、「ひとり暮らし世帯」（9.3%）などで女性より割合が高くなっています。

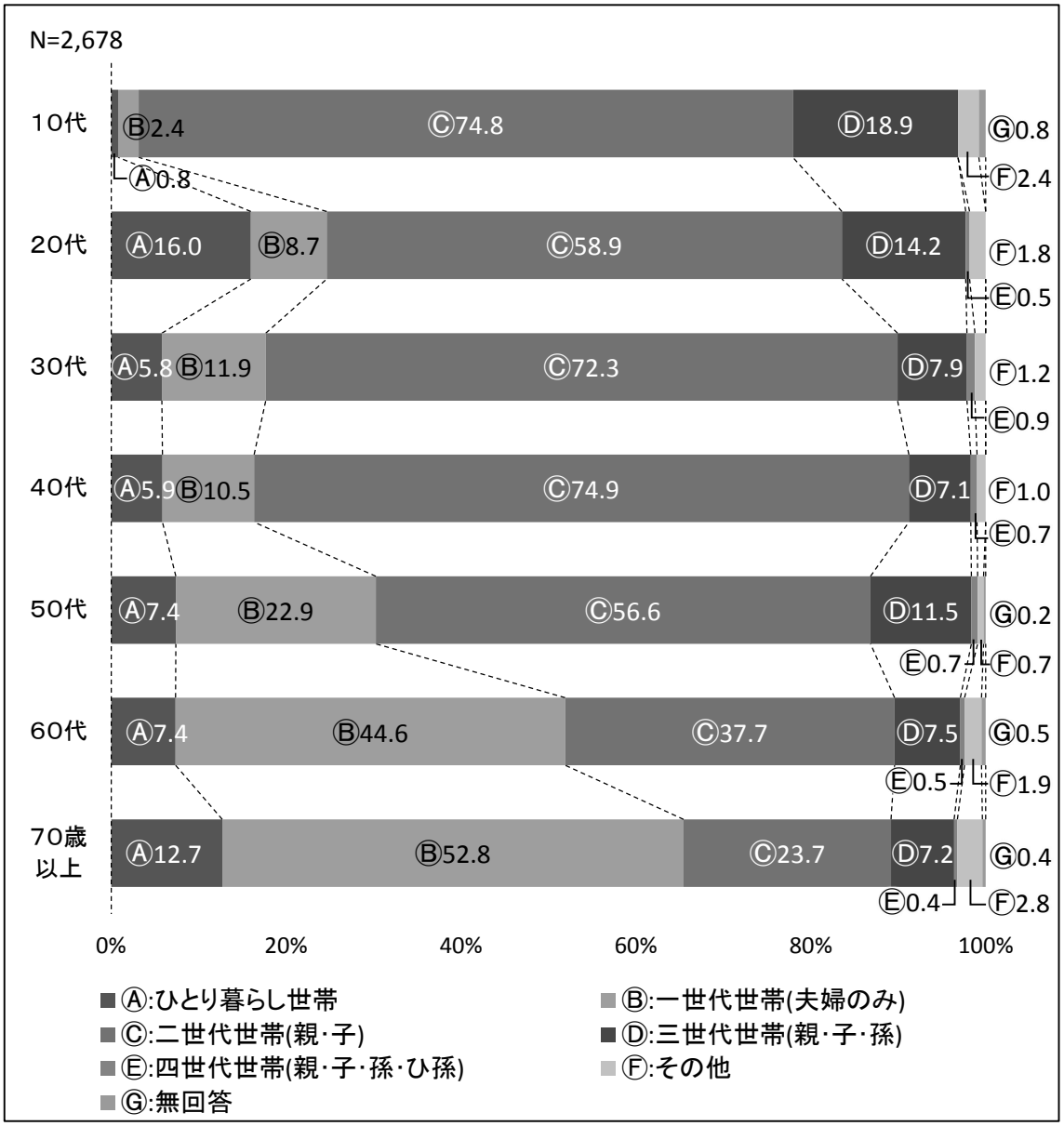
図表Ⅱ-1-13　家族構成（性別）



③年齢別にみた家族構成

年齢別にみると、10 代から 50 代にかけて「二世代世帯（親･子)」が最も多く、また、60 代以降は「ひとり暮らし世帯」と「一世代世帯（夫婦のみ)」の合計が半分以上を占めています。

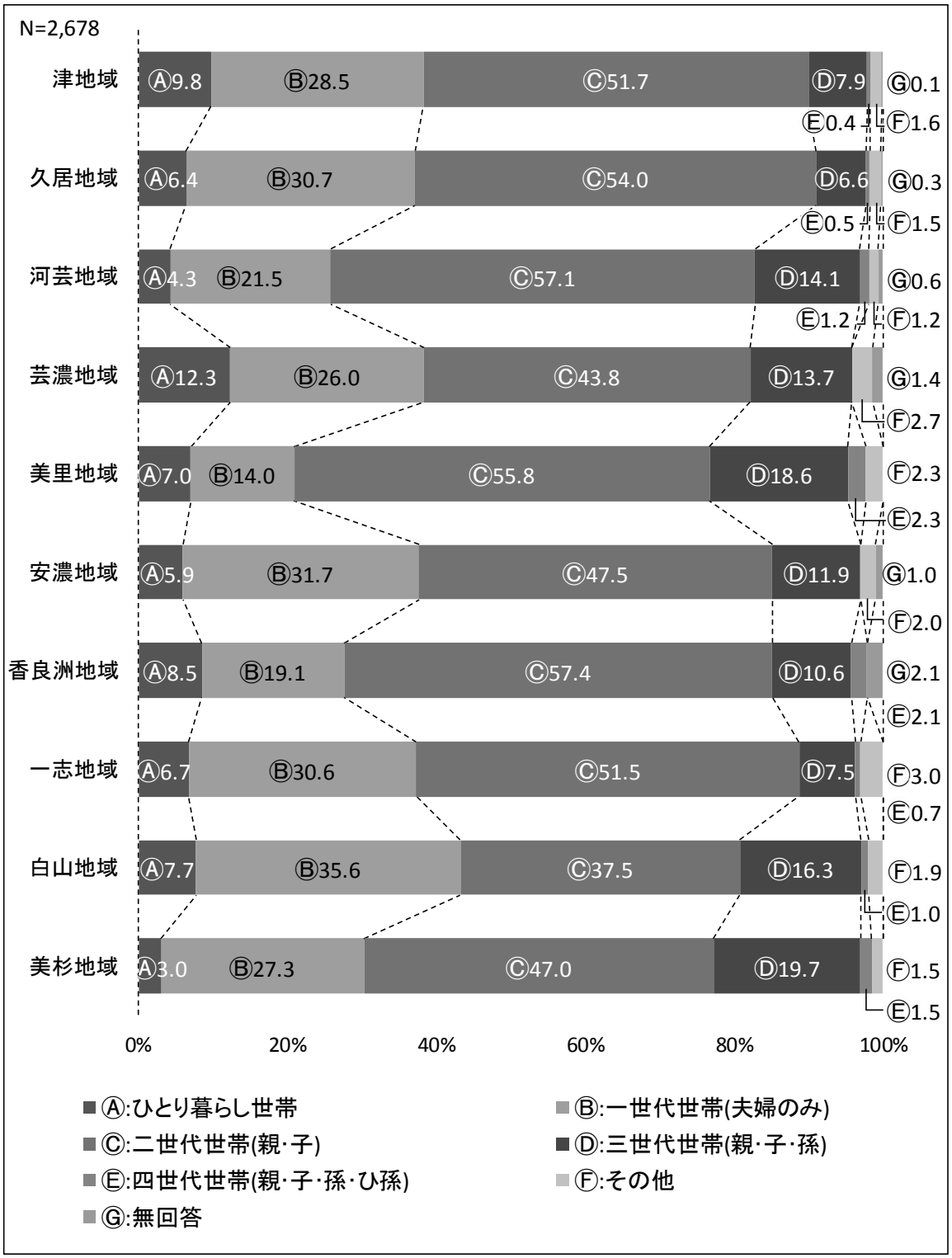
図表Ⅱ-1-14 家族構成（年齢別）



④居住地別にみた家族構成

居住地別にみると、美杉地域と美里地域で「三世代世帯（親･子･孫)」がそれぞれ19.7%、18.6%と他地域に比べ多く、芸濃地域では「ひとり暮らし世帯」が 12.3%と他地域よりやや多くなっています。

図表Ⅱ-1-15 家族構成(居住地別)



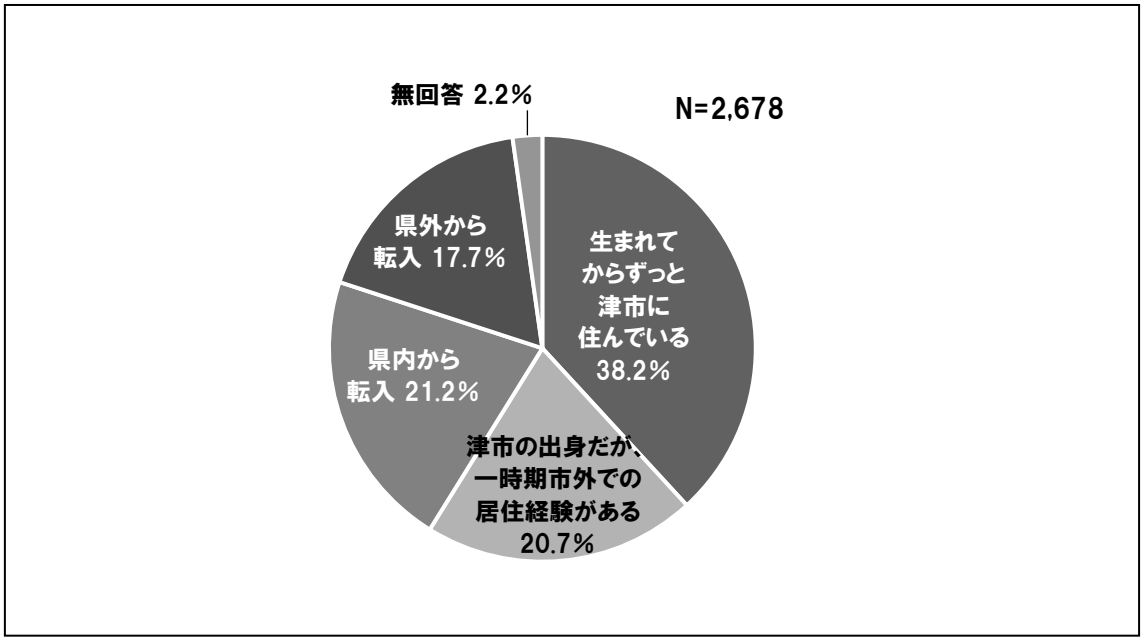
（７）居住歴・居住年数

設問７　居住歴・居住年数を教えてください。
※合併前の旧市町村での居住歴・居住年数を含みます。

①全体

居住歴は、「生まれてからずっと津市に住んでいる」（38.2%）が最も多く、「津市の出身だが、一時期市外での居住経験がある」（20.7%）と合わせると、58.9%の人が津市出身者となっています。一方、38.9%は市外からの転入者となっており、その内訳は「県内から転入」が 21.2%、「県外から転入」が 17.7%で、三重県内他市町からの転入がやや高くなっています。

図表Ⅱ-1-16　居住歴（全体）

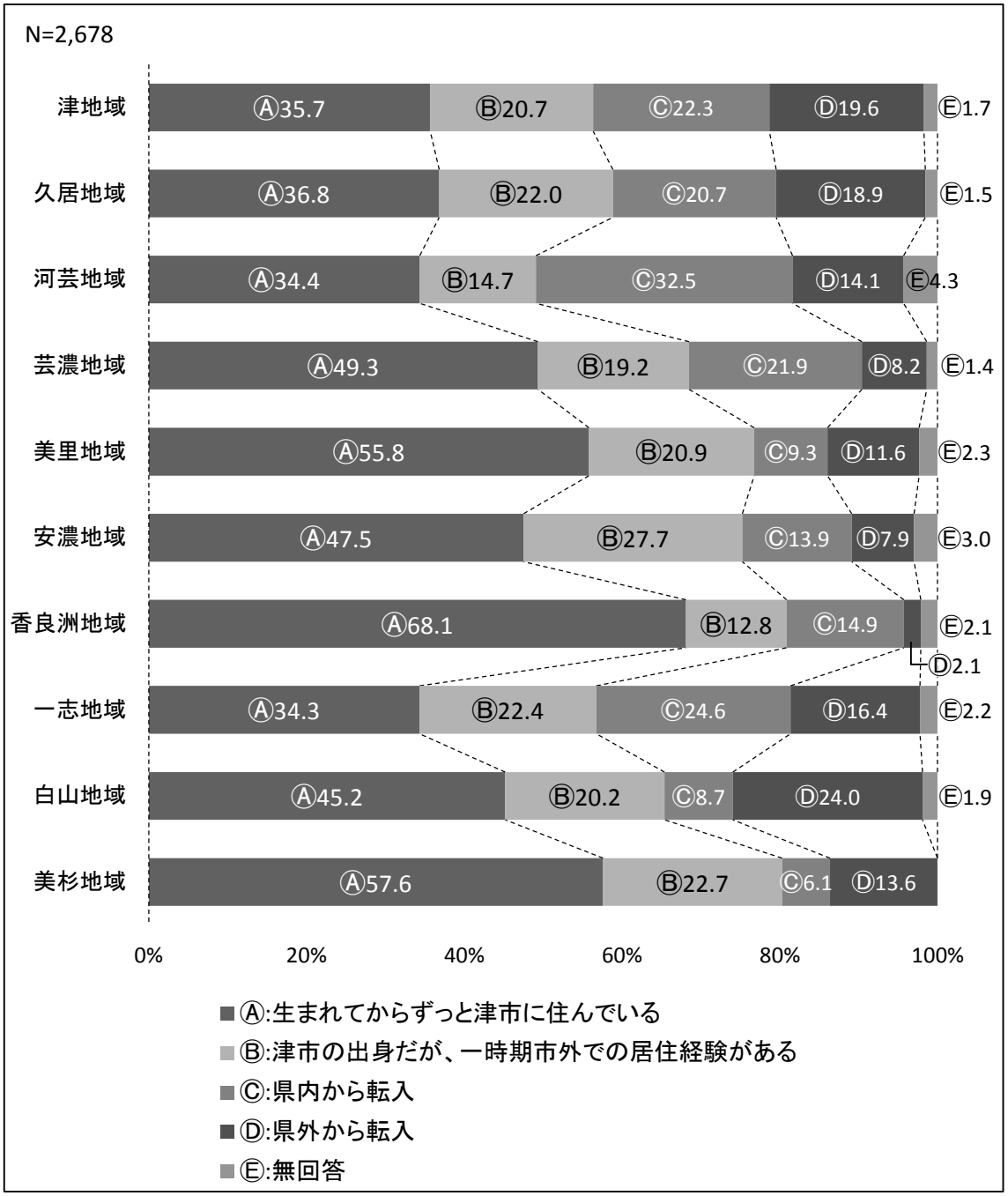


②居住地別にみた居住歴

居住地別では、「生まれてからずっと津市に住んでいる」の割合が多いのは「香良洲地域」（68.1%）、「美杉地域」（57.6%）、「美里地域」（55.8%）で、いずれの地域も「津市の出身だが、一時期市外での居住経験がある」と合わせた出身者の割合が８割前後を占めています。

市外からの転入者の割合は、「河芸地域」（県内 32.5%、県外 14.1%、計 46.6%）、「津地域」（県内 22.3%、県外 19.6%、計 41.9%）、「一志地域」（県内 24.6%、県外 16.4%、計 41.0%）、「久居地域」（県内 20.7%、県外 18.9%、計 39.6%）の順に多く、それぞれ４割前後を占めています。

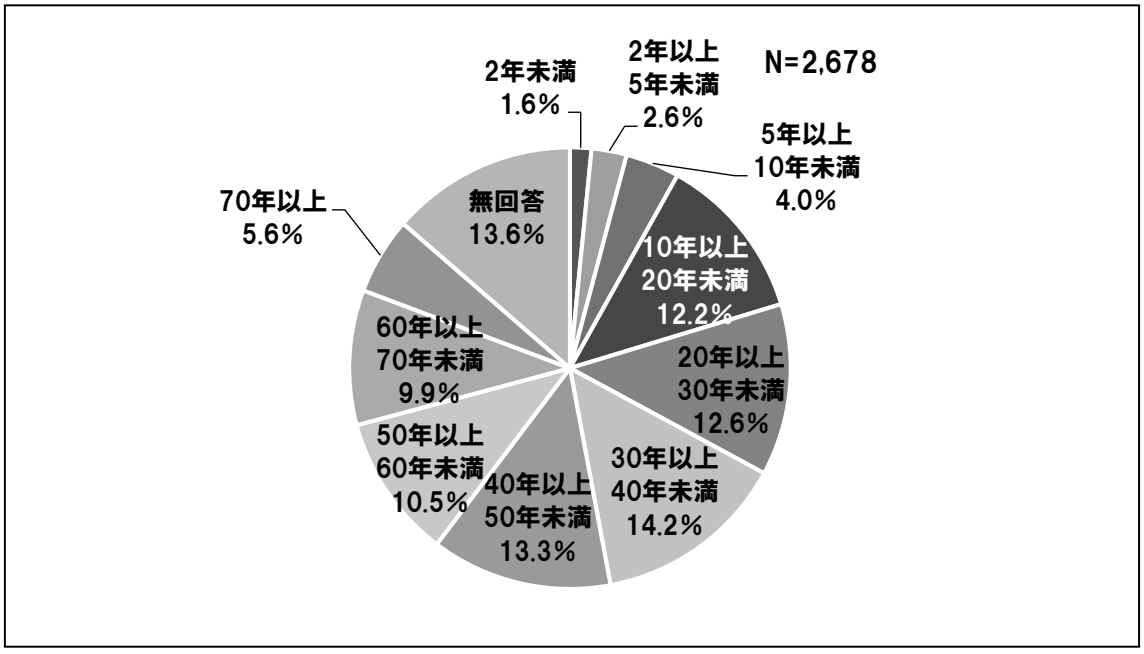
図表Ⅱ-1-17 居住歴（居住地別）



③居住年数

居住年数を 10 年刻みで集計した結果は、多いものから「30 年以上 40 年未満」（14.2%）、「40 年以上 50 年未満」（13.3%）、「20 年以上 30 年未満」（12.6%）、「10 年以上 20 年未満」（12.2%）、「50 年以上 60 年未満」（10.5%）、「60 年以上 70 年未満」（9.9%）となっており、「10 年未満」の合計は 8.2%となっています。

図表Ⅱ-1-18 居住年数（全体）



2　津市での暮らしについて

（１）津市への愛着度

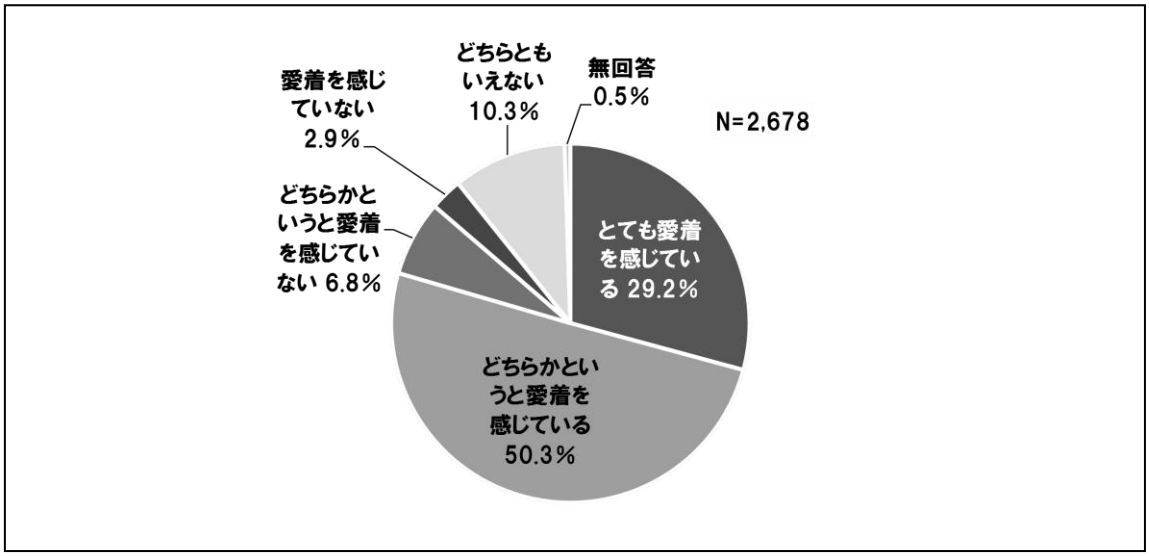
設問８　あなたは津市に愛着を感じていますか？　＜１つだけに○印＞

①全体

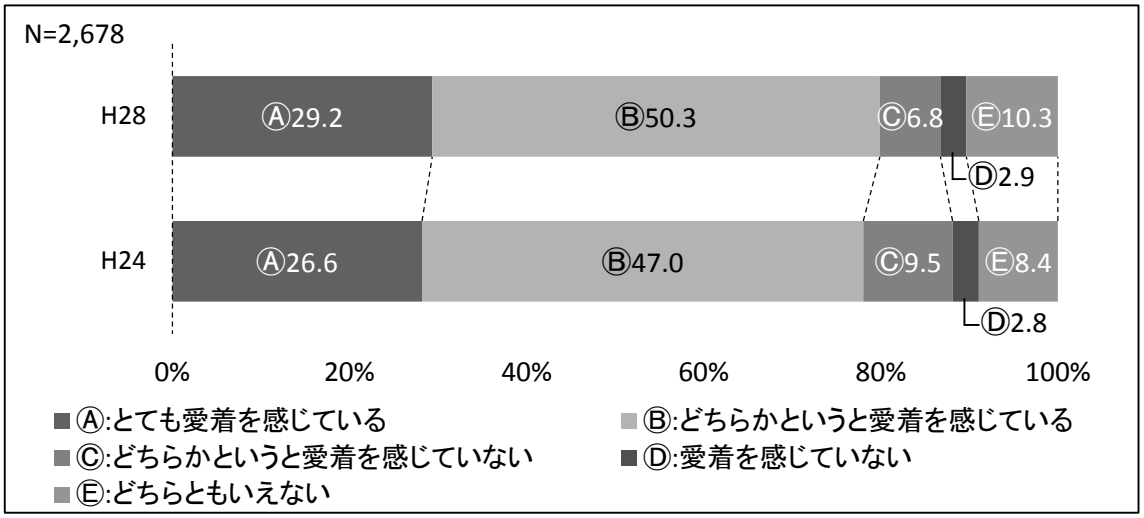
津市への愛着度では、「どちらかというと愛着を感じている」が 50.3％と最も多く、次いで「とても愛着を感じている」が 29.2％で、合わせて 79.5％の人が津市に愛着を感じていると回答しており、一方、「どちらかというと愛着を感じていない」(6.8％)と「愛着を感じていない」(2.9％) の合計は 9.7％で、津市に愛着を感じていないとの回答は１割未満となっています。

また、前回調査と比較してみると、愛着度（「とても愛着を感じている」及び「どちらかというと愛着を感じている」の回答率）は増加しています。

図表Ⅱ-2-1　津市への愛着度（全体）



図表Ⅱ-2-2　津市への愛着度（前回調査との比較）



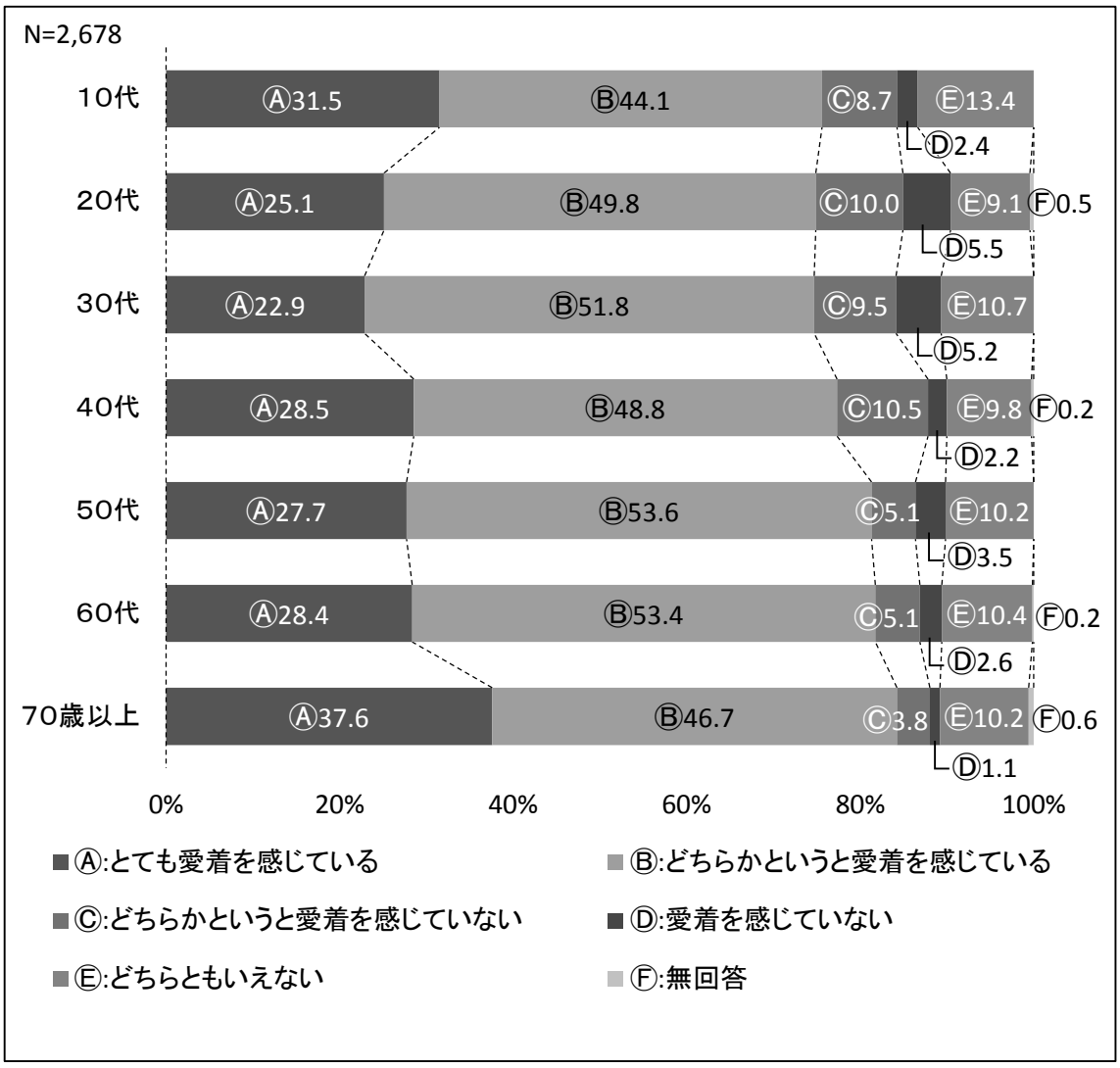
②年代別にみた津市への愛着度

年代別では、「とても愛着を感じている」と回答した割合は「70 歳以上」が 37.6%で最も多く、次いで「10 代」が 31.5%となっています。

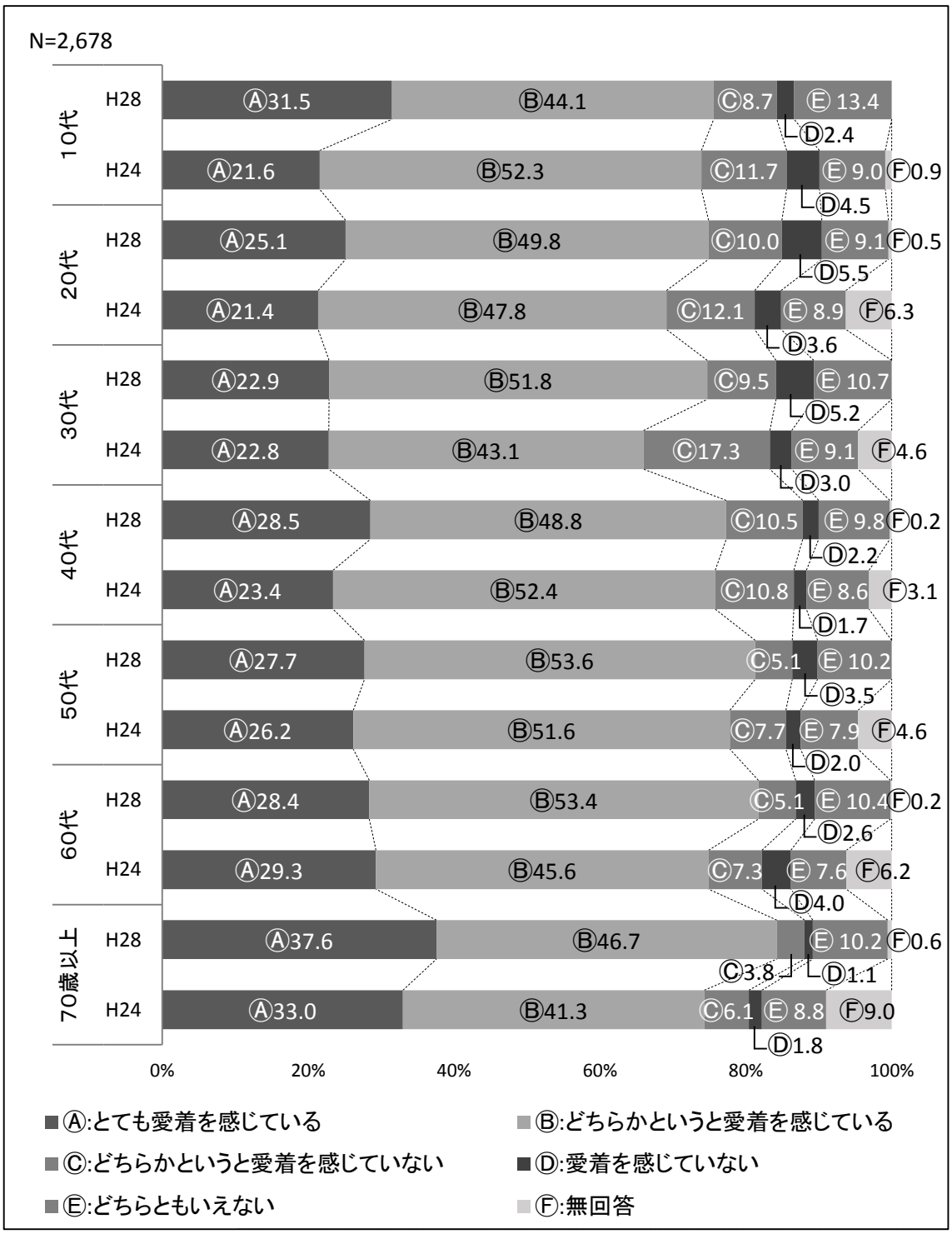
「とても愛着を感じている」と「どちらかというと愛着を感じている」の合計では、最も多い「70 歳以上」で 84.3%、最も少ない「30 代」で 74.7%と、全ての年代が 7 割を超えており、津市への愛着度はいずれの年代でも高く、30 代以降は年齢が上がるとともに高まる傾向がみられます。

また、「とても愛着を感じている」と「どちらかというと愛着を感じている」を合わせた回答割合を前回調査と比較してみると全ての年代で上昇しています。

図表Ⅱ-2-3 津市への愛着度（年代別）



図表Ⅱ−2−4　津市への愛着度（年代別の前回調査比較）

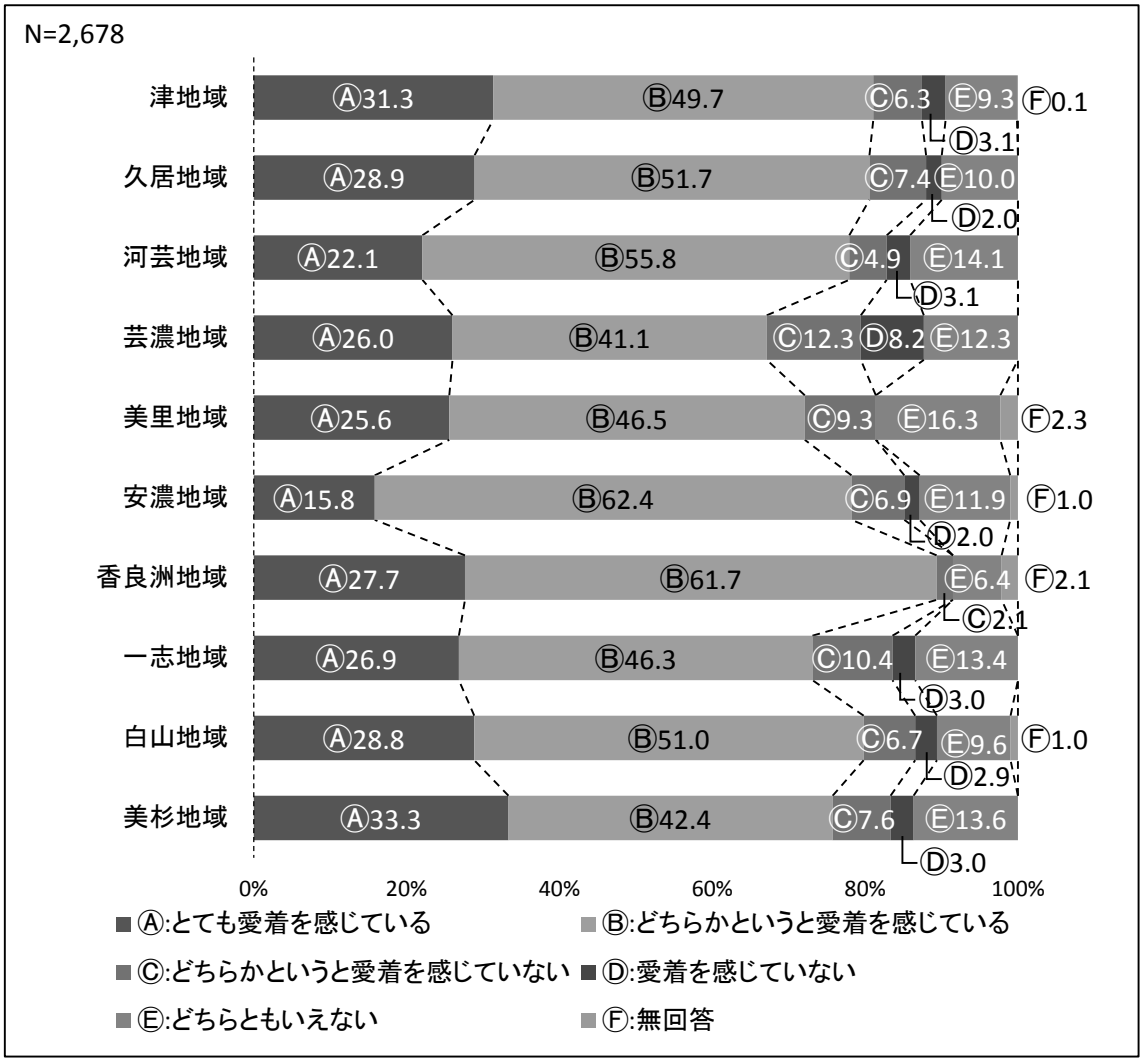


③居住地別にみた津市への愛着度

居住地別では、「とても愛着を感じている」と回答した割合は「美杉地域」が 33.3%で最も多く、次いで「津地域」が 31.3%となっています。

「とても愛着を感じている」と「どちらかというと愛着を感じている」の合計では、「香良洲地域」が 89.4%で最も多く、次いで「津地域」が 81.0%、「久居地域」が 80.6%となっています。

図表Ⅱ-2-5 津市への愛着度(居住地別)



（２）定住意向と転居する場合の転居先候補

設問９　あなたは今後も津市に住み続けたいですか？　＜１つだけに○印＞

（「できれば転居したい」あるいは「すぐにでも転居したい転居したい」と回答の場合）

転居したい地域は？　＜１つだけに○印＞

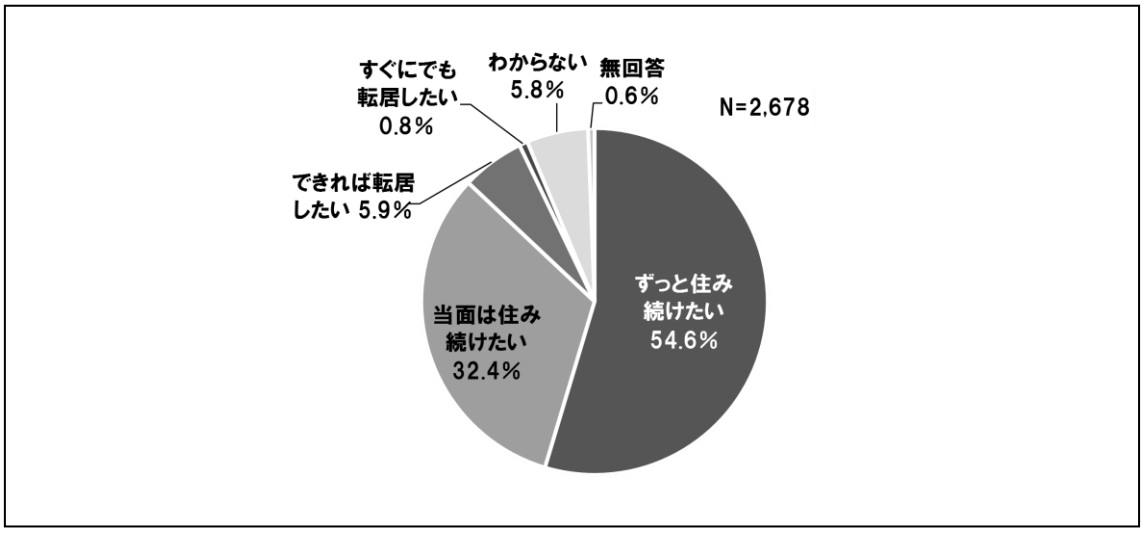
①全体

今後の定住意向では、「ずっと住み続けたい」が 54.6%と最も多く、半数以上が今後も住み続ける意向を持っています。次いで「当面は住み続けたい」も 32.4%と高く、合わせて 87.0%が住み続ける意向を持っています。

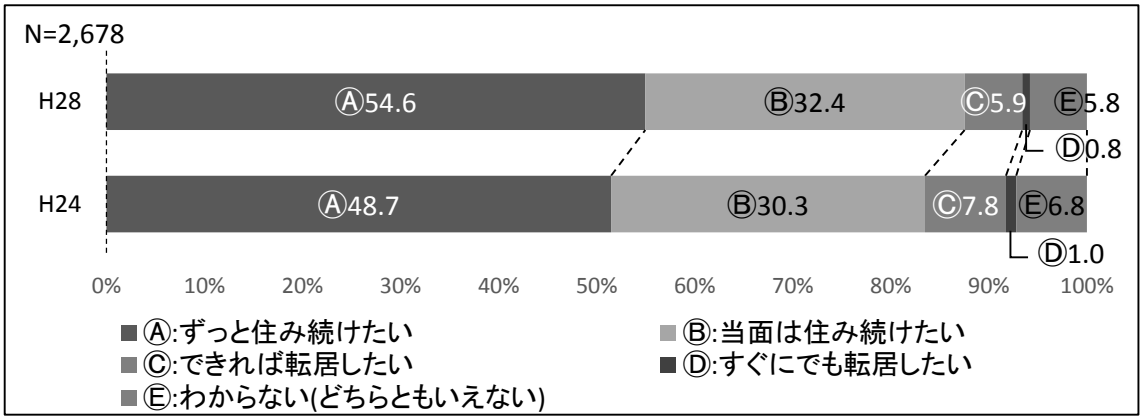
一方、「できれば転居したい」（5.9%）や「すぐにでも転居したい」（0.8%）など、市外への転居を希望する人は 1 割以下にとどまっています。

また、前回調査と比較してみると、居住継続意向（「ずっと住み続けたい」及び「当面は住み続けたい」の回答率）は高まっています。

図表Ⅱ-2-6　定住意向（全体）



図表Ⅱ-2-7　定住意向（前回調査との比較）

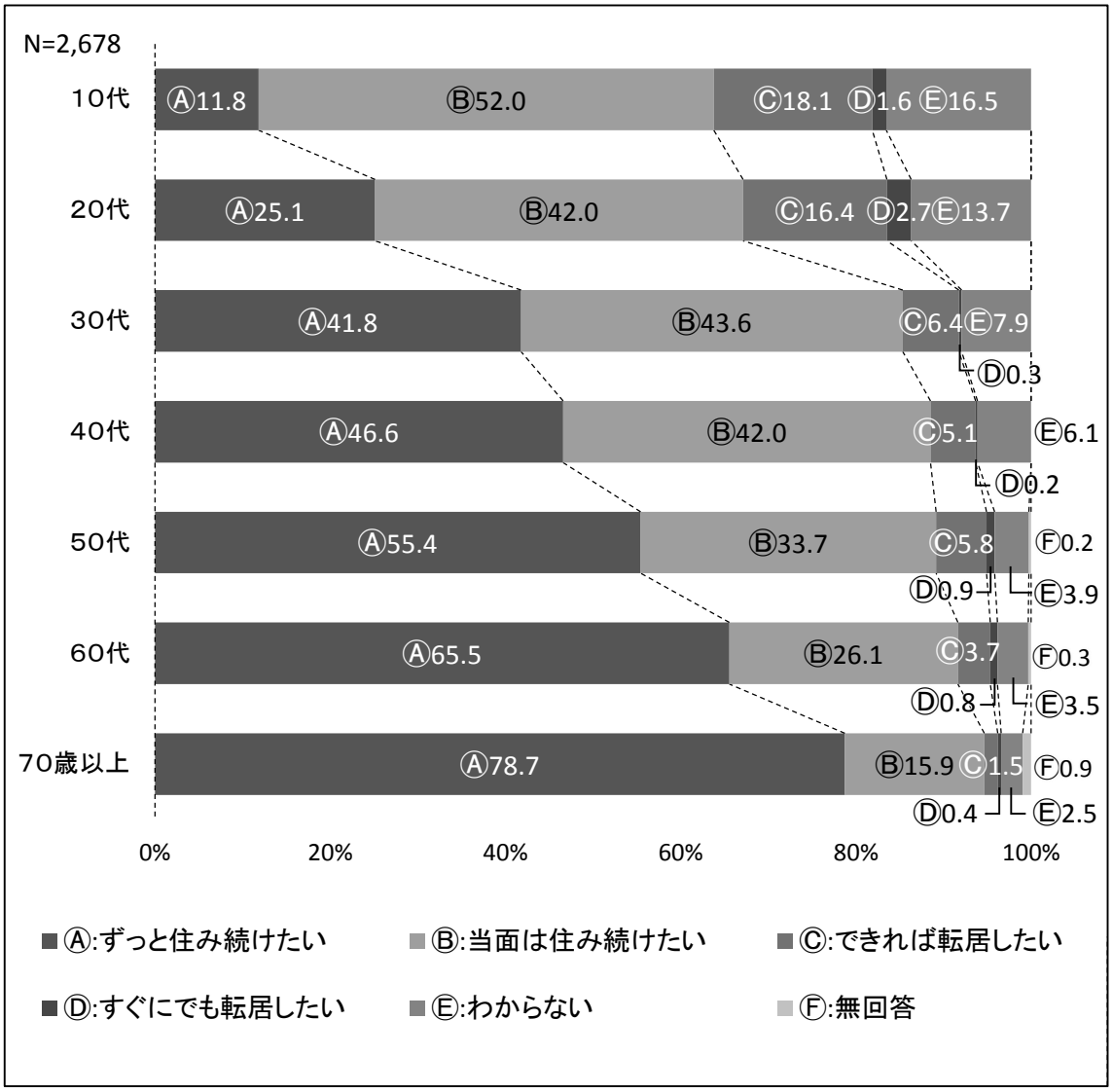


②年代別にみる定住意向

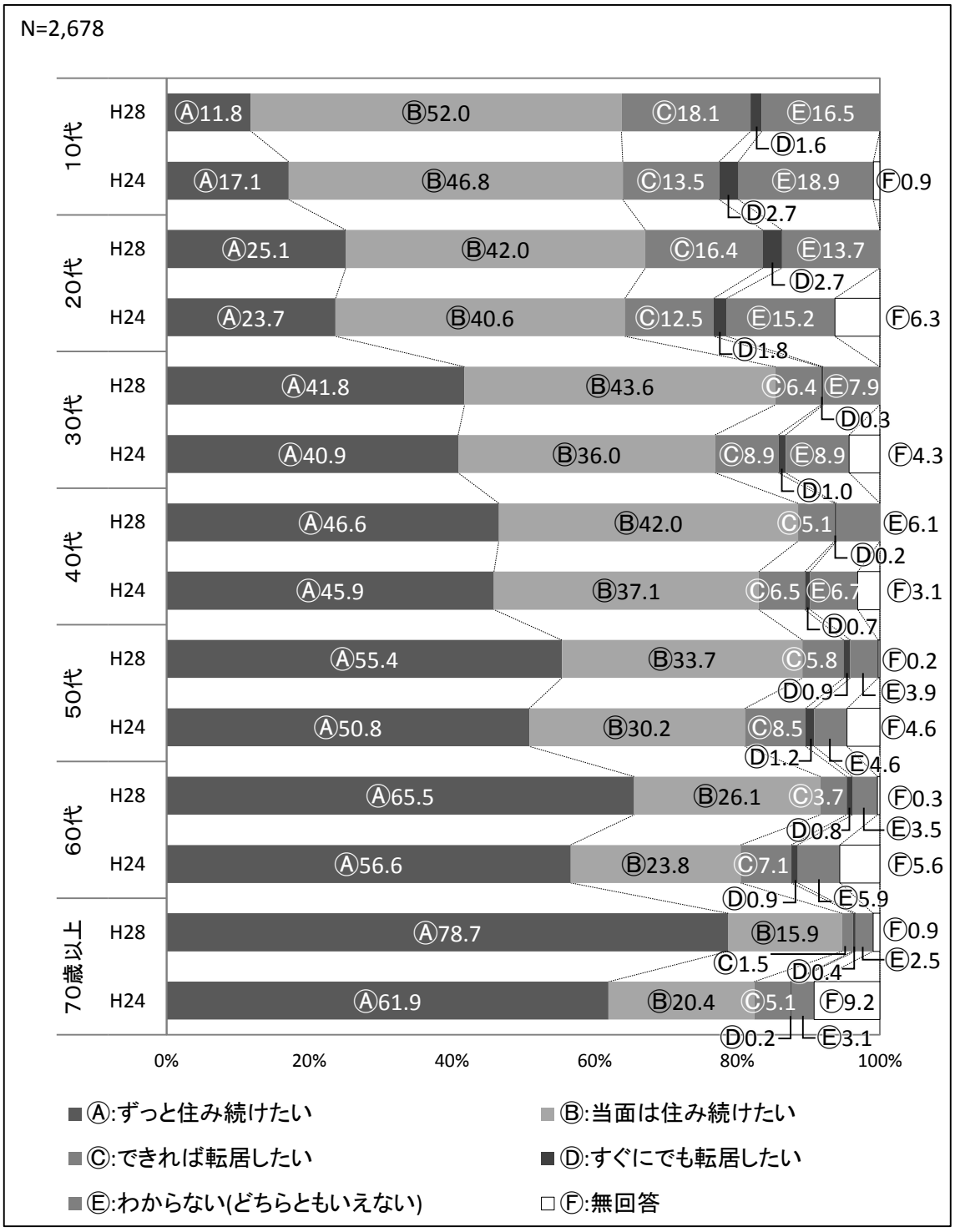
年代別にみると、「ずっと住み続けたい」という回答は年齢が上がるとともに高くなっています。「当面は住み続けたい」との合計でみると、最も多い「70 歳以上」では 94.6%、最も少ない 10 代でも 63.8%の人が居住継続意向を持っています。

また、「ずっと住み続けたい」の回答割合を前回調査と比較してみると、10 代を除く各年代で上昇しています。

図表Ⅱ-2-8 定住意向（年代別）



図表Ⅱ-2-9 定住意向(年代別の前回調査比較)

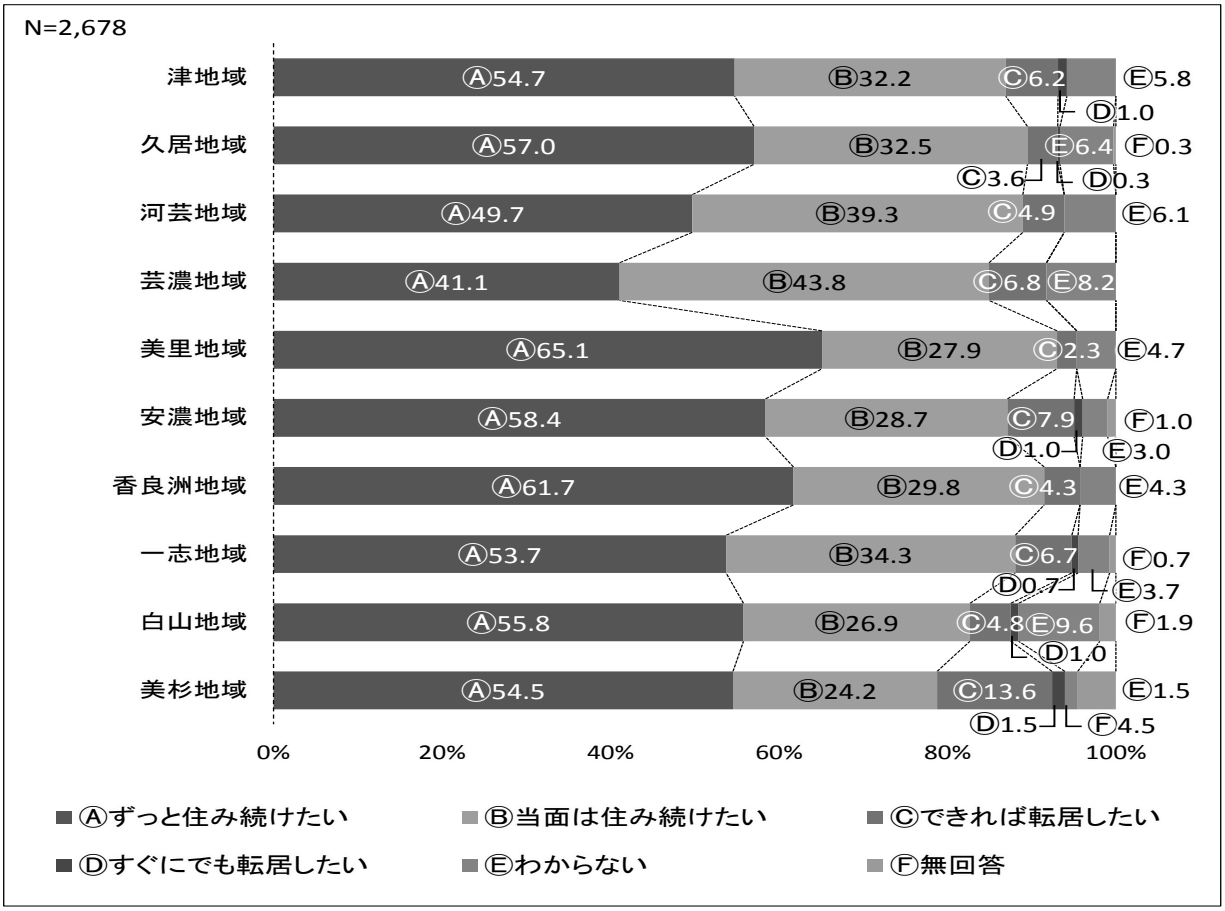


③居住地別にみる定住意向

居住地別にみると、「ずっと住み続けたい」という回答は「美里地域」で 65.1%、「香良洲地域」で 61.7%と多く、10 地域中 8 地域が 50.0%以上ですが、一方で「芸濃地域」は 41.1%、「河芸地域」は 49.7%と他地域に比べやや低くなっています。

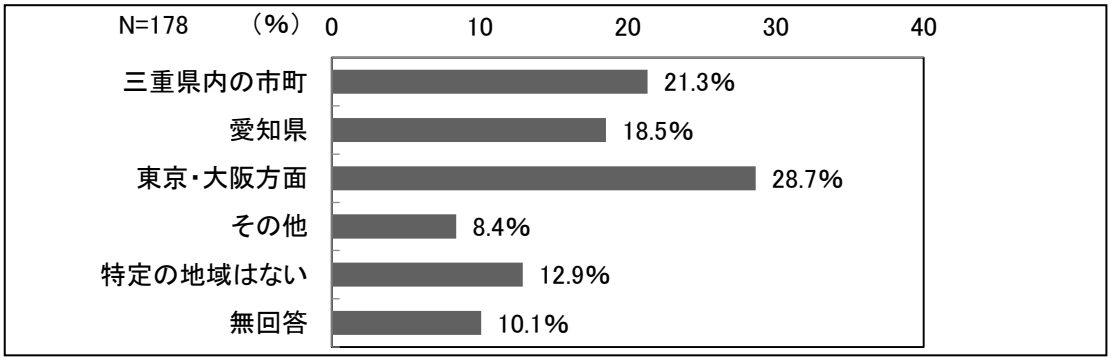
また、「できれば転居したい」という回答が「美杉地域」では 13.6%と、他地域に比べ高くなっています。

図表Ⅱ-2-10 定住意向(居住地別)



「できれば転居したい」または「すぐにでも転居したい」と回答した人の転居先の候補では、「東京・大阪方面」が 28.7%で最も多く、次いで「三重県内の市町」(21.3%)、「愛知県」(18.5%)、「特定の地域はない」(12.9%)、「その他」(8.4%)の順となっています。

図表Ⅱ-2-11 転居先の候補(転居希望者のみ)



（３）定住意向の主な理由

設問 10　設問 9 で１～４※のいずれかの答えを選んだ主な理由は何ですか？
＜３つまで○印を付けてください＞

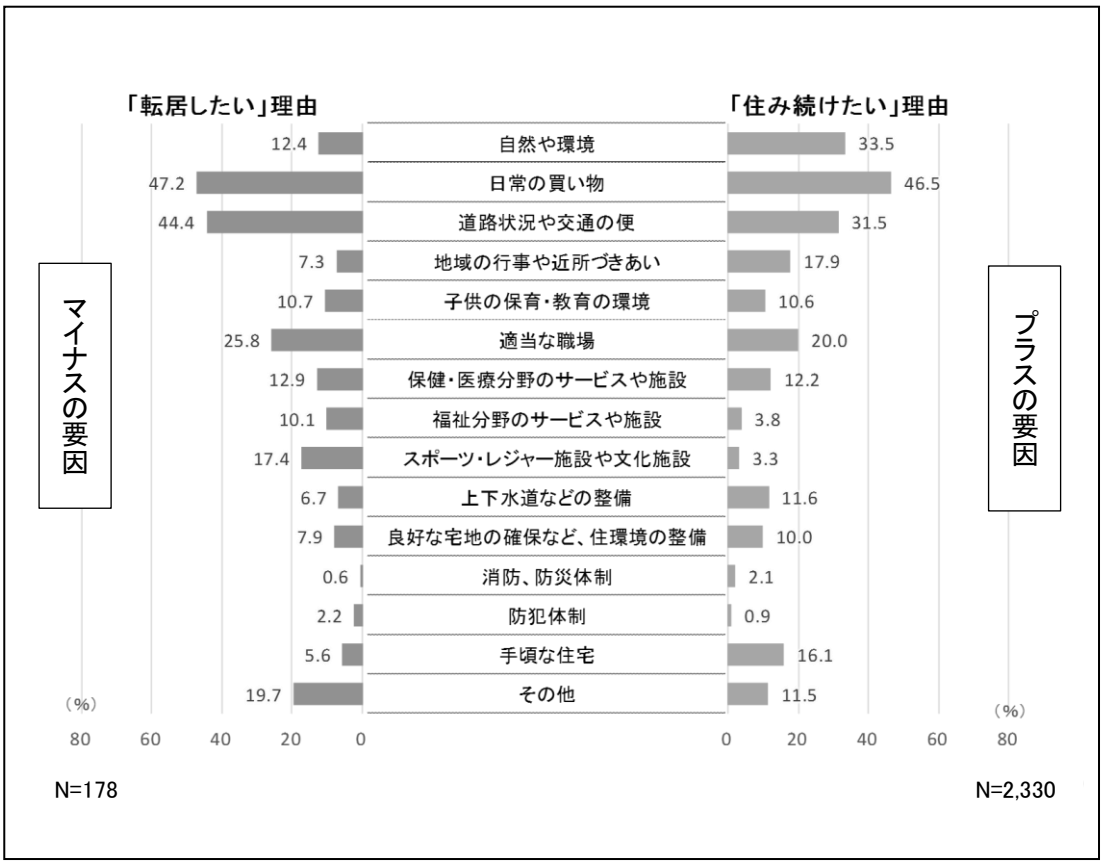
※「１.ずっと住み続けたい」、「２.当面は住み続けたい」、「３.できれば転居したい」、「４.すぐにでも転居したい」

①全体

「住み続けたい」を選んだ主な理由としては、「日常の買い物が便利」が 46.5%と最も多く、次いで「自然や環境が保護されている」（33.5%）、「道路状況や交通の便が良い」（31.5%）となっています。

一方、「転居したい」理由としては、「日常の買い物が不便」が 47.2%と最も多く、次いで「道路状況や交通の便が悪い」（44.4%）、「適当な職場がない」（25.8%）と続いています。

図表Ⅱ-2-12　定住意向の主な理由（全体）



②年代別にみる定住意向の主な理由

「住み続けたい」を選んだ主な理由を年代別に見ると、20 代以上では第１位がすべて「日常の買い物が便利」であり、20 代・30 代の第２位・第３位は「適当な職場がある」「道路状況や交通の便が良い」となっています。40 代以上では第２位に「自然や環境が保護されている」が挙がっています。

10 代では第１位が「自然や環境が保護されている」、第２位は「地域の行事や近所づきあいがある」、第３位は「日常の買い物が便利」と「道路状況や交通の便が良い」が並びます。

図表Ⅱ-2-13 定住意向の主な理由（年代別、第 3 位まで）

		第1位	第2位	第3位
全体（N=2,330）		日常の買い物が便利 46.5%	自然や環境が保護されている 33.5%	適当な職場がある 31.5%
年齢別	10 代（N=81）	自然や環境が保護されている 38.3%	地域の行事や近所づきあいがある 33.3%	日常の買い物が便利／道路状況や交通の便が良い 24.7%
	20 代（N=147）	日常の買い物が便利 46.9%	適当な職場がある 30.6%	道路状況や交通の便が良い 29.9%
	30 代（N=280）	日常の買い物が便利 47.1%	適当な職場がある 29.6%	道路状況や交通の便が良い 24.3%
	40 代（N=363）	日常の買い物が便利 44.4%	自然や環境が保護されている 33.1%	適当な職場がある 30.0%
	50 代（N=386）	日常の買い物が便利 45.1%	自然や環境が保護されている 35.2%	道路状況や交通の便が良い 34.2%
	60 代（N=572）	日常の買い物が便利 47.9%	自然や環境が保護されている 36.5%	道路状況や交通の便が良い 33.0%
	70 歳以上（N=499）	日常の買い物が便利 50.0%	自然や環境が保護されている／道路状況や交通の便が良い 35.5%	保健・医療分野のサービスや施設が充実しているから 24.2%

※全体には年齢不詳２名を含む。

「転居したい」を選んだ主な理由を年代別に見ると、いずれの年代でも「日常の買い物が不便」が挙がっており、10 代・30 代・40 代・50 代・60 代で第１位となっています。また、20 代の第１位と 10 代・30 代・40 代・50 代・60 代の第２位に「道路状況や交通の便が悪い」が挙がっています。

このほか、70 歳以上では第１位に「良好な宅地の確保など、住環境の整備が遅れている」、第２位に「福祉分野のサービスや施設が不十分」が挙がっています。

図表Ⅱ-2-14 転居意向の主な理由（年代別、第 3 位まで）

		第1位	第2位	第3位
全体（N=178）		日常の買い物が不便 47.2%	適当な職場がない 44.4%	道路状況や交通の便が悪い 25.8%
年齢別	10 代（N=25）	日常の買い物が不便 56.0%	道路状況や交通の便が悪い 52.0%	適当な職場がない 20.0%
	20 代（N=42）	道路状況や交通の便が悪い 54.8%	適当な職場がない 42.9%	日常の買い物が不便 40.5%
	30 代（N=22）	日常の買い物が不便 45.5%	道路状況や交通の便が悪い 31.8%	保健・医療分野のサービスや施設が不十分 27.3%
	40 代（N=22）	日常の買い物が不便 59.1%	道路状況や交通の便が悪い 54.5%	適当な職場がない 31.8%
	50 代（N=29）	日常の買い物が不便 51.7%	道路状況や交通の便が悪い 44.8%	自然や環境が悪化している 27.6%
	60 代（N=28）	日常の買い物が不便 39.3%	道路状況や交通の便が悪い 32.1%	福祉分野のサービスや施設が不十分／スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分 21.4%
	70 歳以上（N=10）	良好な宅地の確保など、住環境の整備が遅れている 60.0%	福祉分野のサービスや施設が不十分 50.0%	日常の買い物が不便 40.0%

3　市政に対する評価

設問 11　以下の 58 項目について、満足度と重要度をお答えください。
また、御回答頂いた取り組みのうち、これからの津市のまちづくりでも力を入れるべきと考える施策の番号を記入してください。（２～３つまで指定）

※５８項目のうち５７項目は、施策ごとの満足度・重要度を、残りの１項目は市政を総合的に評価した満足度をたずねるものとなっています。
※力を入れるべきと考える施策については、参加と協働のまちづくりは２つまで、その他については３つまで指定

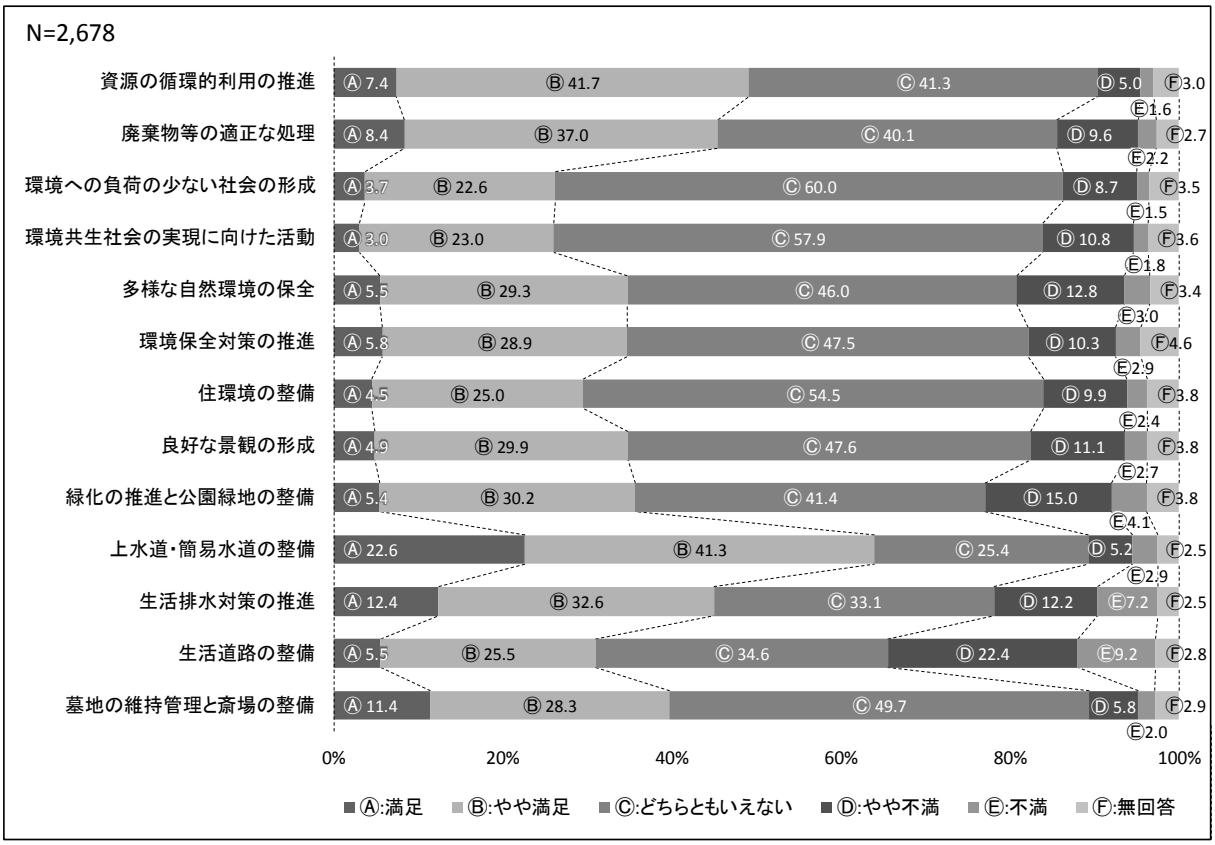
（１）美しい環境と共生するまちづくり

①満足度

まちづくりの目標「美しい環境と共生するまちづくり」に関連する施策において、「満足」と「やや満足」の合計でみた満足度が最も高い施策は「上水道・簡易水道の整備」（63.9%）で、次いで「資源の循環的利用の推進」（49.1%）、「廃棄物等の適正な処理」（45.4%）、「生活排水対策の推進」（45.0%）となっています。その他の施策も、総合的な評価を除いた 57 項目のなかでは満足度の高いものが多く、「美しい環境と共生するまちづくり」に関連する施策の評価は比較的高いといえます。

一方、「生活道路の整備」では不満度（不満＋やや不満）が 31.6%で 57 項目中最も高くなっており、満足度（満足＋やや満足、31.0%）と比べても不満度の方がわずかに上回る評価となっています。その他、不満度が比較的高いものとしては「生活排水対策の推進」（19.4%）、「緑化の推進と公園緑地の整備」（19.1%）となっています。

図表Ⅱ-3-1　美しい環境と共生するまちづくりの満足度（全体）



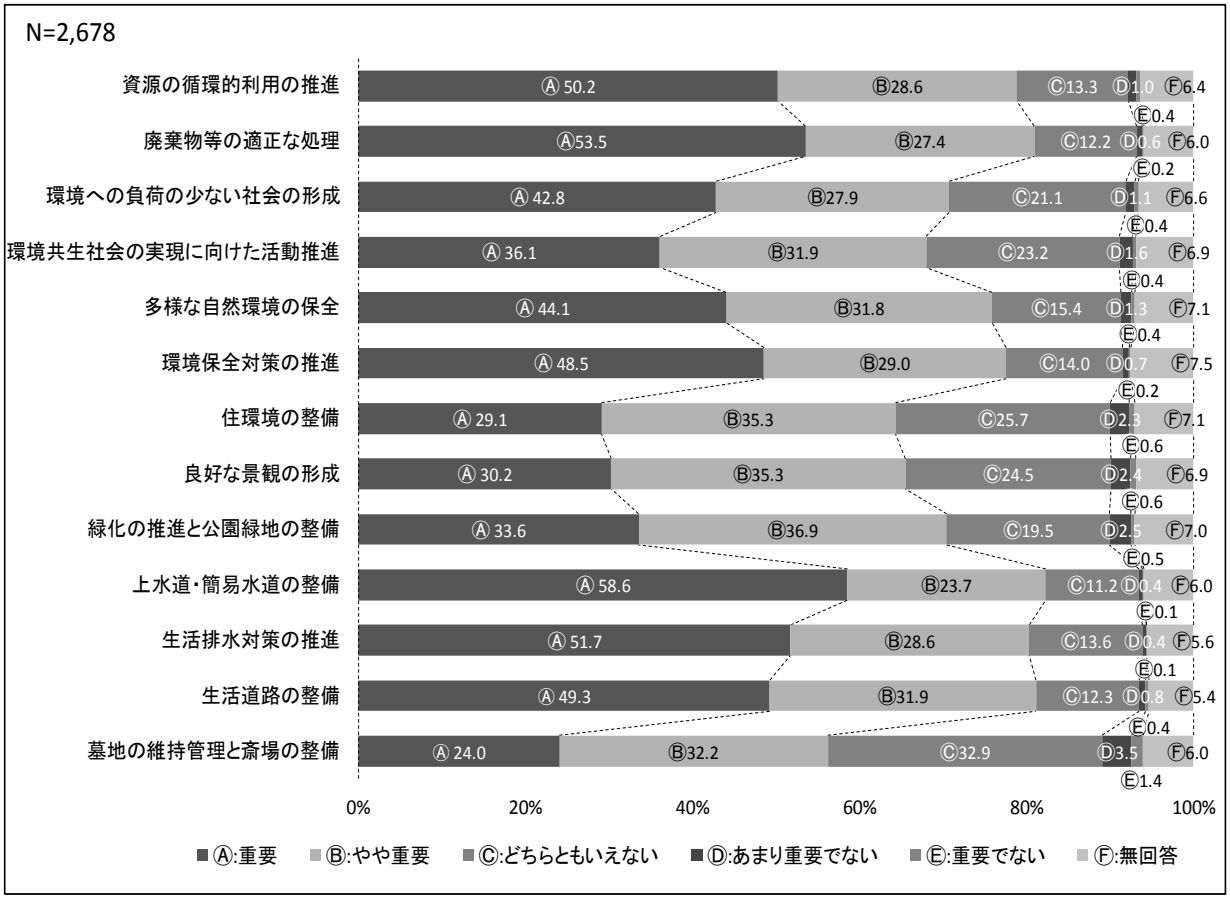
②重要度

まちづくりの目標「美しい環境と共生するまちづくり」に関連する施策において「重要」と回答した人の割合が高いのは、「上水道・簡易水道の整備」（58.6%）、「廃棄物等の適正な処理」（53.5%）、「生活排水対策の推進」（51.7%）、「資源の循環的利用の推進」（50.2%）の順となっています。

「重要」と「やや重要」を合わせた比較では、前述の４項目が約８割を占めて上位に入っているほか、「生活道路の整備」（81.2%）の割合も高く、「上水道・簡易水道の整備」（82.3%）に次いで２番目に重要なものとして挙げられています。

その他では、「環境保全対策の推進」（77.5%）、「多様な自然環境の保全」（75.9%）、「環境への負荷の少ない社会の形成」（70.7%）、「緑化の推進と公園緑地の整備」（70.5%）の順に割合が高くなっています。

図表Ⅱ-3-2　美しい環境と共生するまちづくりの重要度（全体）

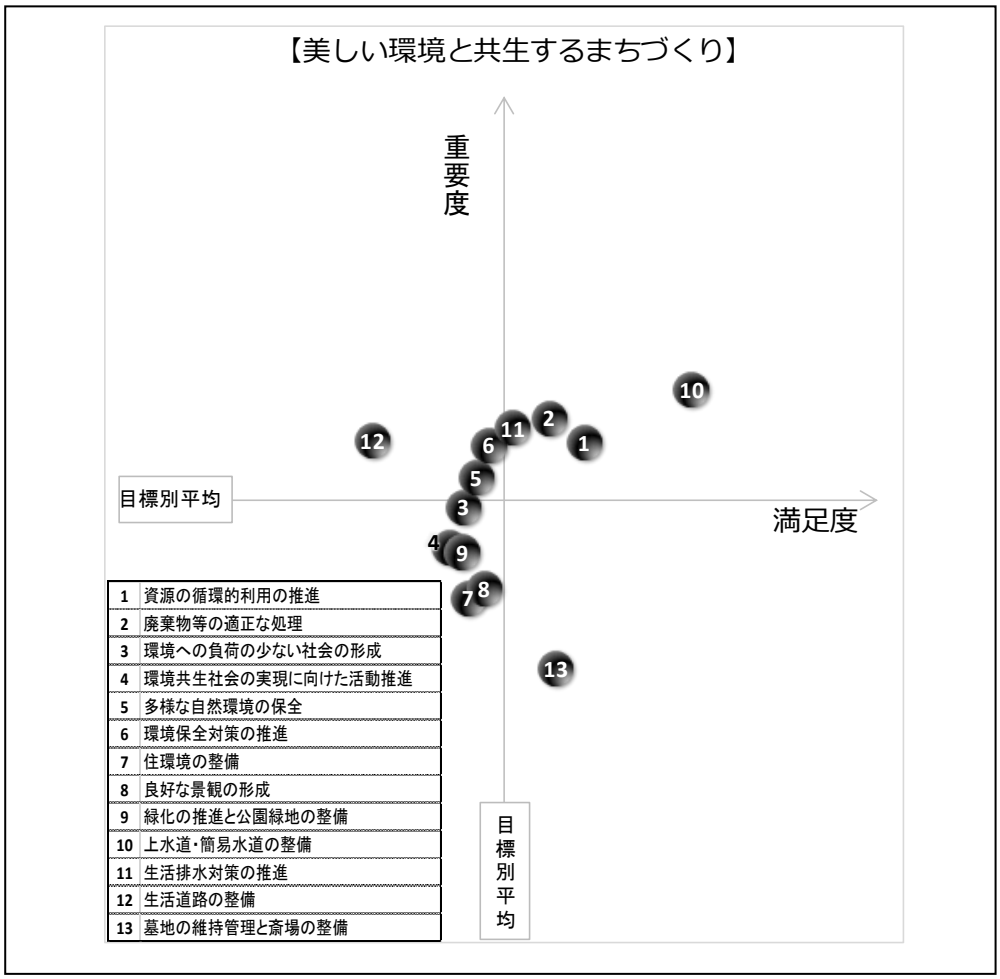


③満足度と重要度との関係

まちづくりの目標「美しい環境と共生するまちづくり」に関連する施策において、満足度と重要度の評価が共に高い施策は「⑩上水道・簡易水道の整備」、「①資源の循環的利用の推進」、「②廃棄物等の適正な処理」となっています。

重要度が高いものの満足度が低い施策は「⑫生活道路の整備」となっています。

図表Ⅱ-3-3 美しい環境と共生するまちづくりの満足度と重要度（全体）



【重要度と満足度の計算方法】

重要度	満足度	得点
重要である	満足である	＋10
やや重要である	やや満足である	＋５
どちらともいえない	どちらともいえない	±０
あまり重要でない	やや不満である	－５
重要でない	不満である	－10
無回答	無回答	±０

$$重要度＝\frac{「重要」\times 10＋「やや重要」\times 5＋「あまり重要でない」\times(-5)＋「重要でない」\times(-10)}{「無回答」を除いた回答数}$$

※満足度についても同様の計算式

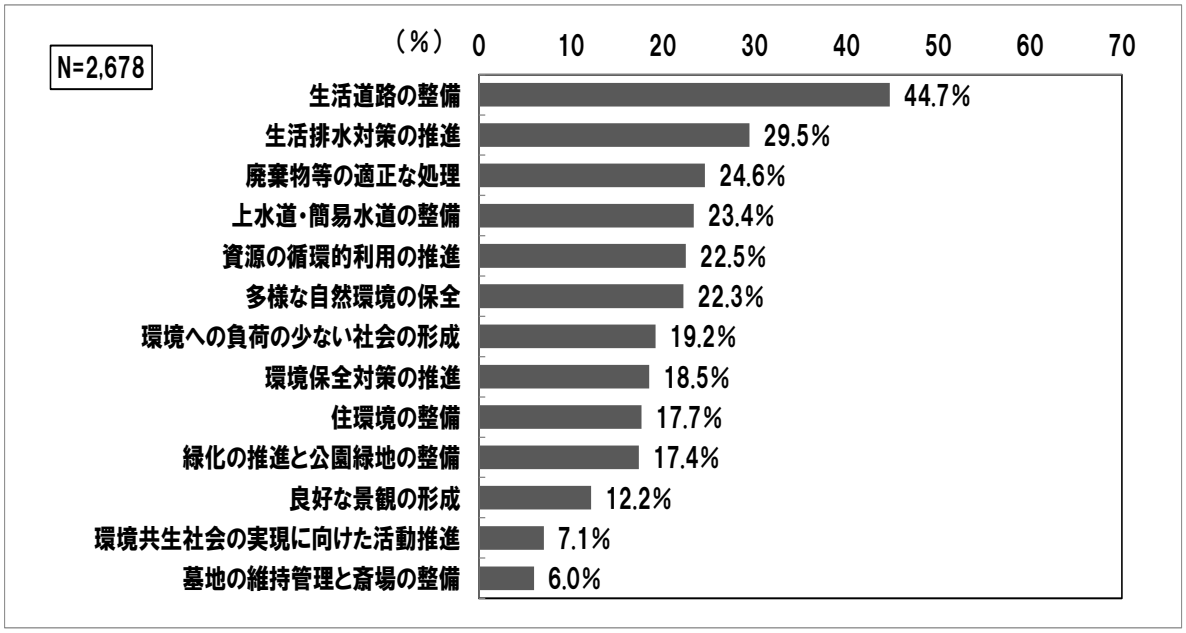
※優先すべき施策を検討する目安となるのが、相対的に重要度が高く満足度が低い項目になります。

④最重点項目

まちづくりの目標「美しい環境と共生するまちづくり」の中で、今後最も力をいれるべき施策として挙げられているのは「生活道路の整備」（44.7%）です。次いで「生活排水対策の推進」（29.5%）、「廃棄物等の適正な処理」（24.6%）、「上水道・簡易水道の整備」（23.4%）などが続いています。

「生活道路の整備」は 57 項目中で最も不満度（不満＋やや不満）の割合が高く、また重要度評価（重要＋やや重要）においても上位に挙がっています。

図表Ⅱ-3-4 美しい環境と共生するまちづくりの最重点項目（全体）



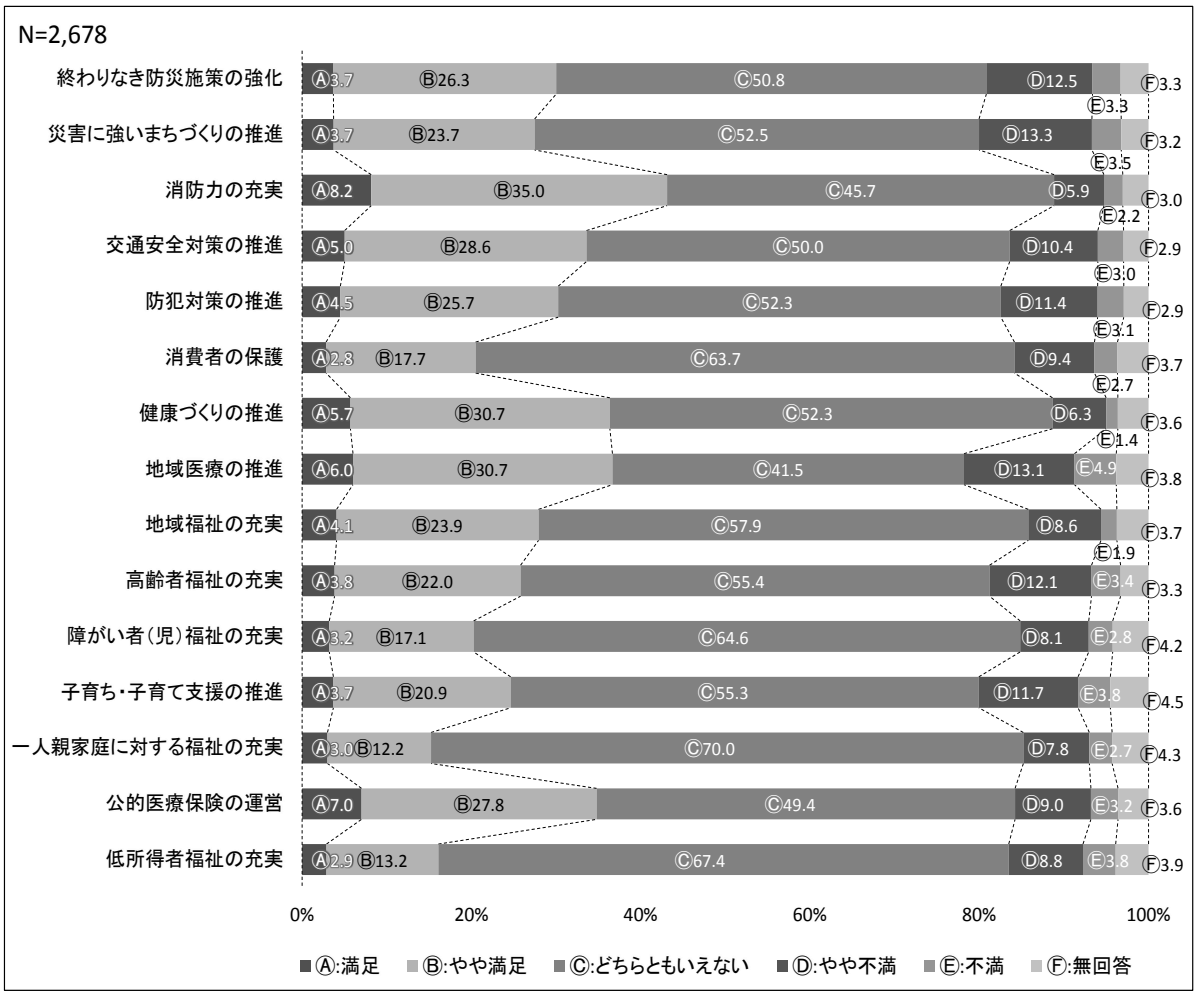
（２）安全で安心して暮らせるまちづくり

①満足度

まちづくりの目標「安全で安心して暮らせるまちづくり」に関連する施策において、「満足」と「やや満足」の合計でみた満足度が最も高い施策は「消防力の充実」（43.2%）で、次いで「地域医療の推進」（36.7%）や「健康づくりの推進」（36.4%）、「公的医療保険の運営」（34.8%）と、医療と健康に関する施策での満足度が比較的高くなっています。

満足度が２番目に高い「地域医療の推進」は３人に１人以上が「満足」または「やや満足」と回答していますが、一方で不満度（不満＋やや不満、18%）でも最上位に挙がっています。その他、「災害に強いまちづくりの推進」（16.8%）や「終わりなき防災施策の強化」（15.8%）などの不満度もやや高くなっています。

図表Ⅱ-3-5 安全で安心して暮らせるまちづくりの満足度（全体）

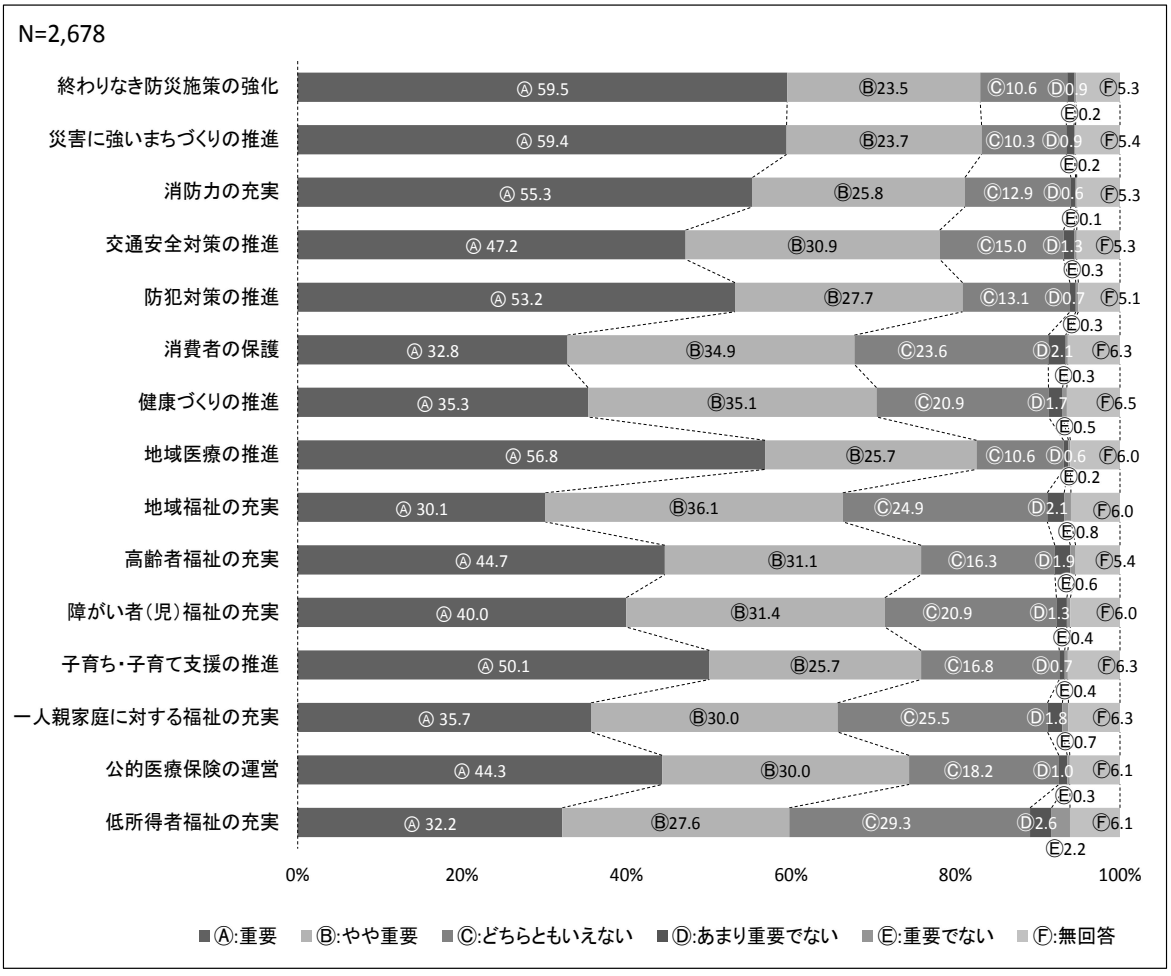


②重要度

まちづくりの目標「安全で安心して暮らせるまちづくり」に関連する施策では、「重要」と回答した人の割合が「終わりなき防災施策の強化」（59.5%）、「災害に強いまちづくりの推進」（59.4%）、「地域医療の推進」（56.8%）の順で高くなっています。

「重要」と「やや重要」を合わせた比較では、前述の３項目が８割以上を占めて最上位に入っているほか、「消防力の充実」（81.1%）や「防犯対策の推進」（80.9%）、「交通安全対策の推進」（78.1%）、「高齢者福祉の充実」（75.8%）、「子育ち・子育て支援の推進」（75.8%）、「公的医療保険の運営」（74.3%）、「障がい者（児）福祉の充実」（71.4%）、「健康づくりの推進」（70.4%）も重要度が７割を超えています。

図表Ⅱ-3-6 安全で安心して暮らせるまちづくりの重要度（全体）

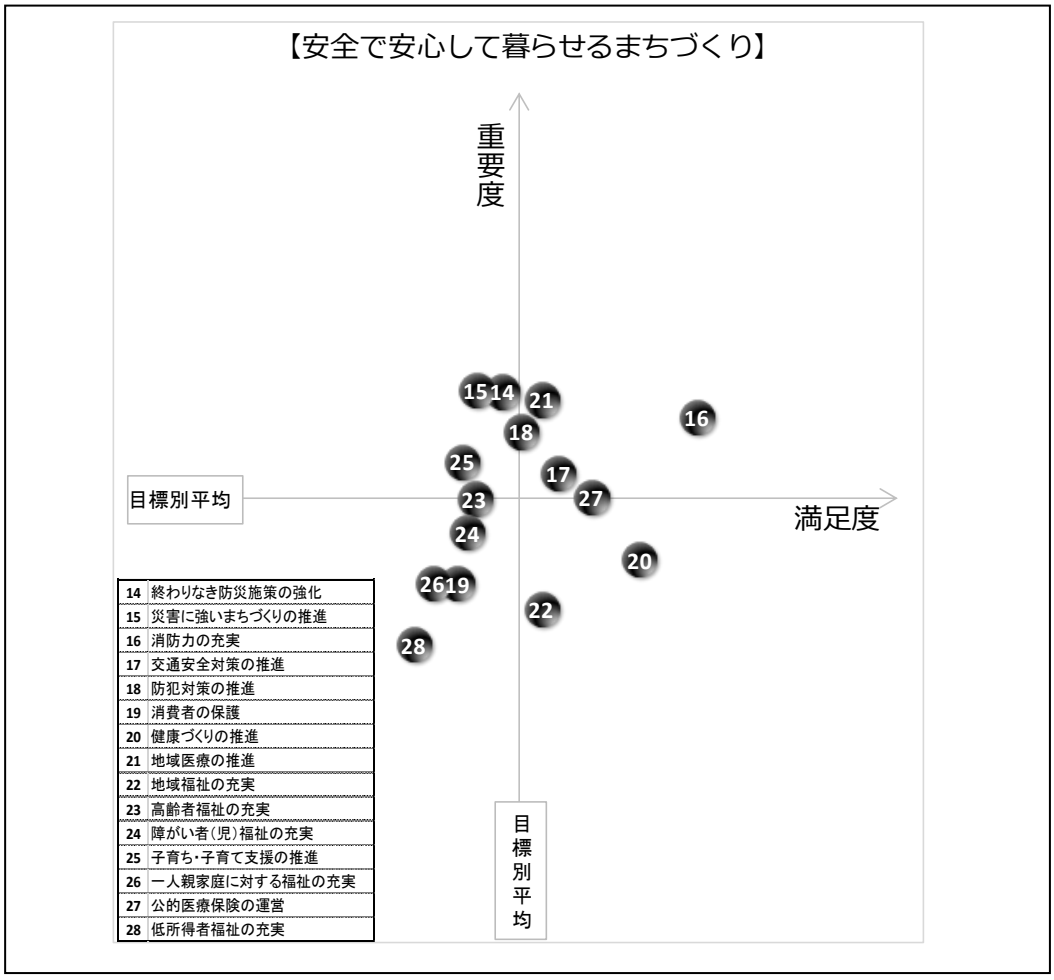


③満足度と重要度との関係

まちづくりの目標「安全で安心して暮らせるまちづくり」に関連する施策のうち、満足度と重要度の評価が共に高い施策は「⑯消防力の充実」「㉑地域医療の推進」などです。

一方、重要度が高いものの満足度が低い施策は「⑮災害に強いまちづくりの推進」「⑭終わりなき防災施策の強化」「㉕子育ち・子育て支援の推進」となっています。

図表Ⅱ-3-7　安全で安心して暮らせるまちづくりの満足度と重要度（全体）

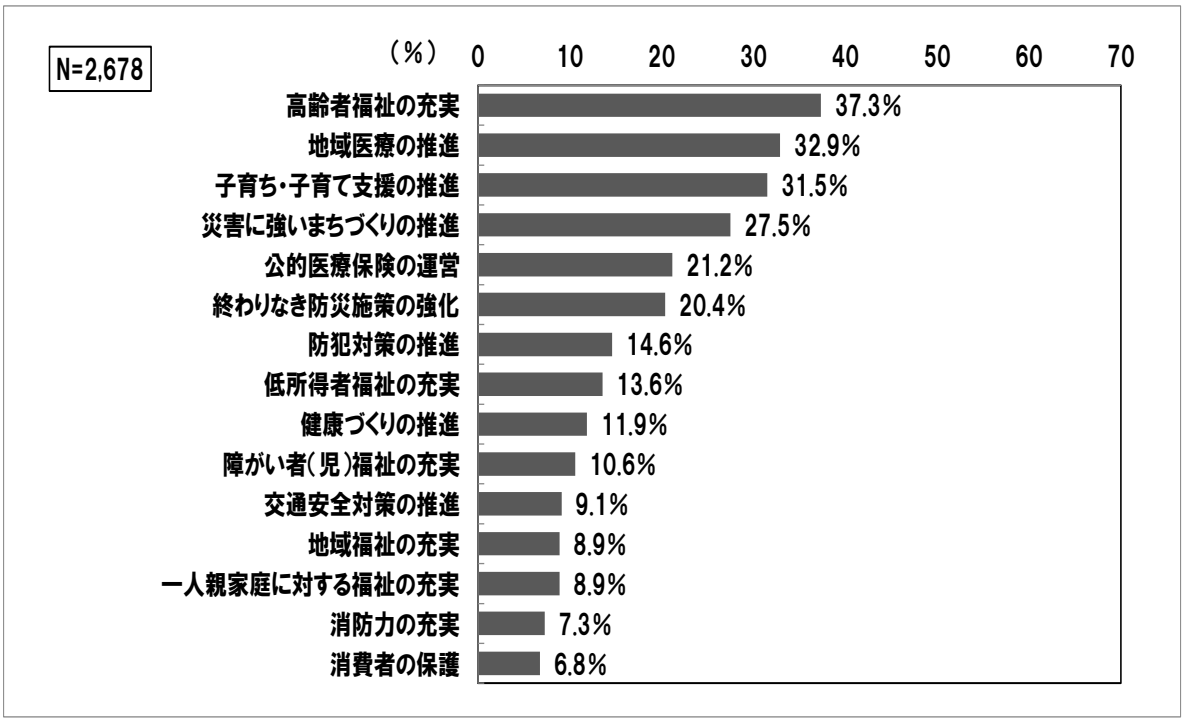


④最重点項目

まちづくりの目標「安全で安心して暮らせるまちづくり」の中で、今後最も力をいれるべき施策として挙げられているのは「高齢者福祉の充実」（37.3%）です。次いで「地域医療の推進」（32.9%）、「子育ち・子育て支援の推進」（31.5%）、「災害に強いまちづくりの推進」（27.5%）などが続いています。

重要度評価では災害対策関連の項目の方が上位に入っているにも関わらず、今後の重点項目としては、高齢者や子ども、医療の方が上位に挙げられています。

図表Ⅱ-3-8 安全で安心して暮らせるまちづくりの最重点項目（全体）



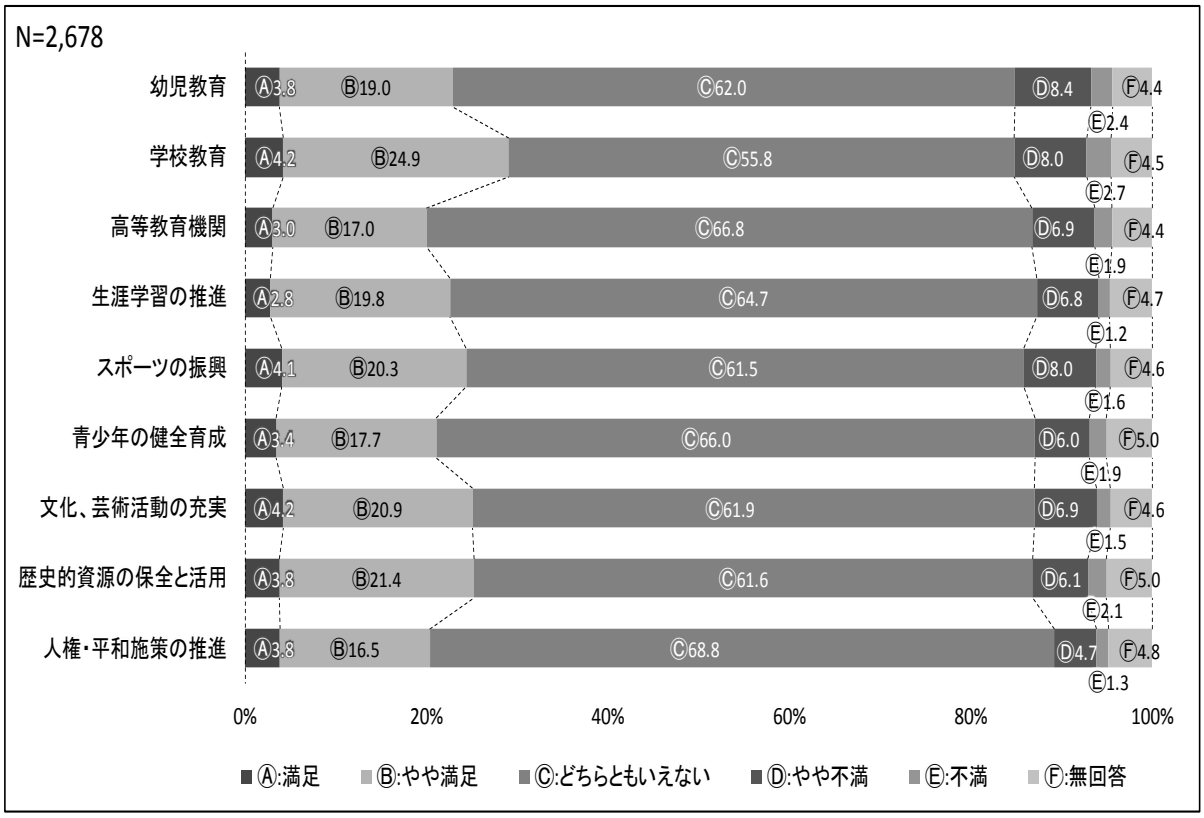
（３）豊かな文化と心を育むまちづくり

①満足度

まちづくりの目標「豊かな文化と心を育むまちづくり」に関連する施策において、「満足」と「やや満足」の合計でみた満足度が最も高い施策は「学校教育」（29.1%）で、次いで「歴史的資源の保全と活用」（25.2%）や「文化、芸術活動の充実」（25.1%）、「スポーツの振興」（24.4%）となっています。

一方、「不満」または「やや不満」という回答はいずれも少数にとどまっており、不満度（不満＋やや不満）では１割未満の項目が多くなっています。

図表Ⅱ-3-9 豊かな文化と心を育むまちづくりの満足度（全体）

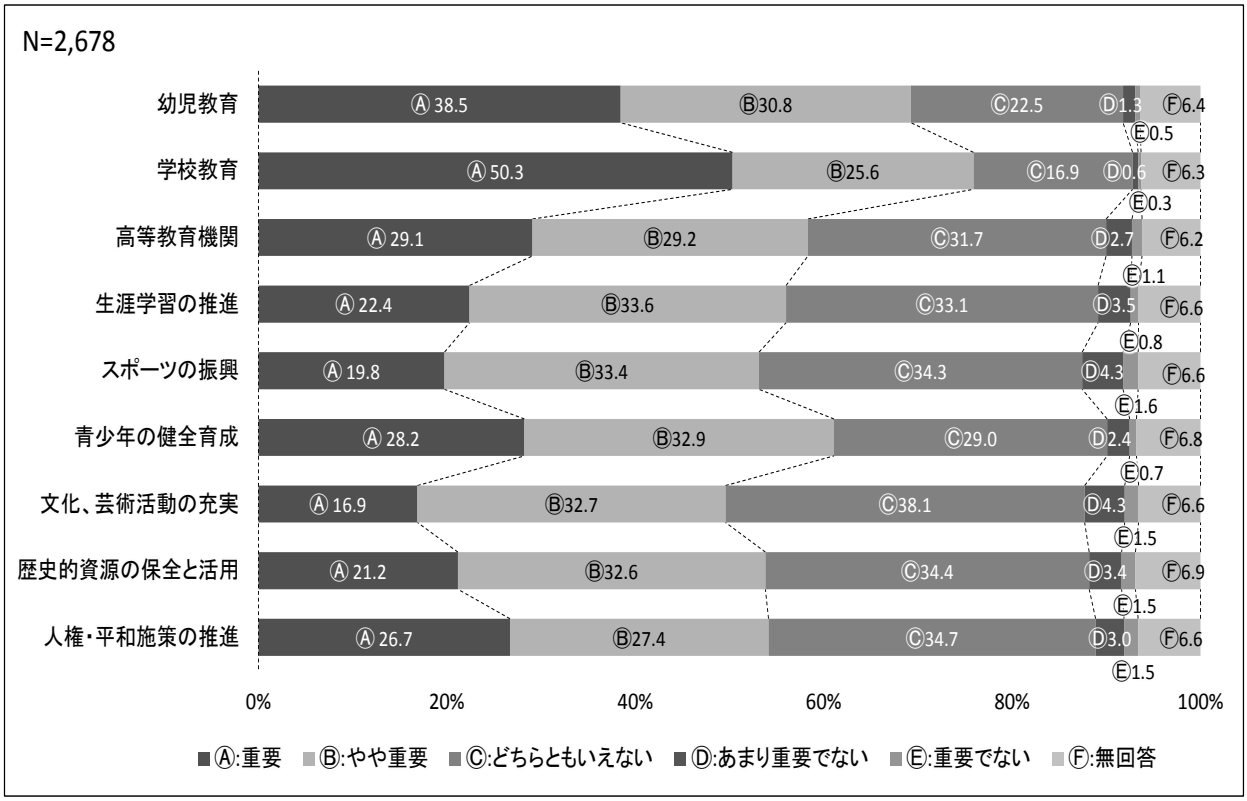


②重要度

まちづくりの目標「豊かな文化と心を育むまちづくり」に関連する施策では、「重要」と回答した人の割合が「学校教育」（50.3%）、「幼児教育」（38.5%）、「高等教育機関」（29.1%）の順となっています。

「重要」と「やや重要」を合わせた重要度では、「学校教育」（75.9%）、「幼児教育」（69.3%）、「青少年の健全育成」（61.1%）、「高等教育機関」（58.3%）、「生涯学習の推進」（56.0%）、「人権・平和施策の推進」（54.1%）、「歴史的資源の保全と活用」（53.8%）、「スポーツの振興」（53.2%）、「文化、芸術活動の充実」（49.6%）の順に高くなっています。

図表Ⅱ-3-10　豊かな文化と心を育むまちづくりの重要度（全体）

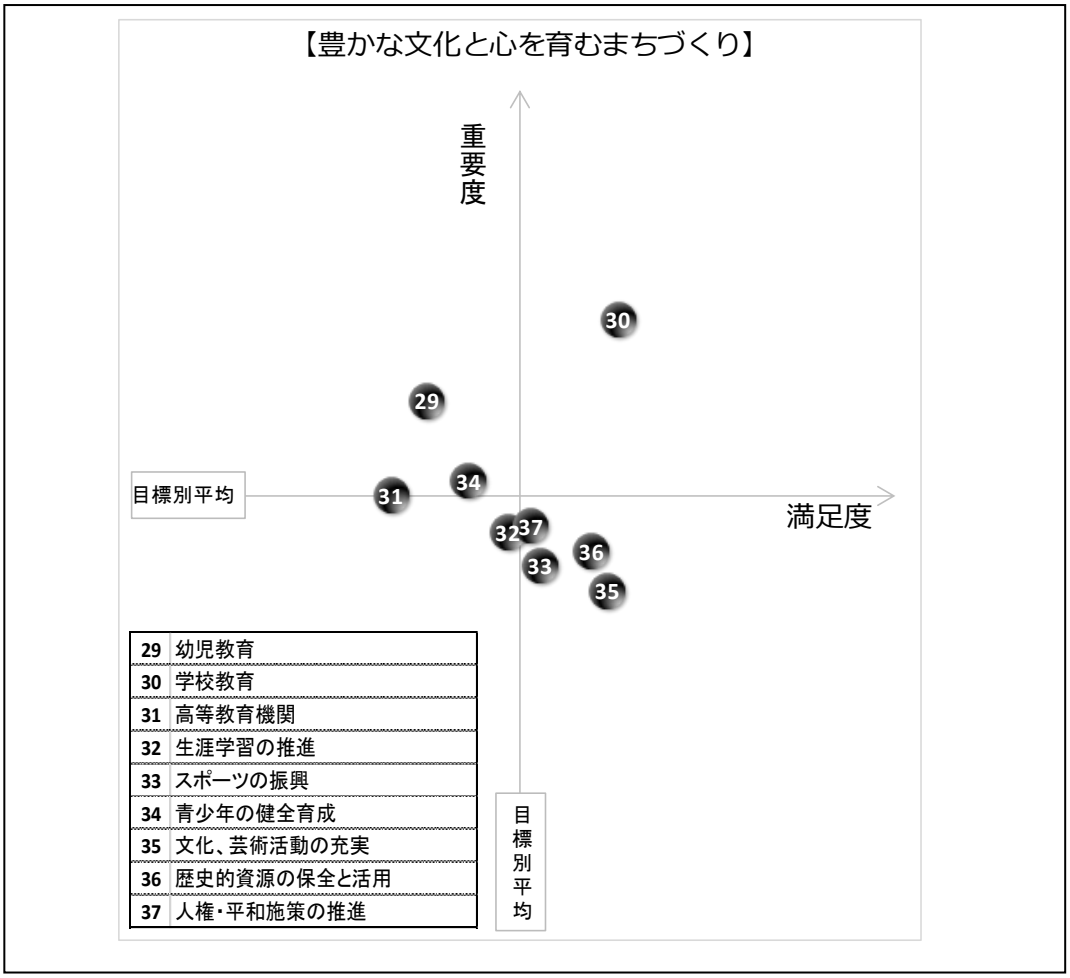


③満足度と重要度との関係

まちづくりの目標「豊かな文化と心を育むまちづくり」に関連する施策のうち、満足度と重要度の評価が共に高い施策は「㉚学校教育」です。

一方、重要度が高いものの満足度が低い施策は「㉙幼児教育」となっています。

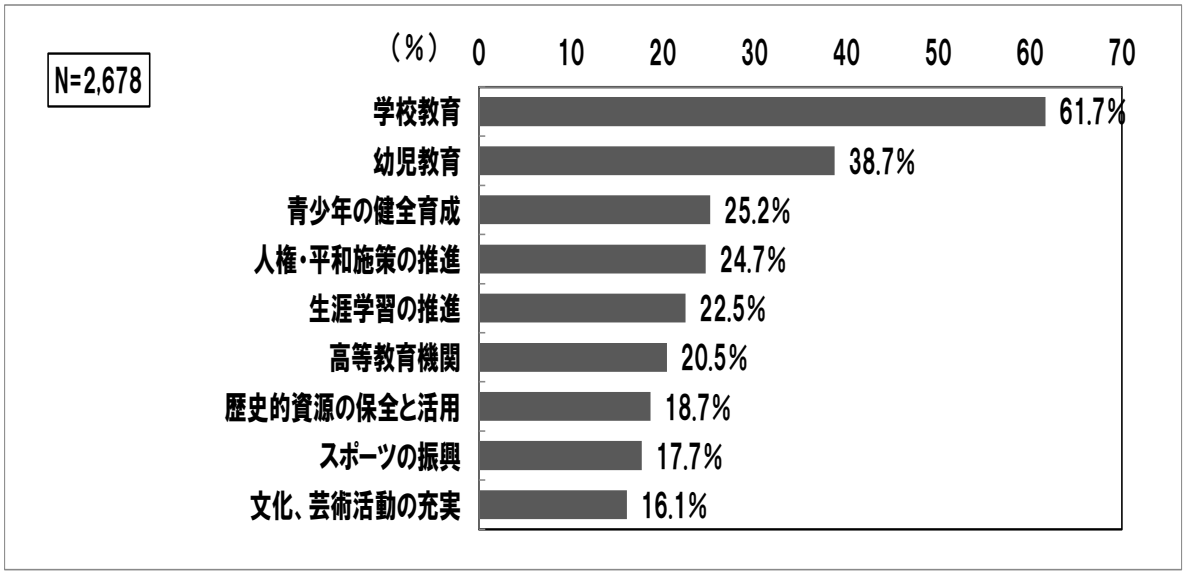
図表Ⅱ-3-11 豊かな文化と心を育むまちづくりの満足度と重要度（全体）



④最重点項目

まちづくりの目標「豊かな文化と心を育むまちづくり」の中で、今後最も力をいれるべき施策としては、「学校教育」（61.7%）が圧倒的に多く挙げられています。次いで「幼児教育」（38.7%）、「青少年の健全育成」（25.2%）、「人権・平和施策の推進」（24.7%）が続いています。

図表Ⅱ-3-12　豊かな文化と心を育むまちづくりの最重点項目（全体）



（４）活力のあるまちづくり

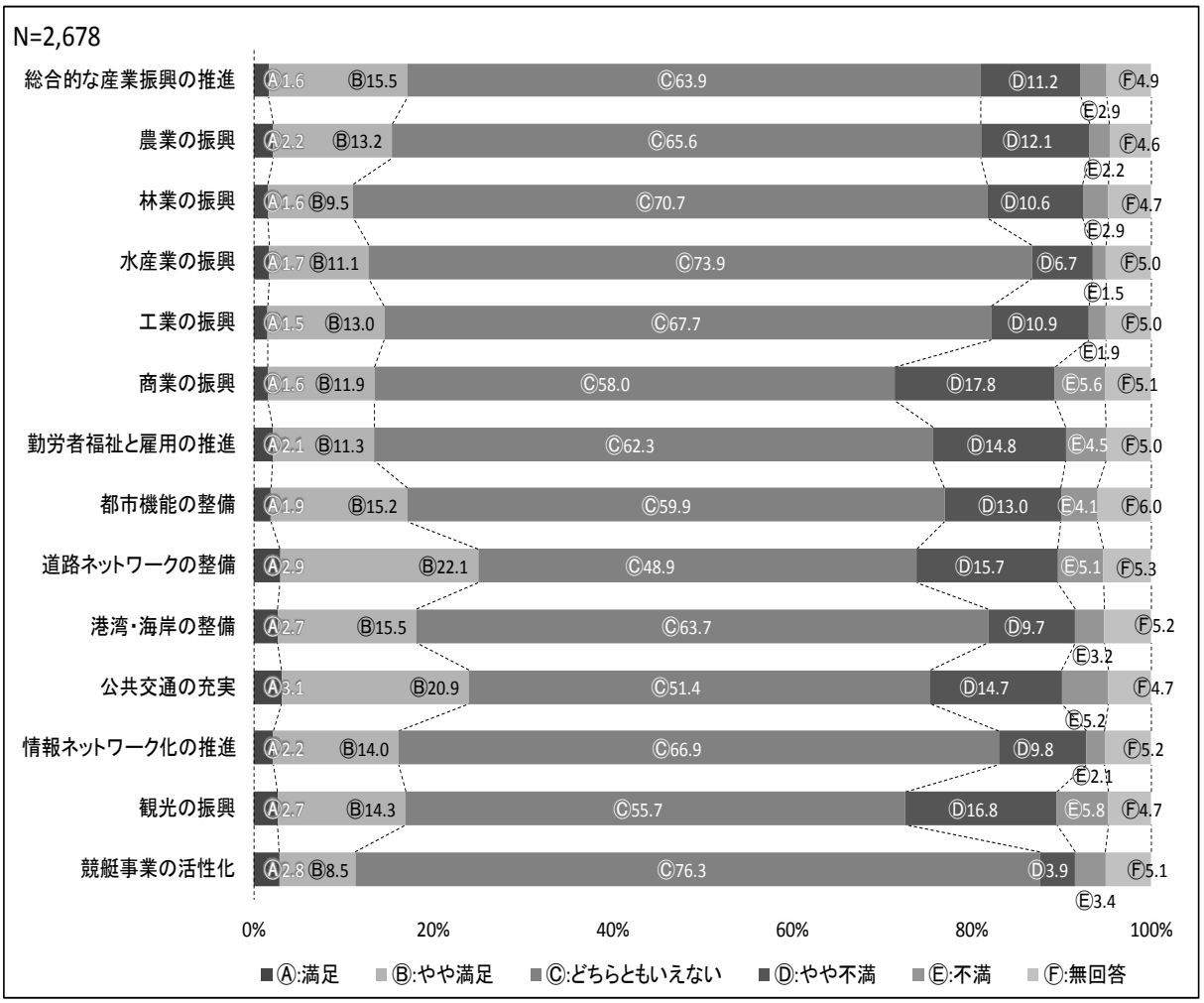
①満足度

まちづくりの目標「活力のあるまちづくり」に関連する施策における満足度（満足＋やや満足）では、「道路ネットワークの整備」（25.0%）や「公共交通の充実」（24.0%）など、交通に関する施策の評価が比較的高いものの、全体としては満足度が２割未満にとどまっている項目が多く、満足度よりも不満度（不満＋やや不満）の方が上回っているものもあります。

満足度で最上位に入っている「道路ネットワークの整備」と「公共交通の充実」は、不満度の方でも上位に入っています。

満足度よりも不満度の方が上回っている項目は、不満度の高い順に「商業の振興」（満足度 13.5%、不満度 23.4%）、「観光の振興」（満足度 17.0%、不満度 22.6%）、「勤労者福祉と雇用の推進」（満足度 13.4%、不満度 19.3%）、「林業の振興」（満足度 11.1%、不満度 13.5%）となっています。

図表Ⅱ-3-13　活力のあるまちづくりの満足度（全体）



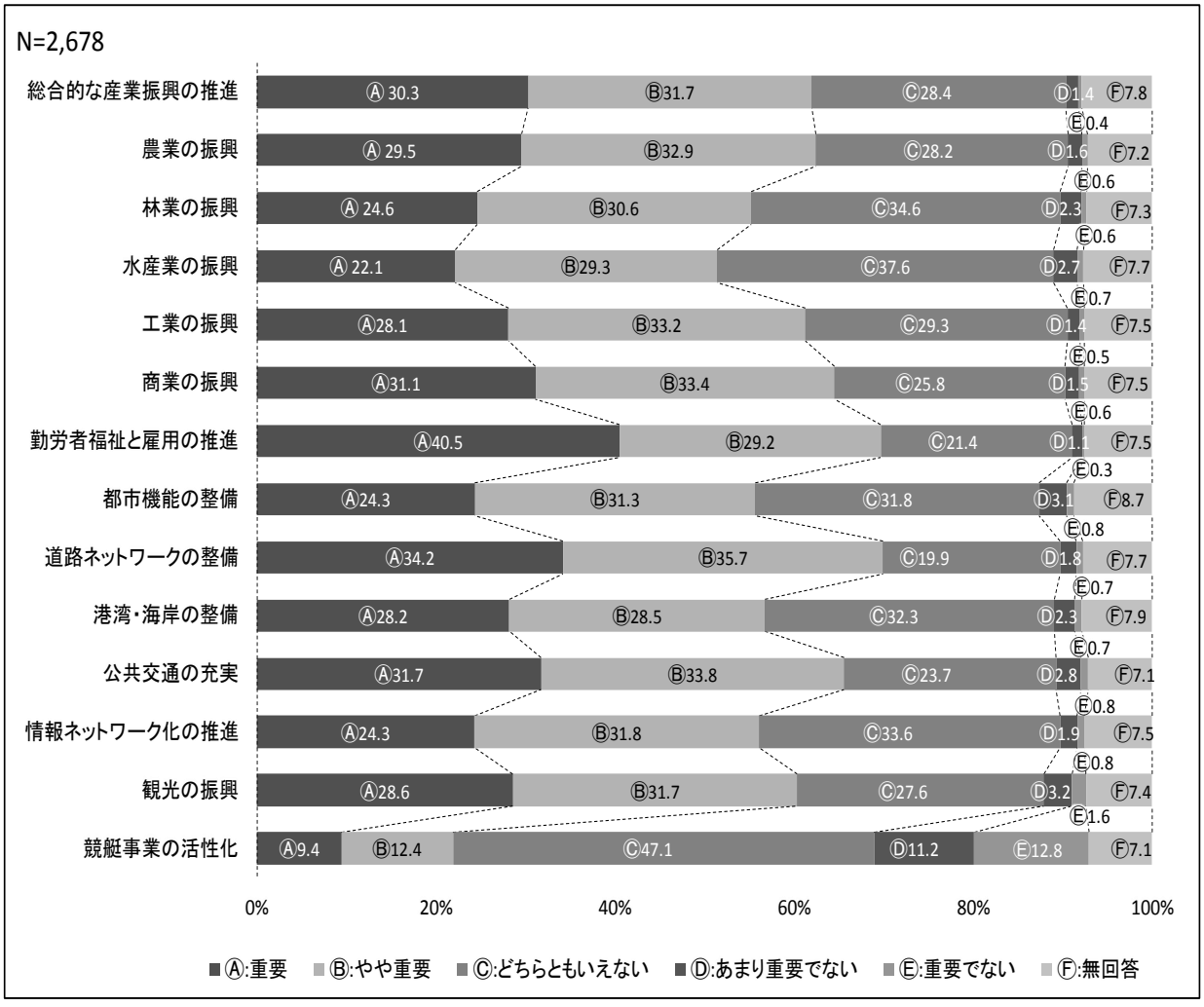
②重要度

まちづくりの目標「活力のあるまちづくり」に関連する施策では、「重要」と回答した人の割合が「勤労者福祉と雇用の推進」（40.5%）、「道路ネットワークの整備」（34.2%）、「公共交通の充実」（31.7%）の順に高くなっています。

「重要」と「やや重要」を合わせた比較では、前述の３項目がいずれも６割強を占めて最上位に入っているほか、「商業の振興」（64.5%）や「農業の振興」（62.4%）、「総合的な産業振興の推進」（62.0%）、「工業の振興」（61.3%）、「観光の振興」（60.3%）などでも重要度が６割を超えています。

一方、「競艇事業の活性化」については、「重要」と「やや重要」の合計（21.8%）が「重要でない」と「あまり重要でない」の合計（24.0%）を下回っており、57 項目中で最も低い重要度となっています。

図表Ⅱ-3-14 活力のあるまちづくりの重要度（全体）

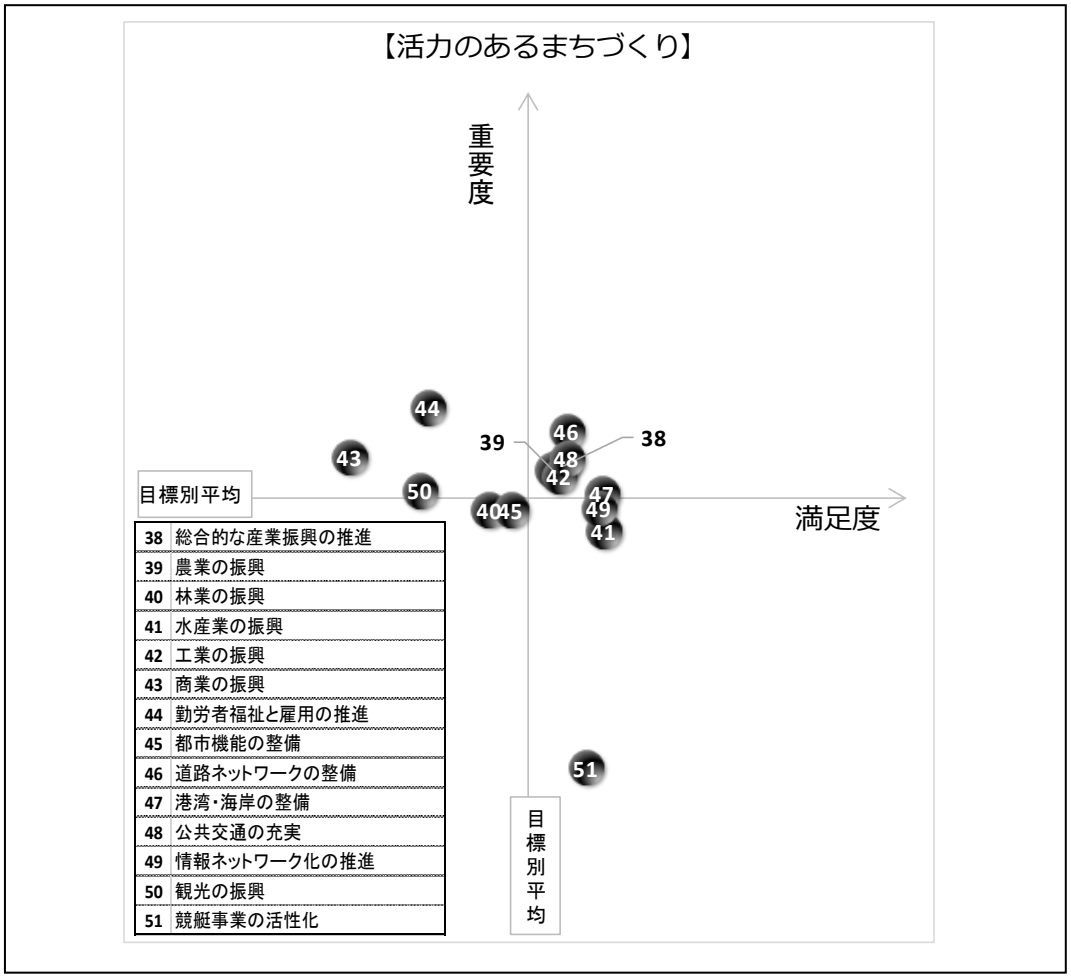


③満足度と重要度との関係

まちづくりの目標「活力のあるまちづくり」に関連する施策のうち、満足度と重要度の評価が共に高い施策は「㊻道路ネットワークの整備」「㊽公共交通の充実」などです。

一方、重要度が高いものの満足度が低い施策は「㊹勤労者福祉と雇用の推進」「㊸商業の振興」となっています。

図表Ⅱ-3-15　活力のあるまちづくりの満足度と重要度（全体）

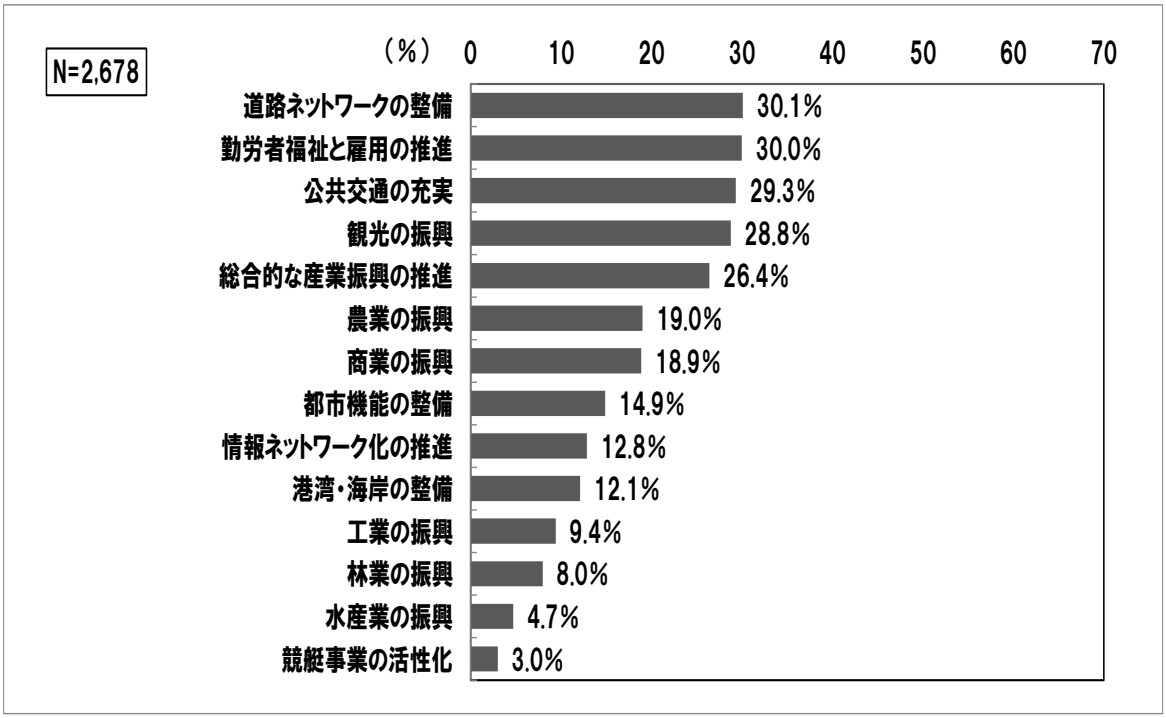


④最重点項目

まちづくりの目標「活力のあるまちづくり」の中で、今後最も力をいれるべき項目として挙げられている施策は「道路ネットワークの整備」（30.1%）です。次いで「勤労者福祉と雇用の推進」（30.0%）、「公共交通の充実」（29.3%）、「観光の振興」（28.8%）、「総合的な産業振興の推進」（26.4%）が続いています。

また、「勤労者福祉と雇用の推進」は、重要度評価では「重要」と回答した人の割合が最も多く、満足度評価では満足度（満足＋やや満足）よりも不満度（不満＋やや不満）の方が上回っています。

図表Ⅱ-3-16 活力のあるまちづくりの最重点項目（全体）



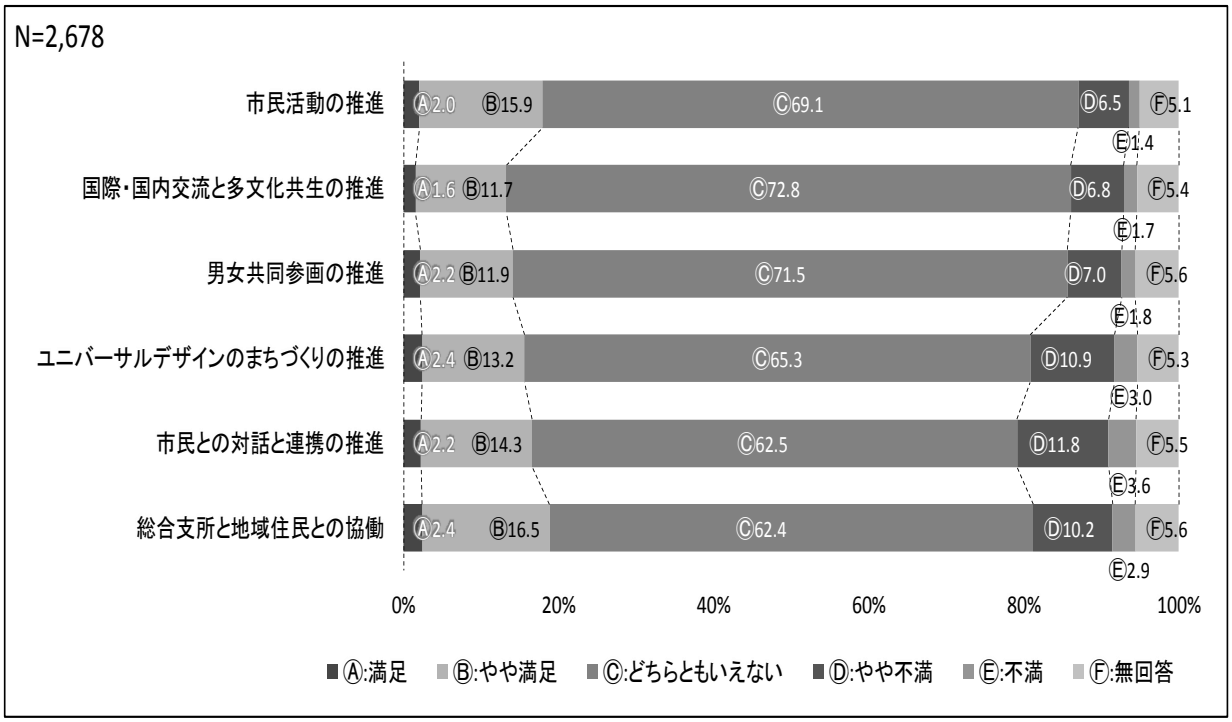
（５）参加と協働のまちづくり

①満足度

まちづくりの目標「参加と協働のまちづくり」に関連する施策において、「満足」と「やや満足」の合計でみた満足度が最も高い施策は「総合支所と地域住民との協働」（18.9%）で、次いで「市民活動の推進」（17.9%）、「市民との対話と連携の推進」（16.5%）、「ユニバーサルデザインのまちづくりの推進」（15.6%）となっています。

一方、不満度（不満＋やや不満）では、「市民との対話と連携の推進」（15.4%）や「ユニバーサルデザインのまちづくりの推進」（13.9%）、「総合支所と地域住民との協働」（13.1%）が上位にあります。

図表Ⅱ-3-17 参加と協働のまちづくりの満足度（全体）

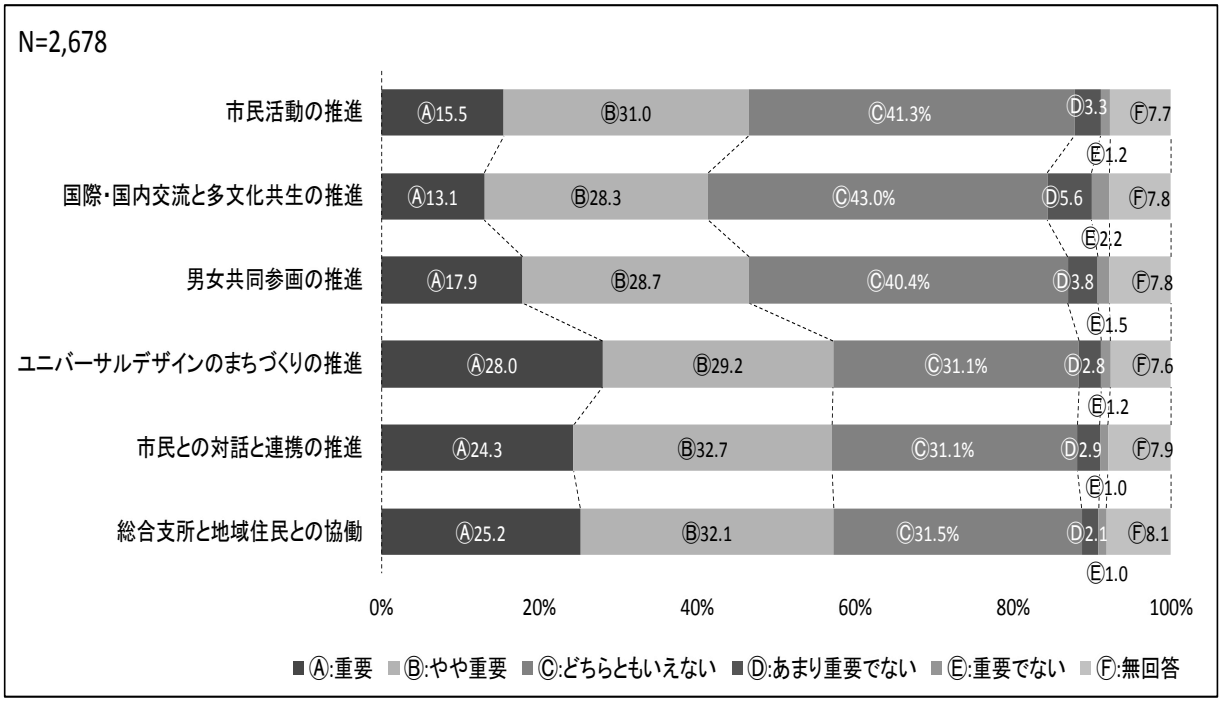


②重要度

まちづくりの目標「参加と協働のまちづくり」に関連する施策では、「重要」と回答した人の割合が「ユニバーサルデザインのまちづくりの推進」（28.0%）、「総合支所と地域住民との協働」（25.2%）、「市民との対話と連携の推進」（24.3%）で比較的高くなっています。

「重要」と「やや重要」を合わせた比較では、前述の３項目がいずれも 57%台で並んでいるのに続き、「男女共同参画の推進」（46.6%）、「市民活動の推進」（46.5%）、「国際・国内交流と多文化共生の推進」（41.4%）の順で重要度が高くなっています。

図表Ⅱ-3-18　参加と協働のまちづくりの重要度（全体）

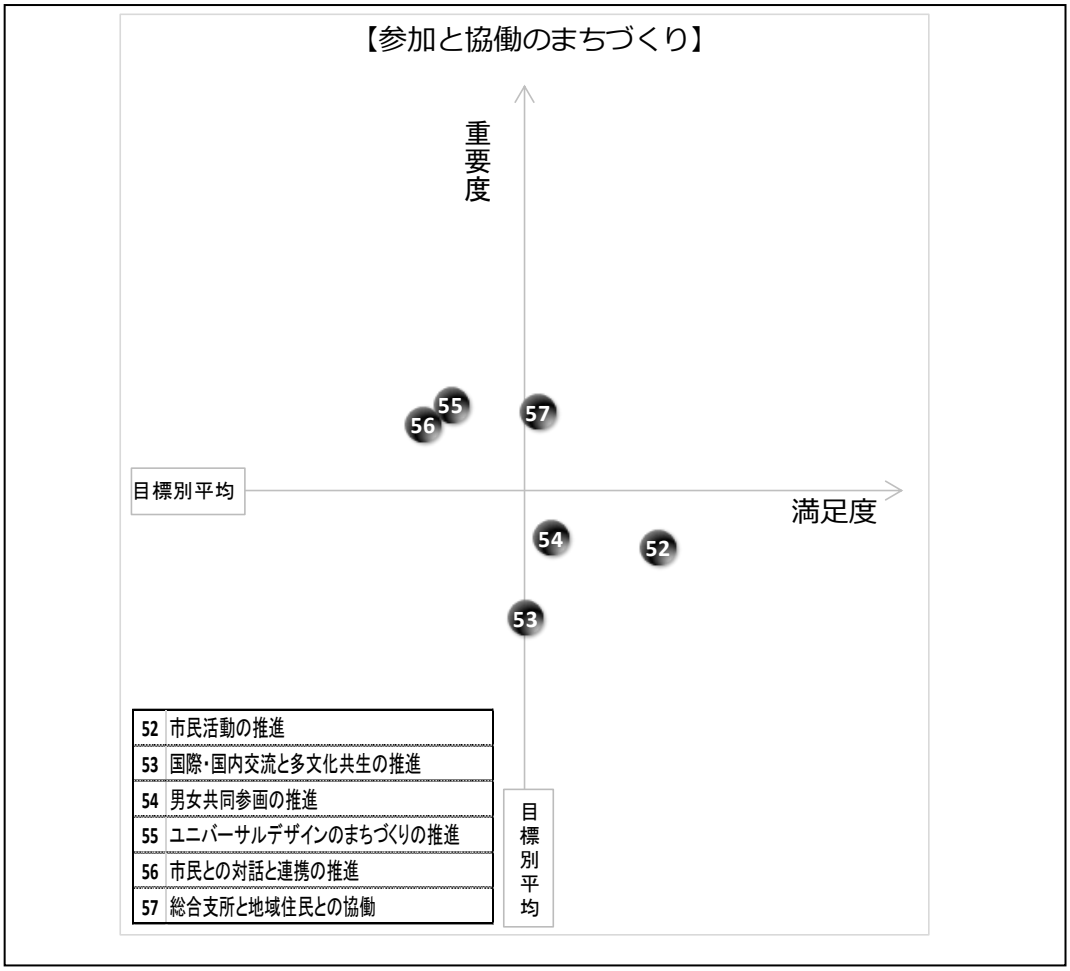


③満足度と重要度との関係

まちづくりの目標「参加と協働のまちづくり」に関連する施策のうち、満足度と重要度の評価が共に高い施策は「㊼総合支所と地域住民との協働」です。

一方、重要度が高いものの満足度が低い施策は「㊺ユニバーサルデザインのまちづくりの推進」「㊻市民との対話と連携の推進」となっています。

図表Ⅱ-3-19 参加と協働のまちづくりの満足度と重要度（全体）

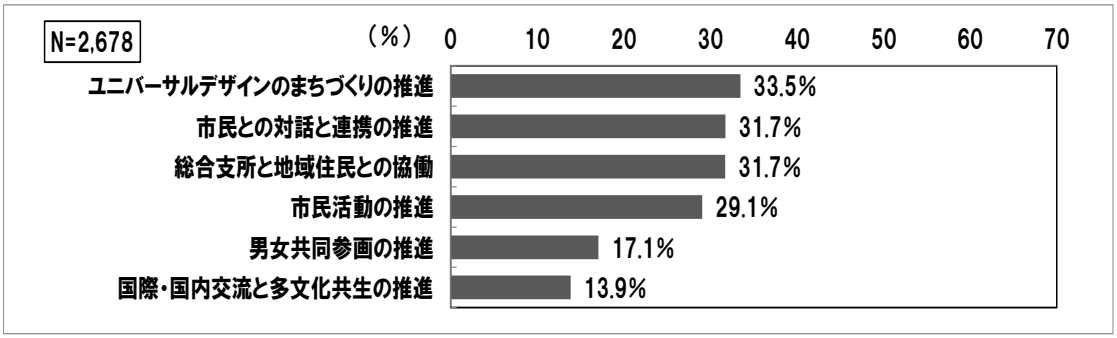


④最重点項目

まちづくりの目標「参加と協働のまちづくり」の中で、今後最も力をいれるべき施策として挙げられているのは「ユニバーサルデザインのまちづくりの推進」(33.5%)です。次いで「市民との対話と連携の推進」(31.7%)、「総合支所と地域住民との協働」(31.7%)、「市民活動の推進」(29.1%)が続いています。

重要度評価で上位にありながら満足度ではやや低い評価となっている「ユニバーサルデザインのまちづくりの推進」と「市民との対話と連携の推進」が、重点項目の上位に入っています。

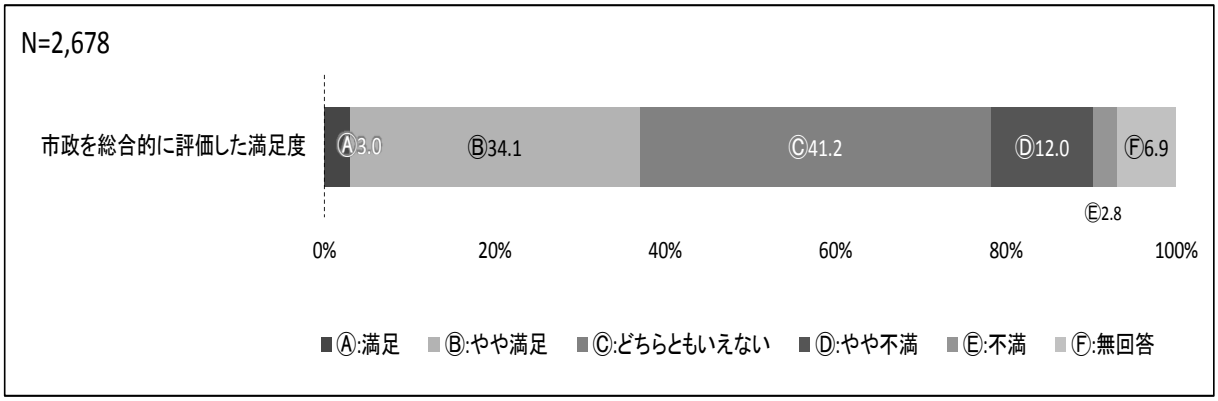
図表Ⅱ-3-20 参加と協働のまちづくりの最重点項目(全体)



（６）市政全般の満足度

市政全般に関する総合的な満足度(「満足」＋「やや満足」)は 37.1%で、不満度(「不満」＋「やや不満」)の 14.8%を大きく上回っています。

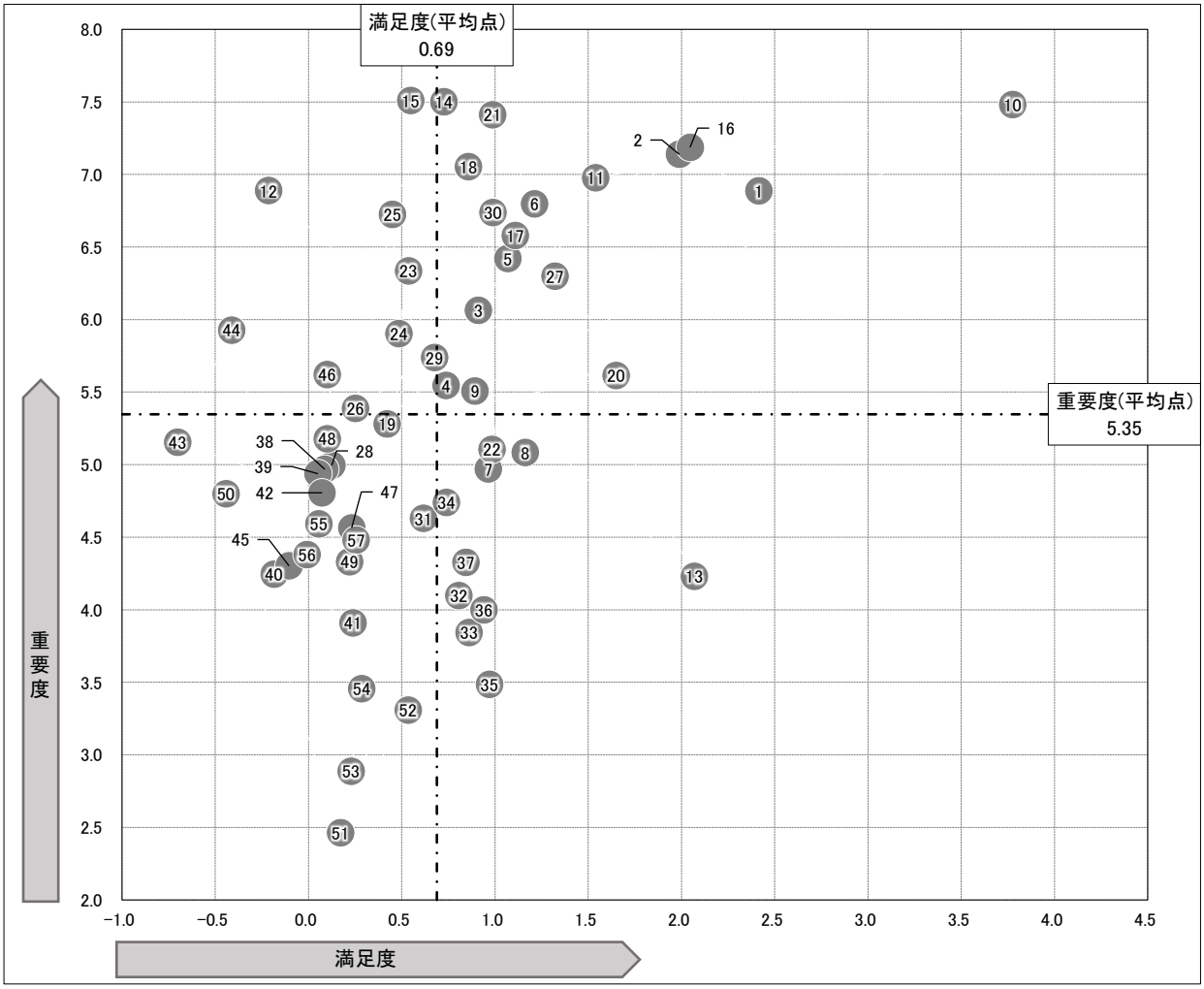
図表Ⅱ-3-21 市政全般の総合的な満足度(全体)



また、満足度・重要度の指数を散布図に整理してみると、全体として満足度、重要度が共に高い施策は、「⑩上水道・簡易水道の整備」が挙げられています。

図表Ⅱ-3-22 満足度指数と重要度指数による散布図（全体）

美しい環境と共生するまちづくり	安全で安心して暮らせるまちづくり	豊かな文化と心を育むまちづくり	活力あるまちづくり	参加と協働のまちづくり
1資源の循環的利用の推進	14終わりなき防災施策の強化	29幼児教育	38総合的な産業振興の推進	52市民活動の推進
2廃棄物等の適正な処理	15災害に強いまちづくりの推進	30学校教育	39農業の振興	53国際・国内交流と多文化共生の推進
3環境への負荷の少ない社会の形成	16消防力の充実	31高等教育機関	40林業の振興	54男女共同参画の推進
4環境共生社会の実現に向けた活動推進	17交通安全対策の推進	32生涯学習の推進	41水産業の振興	55ユニバーサルデザインのまちづくりの推進
5多様な自然環境の保全	18防犯対策の推進	33スポーツの振興	42工業の振興	56市民との対話と連携の推進
6環境保全対策の推進	19消費者の保護	34青少年の健全育成	43商業の振興	57総合支所と地域住民との協働
7住環境の整備	20健康づくりの推進	35文化、芸術活動の充実	44勤労者福祉と雇用の推進	
8良好な景観の形成	21地域医療の推進	36歴史的資源の保全と活用	45都市機能の整備	
9緑化の推進と公園緑地の整備	22地域福祉の充実	37人権・平和施策の推進	46道路ネットワークの整備	
10上水道・簡易水道の整備	23高齢者福祉の充実		47港湾・海岸の整備	
11生活排水対策の推進	24障がい者（児）福祉の充実		48公共交通の充実	
12生活道路の整備	25子育ち・子育て支援の推進		49情報ネットワーク化の推進	
13墓地の維持管理と斎場の整備	26一人親家庭に対する福祉の充実		50観光の振興	
	27公的医療保険の運営		51競艇事業の活性化	
	28低所得者福祉の充実			



（７）居住地別のまちづくりの目標に関する満足度評価

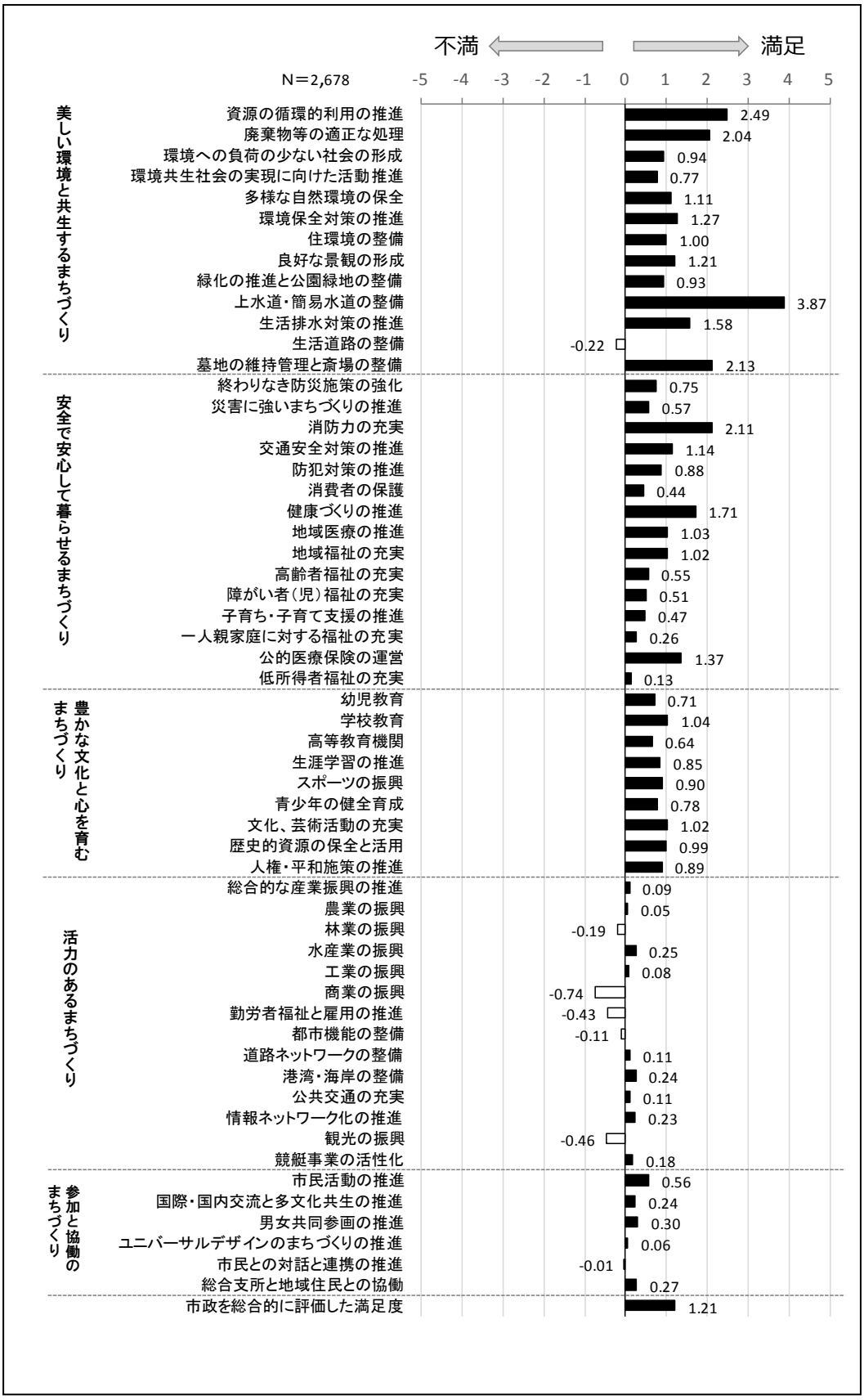
各地域における満足度評価の順位（上位３位及び下位３位）を一覧化すると次のとおりです。

			第1位	第2位	第3位
全体（N=2,678）		上位	上水道・簡易水道の整備 3.87 点	資源の循環的利用の推進 2.49 点	墓地の維持管理と斎場の整備 2.13 点
		下位	商業の振興 −0.74 点	観光の振興 −0.46 点	勤労者福祉と雇用の推進 −0.43 点
地域別	①津（N=1,499）	上位	上水道・簡易水道の整備 3.89 点	資源の循環的利用の推進 2.55 点	墓地の維持管理と斎場の整備 2.33 点
		下位	商業の振興 −0.95 点	観光の振興 −0.58 点	勤労者福祉と雇用の推進 −0.47 点
	②久居（N=391）	上位	上水道・簡易水道の整備 4.05 点	生活排水対策の推進 2.22 点	墓地の維持管理と斎場の整備 2.20 点
		下位	商業の振興 −0.68 点	生活道路の整備 −0.60 点	勤労者福祉と雇用の推進 −0.55 点
	③河芸（N=163）	上位	上水道・簡易水道の整備 3.67 点	資源の循環的利用の推進 2.17 点	健康づくりの推進 2.05 点
		下位	観光の振興 −0.13 点	林業の振興 −0.09 点	勤労者福祉と雇用の推進／港湾・海岸の整備 −0.06 点
	④芸濃（N=73）	上位	上水道・簡易水道の整備 4.58 点	生活排水対策の推進 3.87 点	資源の循環的利用の推進 2.57 点
		下位	勤労者福祉と雇用の推進 −0.83 点	農業の振興／林業の振興 −0.51 点	低所得者福祉の充実 −0.37 点
	⑤美里（N=43）	上位	上水道・簡易水道の整備 4.75 点	生活排水対策の推進 4.02 点	消防力の充実 3.54 点
		下位	林業の振興 −1.28 点	商業の振興 −0.64 点	総合的な産業振興の推進／道路ネットワークの整備／観光の振興 −0.38 点
	⑥安濃（N=101）	上位	上水道・簡易水道の整備 2.88 点	消防力の充実 2.73 点	資源の循環的利用の推進 2.24 点
		下位	林業の振興 −0.41 点	農業の振興 −0.35 点	商業の振興／観光の振興 −0.31 点

			第1位	第2位	第3位
地域別	⑦香良洲（N=47）	上位	上水道・簡易水道の整備 4.57 点	生活排水対策の推進 3.48 点	墓地の維持管理と斎場の整備 3.26 点
		下位	公共交通の充実 −1.02 点	都市機能の整備 −0.68 点	林業の振興／水産業の振興 −0.47 点
	⑧一志（N=134）	上位	上水道・簡易水道の整備 4.45 点	資源の循環的利用の推進 3.05 点	生活排水対策の推進 2.50 点
		下位	生活道路の整備 −1.06 点	林業の振興 −0.33 点	勤労者福祉と雇用の推進 −0.29 点
	⑨白山（N=104）	上位	上水道・簡易水道の整備 2.72 点	資源の循環的利用の推進 2.28 点	廃棄物等の適正な処理 2.21 点
		下位	生活道路の整備 −1.19 点	林業の振興 −0.99 点	商業の振興 −0.89 点
	⑩美杉（N=66）	上位	上水道・簡易水道の整備 3.44 点	資源の循環的利用の推進 2.87 点	廃棄物等の適正な処理 2.42 点
		下位	生活道路の整備 −3.81 点	道路ネットワークの整備 −2.25 点	林業の振興 −1.80 点

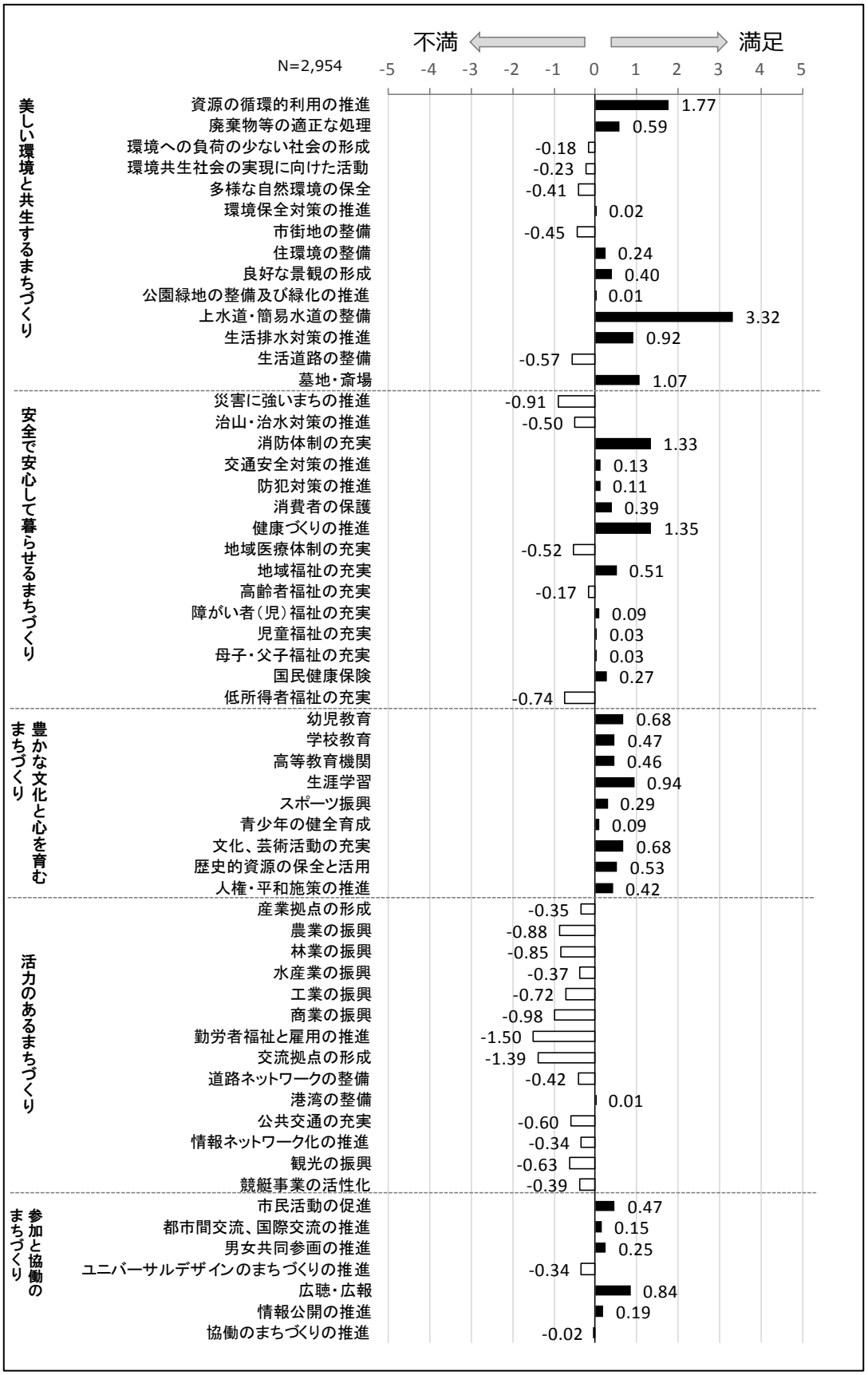
※全体には地域不詳５７名を含む。

図表Ⅱ-3-23 満足度評価(全体)

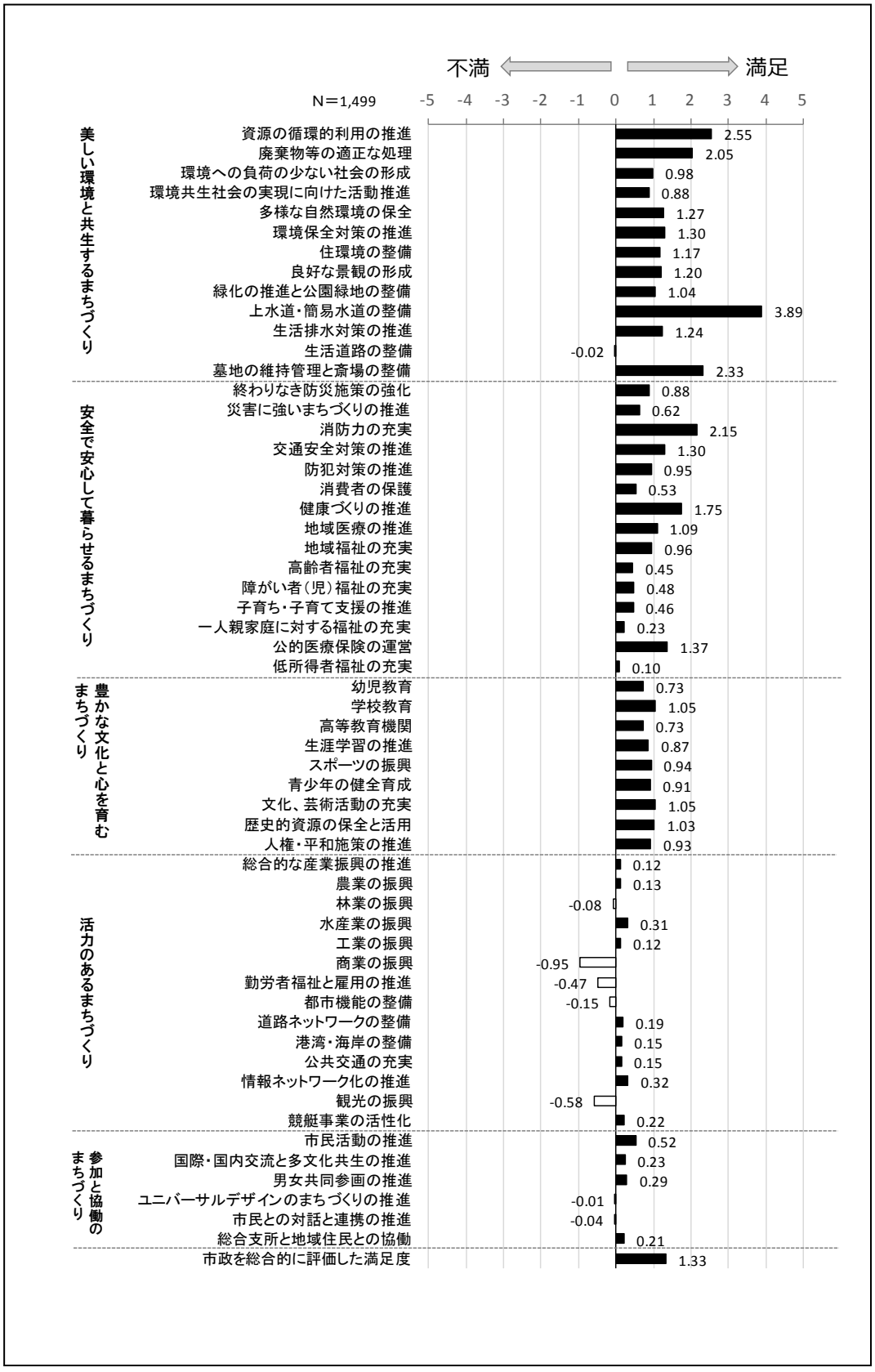


図表Ⅱ-3-24 満足度評価（全体（前回調査分 ※））

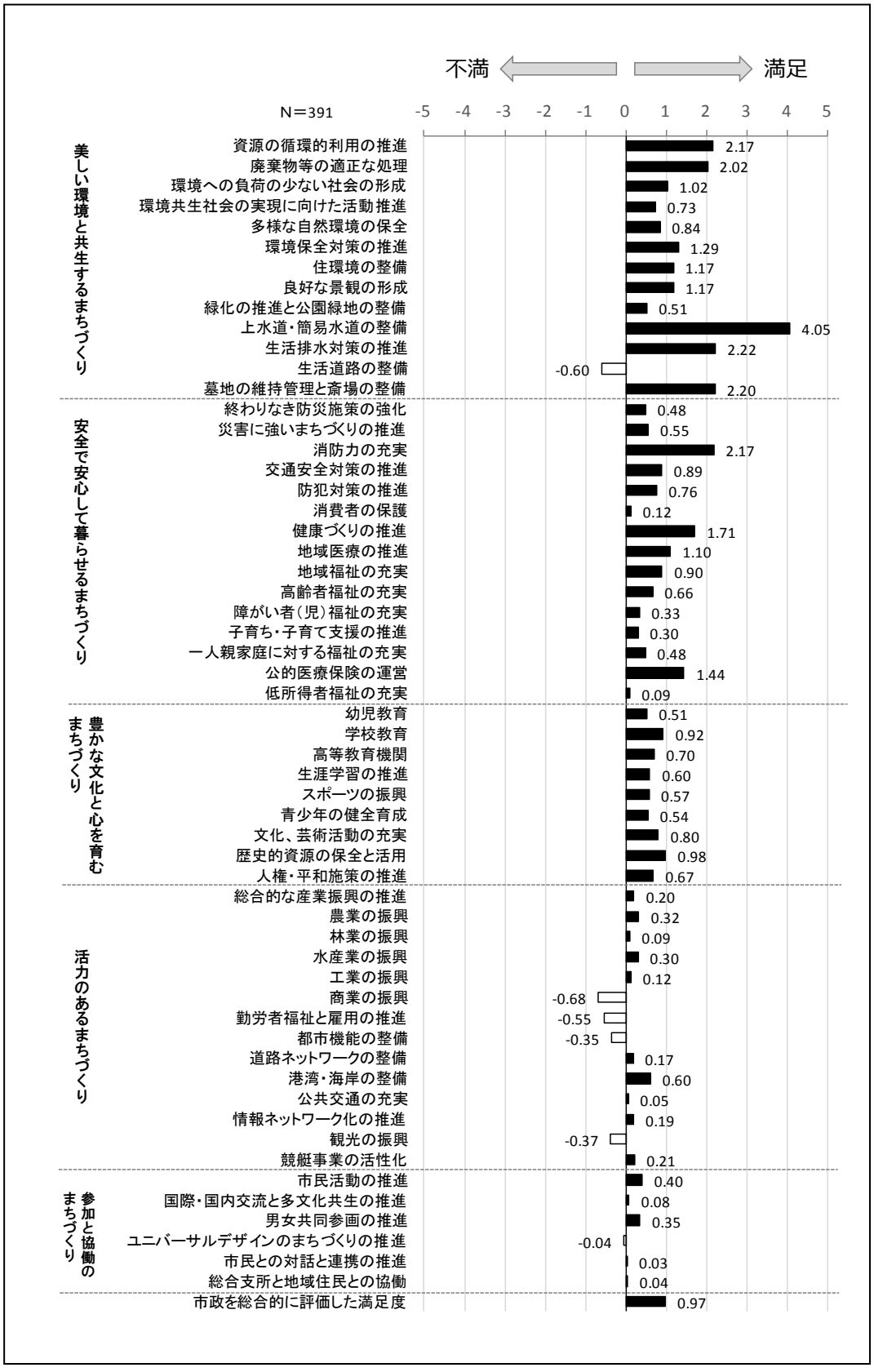
※ 項目は、前期基本計画の施策を基にしているため、今回の調査とは完全に合致していません。



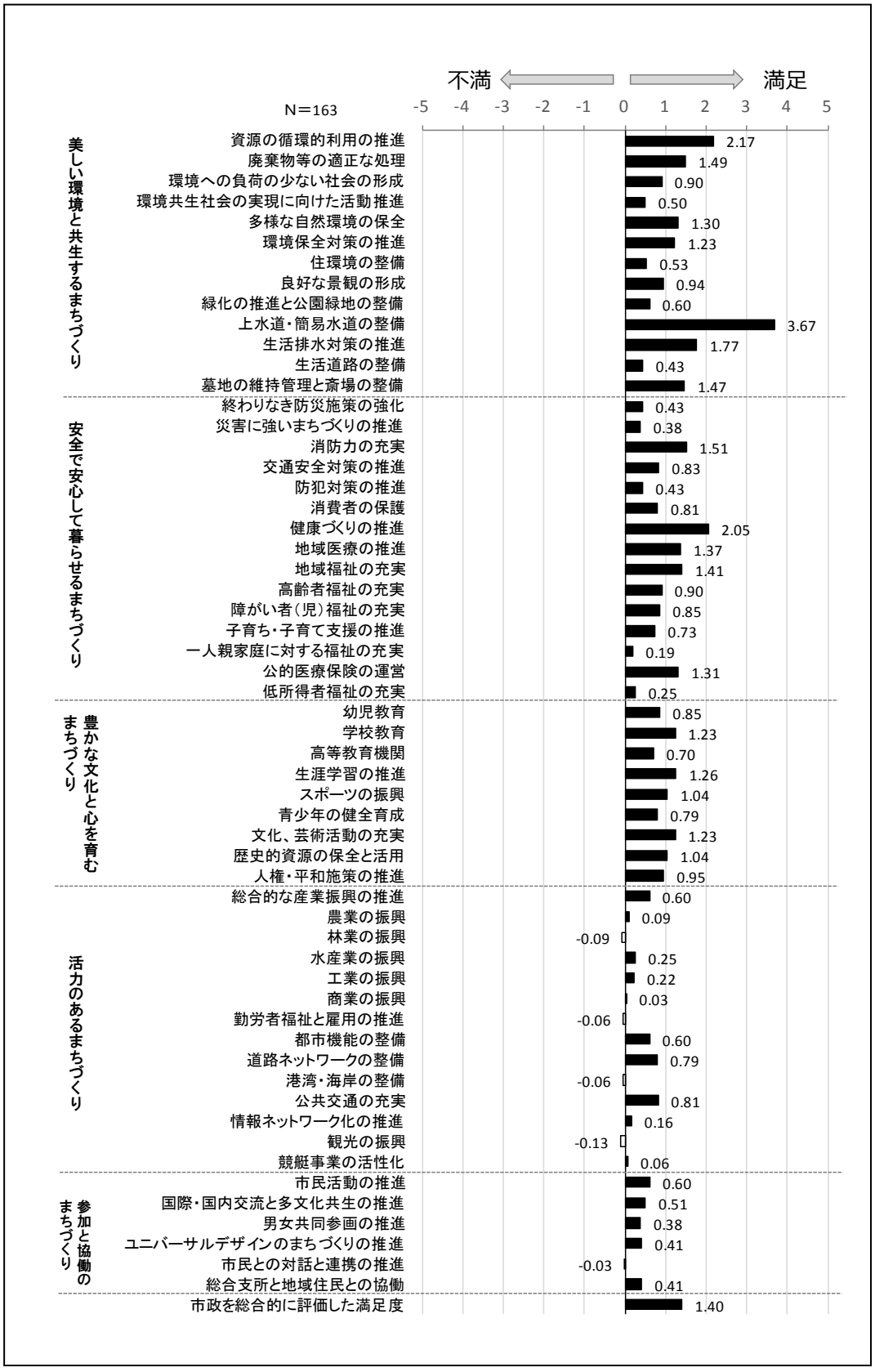
図表Ⅱ-3-25 満足度評価（津地域）



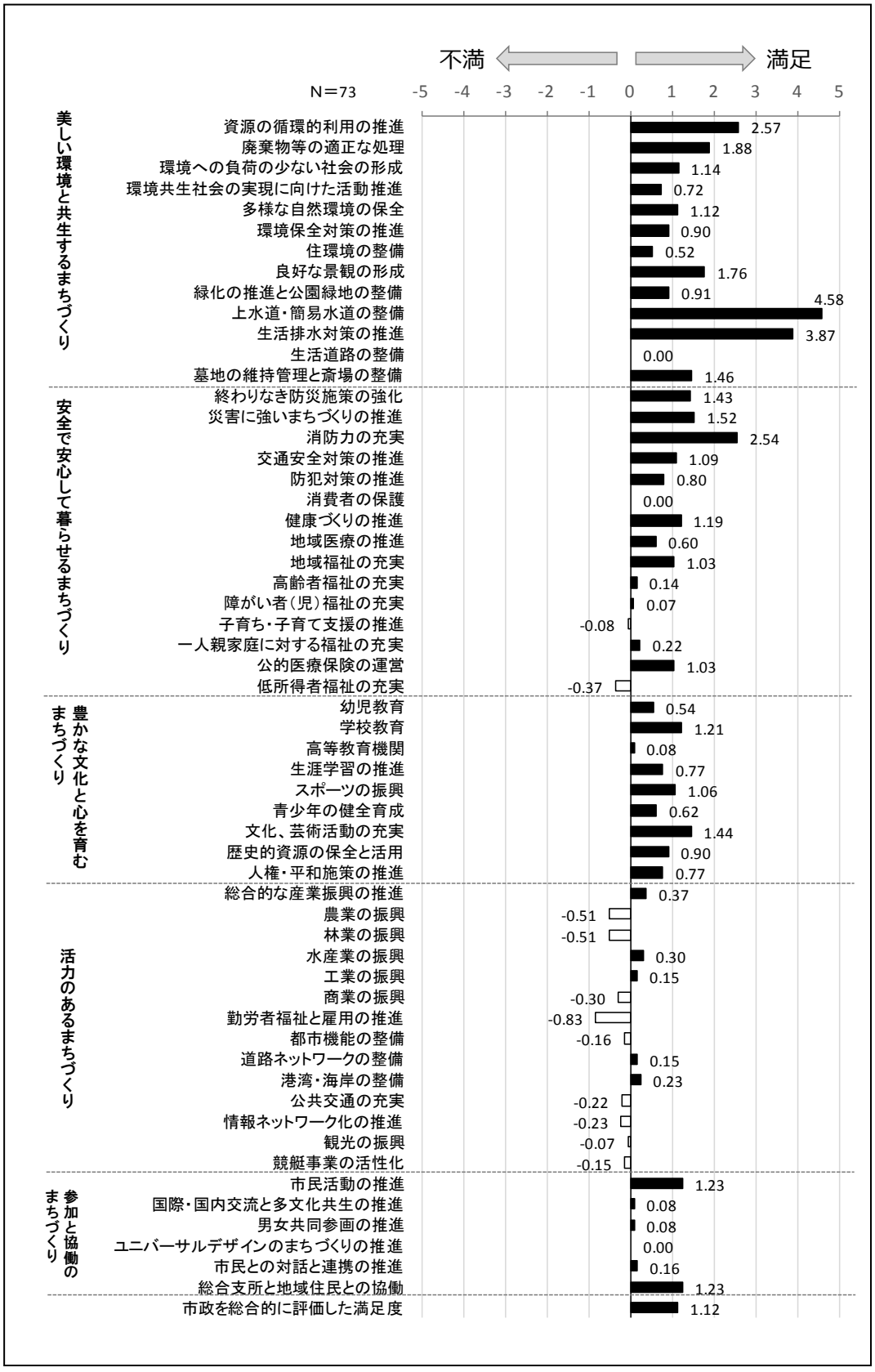
図表Ⅱ-3-26 満足度評価(久居地域)



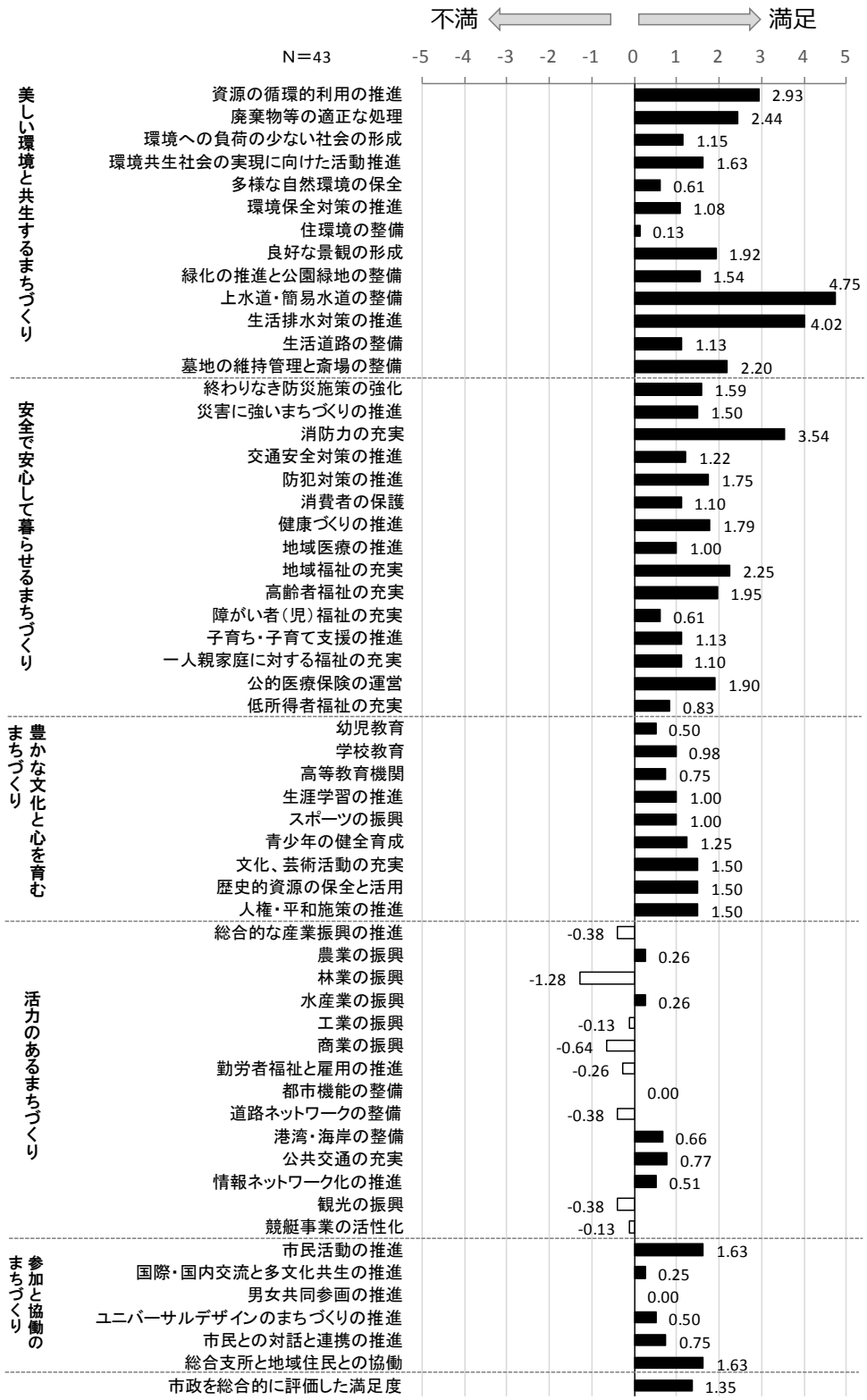
図表Ⅱ-3-27 満足度評価(河芸地域)



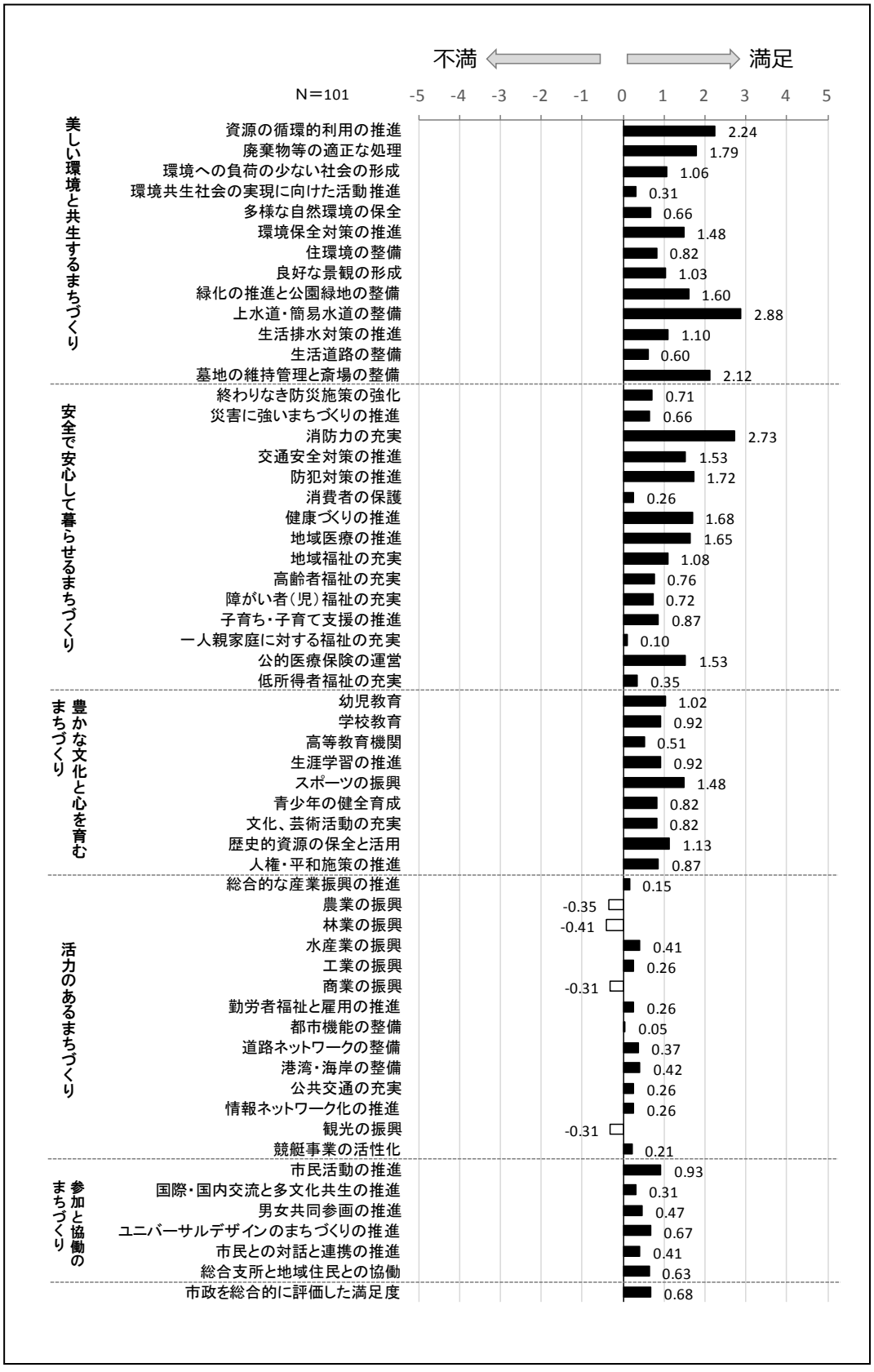
図表Ⅱ-3-28 満足度評価(芸濃地域)



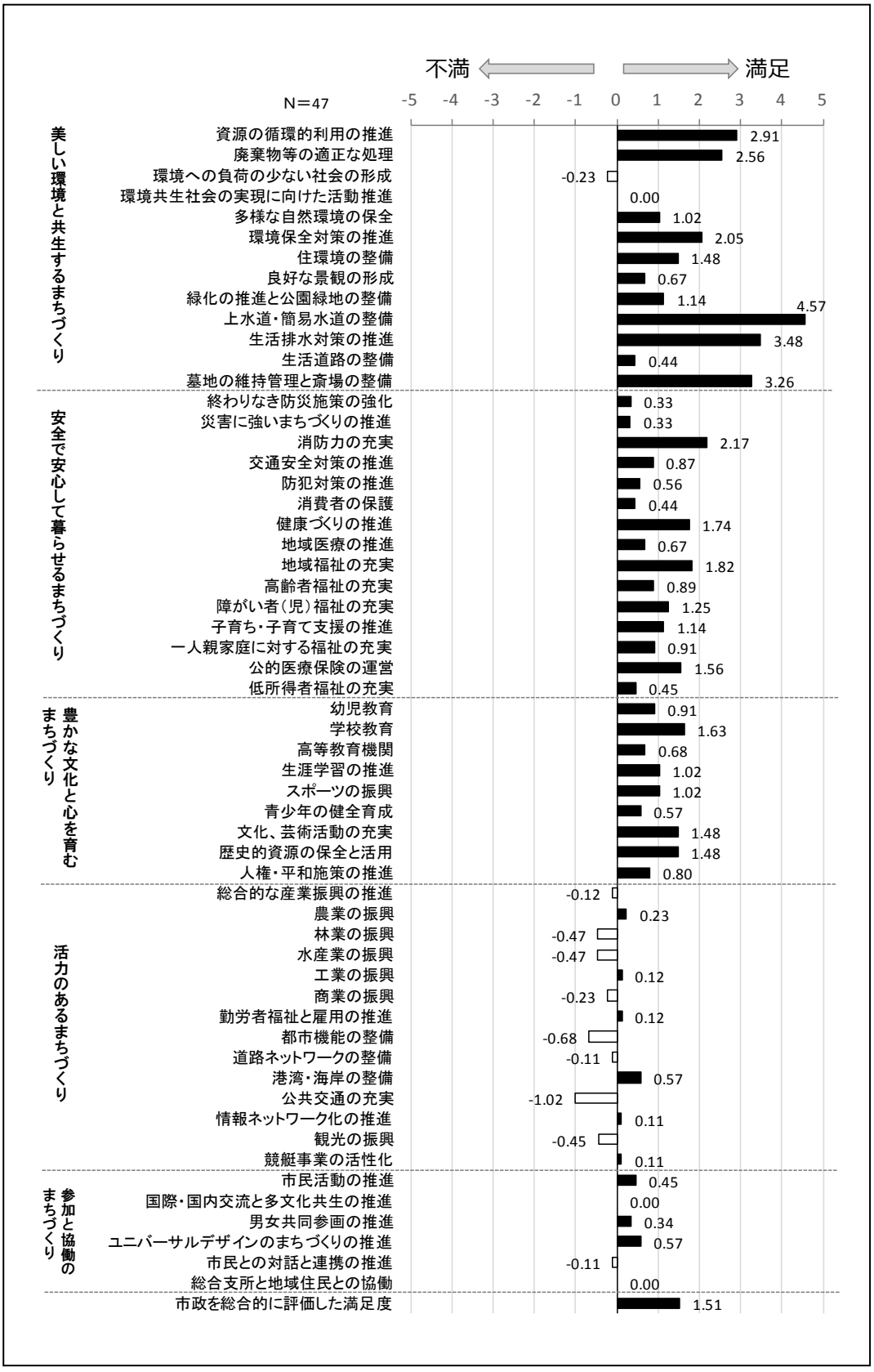
図表Ⅱ-3-29 満足度評価(美里地域)



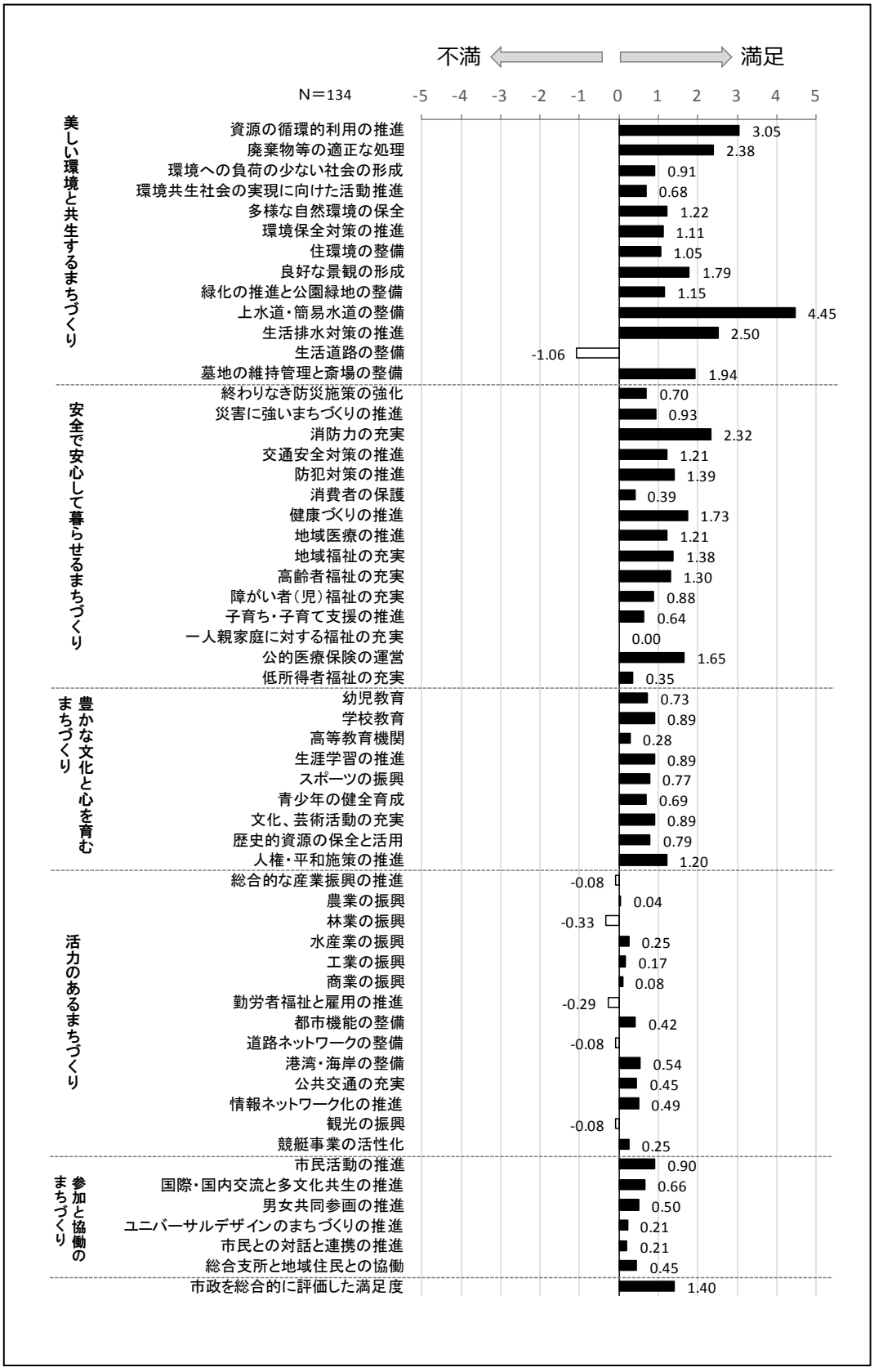
図表Ⅱ-3-30 満足度評価（安濃地域）



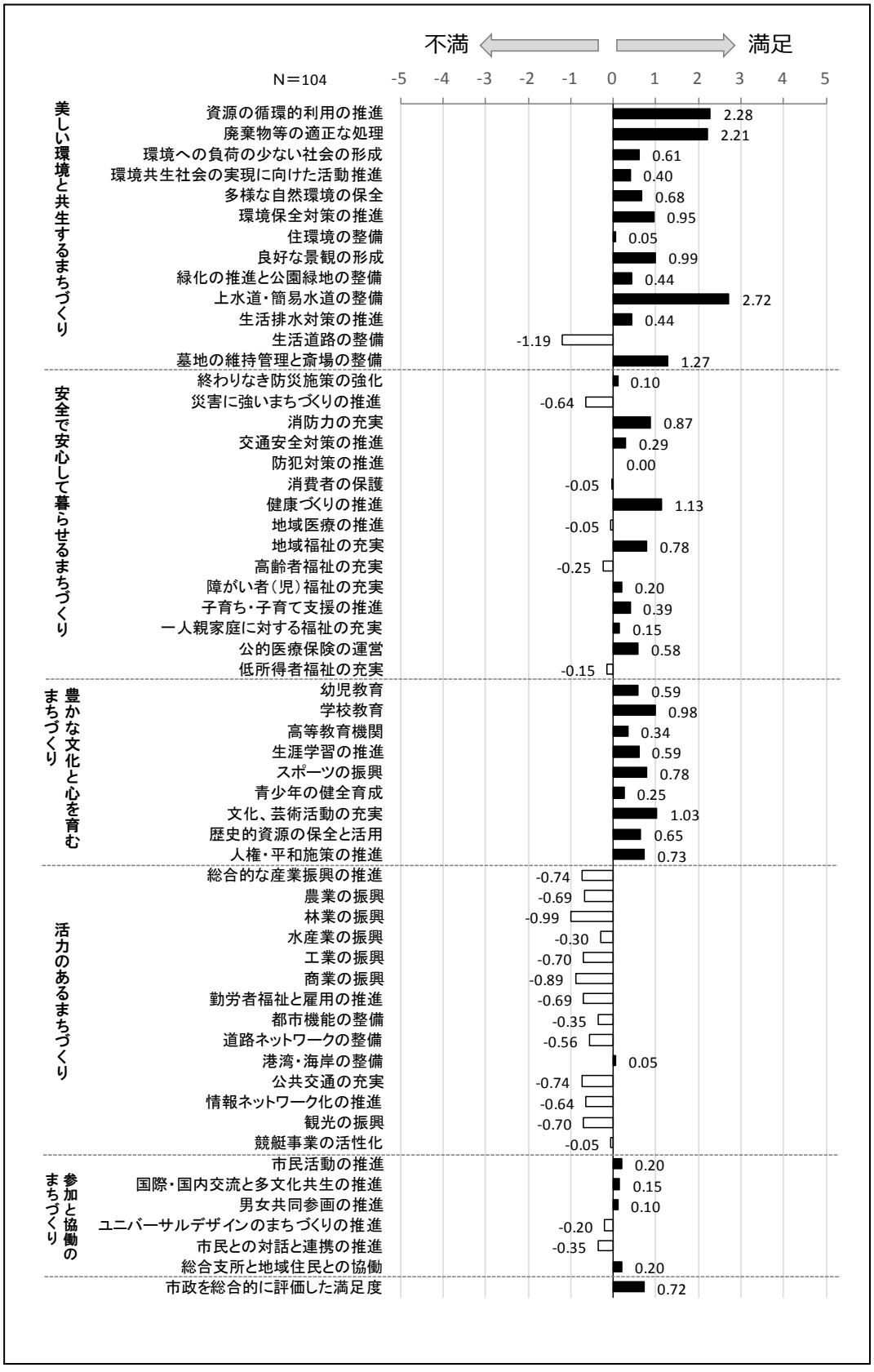
図表Ⅱ-3-31 満足度評価(香良洲地域)



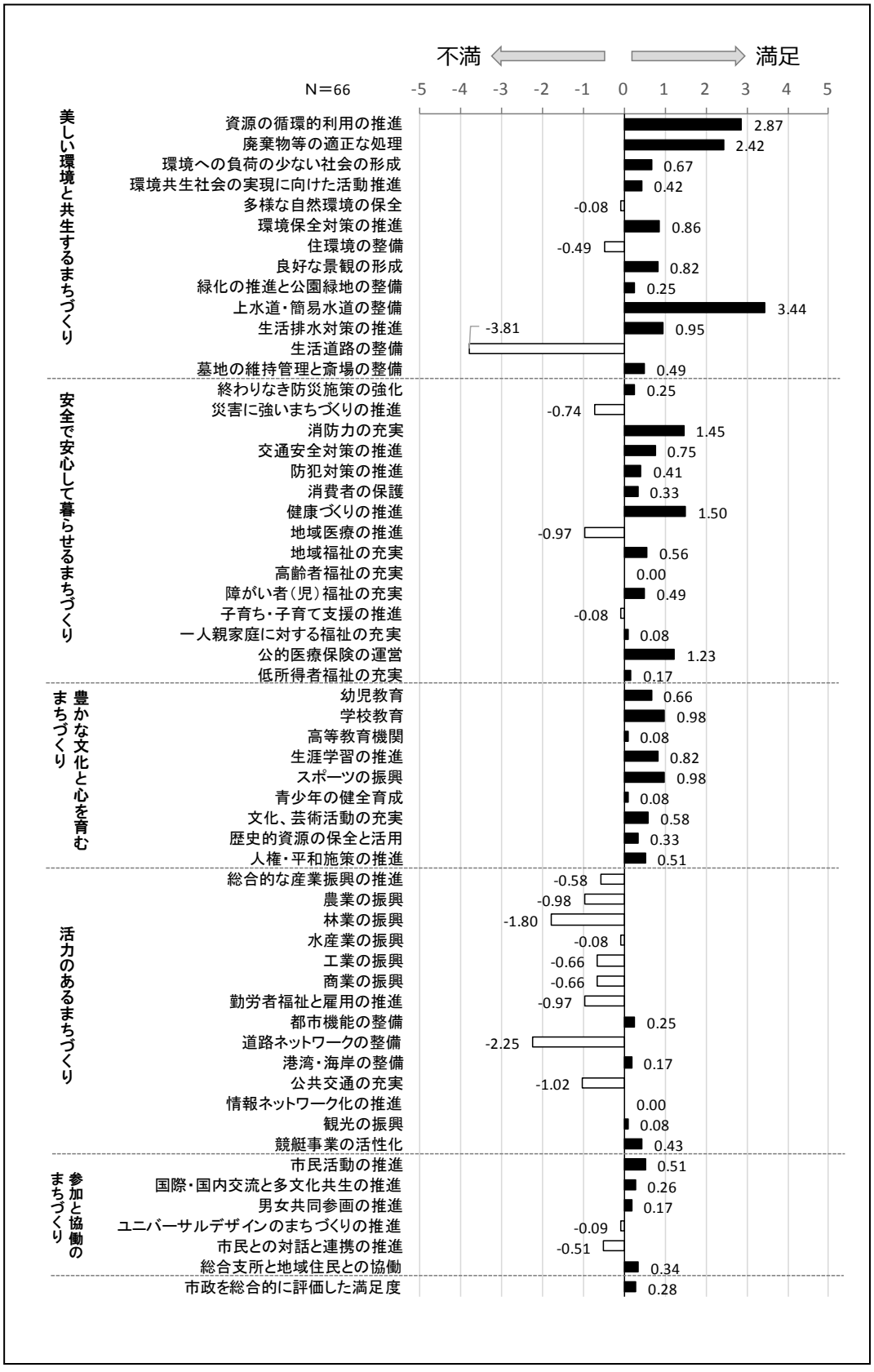
図表Ⅱ-3-32 満足度評価(一志地域)



図表Ⅱ-3-33 満足度評価(白山地域)



図表Ⅱ-3-34 満足度評価(美杉地域)



（８）居住地別のまちづくりの目標に関する重要度評価

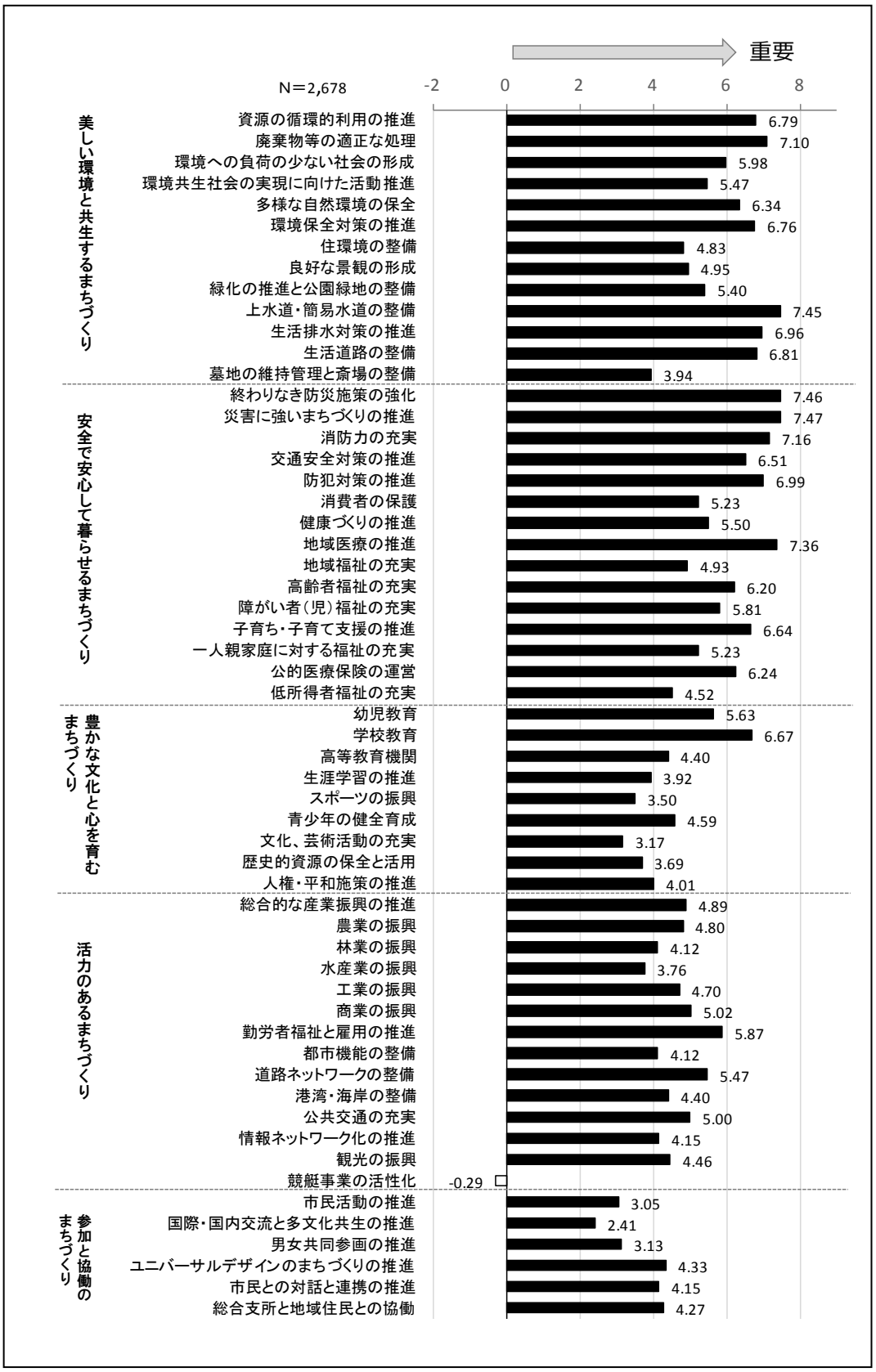
各地域における重要度評価の順位（上位３位及び下位３位）を一覧化すると次のとおりです。

			第1位	第2位	第3位
全体（N=2,678）		上位	災害に強いまちづくりの推進 7.47 点	終わりなき防災施策の強化 7.46 点	上水道・簡易水道の整備 7.45 点
		下位	競艇事業の活性化 −0.29 点	国際・国内交流と多文化共生の推進 2.41 点	市民活動の推進 3.05 点
地域別	①津（N=1,499）	上位	災害に強いまちづくりの推進 7.52 点	終わりなき防災施策の強化 7.45 点	上水道・簡易水道の整備 7.41 点
		下位	競艇事業の活性化 −0.09 点	国際・国内交流と多文化共生の推進 2.53 点	市民活動の推進 3.14 点
	②久居（N=391）	上位	終わりなき防災施策の強化 7.74 点	地域医療の推進 7.69 点	上水道・簡易水道の整備 7.63 点
		下位	競艇事業の活性化 −0.68 点	国際・国内交流と多文化共生の推進 2.23 点	文化、芸術活動の充実 2.74 点
	③河芸（N=163）	上位	終わりなき防災施策の強化 7.84 点	災害に強いまちづくりの推進 7.42 点	上水道・簡易水道の整備 7.26 点
		下位	競艇事業の活性化 −0.77 点	国際・国内交流と多文化共生の推進 2.48 点	市民活動の推進 2.97 点
	④芸濃（N=73）	上位	上水道・簡易水道の整備 7.79 点	廃棄物等の適正な処理 7.65 点	生活排水対策の推進／災害に強いまちづくりの推進 7.39 点
		下位	競艇事業の活性化 −0.15 点	国際・国内交流と多文化共生の推進 2.23 点	文化、芸術活動の充実 2.50 点
	⑤美里（N=43）	上位	終わりなき防災施策の強化 7.69 点	災害に強いまちづくりの推進 7.63 点	資源の循環的利用の推進 7.38 点
		下位	競艇事業の活性化 −1.18 点	国際・国内交流と多文化共生の推進 1.67 点	都市機能の整備 2.63 点
	⑥安濃（N=101）	上位	生活排水対策の推進 7.34 点	廃棄物等の適正な処理 7.24 点	上水道・簡易水道の整備 7.03 点
		下位	競艇事業の活性化 0.00 点	市民活動の推進 2.53 点	男女共同参画の推進 2.77 点

			第1位	第2位	第3位
	⑦香良洲（N=47）	上位	終わりなき防災施策の強化 7.95 点	災害に強いまちづくりの推進 7.61 点	上水道・簡易水道の整備／学校教育 7.33 点
		下位	競艇事業の活性化 −1.48 点	国際・国内交流と多文化共生の推進／男女共同参画の推進 1.82 点	文化、芸術活動の充実／市民活動の推進 2.61 点
	⑧一志（N=134）	上位	地域医療の推進 7.80 点	上水道・簡易水道の整備 7.66 点	災害に強いまちづくりの推進 7.30 点
		下位	競艇事業の活性化 −0.08 点	国際・国内交流と多文化共生の推進 2.27 点	男女共同参画の推進 2.61 点
	⑨白山（N=104）	上位	地域医療の推進 7.81 点	上水道・簡易水道の整備 7.70 点	廃棄物等の適正な処理 7.42 点
		下位	競艇事業の活性化 −0.73 点	国際・国内交流と多文化共生の推進 2.13 点	文化、芸術活動の充実 3.09 点
	⑩美杉（N=66）	上位	生活道路の整備 8.42 点	災害に強いまちづくりの推進 8.17 点	消防力の充実 8.08 点
		下位	競艇事業の活性化 −0.09 点	国際・国内交流と多文化共生の推進 1.82 点	男女共同参画の推進 2.11 点

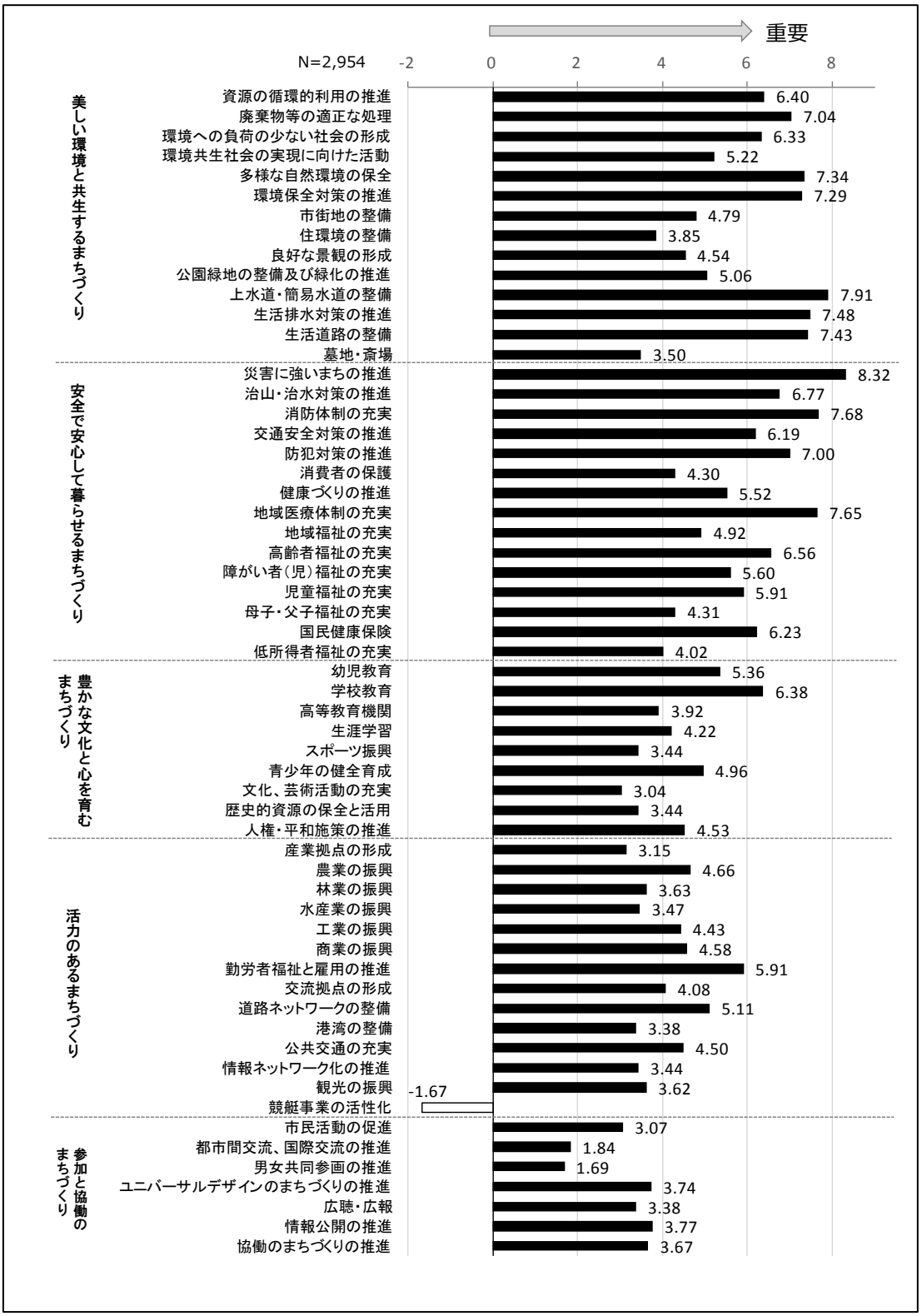
※全体には地域不詳５７名を含む。

図表Ⅱ-3-35 重要度評価(全体)

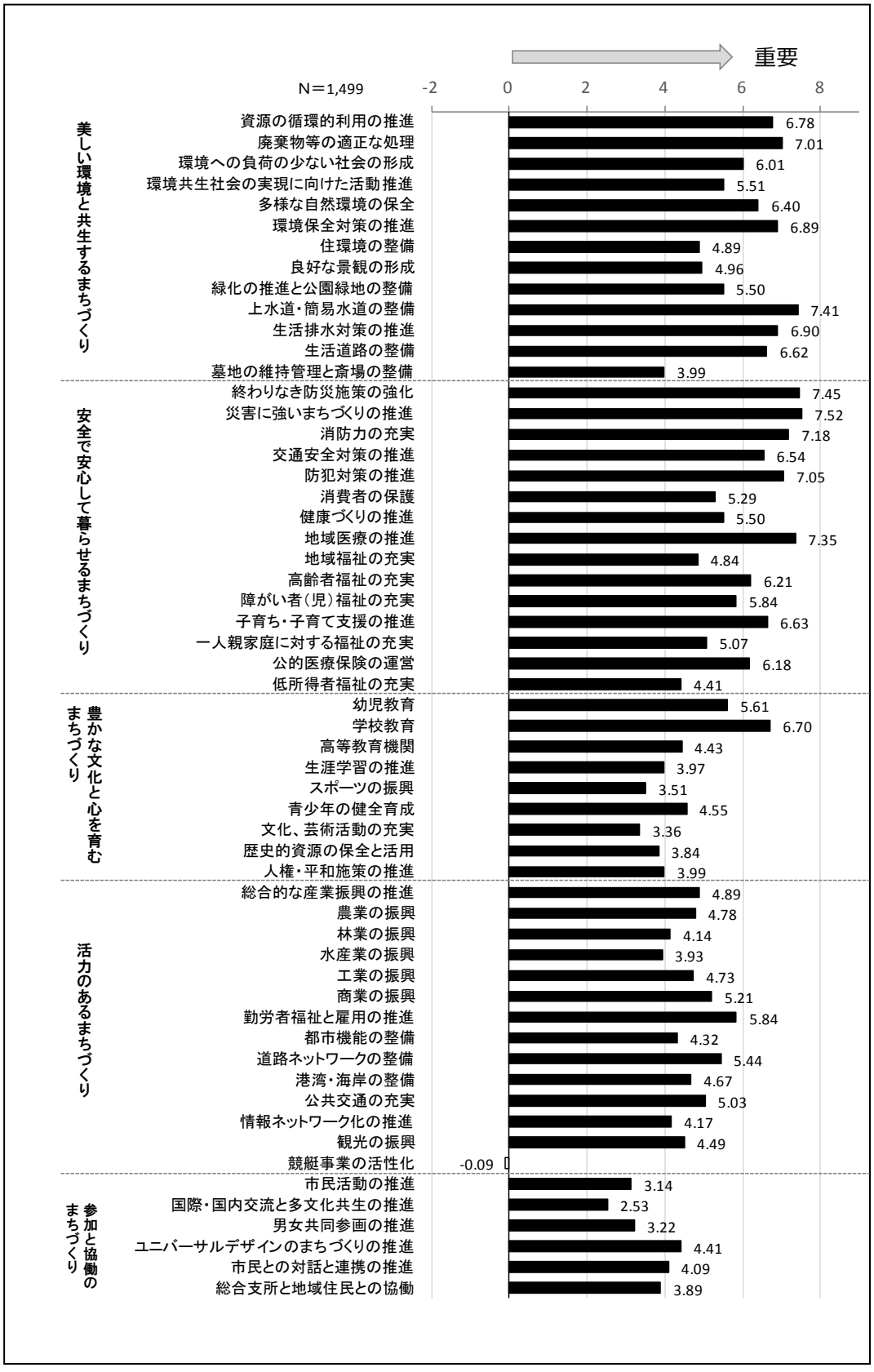


図表Ⅱ-3-36 重要度評価（全体（前回調査分 ※））

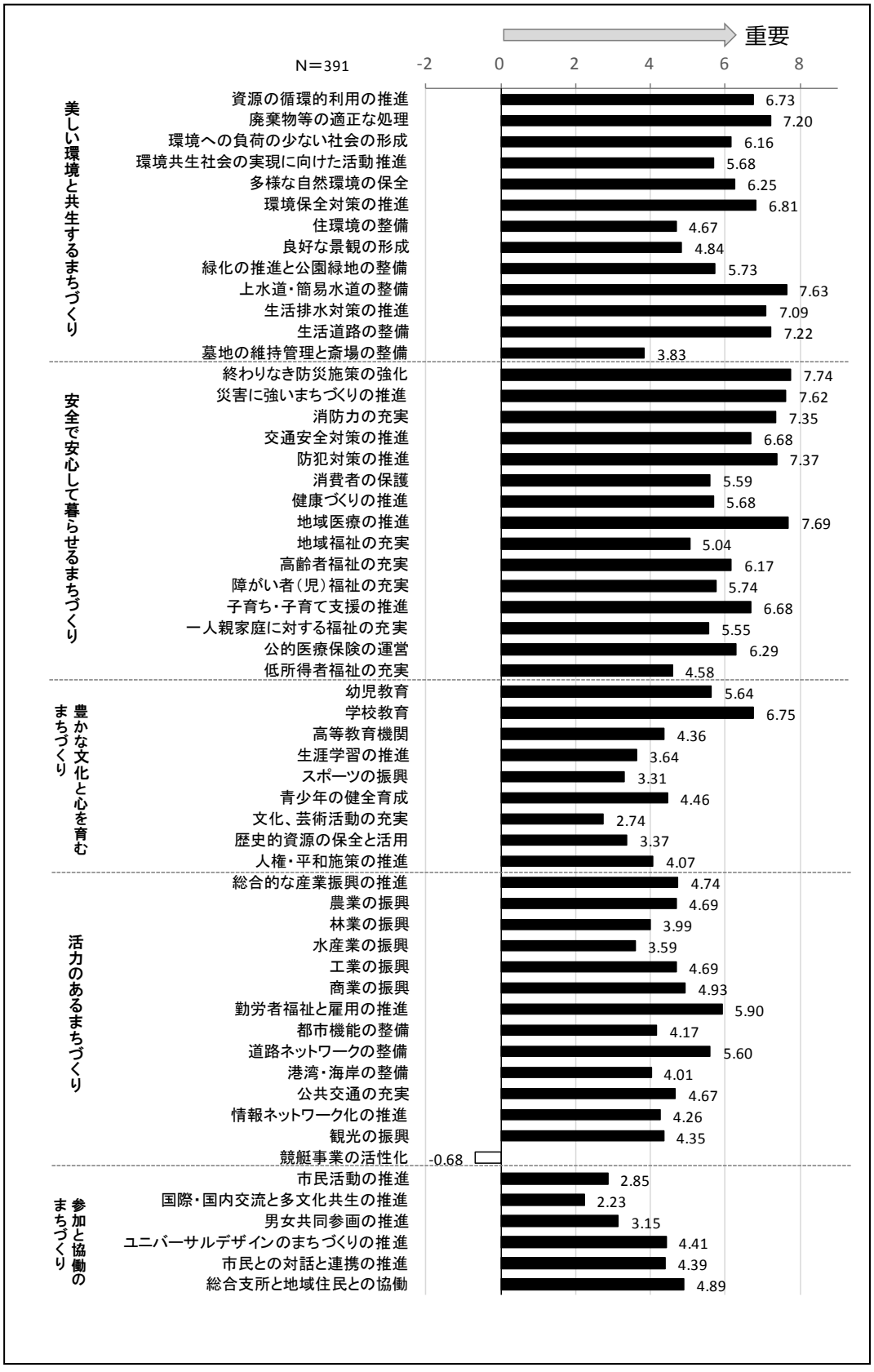
※ 項目は、前期基本計画の施策を基にしているため、今回調査とは完全に合致していません。



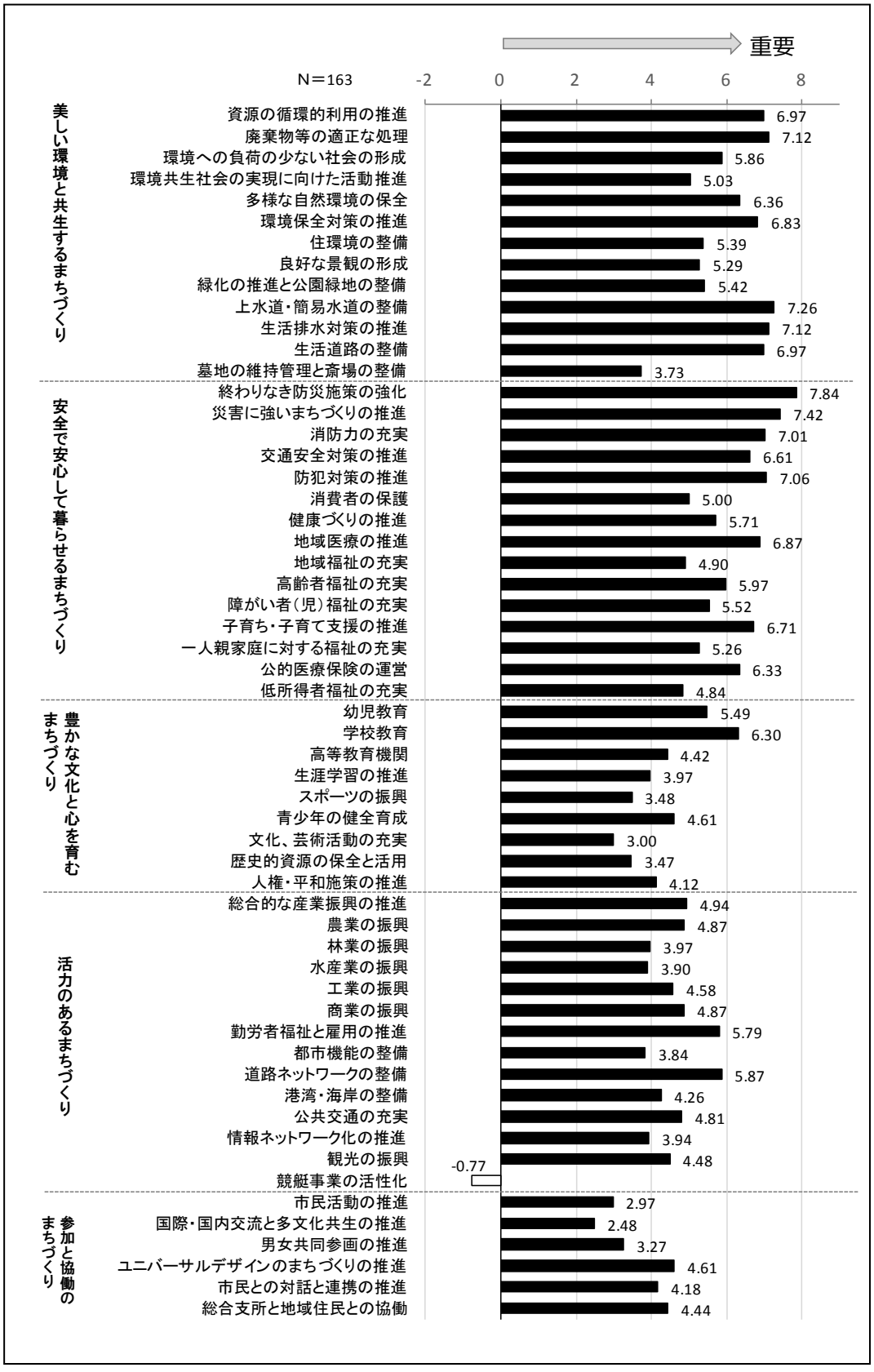
図表Ⅱ-3-37 重要度評価（津地域）



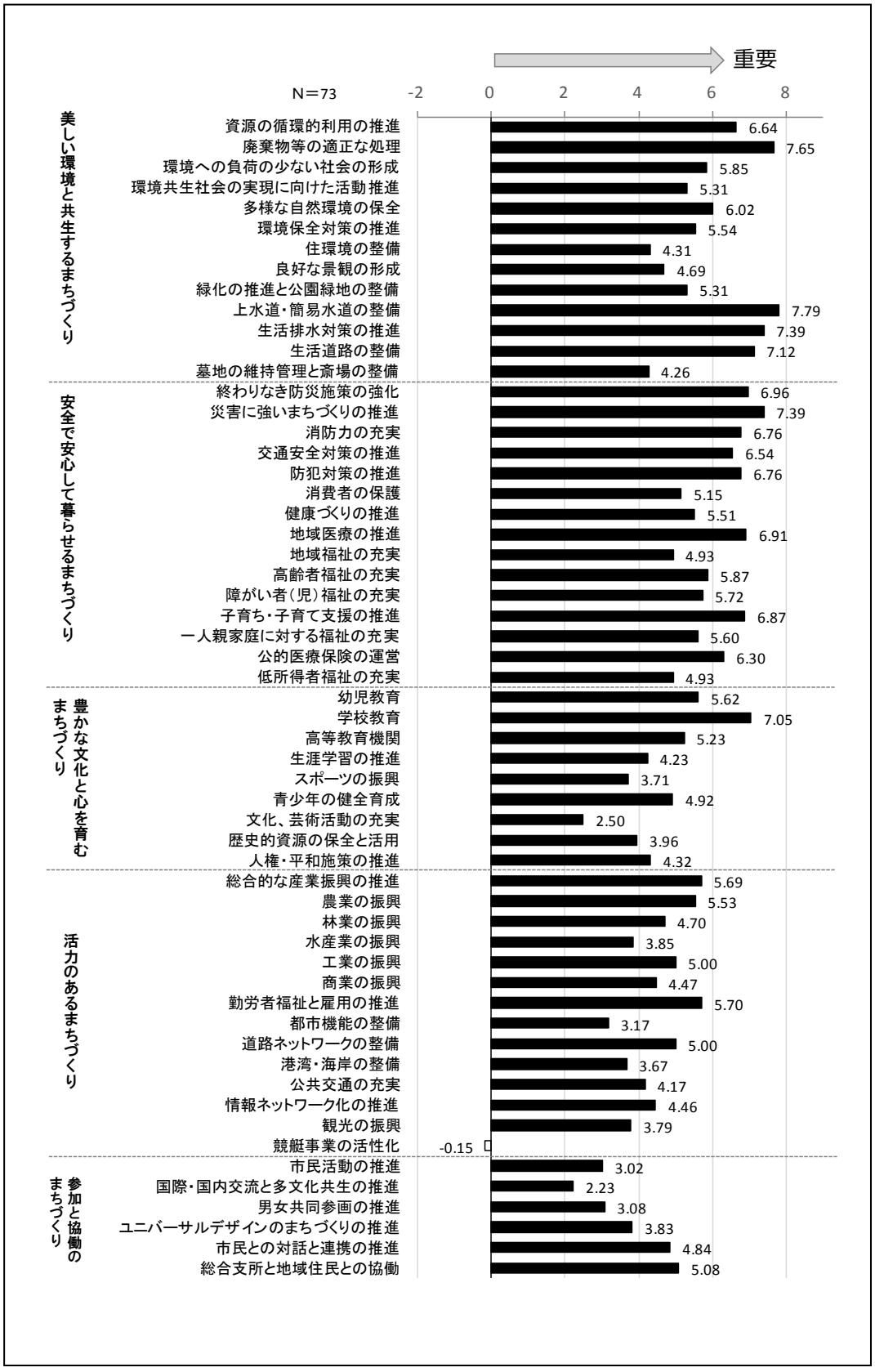
図表Ⅱ-3-38 重要度評価(久居地域)



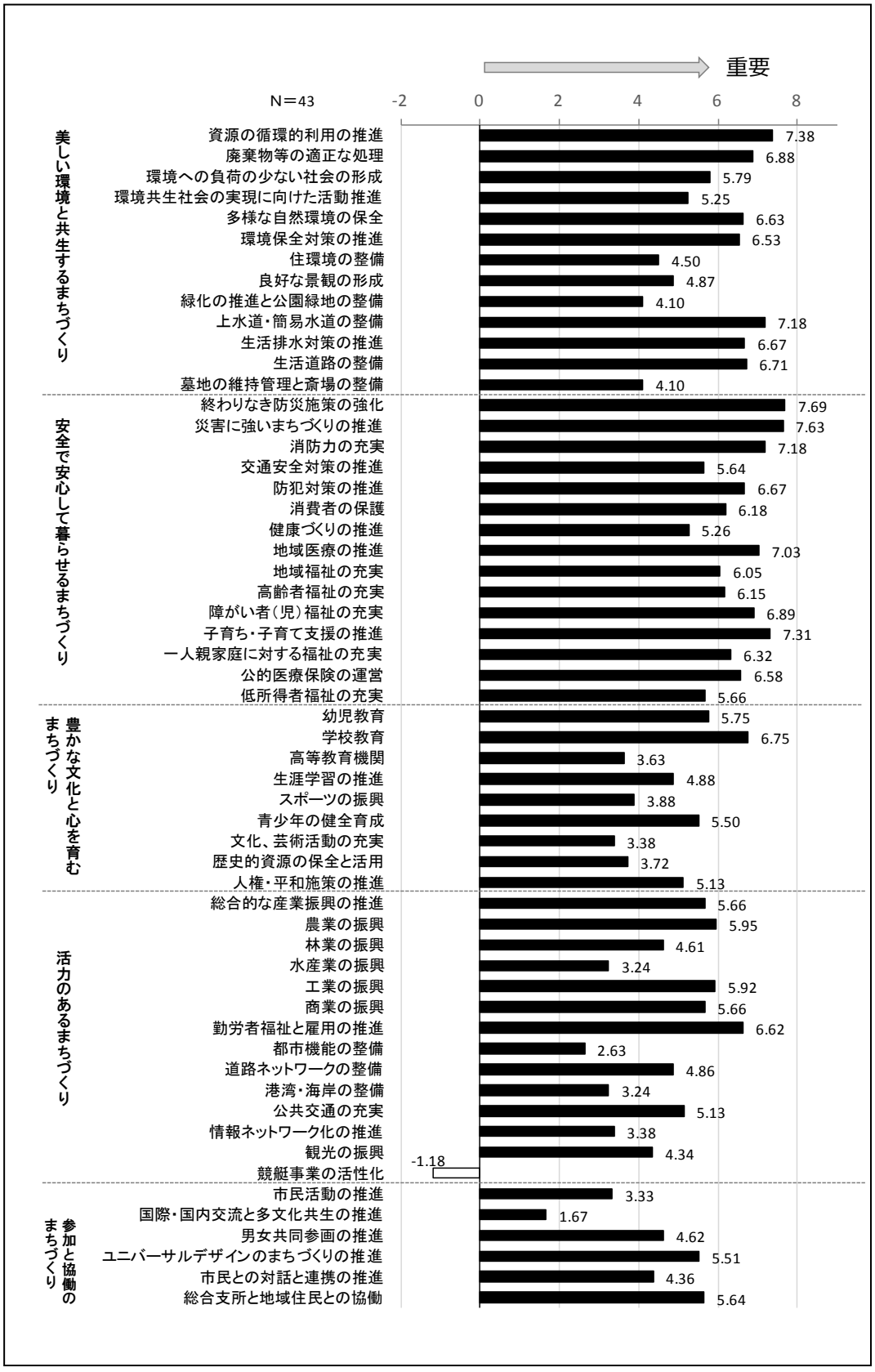
図表Ⅱ-3-39 重要度評価(河芸地域)



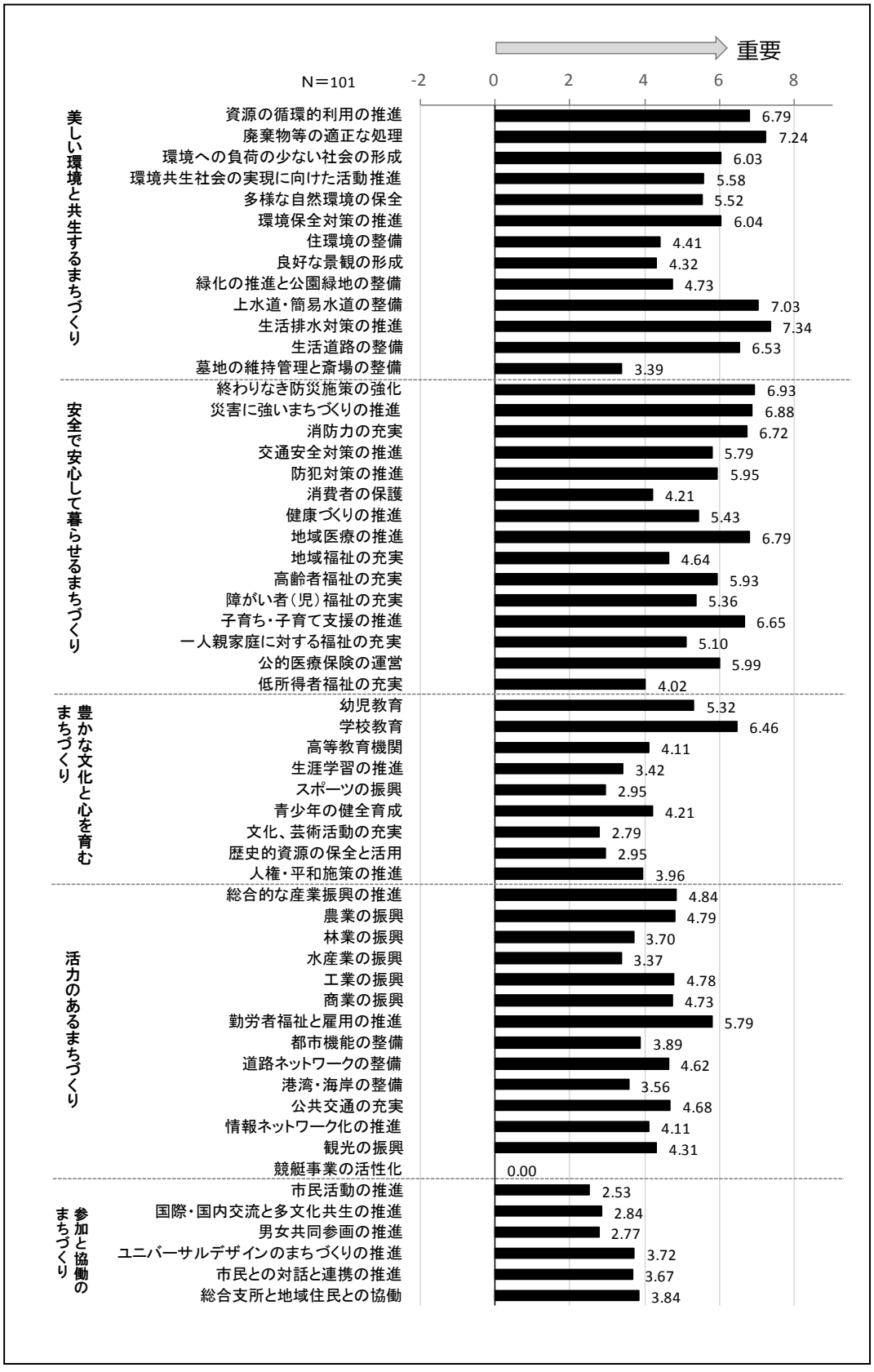
図表Ⅱ-3-40 重要度評価（芸濃地域）



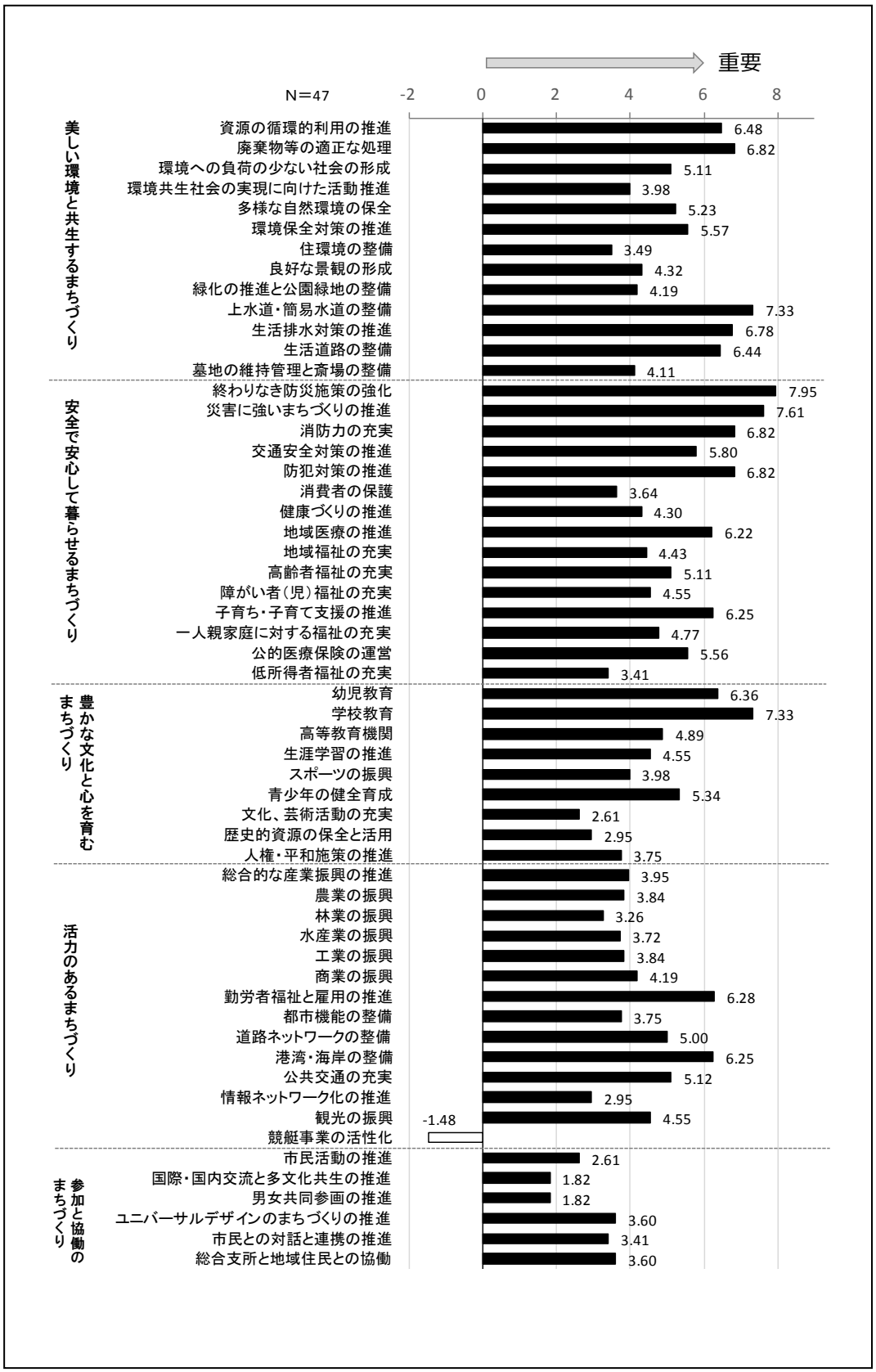
図表Ⅱ-3-41 重要度評価(美里地域)



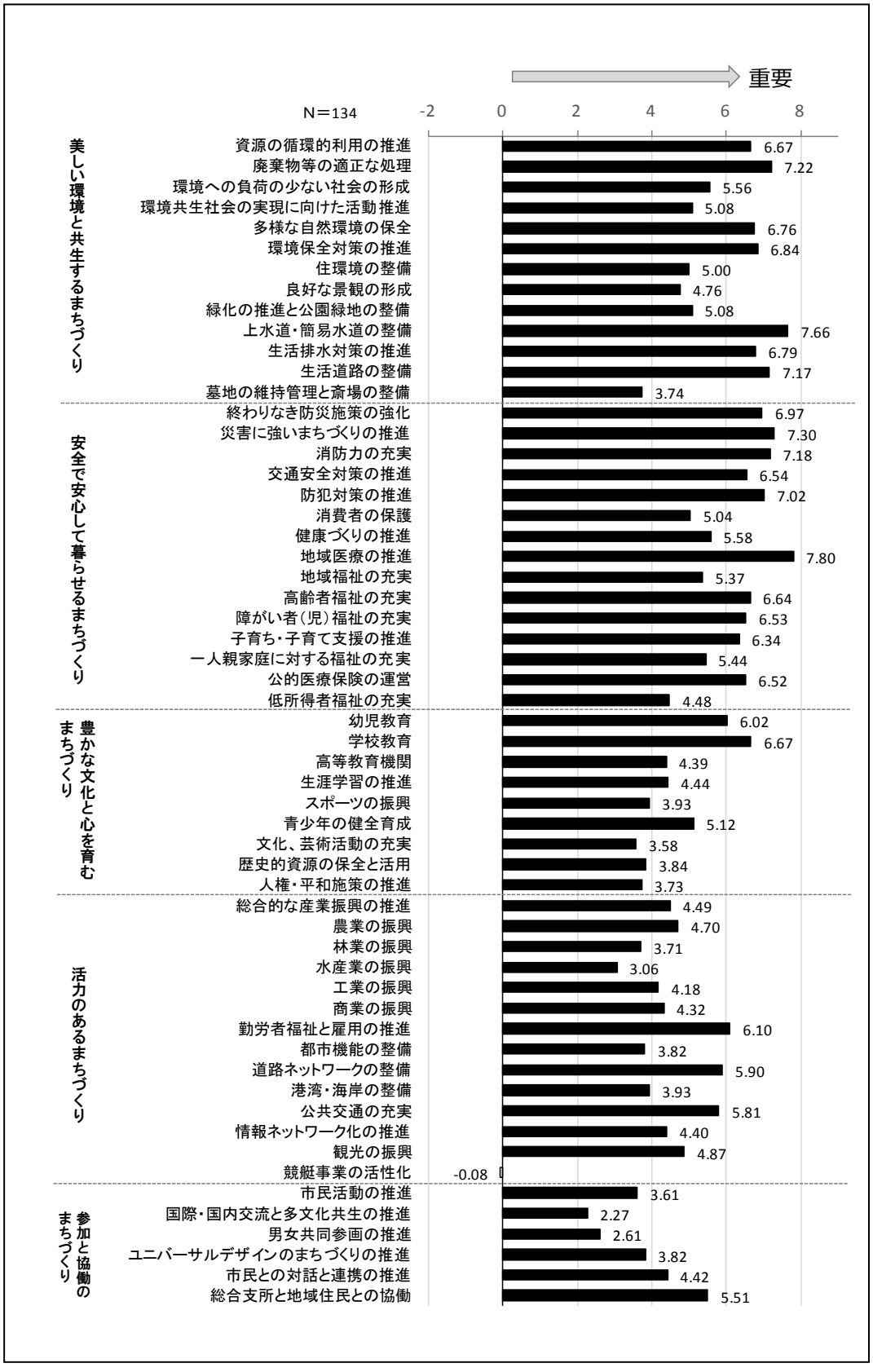
図表Ⅱ-3-42 重要度評価（安濃地域）



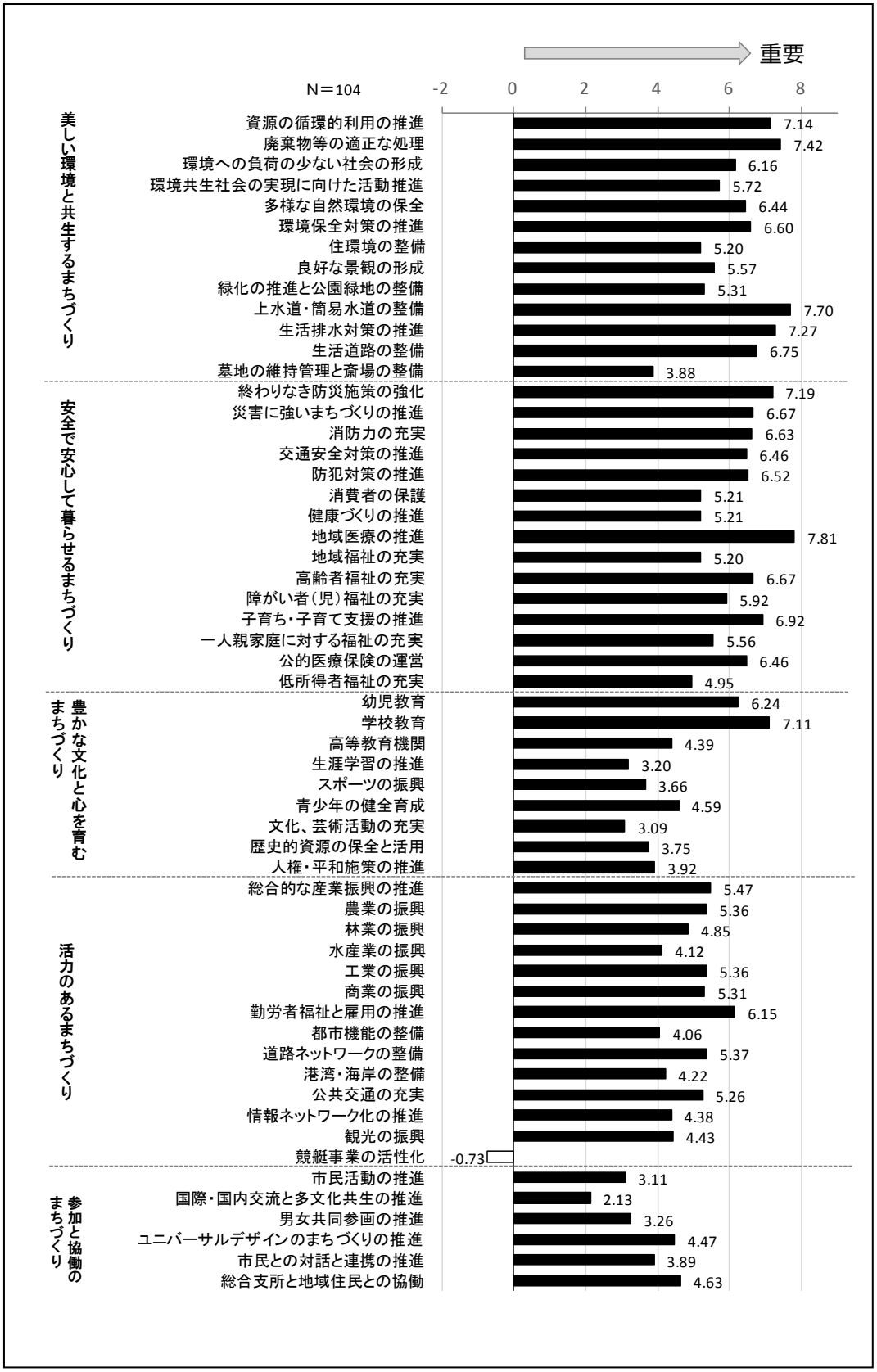
図表Ⅱ-3-43 重要度評価(香良洲地域)



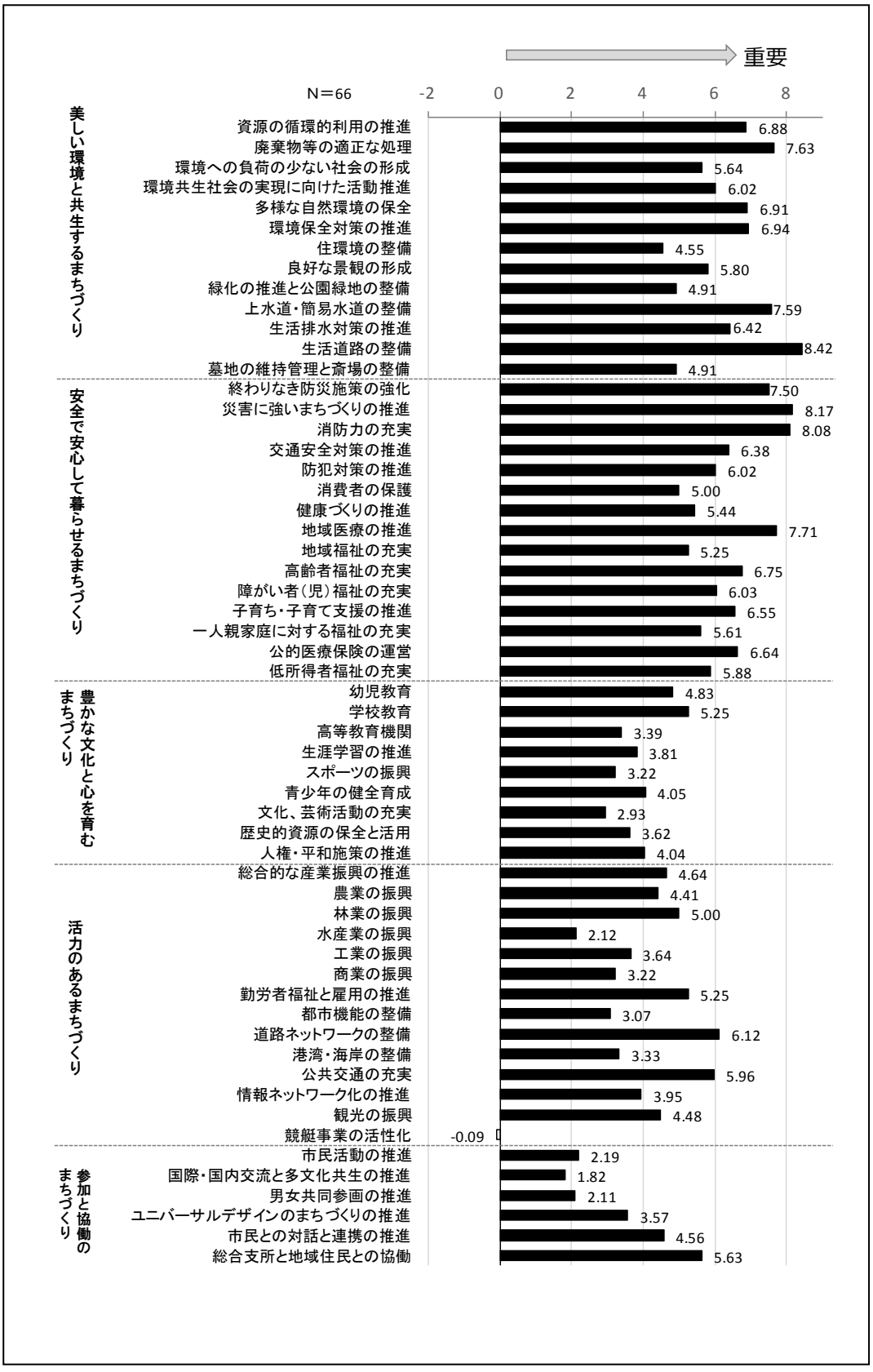
図表Ⅱ-3-44 重要度評価（一志地域）



図表Ⅱ-3-45 重要度評価（白山地域）



図表Ⅱ-3-46 重要度評価(美杉地域)



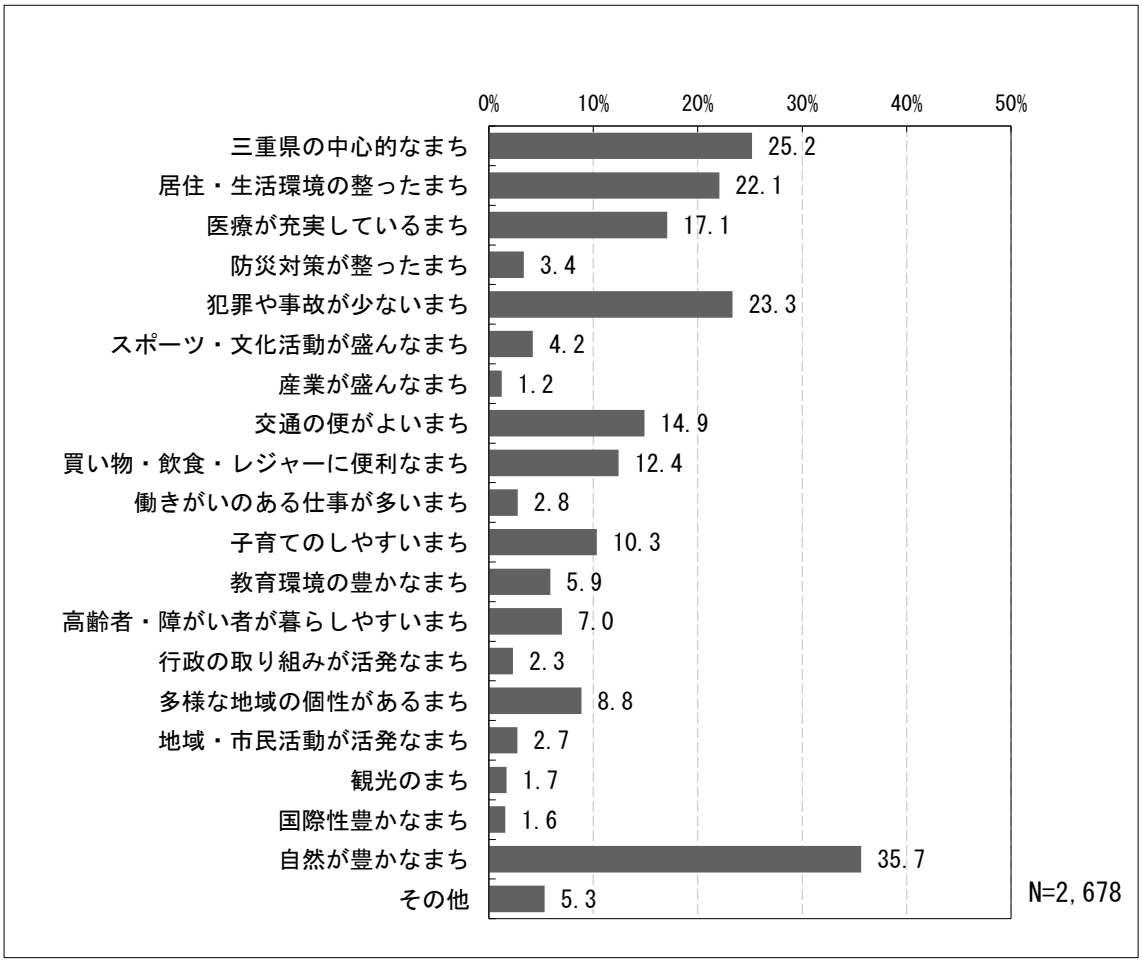
4　これからのまちづくりについて

（１）現在の津市に対するイメージと今後の将来像

設問 12　現在の津市に対するイメージを下記から選んでください。
＜３つまでに○印＞

現在の津市に対するイメージとしては、「自然が豊かなまち」が 35.7%と最も多く、次いで「三重県の中心的なまち」(25.2%)、「犯罪や事故が少ないまち」23.3%となっており、津市全体としては、県庁所在地というイメージとともに、自然豊かなイメージを持つ人が多いことがうかがえます。

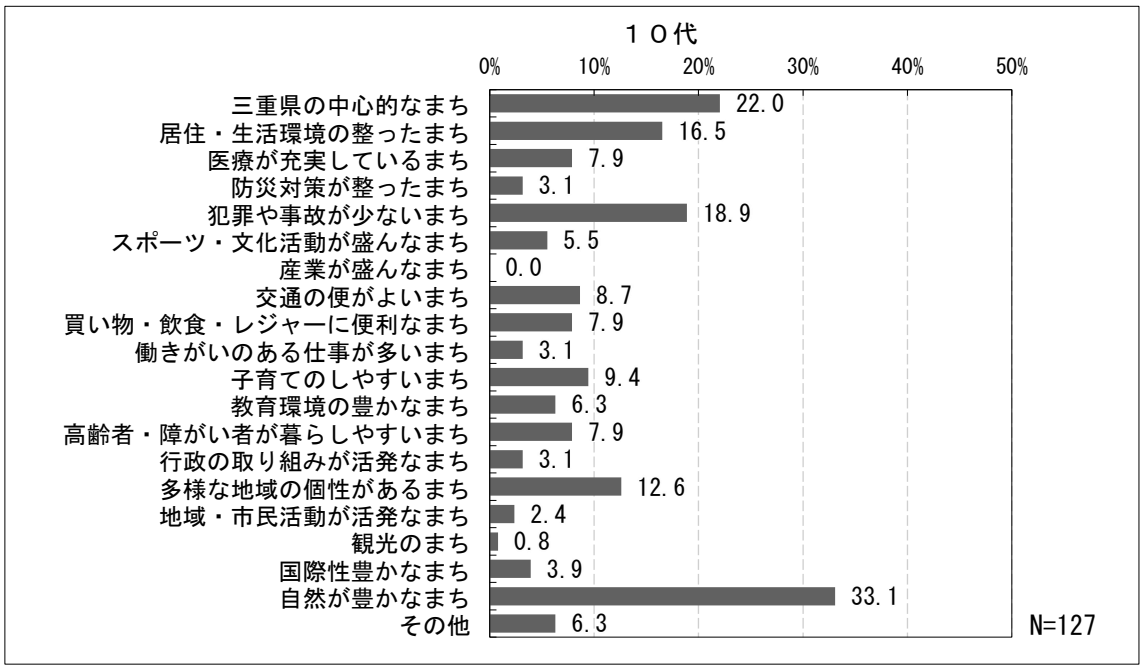
図表Ⅱ-4-1　現在の津市に対するイメージ(全体)

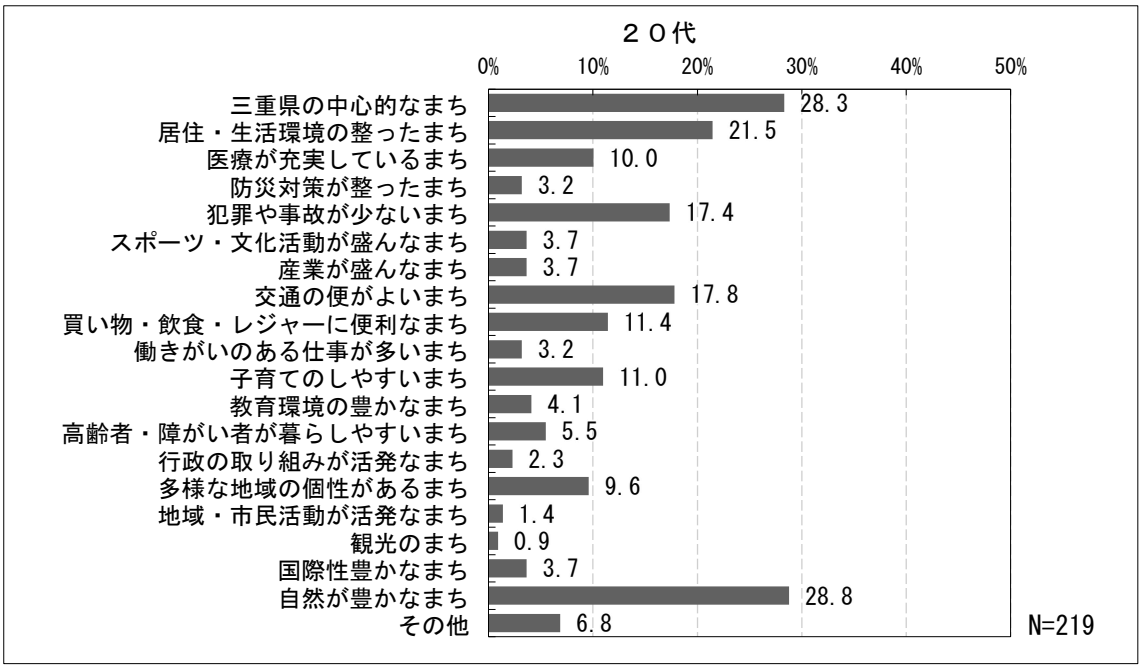


年代別では、どの年代も「自然が豊かなまち」が最も多く、続く第２位、第３位には「三重県の中心的なまち」「居住・生活環境が整ったまち」「犯罪や事故が少ないまち」のいずれかが挙がっています。

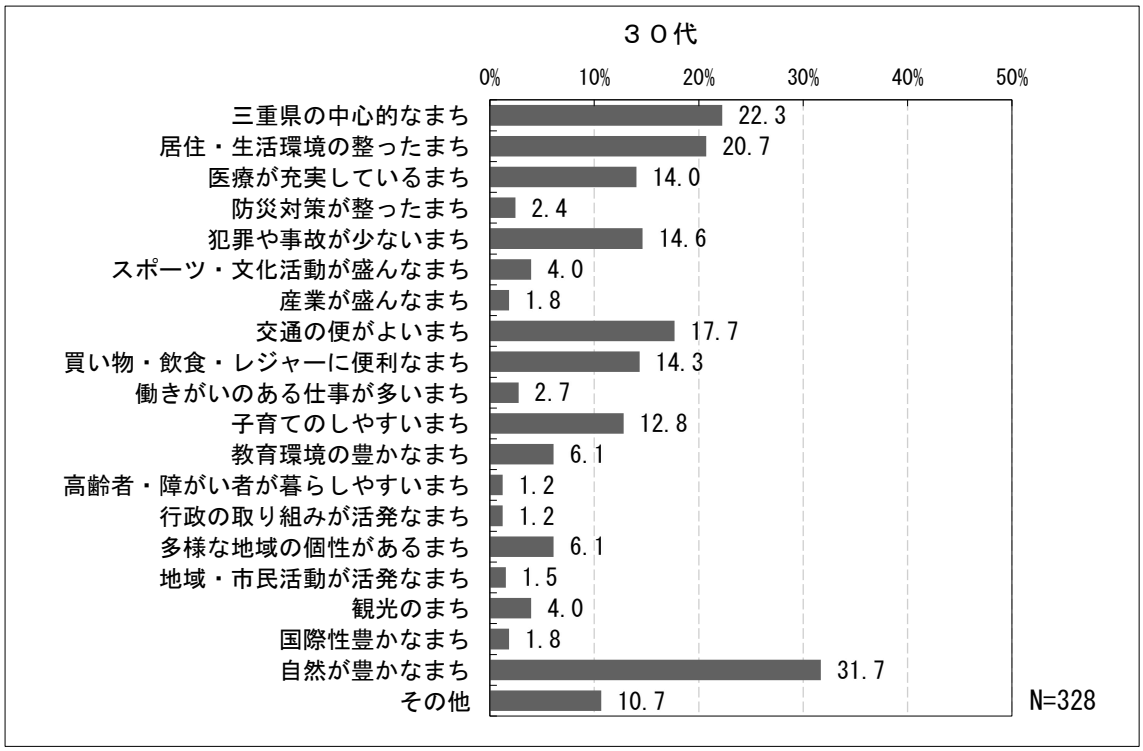
「交通の便がよいまち」「買い物・飲食・レジャーに便利なまち」という回答も多いほか、「20 代」から「40 代」にかけては「子育てのしやすいまち」が、「50 代」から「70 歳以上」にかけては「医療が充実しているまち」が、それぞれ多くなっています。

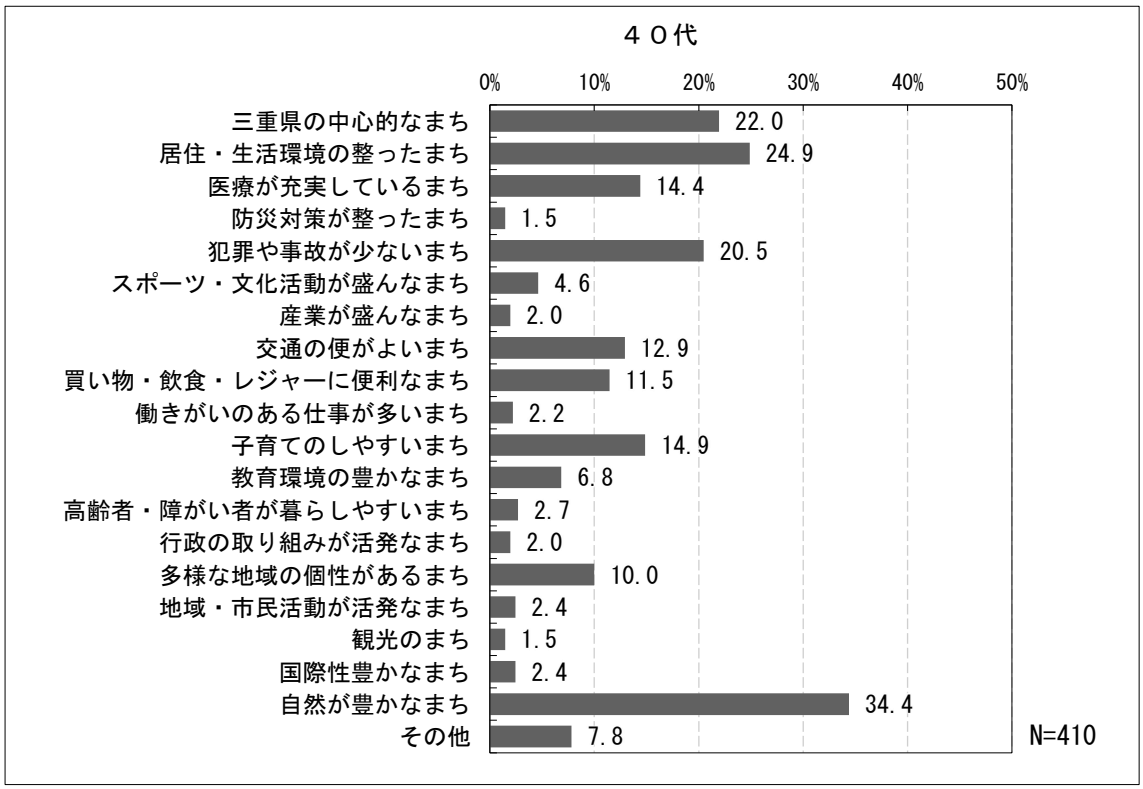
図表Ⅱ-4-2 現在の津市に対するイメージ（年代別）



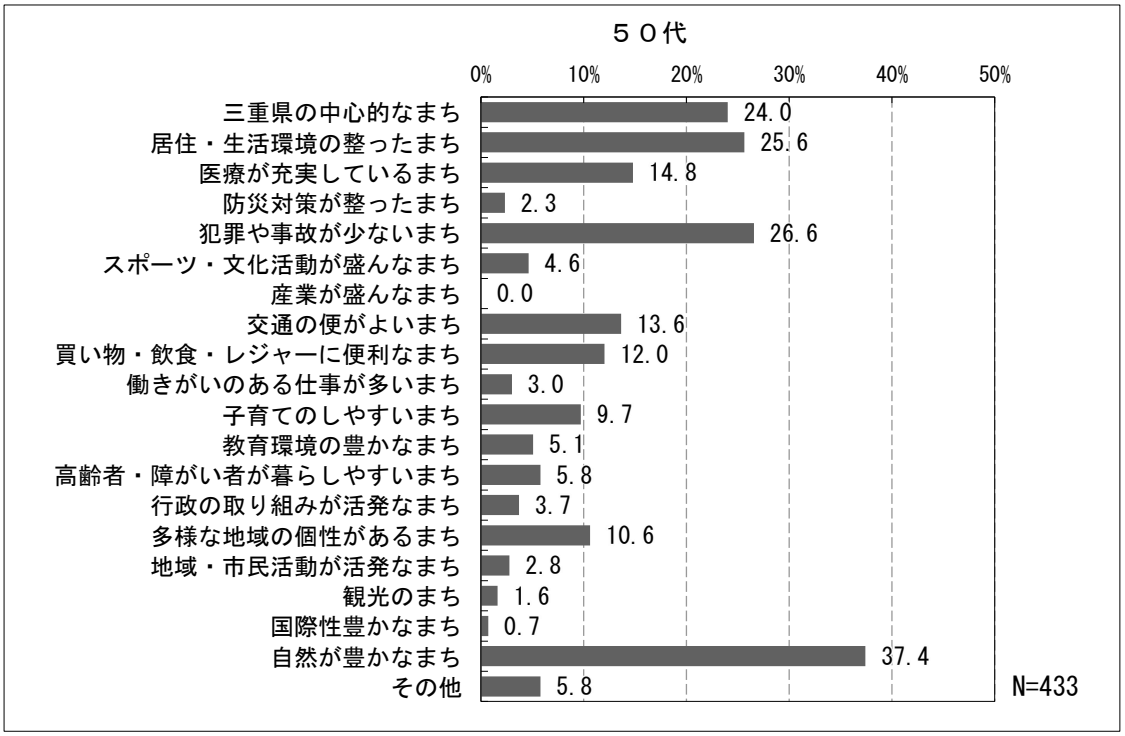


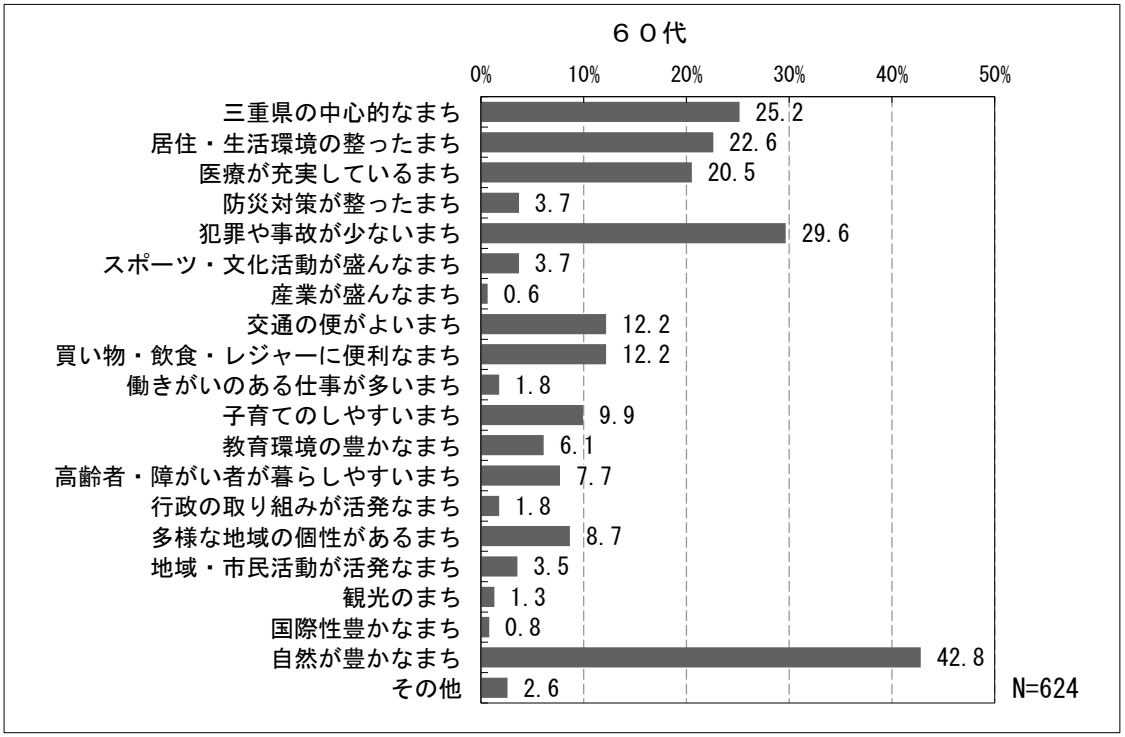
図表Ⅱ-4-2 現在の津市に対するイメージ（年代別）



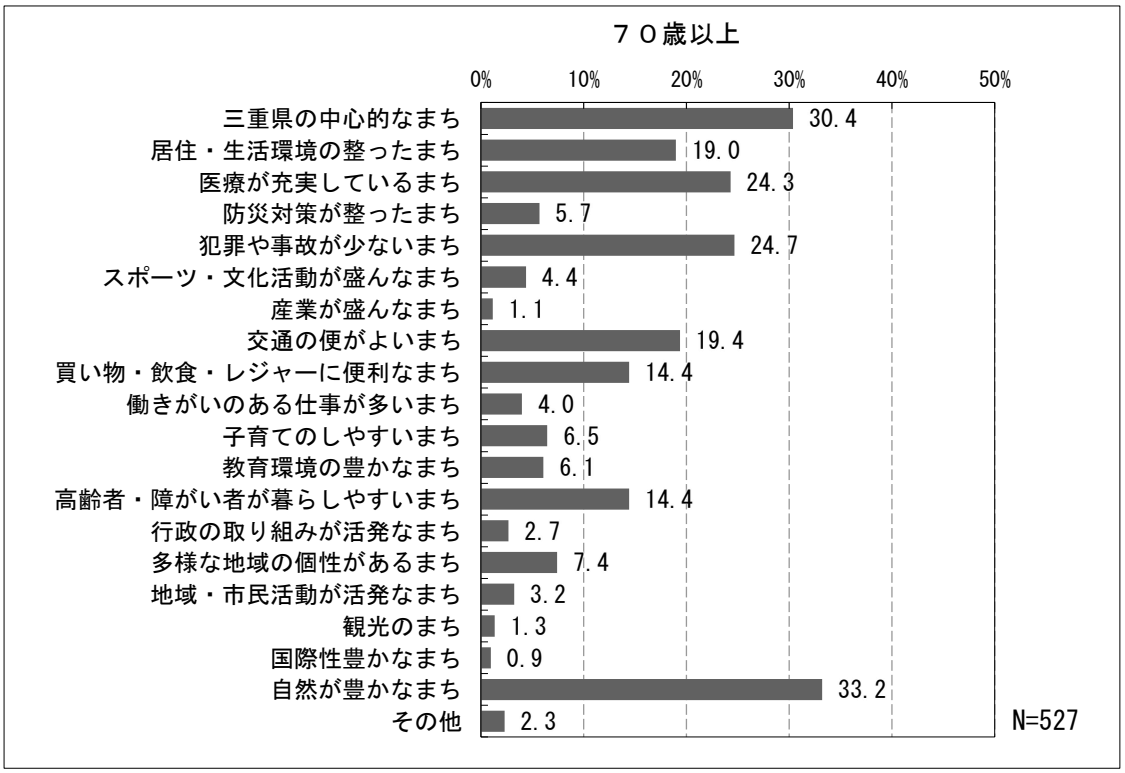


図表Ⅱ-4-2 現在の津市に対するイメージ（年代別）



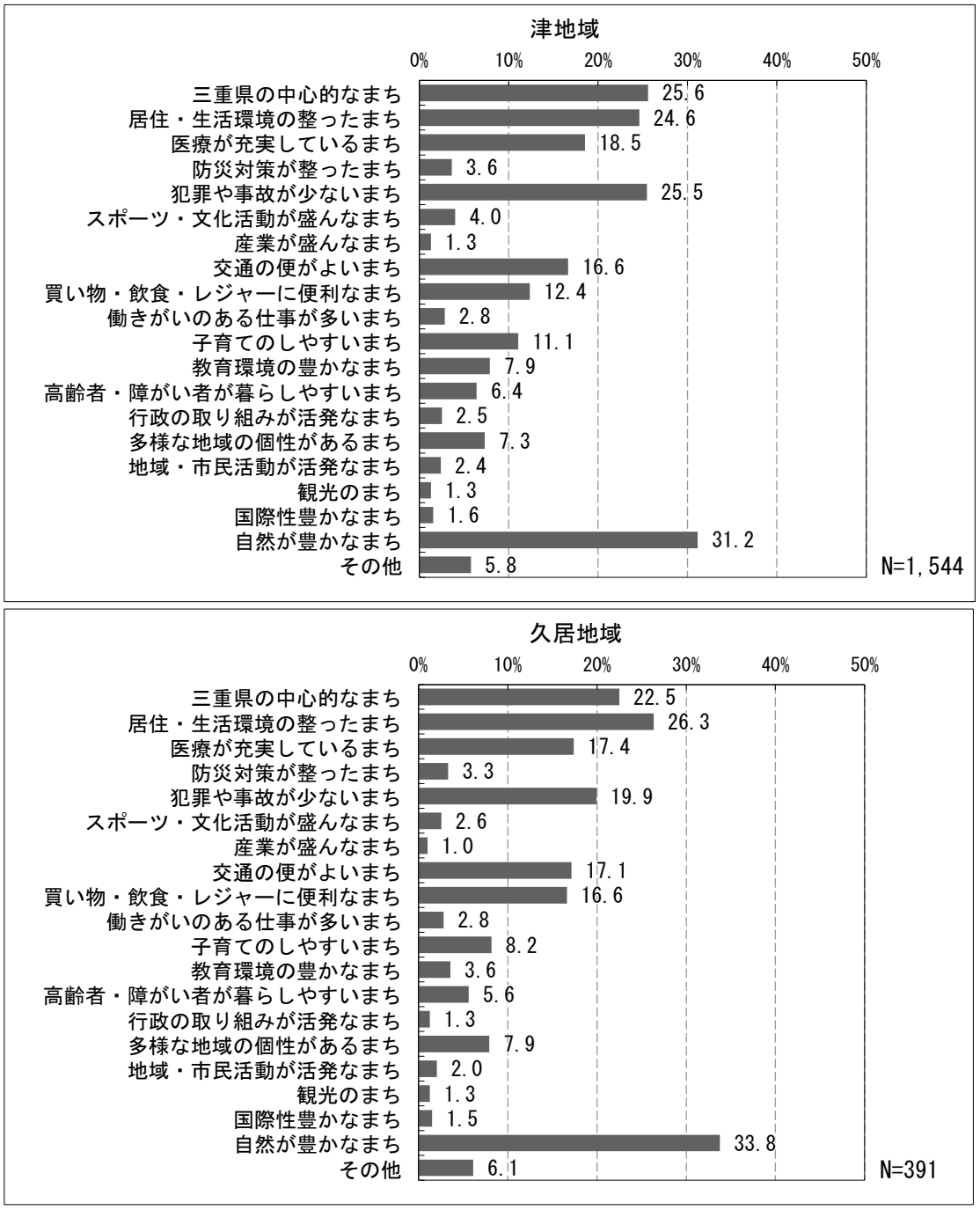


図表Ⅱ-4-2 現在の津市に対するイメージ（年代別）

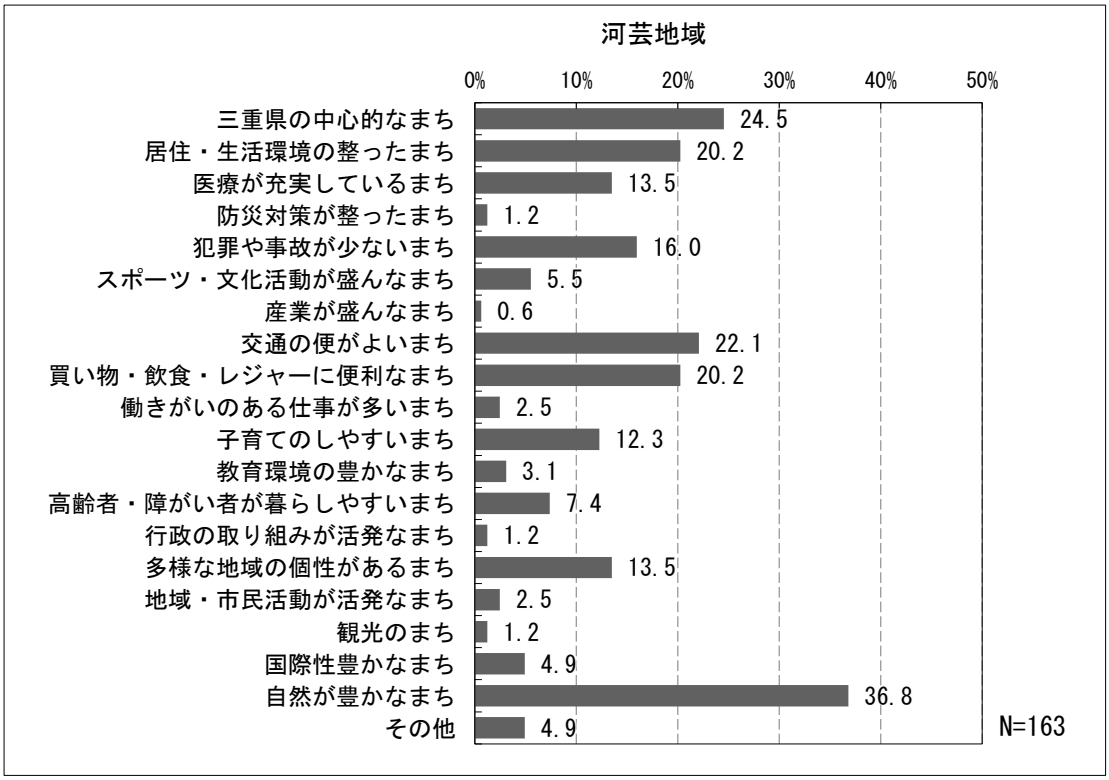


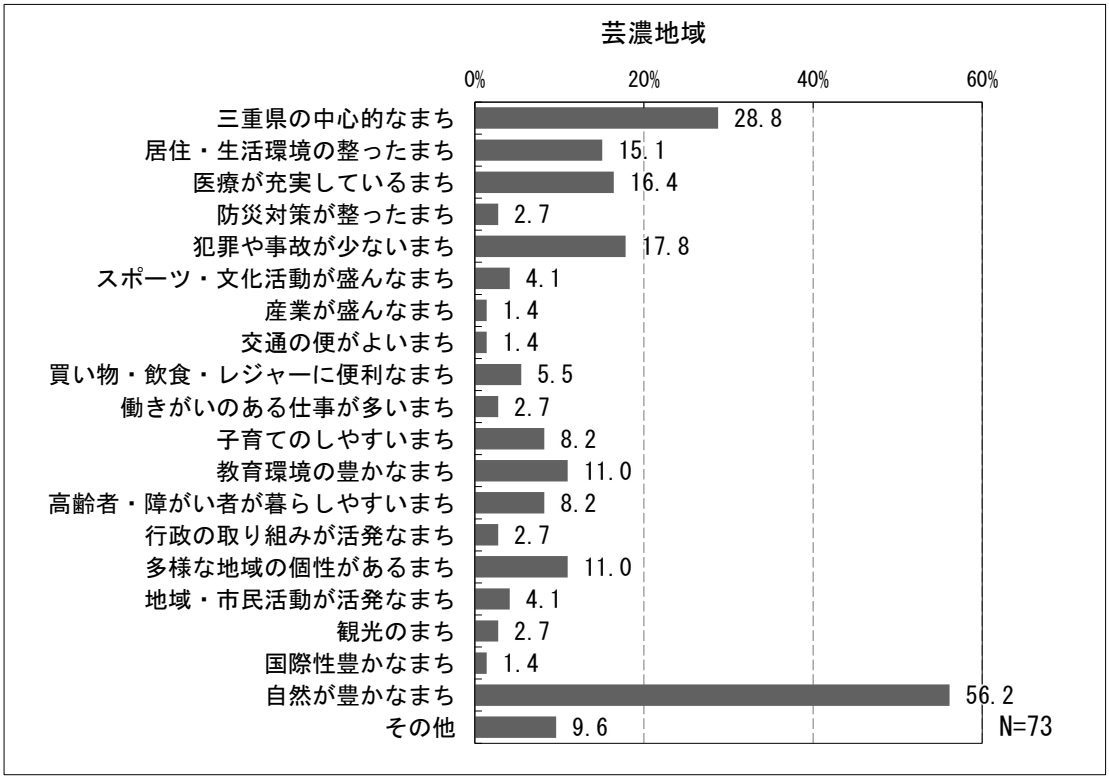
居住地別でみると、「香良洲地域」では「居住・生活環境が整ったまち」が最も多いほかは、どの地域も「自然が豊かなまち」が最も多くなっています。続く第２位、第３位には「三重県の中心的なまち」「犯罪や事故が少ないまち」が挙げられるなか、「美里地域」では第２位に「多様な地域の個性があるまち」が、「河芸地域」では第３位に「交通の便がよいまち」が挙がっています。

図表Ⅱ-4-3 現在の津市に対するイメージ（居住地別）

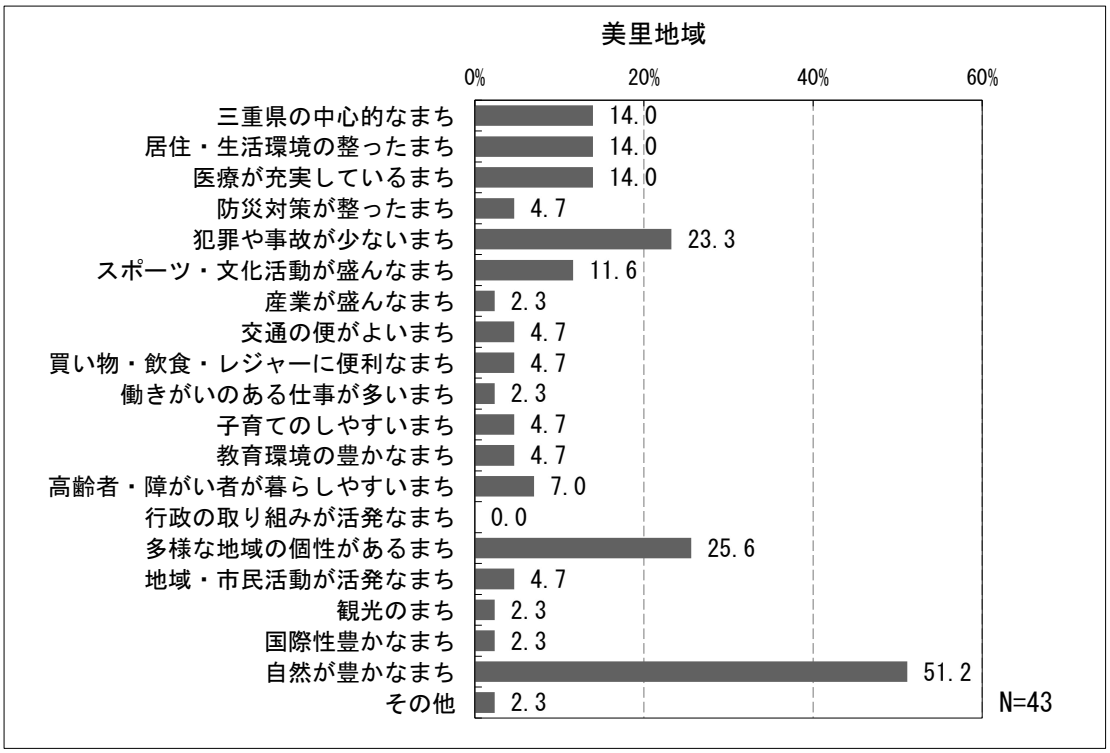


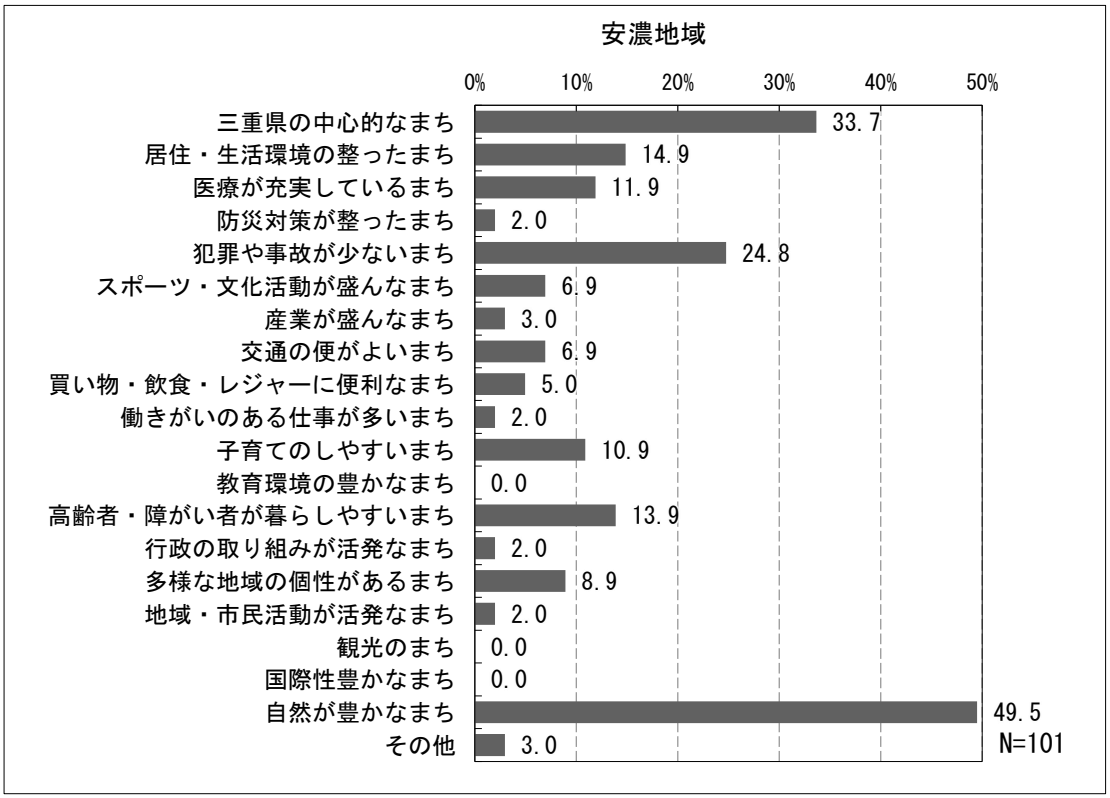
図表Ⅱ-4-3 現在の津市に対するイメージ（居住地別）



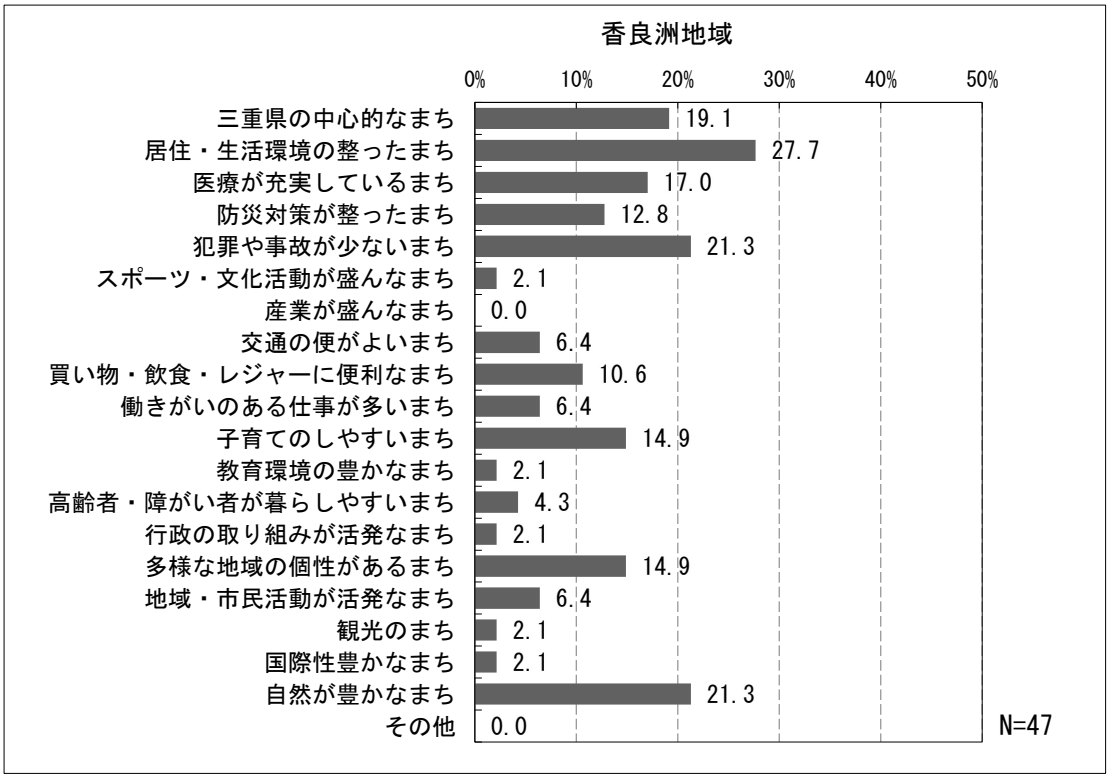


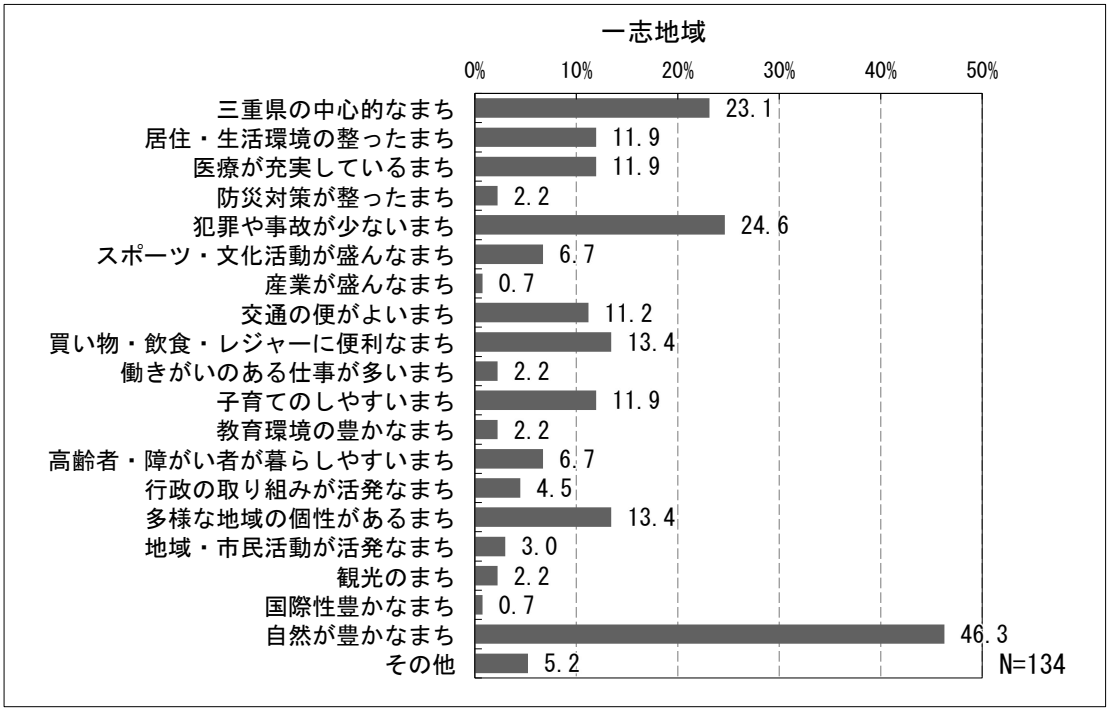
図表Ⅱ-4-3 現在の津市に対するイメージ（居住地別）



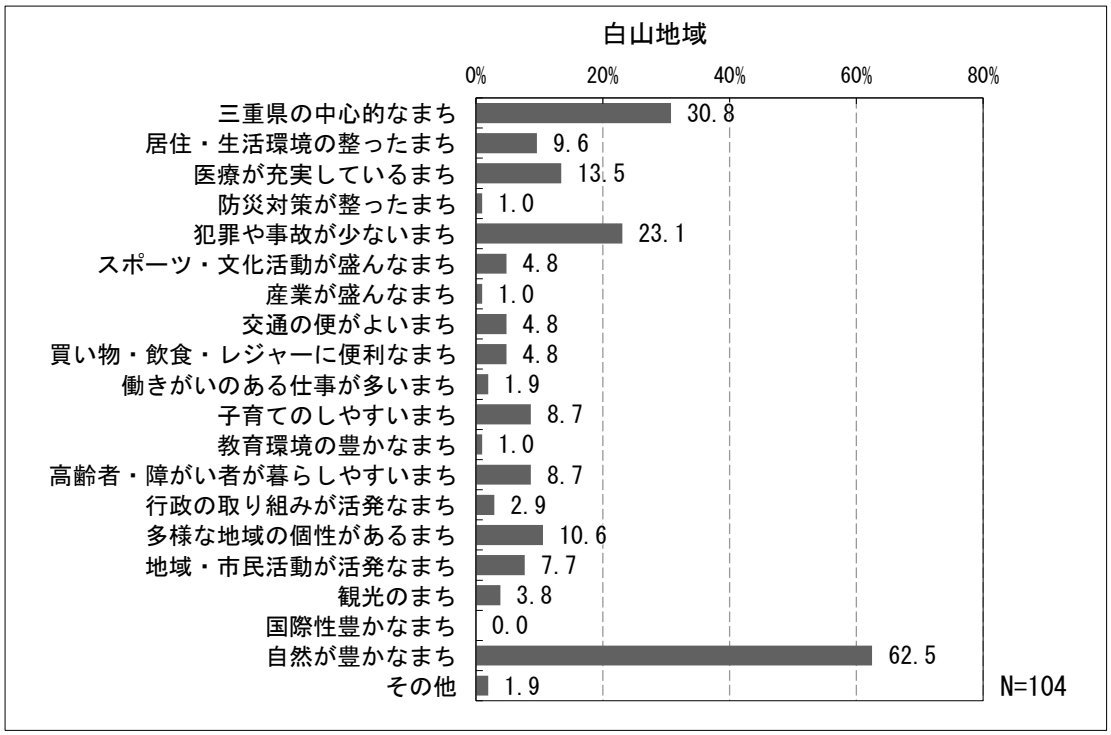


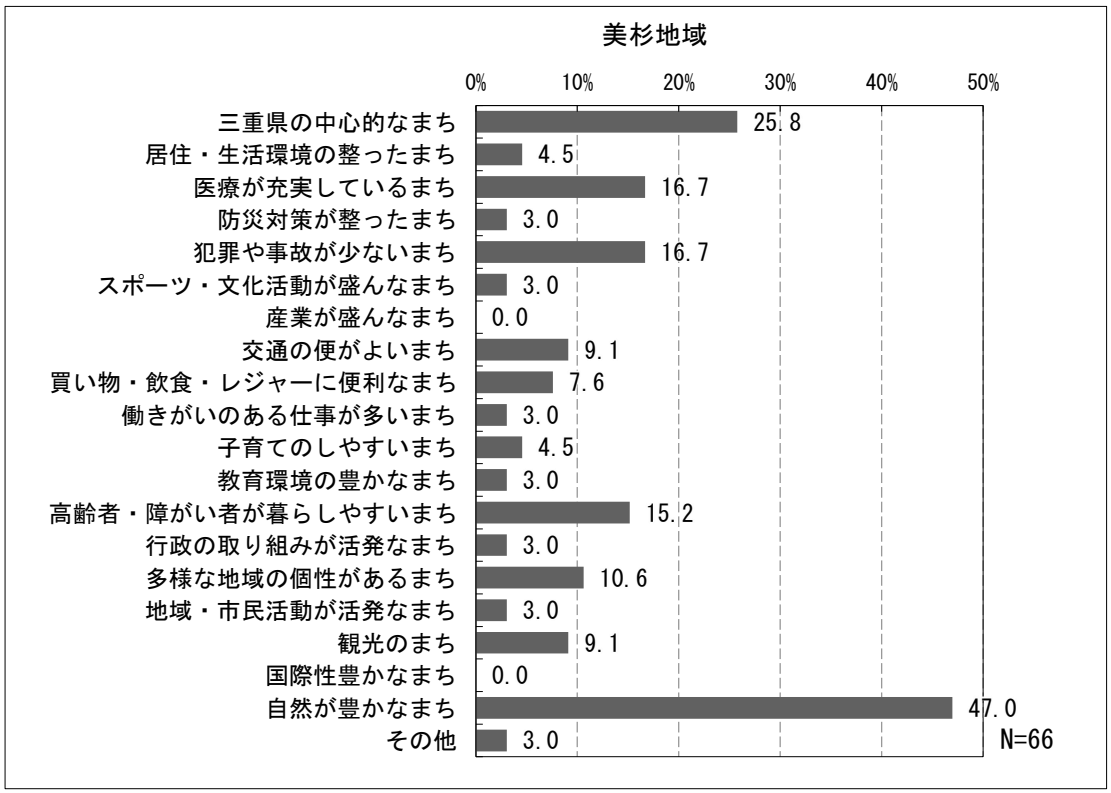
図表Ⅱ-4-3 現在の津市に対するイメージ（居住地別）





図表Ⅱ-4-3 現在の津市に対するイメージ（居住地別）

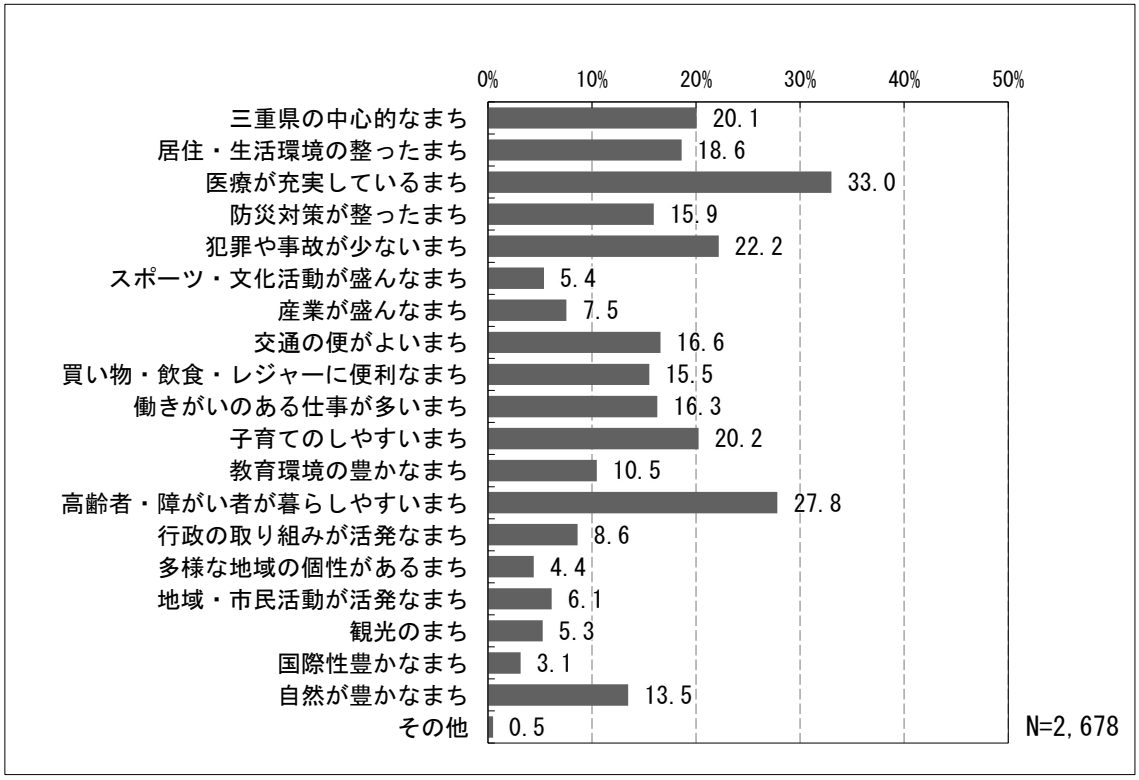




設問 13　これからの津市は、どんなまちになると良いと思いますか。設問 12 の項目から該当するものを３つまで選んで、番号をご記入ください。

これからの津市は、どんなまちになると良いかについては「医療が充実しているまち」が 33.0%で最も多く、次いで「高齢者・障がい者が暮らしやすいまち」(27.8%)、「犯罪や事故が少ないまち」(22.2%) となっています。

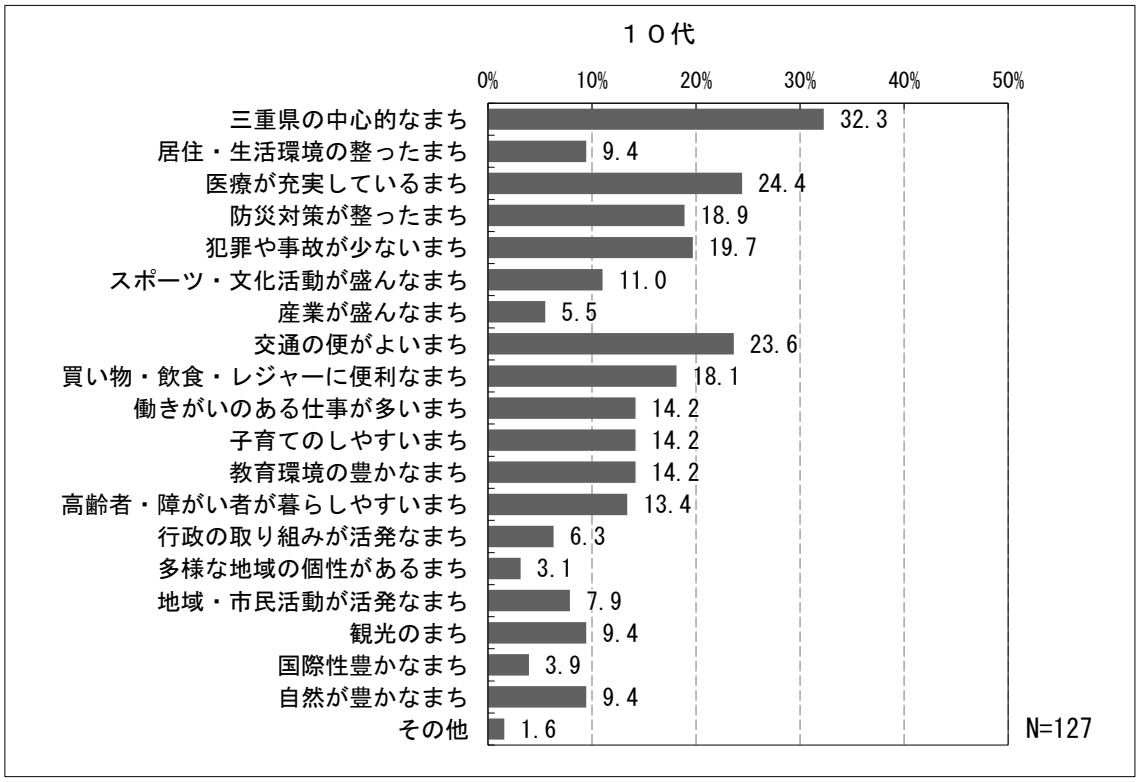
図表Ⅱ-4-4 これからの津市は、どんなまちになるとよいか(全体)

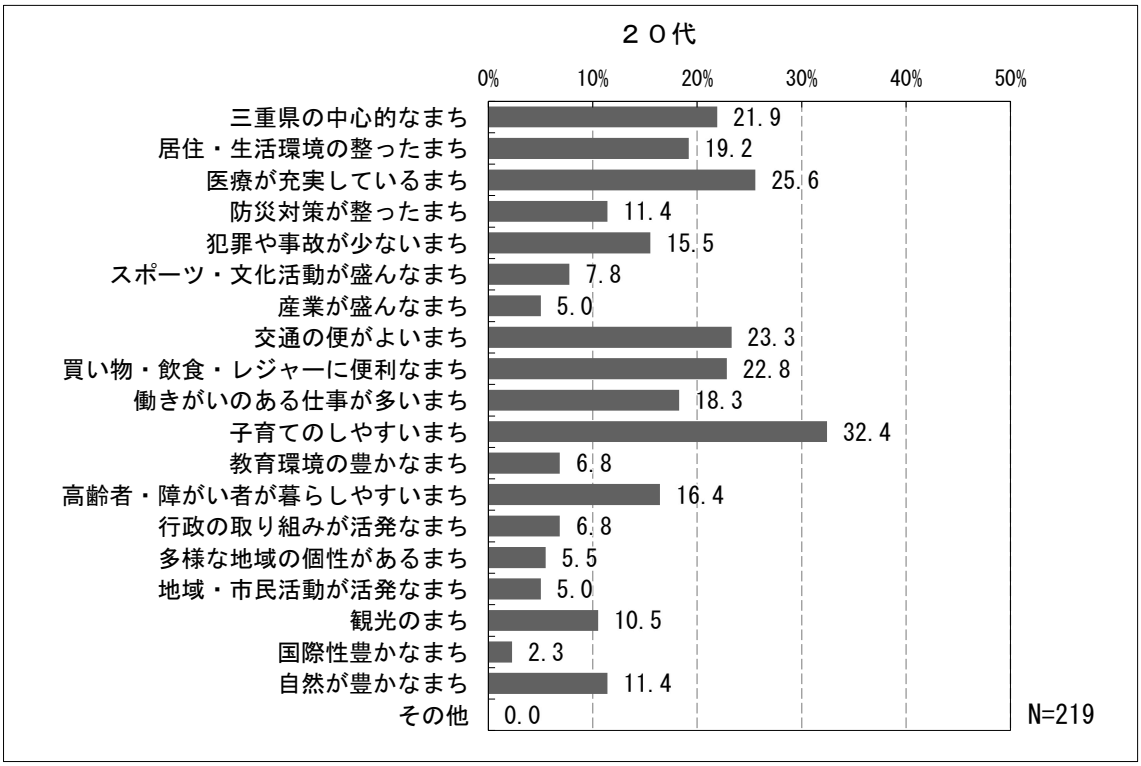


年代別では、「子育てのしやすいまち」が「20代」及び「30代」で第１位、「40代」で第２位と多いほか、「医療が充実しているまち」は「40代」「50代」「60代」で第１位、その他の年代でも第２位となっています。

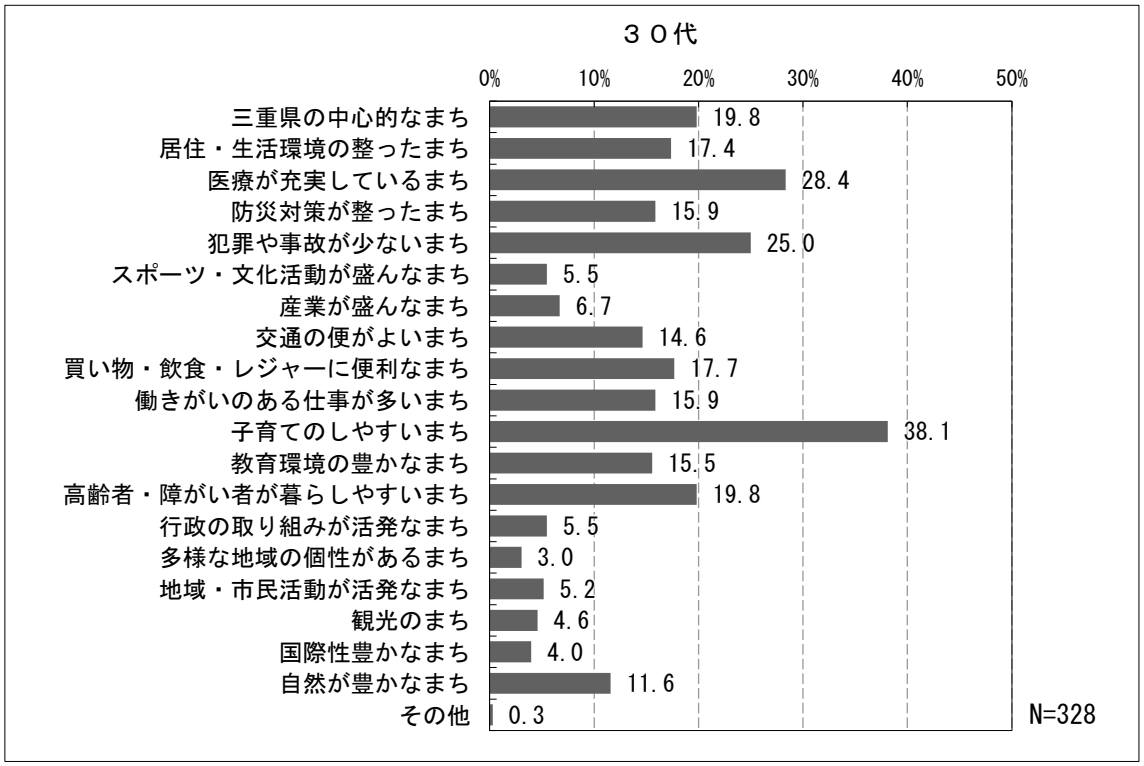
「高齢者・障がい者が暮らしやすいまち」については、年代が上がるにつれて多くなっています。

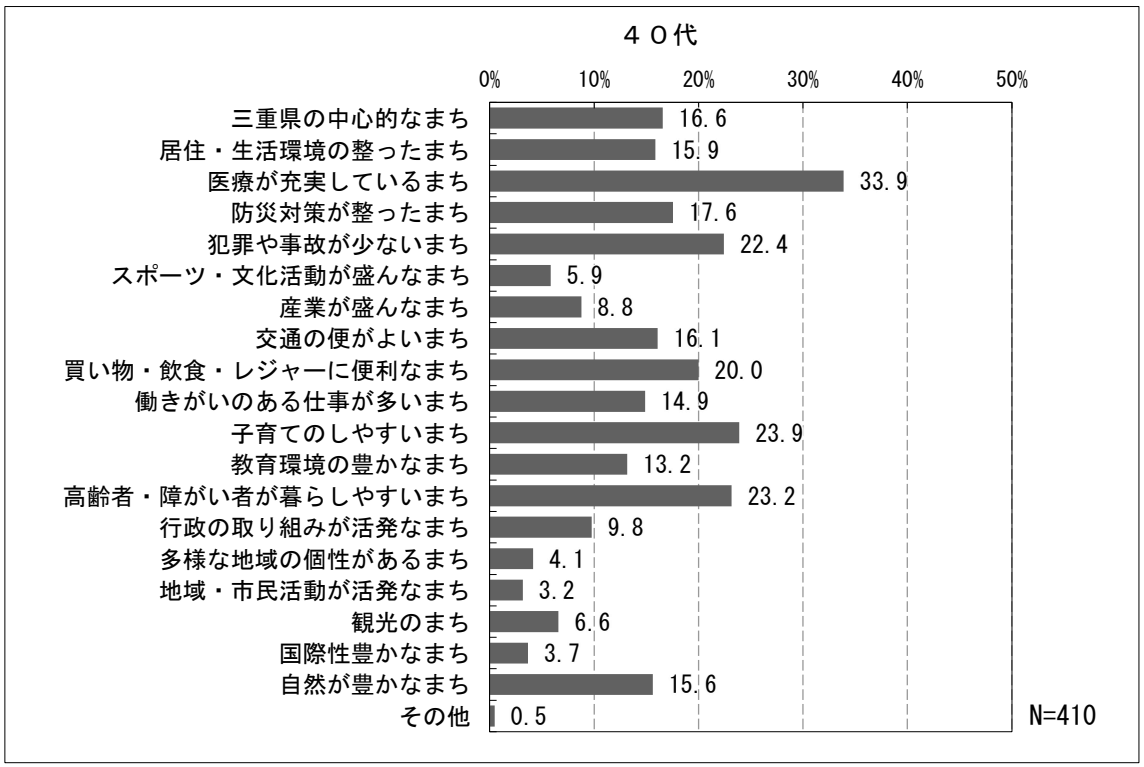
図表Ⅱ-4-5 これからの津市は、どんなまちになるとよいか（年代別）



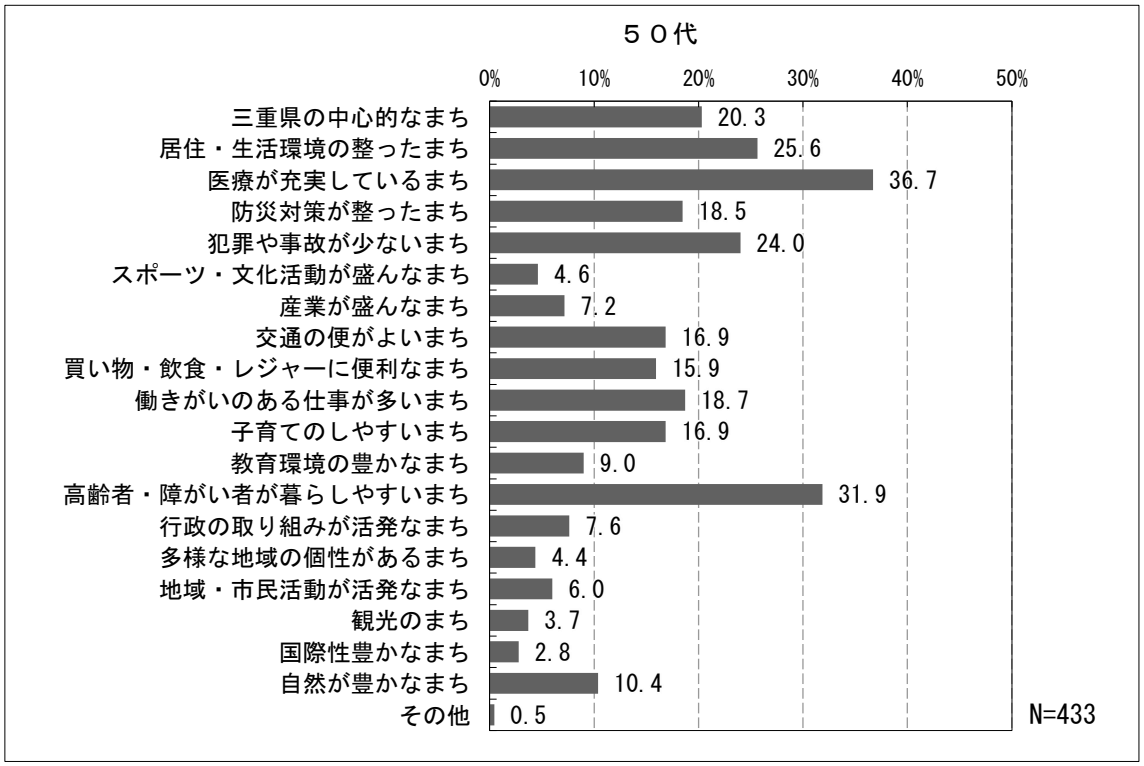


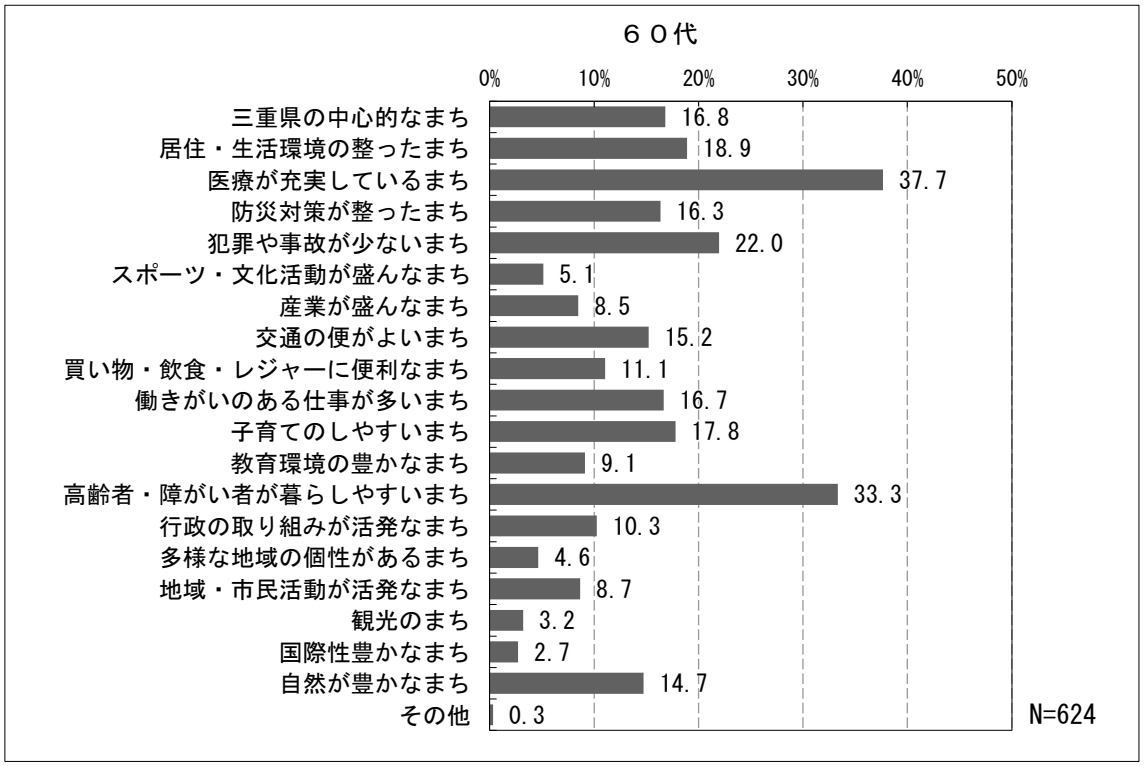
図表Ⅱ-4-5 これからの津市は、どんなまちになるとよいか（年代別）



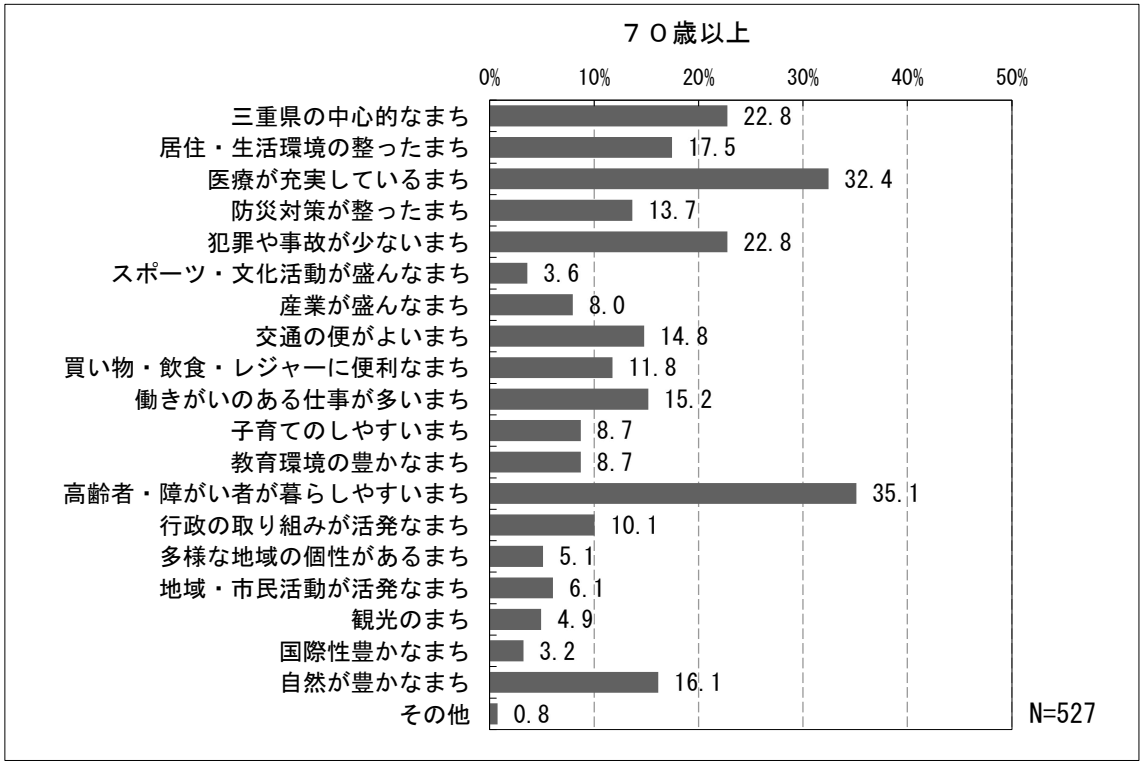


図表Ⅱ-4-5 これからの津市は、どんなまちになるとよいか（年代別）





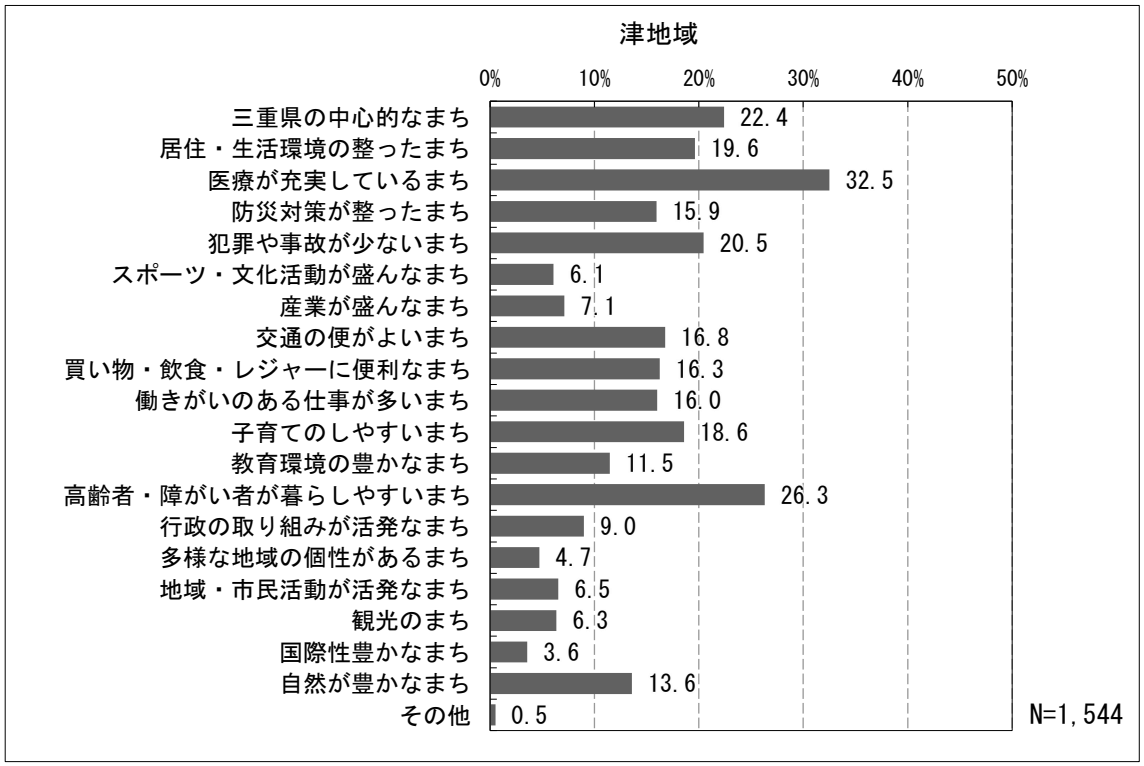
図表Ⅱ-4-5 これからの津市は、どんなまちになるとよいか（年代別）

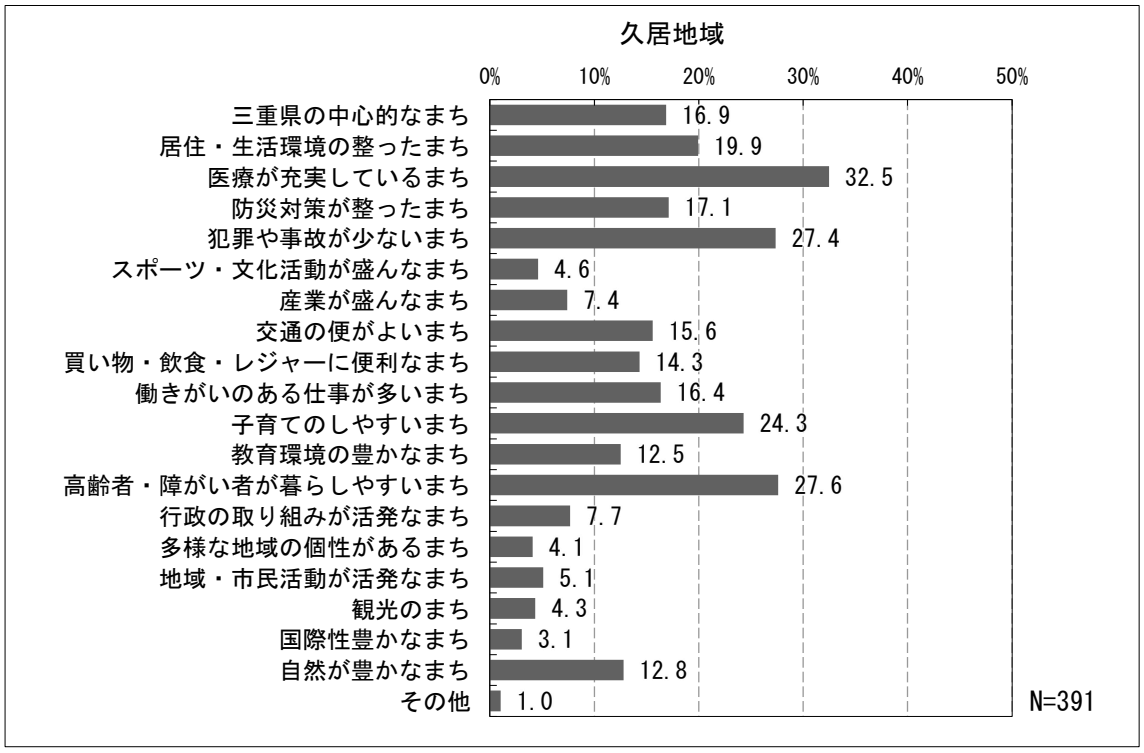


居住地別でみると、10 地域中８地域で第１位に「医療が充実しているまち」、第２位に「高齢者・障がい者が暮らしやすいまち」が挙がっています。

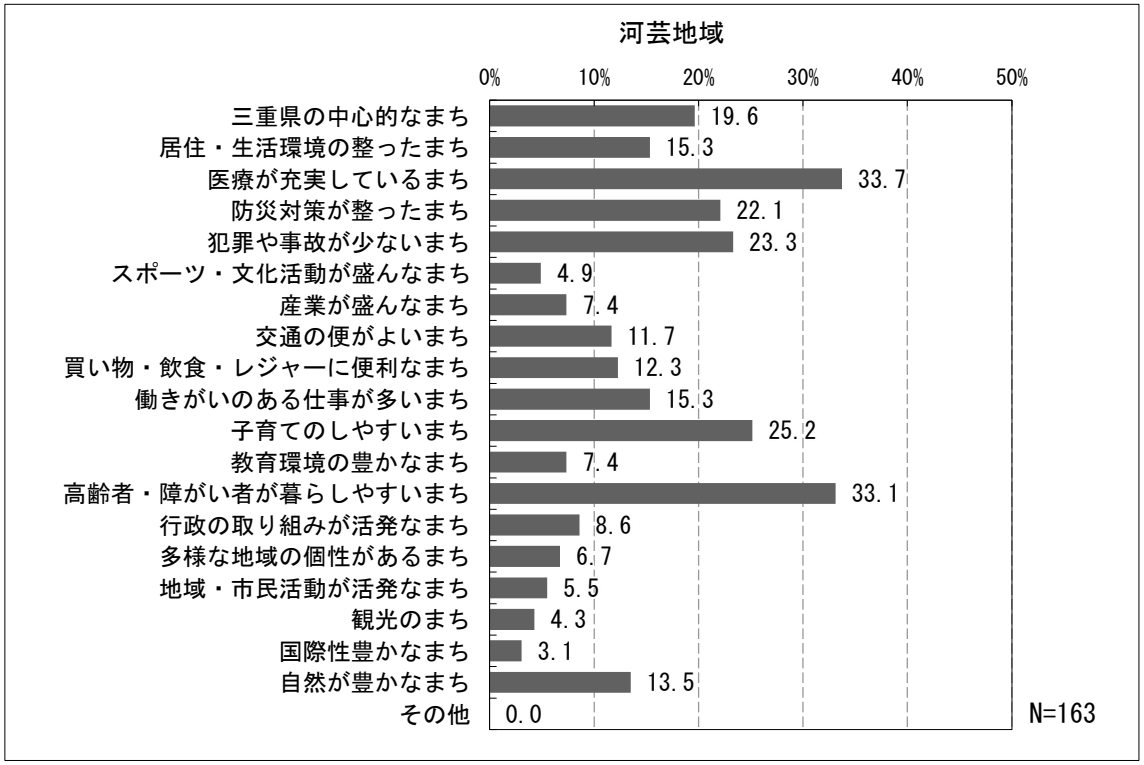
「美里地域」では第１位に「子育てのしやすいまち」、第２位に「高齢者・障がい者が暮らしやすいまち」が挙がっているほか、「香良洲地域」では第１位に「犯罪や事故が少ないまち」、第２位に「子育てのしやすいまち」が挙がっています。

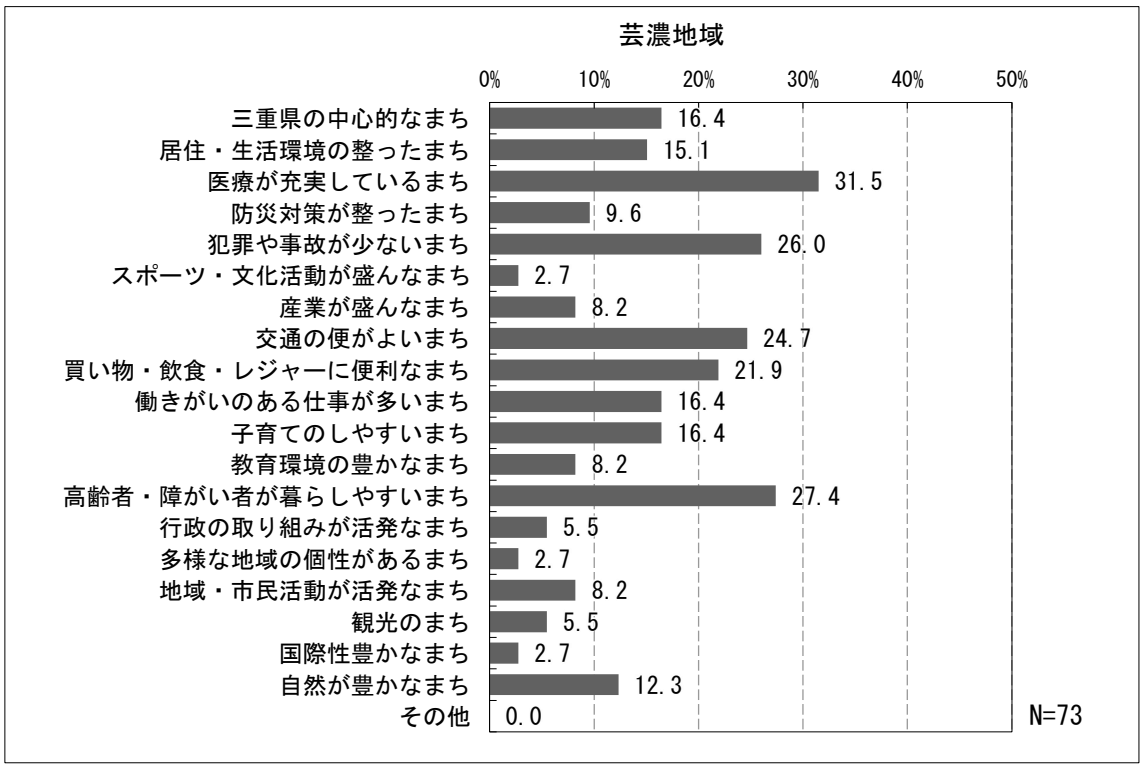
図表Ⅱ-4-6 これからの津市は、どんなまちになるとよいか（居住地別）



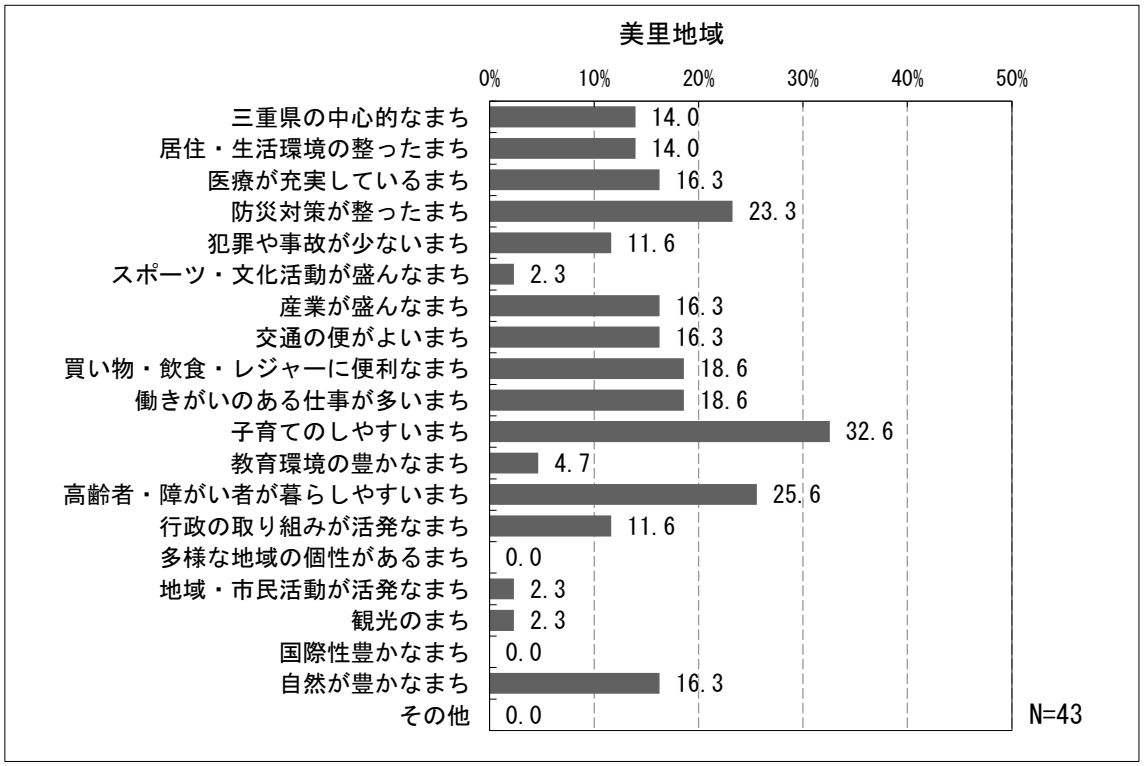


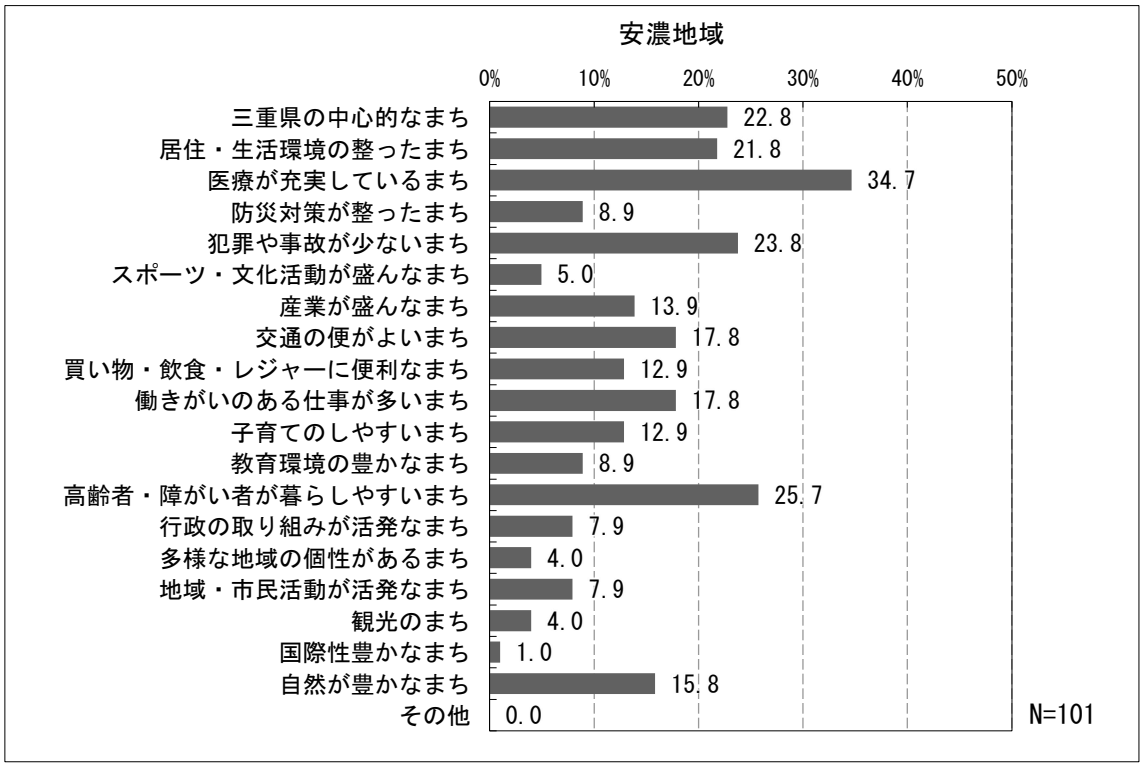
図表Ⅱ-4-6 これからの津市は、どんなまちになるとよいか（居住地別）



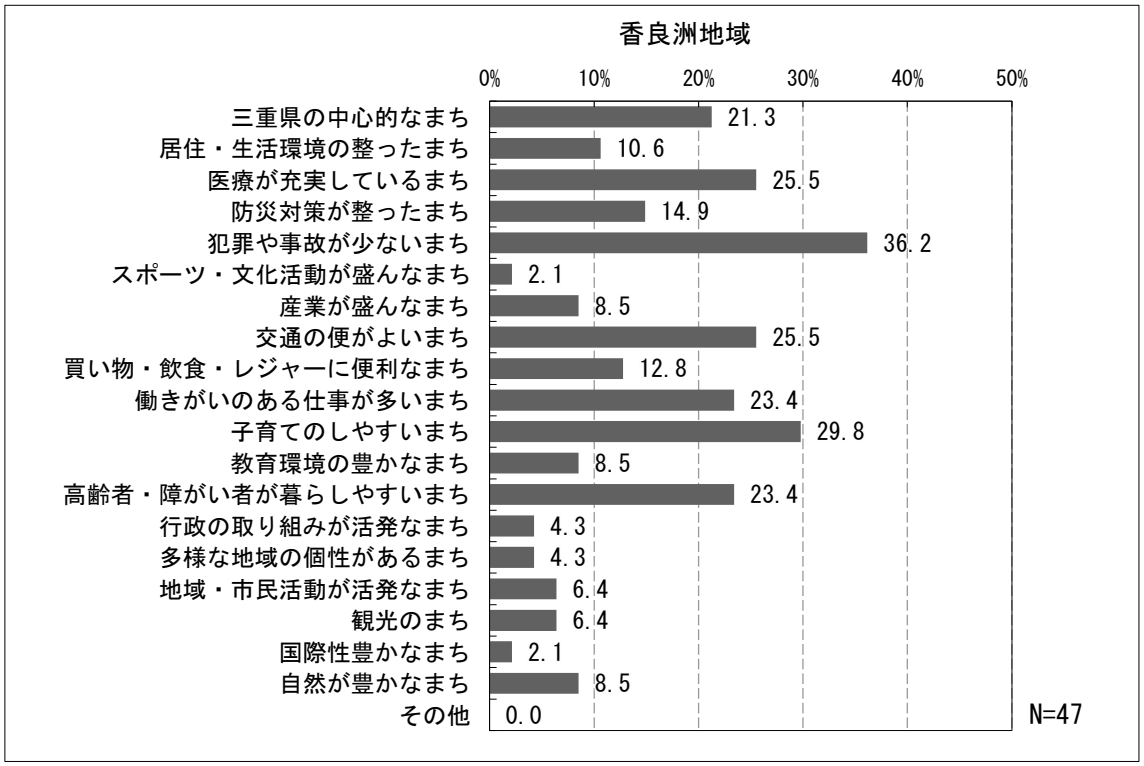


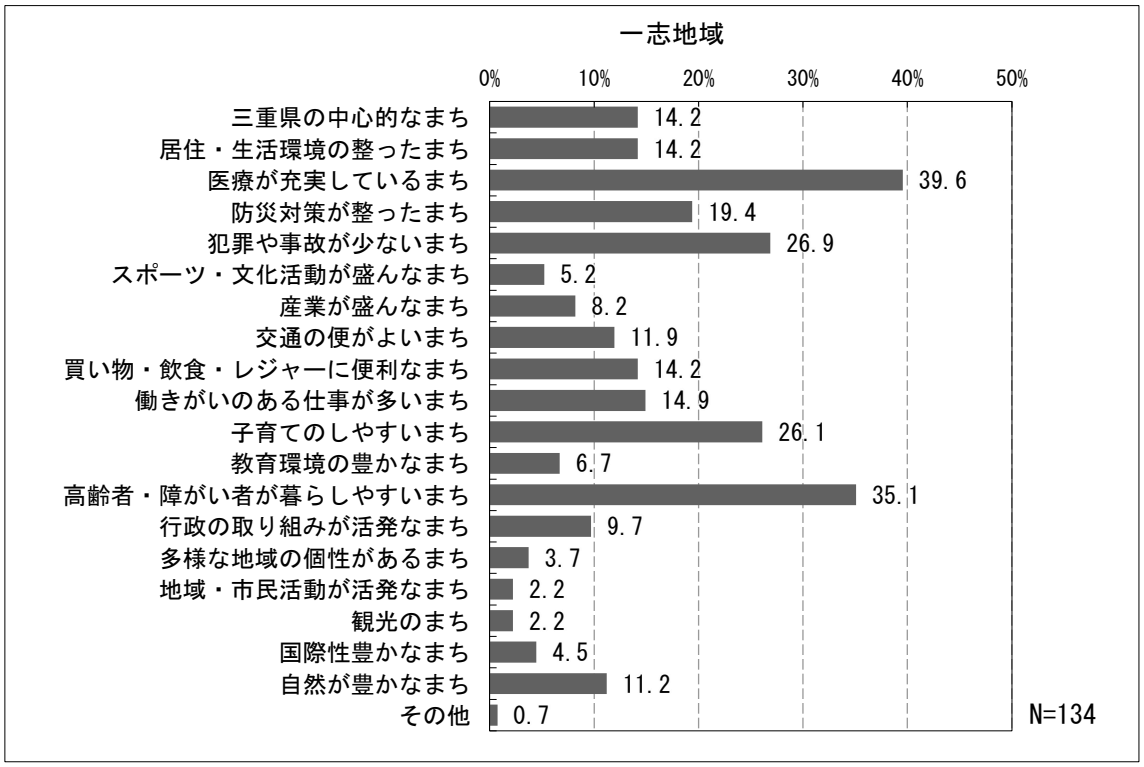
図表Ⅱ-4-6 これからの津市は、どんなまちになるとよいか（居住地別）



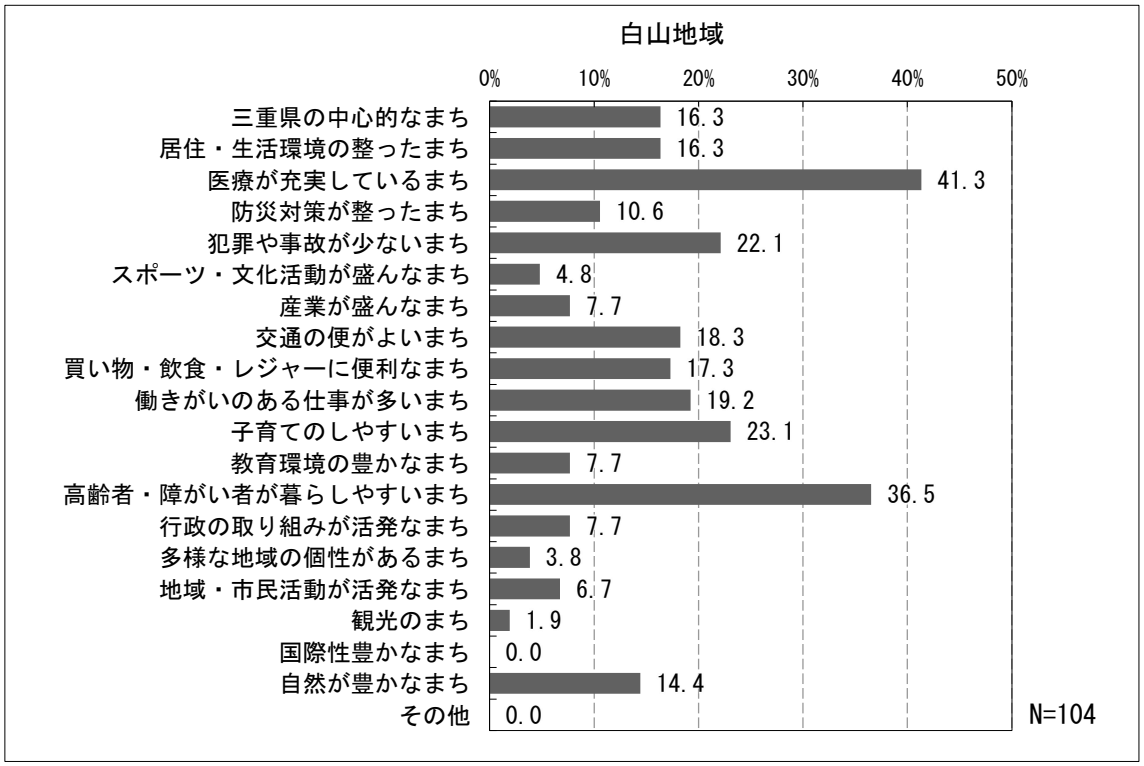


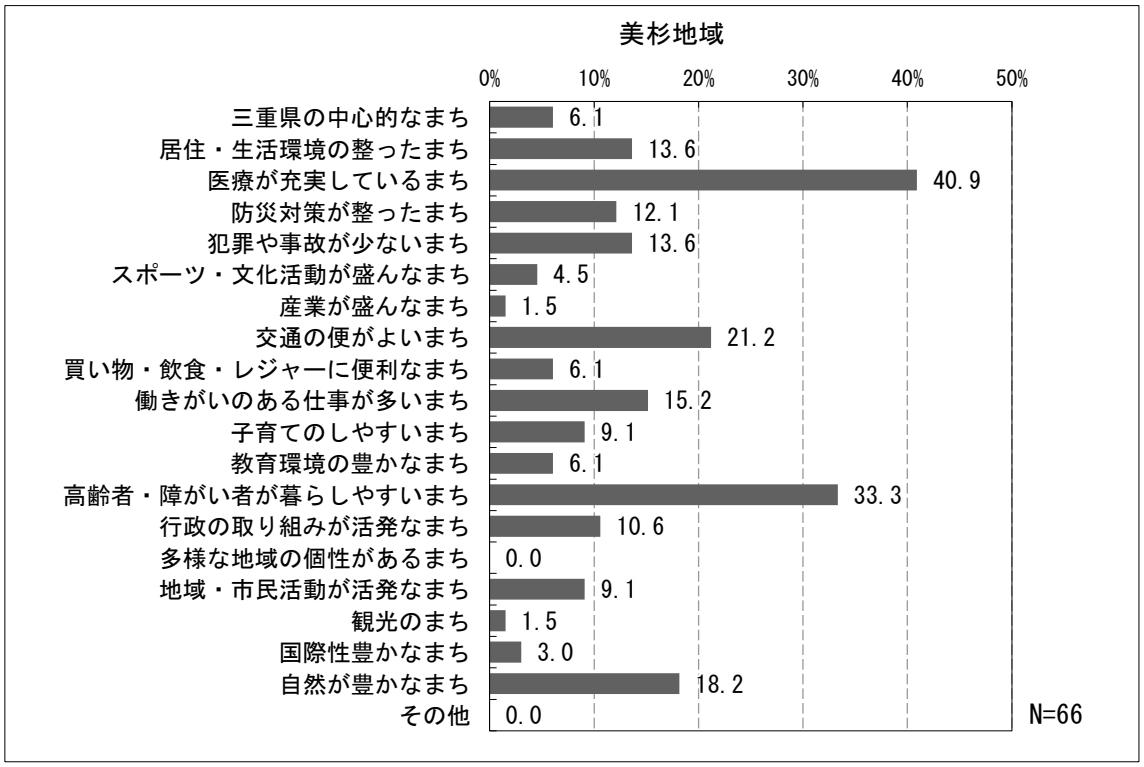
図表Ⅱ-4-6 これからの津市は、どんなまちになるとよいか（居住地別）





図表Ⅱ-4-6 これからの津市は、どんなまちになるとよいか（居住地別）



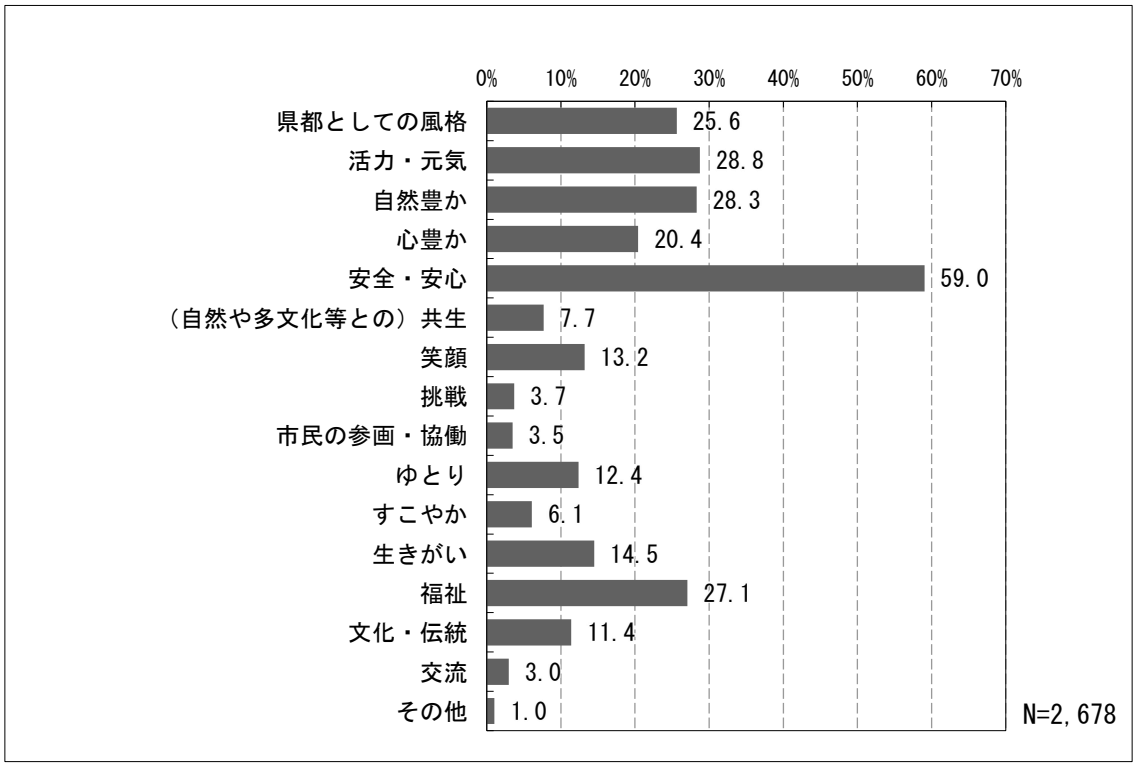


（２）津市の将来像に連想するキーワード

設問 14　あなたが理想とする津市のすがたについて、連想するキーワードを選んでください。＜３つまでに○印＞

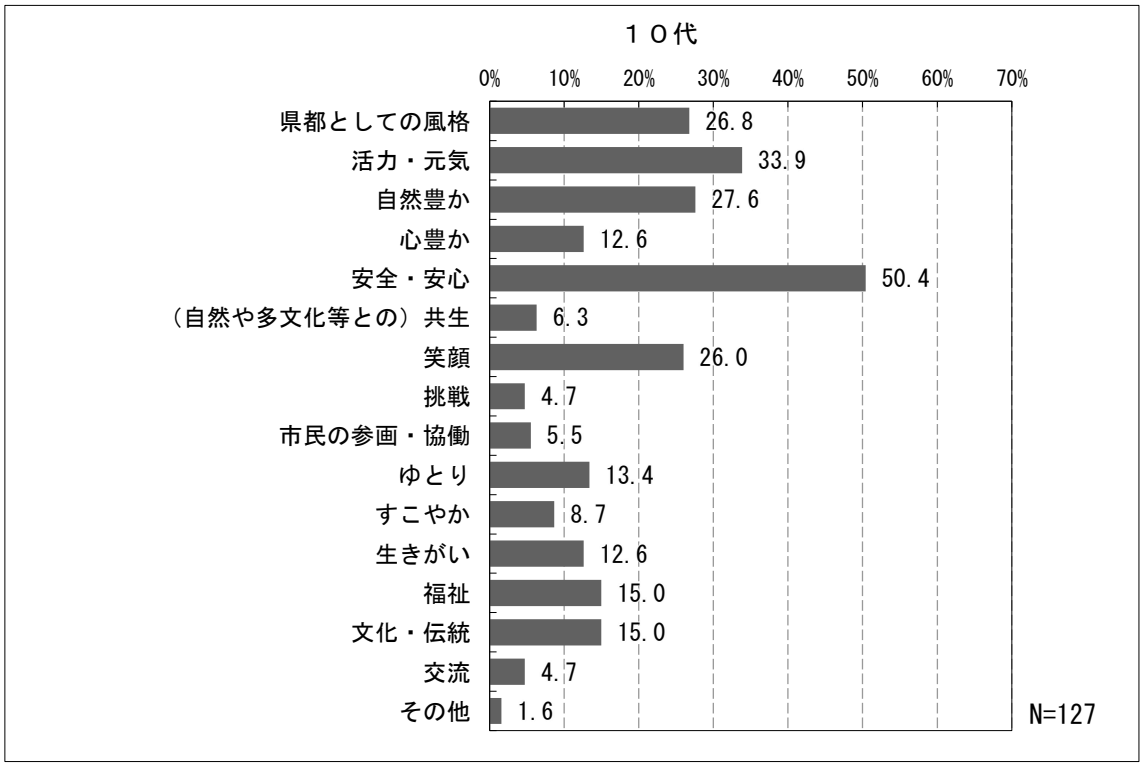
理想とする津市のすがたについて「キーワード」で選択してもらったところ、「安全・安心」が 59.0%と最も多く、次いで「活力・元気」（28.8%）、「自然豊か」（28.3%）、「福祉」（27.1%）、「県都としての風格」（25.6%）となっています。

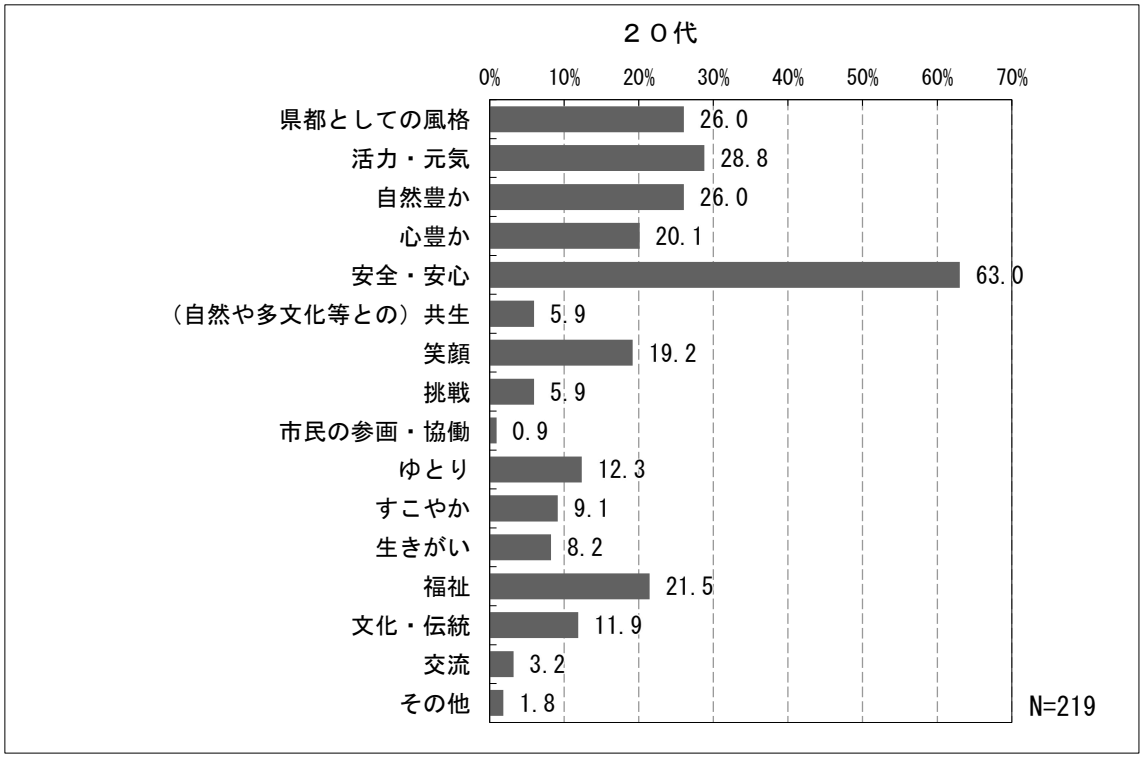
図表Ⅱ-4-7　理想とする津市のすがた（全体）



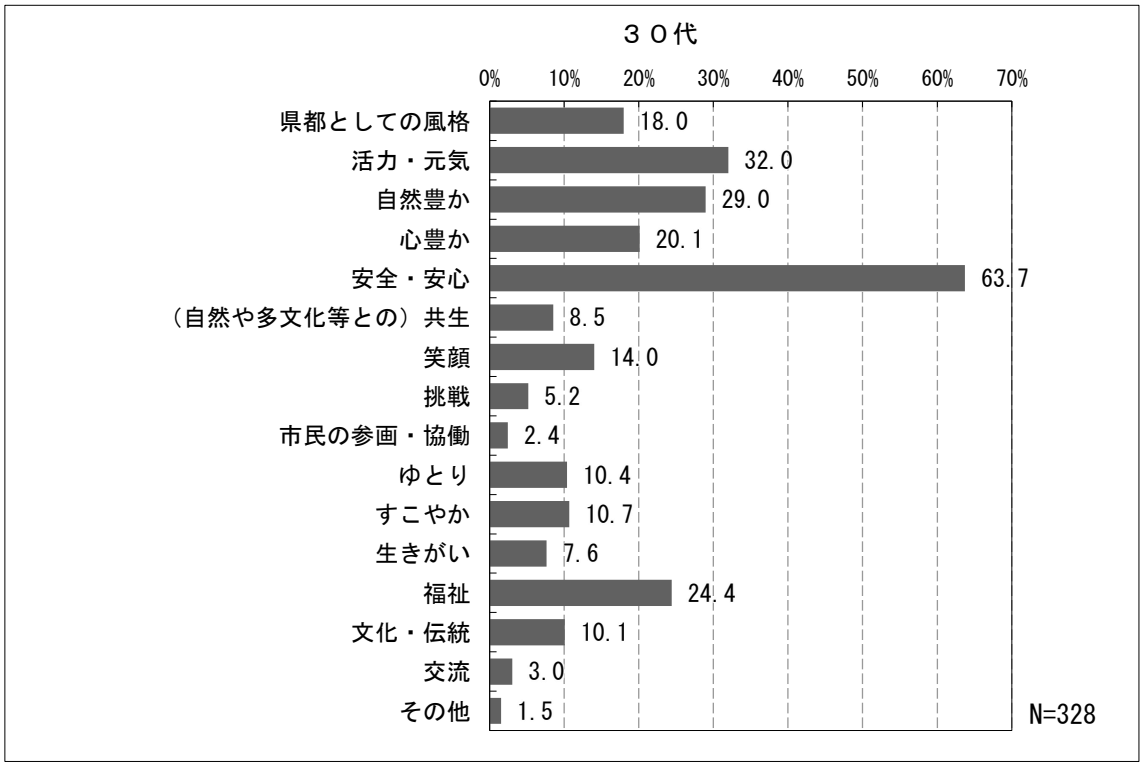
年代別では、いずれの年代も「安心・安全」が最も多く、「10 代」から「50 代」ででは次いで「活力・元気」が挙がっています。「60 代」では「自然豊か」が、「70 歳以上」では「福祉」が第２位に挙がっており、「福祉」の割合は年代が上がるにつれて高くなっています。

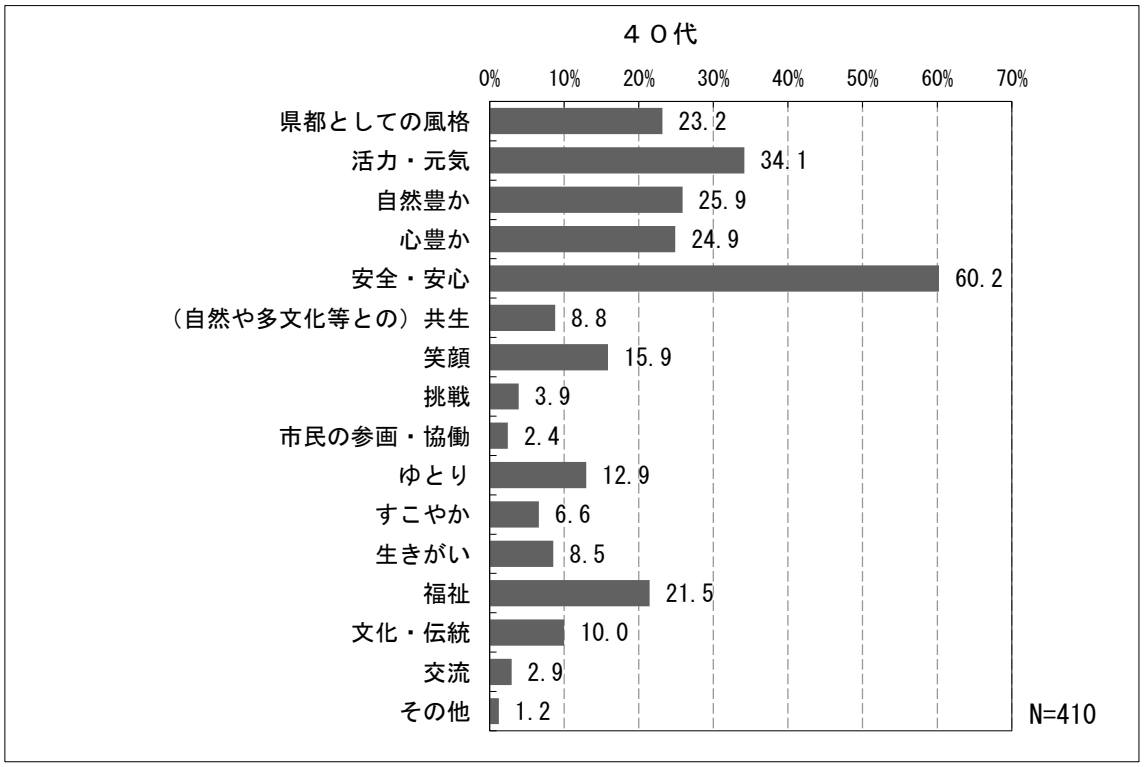
図表Ⅱ-4-8 理想とする津市のすがた（年代別）



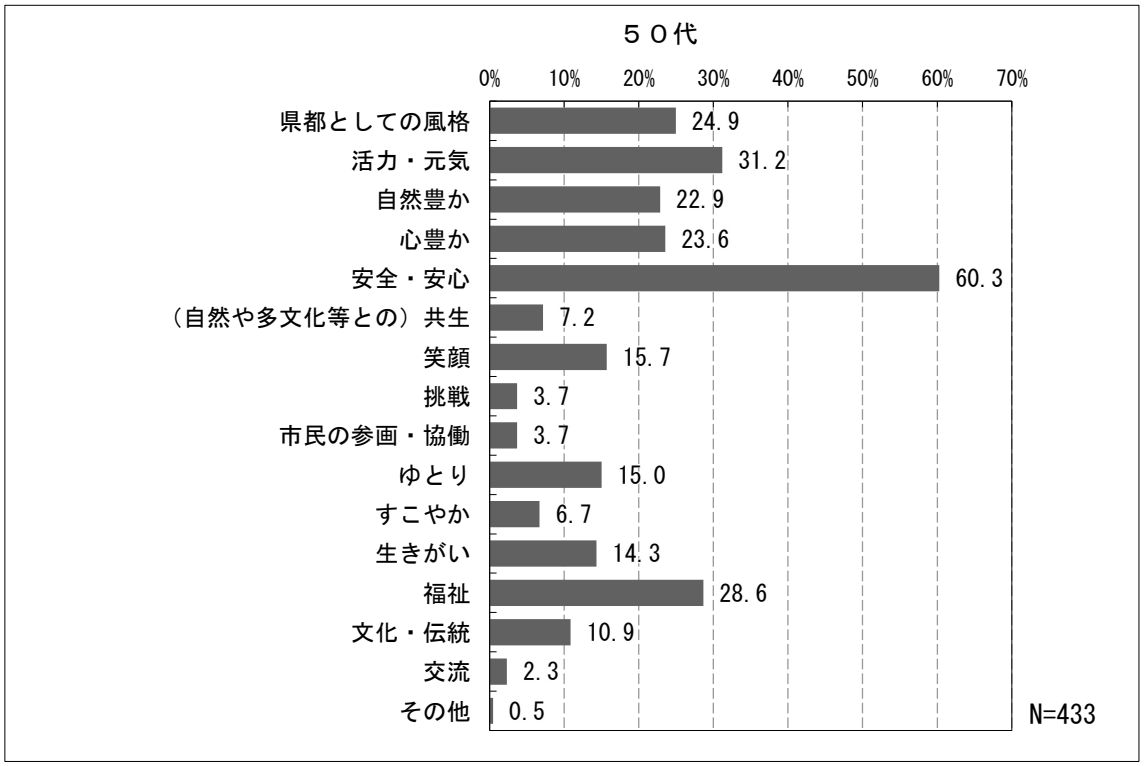


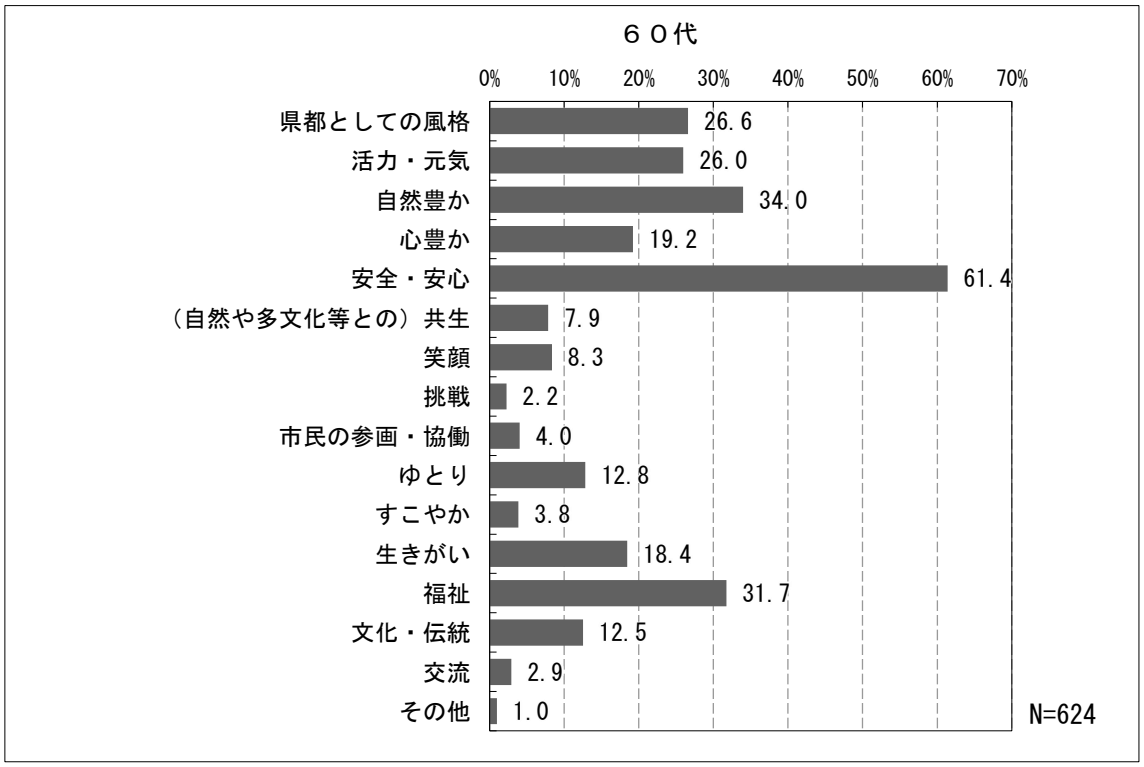
図表Ⅱ-4-8 理想とする津市のすがた(年代別)



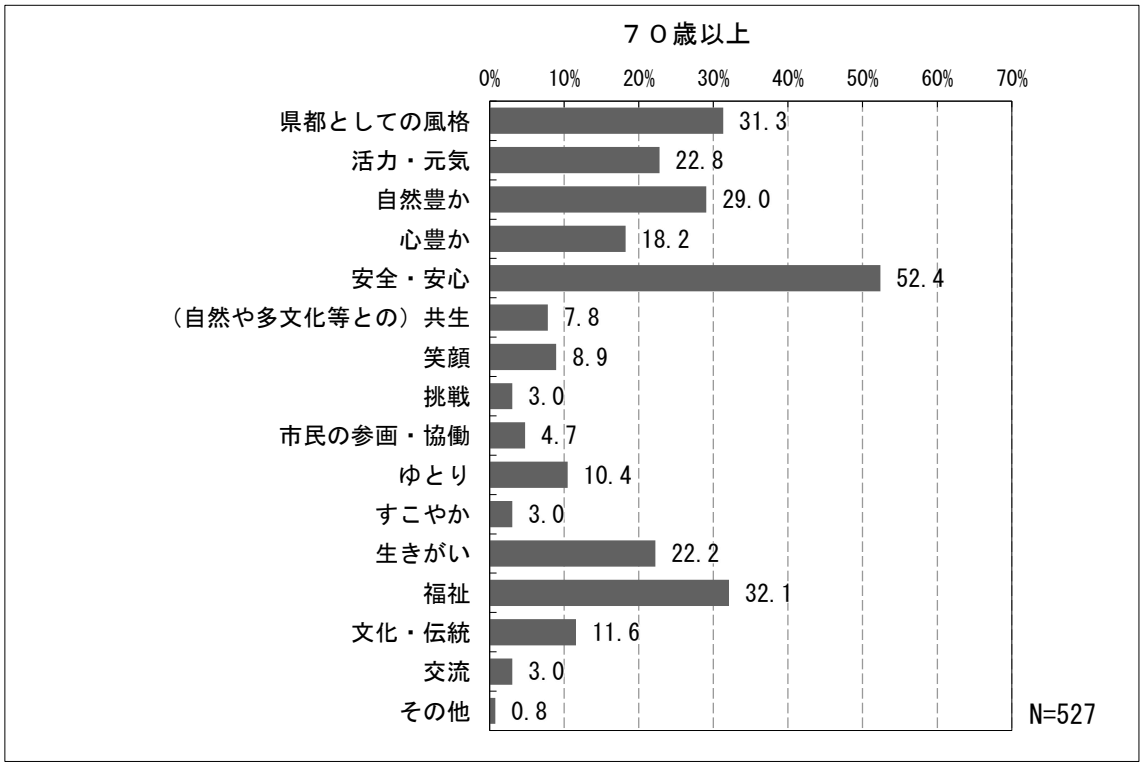


図表Ⅱ-4-8 理想とする津市のすがた(年代別)





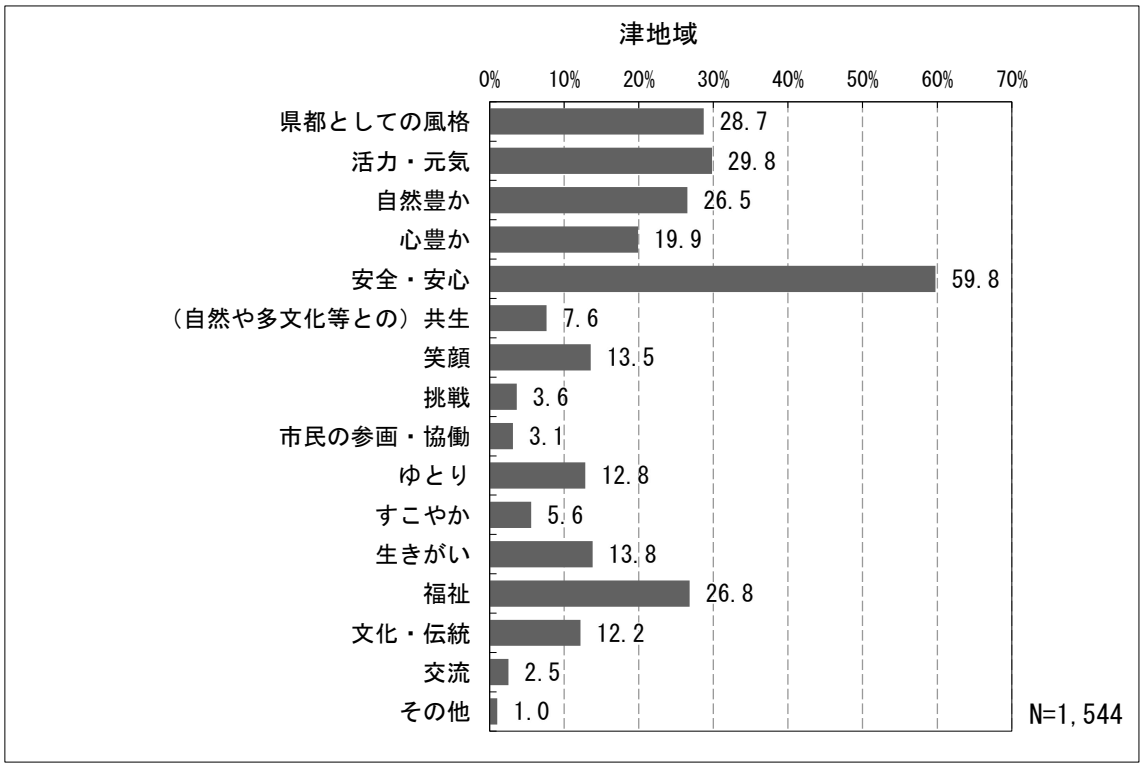
図表Ⅱ-4-8 理想とする津市のすがた(年代別)

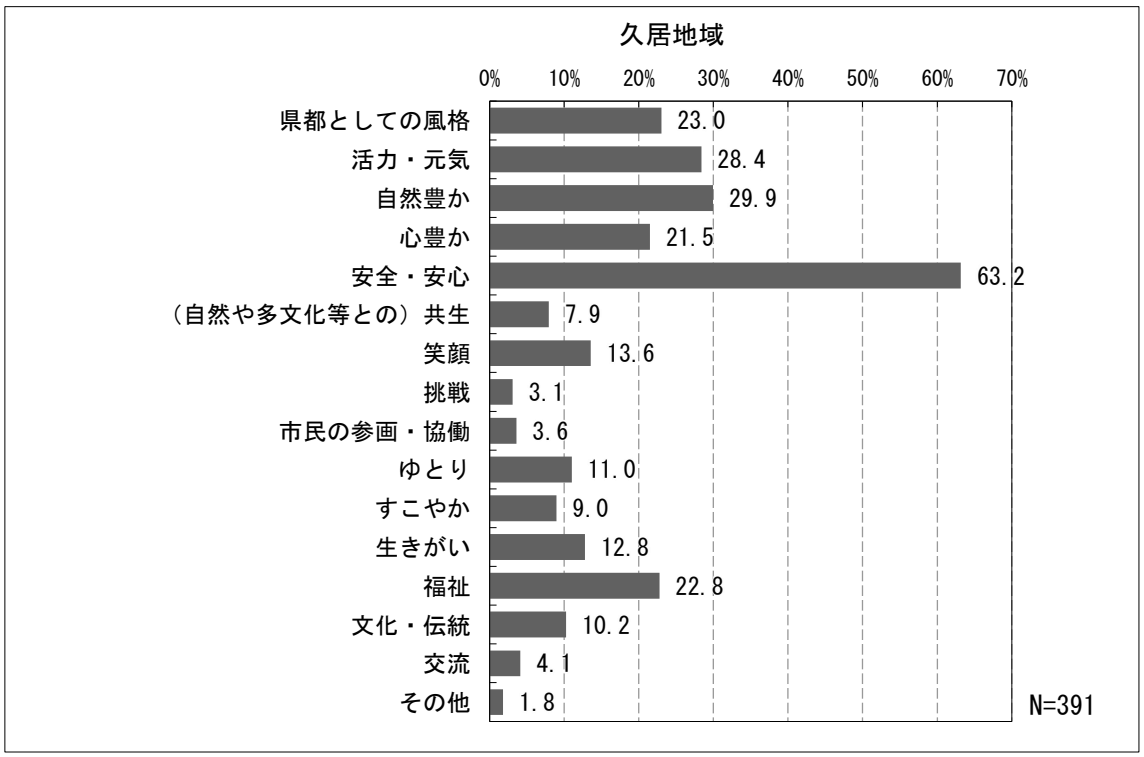


居住地別でみると、10 地域すべてで「安全・安心」が」第１位となっており、第２位には「久居地域」「芸濃地域」「香良洲地域」「一志地域」「白山地域」「美杉地域」の６地域で「自然豊か」が、「津地域」「美里地域」「安濃地域」の３地域で「活力・元気」が挙がっており、「河芸地域」では「福祉」が挙がっています。

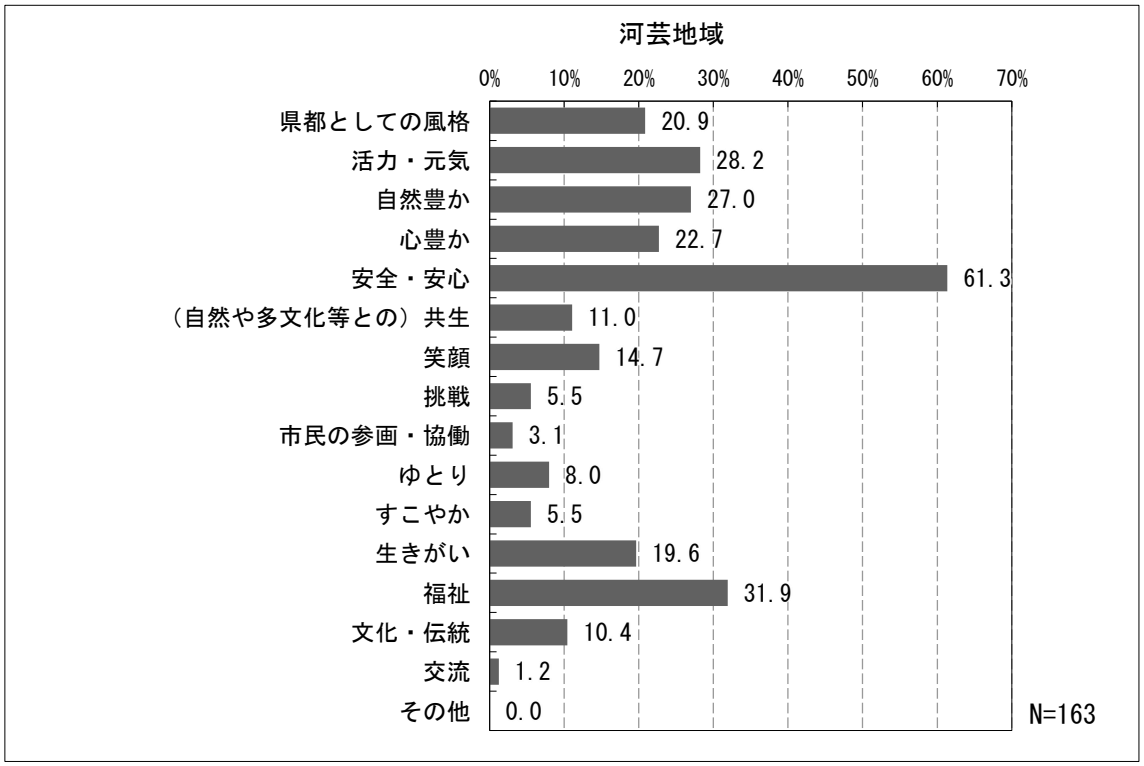
いずれの地域でも、「安全・安心」「自然豊か」「活力・元気」「福祉」が上位を占めるほか、「津地域」「芸濃地域」「安濃地域」では「県都としての風格」も比較的多くなっています。

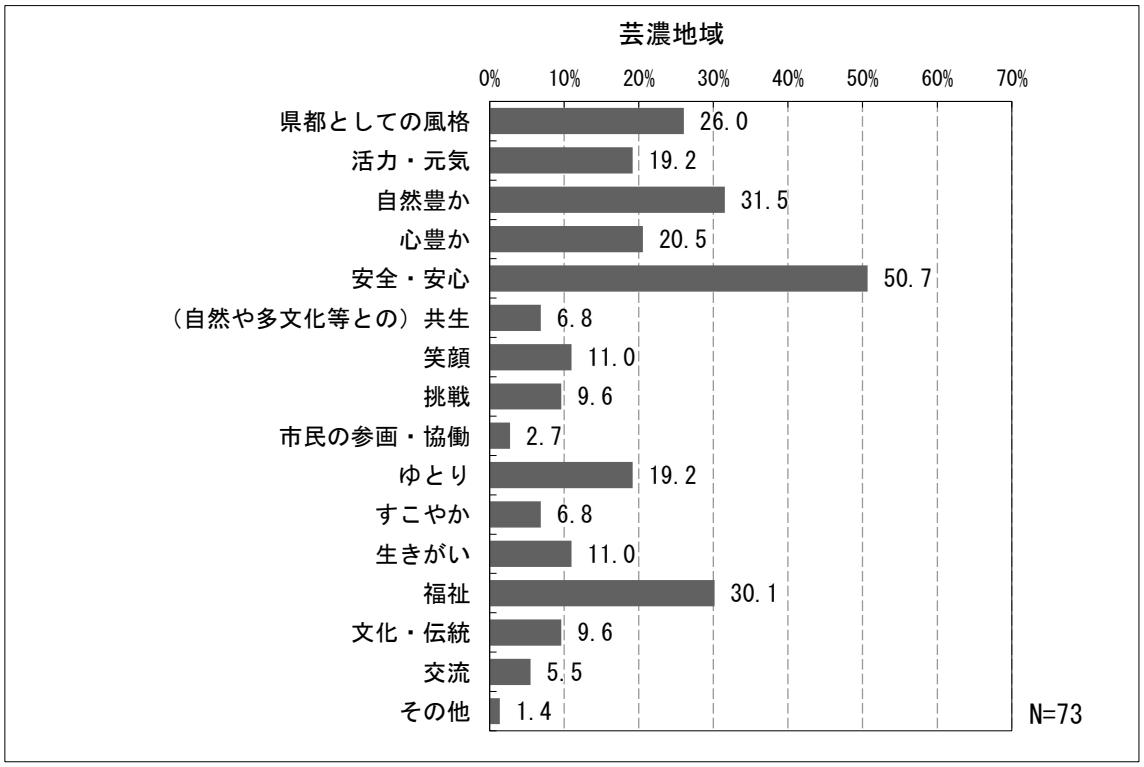
図表Ⅱ-4-9 理想とする津市のすがた(居住地別)



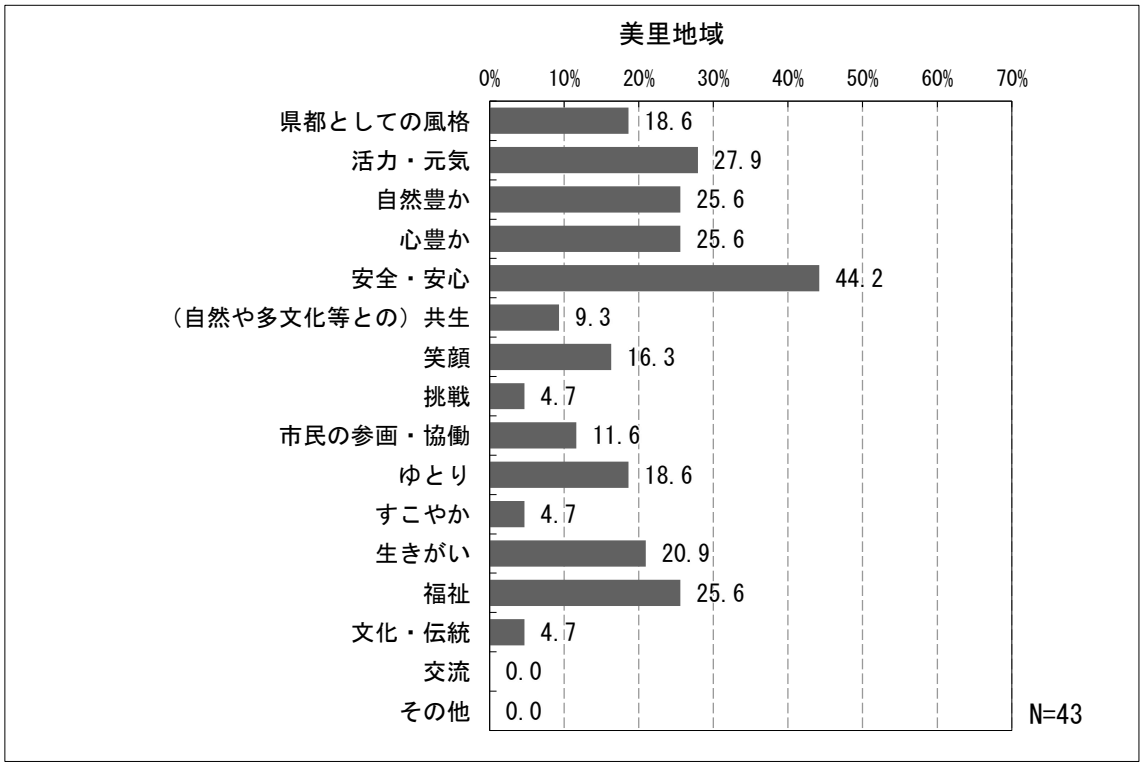


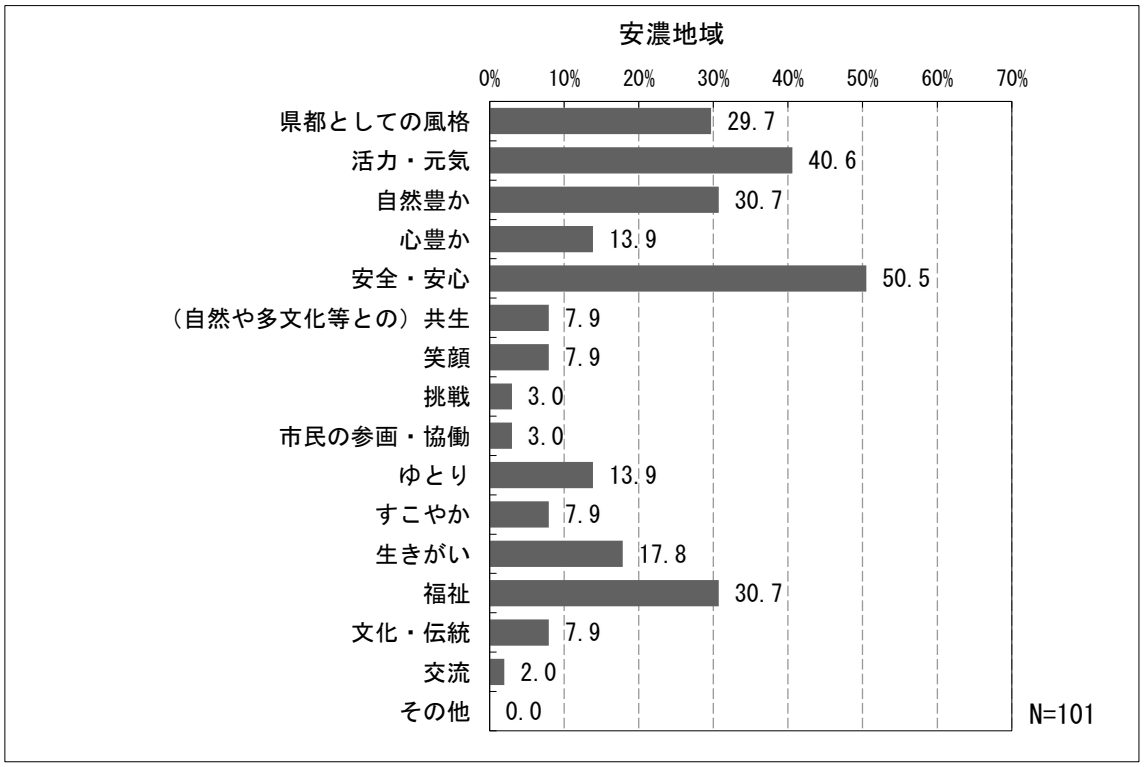
図表Ⅱ-4-9 理想とする津市のすがた(居住地別)



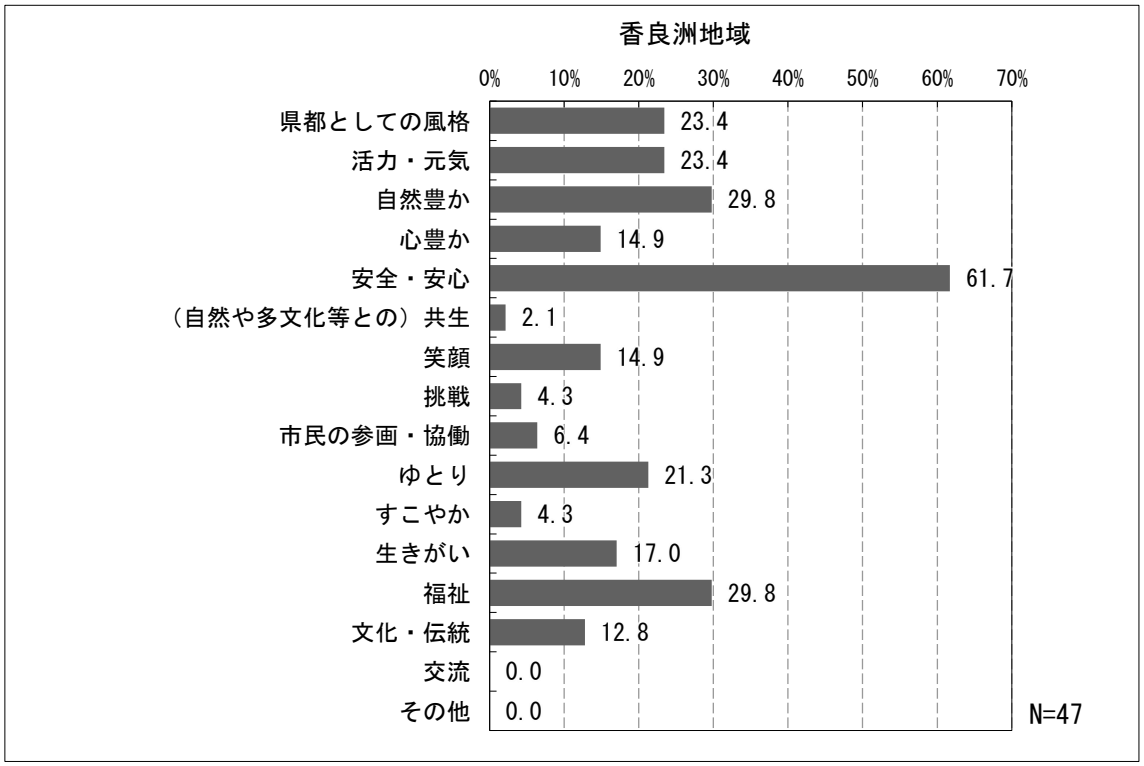


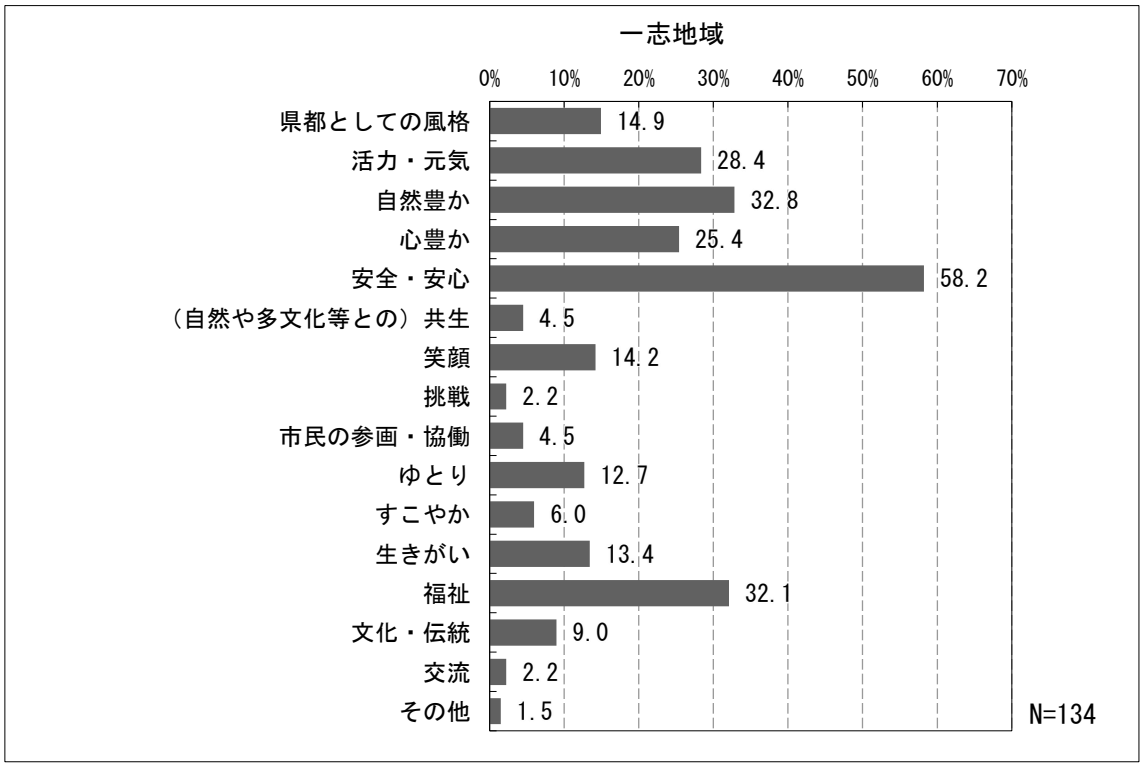
図表Ⅱ-4-9 理想とする津市のすがた(居住地別)



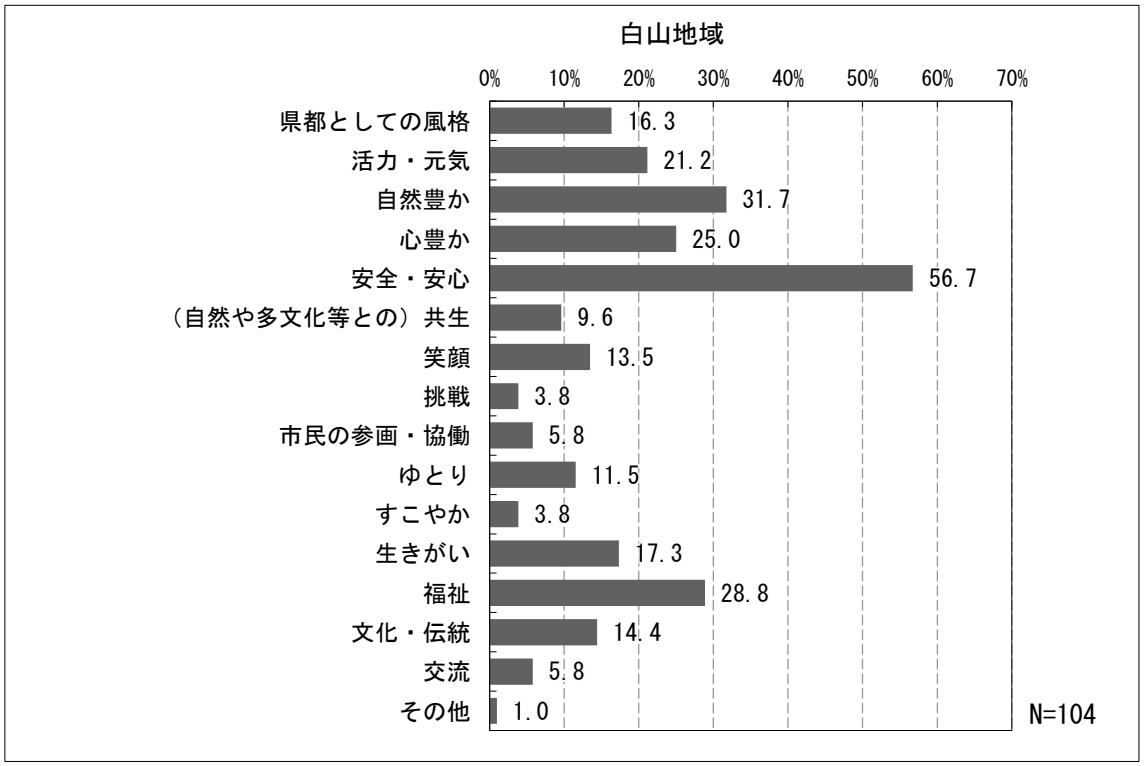


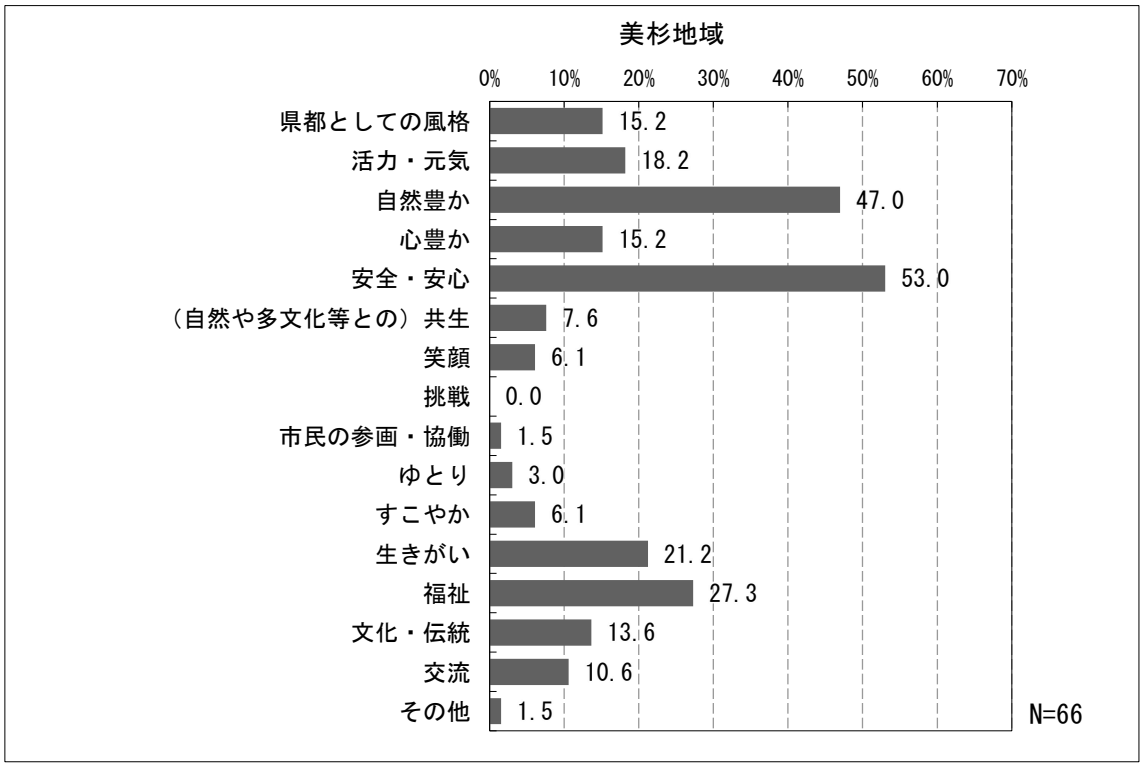
図表Ⅱ-4-9 理想とする津市のすがた(居住地別)





図表Ⅱ-4-9 理想とする津市のすがた(居住地別)





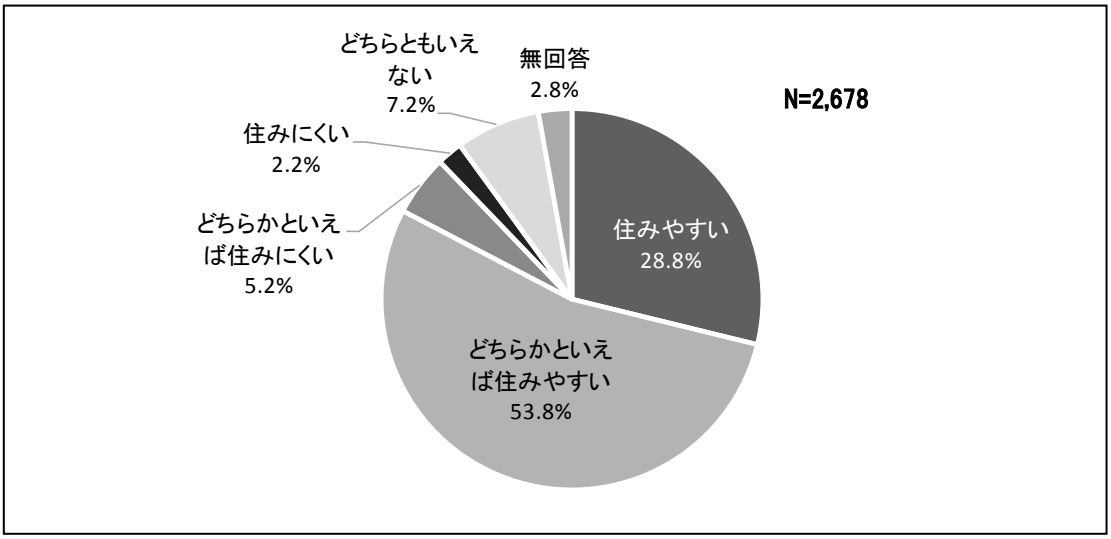
（３）総合的な住みやすさ

設問 15　総合的に見て、津市は住みやすいまちだと思いますか？＜１つだけに○印＞

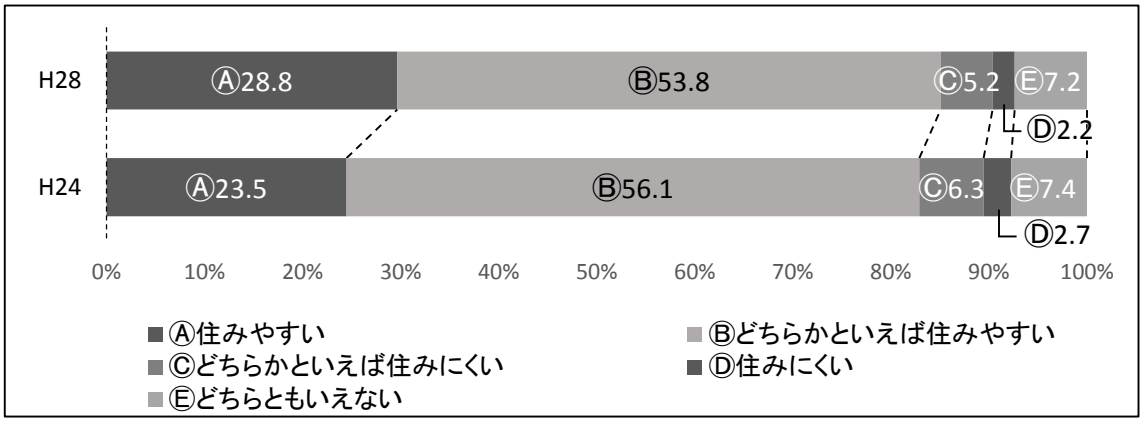
総合的に見て、津市は住みやすいまちだと思っているかどうかについては、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を加えた割合でみると、82.6%が住みやすいと回答しています。

また、前回調査と比較してみると、住みやすさの評価（「住みやすい」＋「どちらかといえば住みやすい」の回答率）は高まっています。

図表Ⅱ-4-10　総合的に見て、津市は住みやすいまちだと思うか（全体）

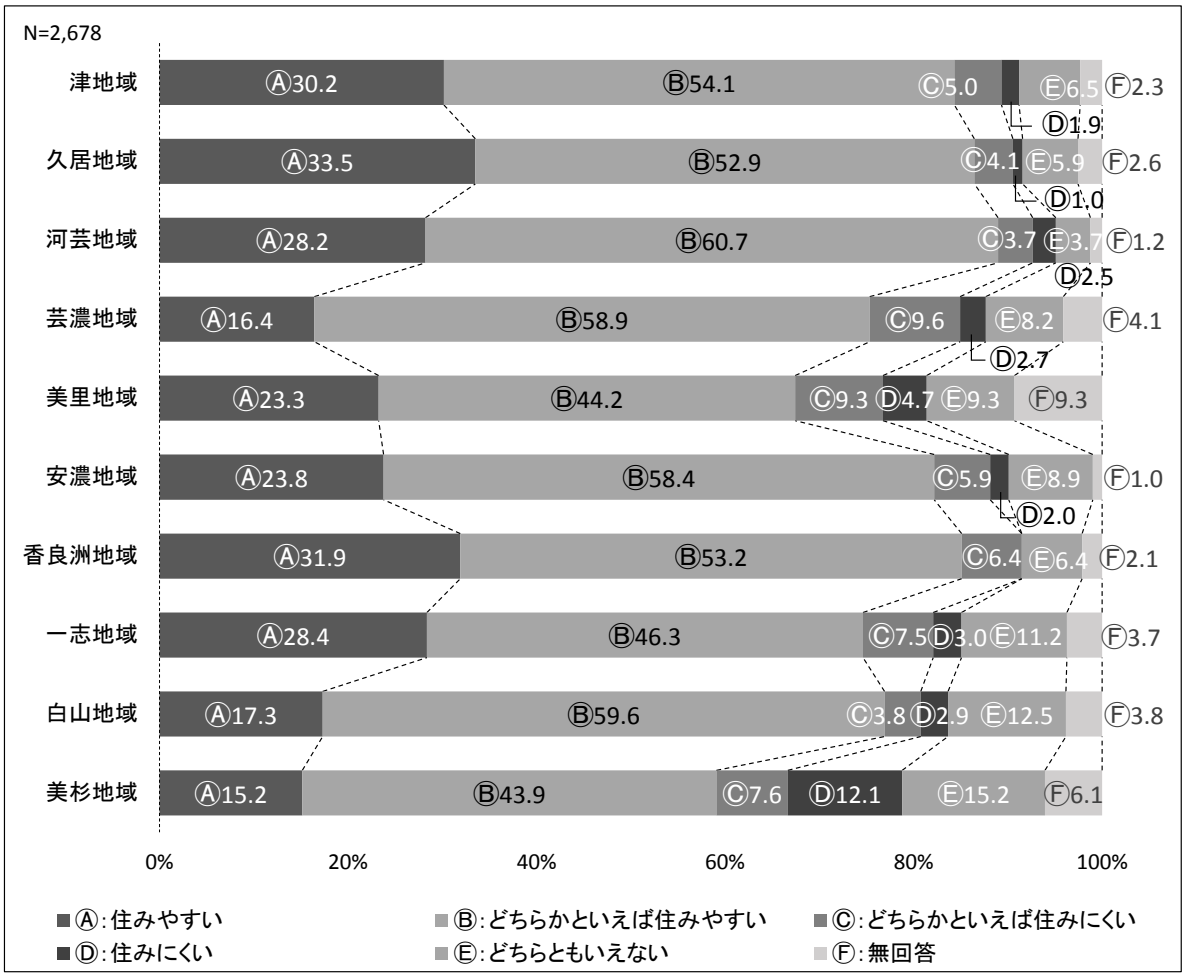


図表Ⅱ-4-11　総合的に見て、津市は住みやすいまちだと思うか（前回調査との比較）



居住地別にみてみると、概ね全体と同様の傾向がみられますが、「住みにくい」と回答している割合が最も高いのが美杉地域で 12.1%と全体の割合（2.2%）と比べるとやや高いものとなっています。

図表Ⅱ-4-12 総合的に見て、津市は住みやすいまちだと思うか（居住地別）

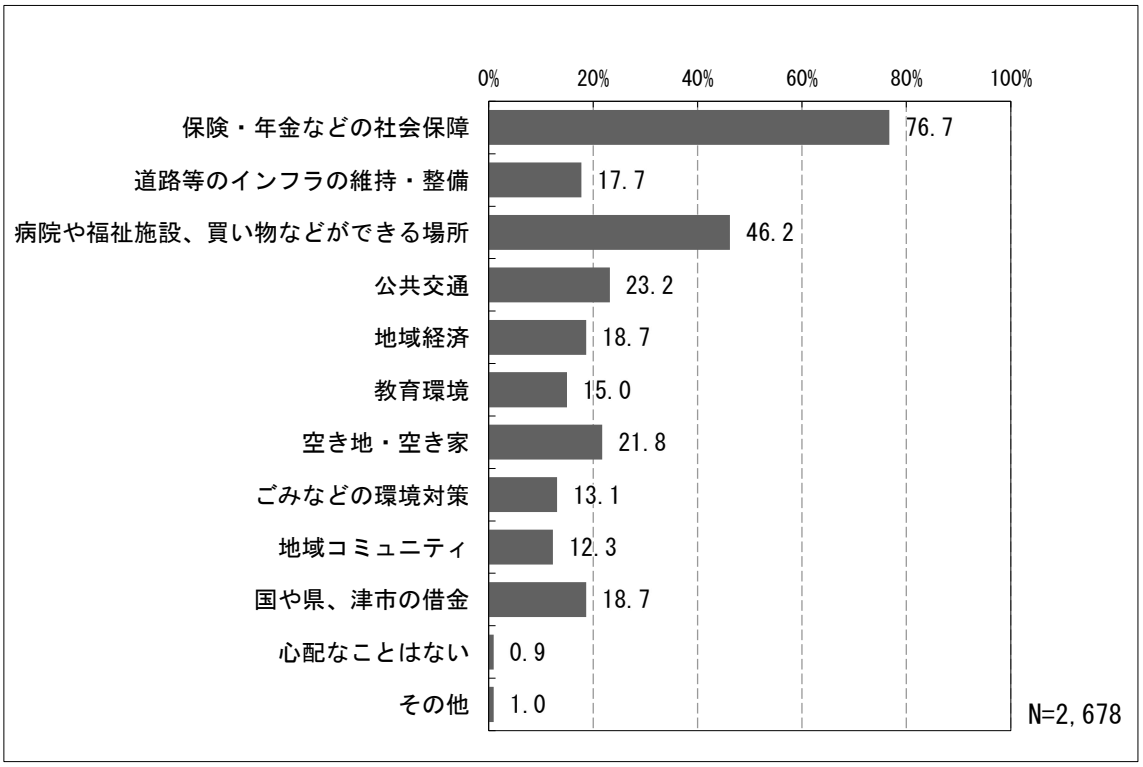


（４）生活で心配に思うこと

設問 16　少子化や高齢化を伴う人口減少の進展など社会経済情勢が変化しているなか、あなたの生活で心配に思うことを３つまで選んでください。
＜３つまでに○印＞

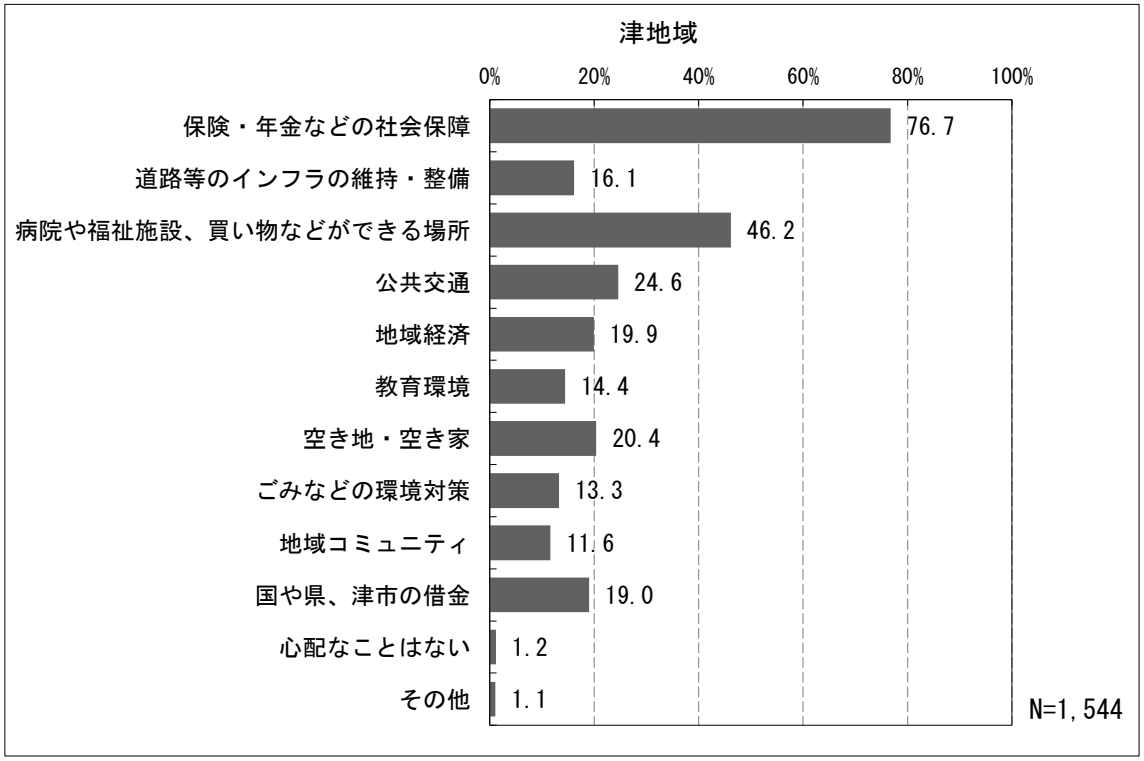
生活で心配に思うことは、「保険・年金などの社会保障」が 76.7%と最も多く、次いで「病院や福祉施設、買い物などができる場所」（46.2%）、「公共交通」（23.2%）、「空き地・空き家」（21.8%）となっています。

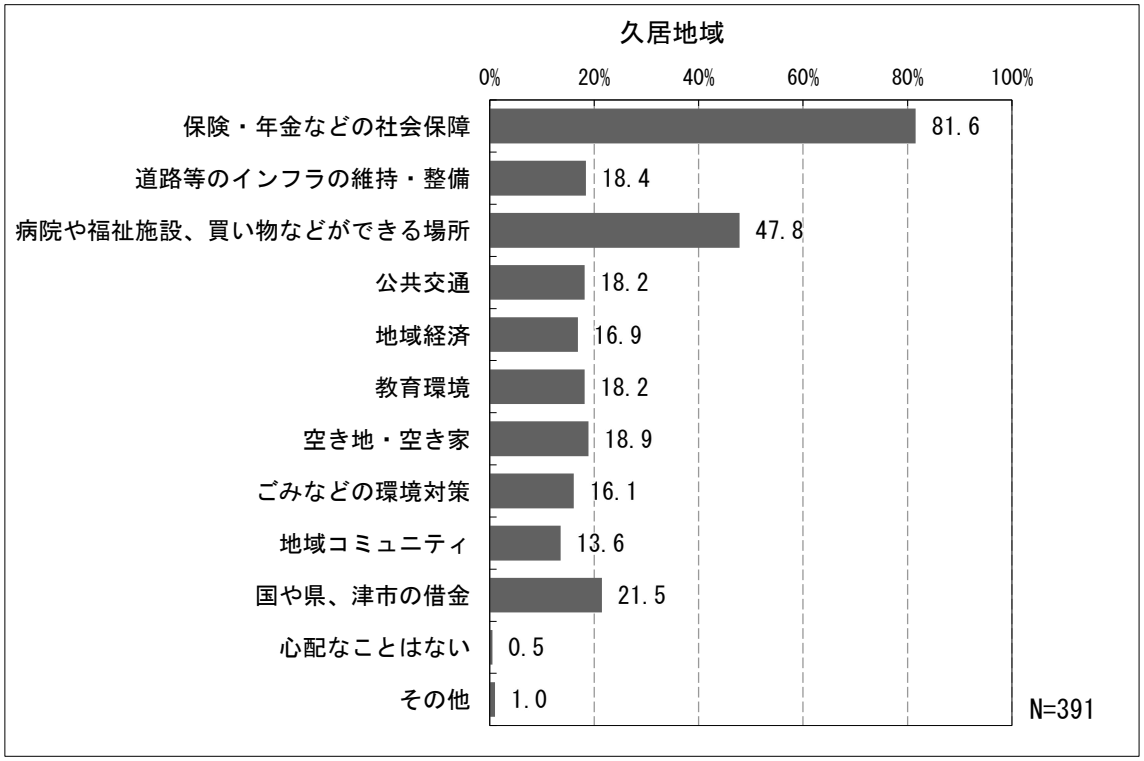
図表Ⅱ-4-13　生活で心配に思うこと（全体）



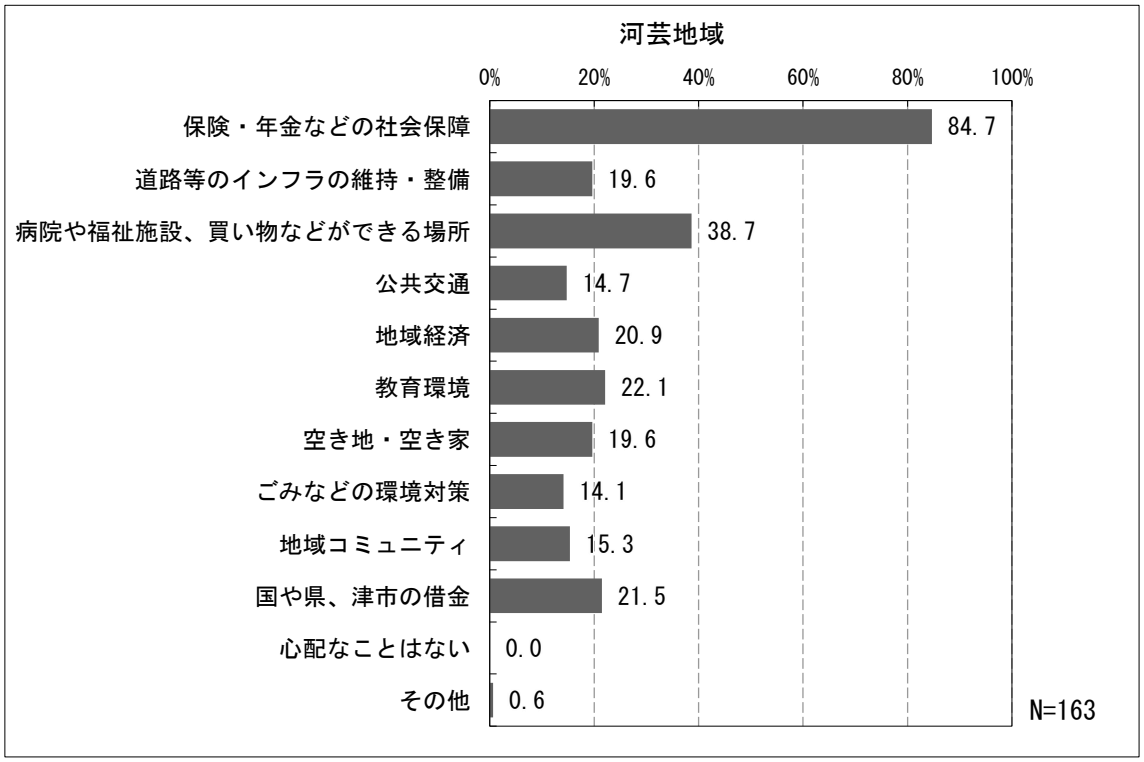
居住地別にみてみると、概ね全体と同様の傾向となっています。なお、全体で最も多い「保険・年金などの社会保障」の割合については、久居地域と河芸地域で80%を超えています。

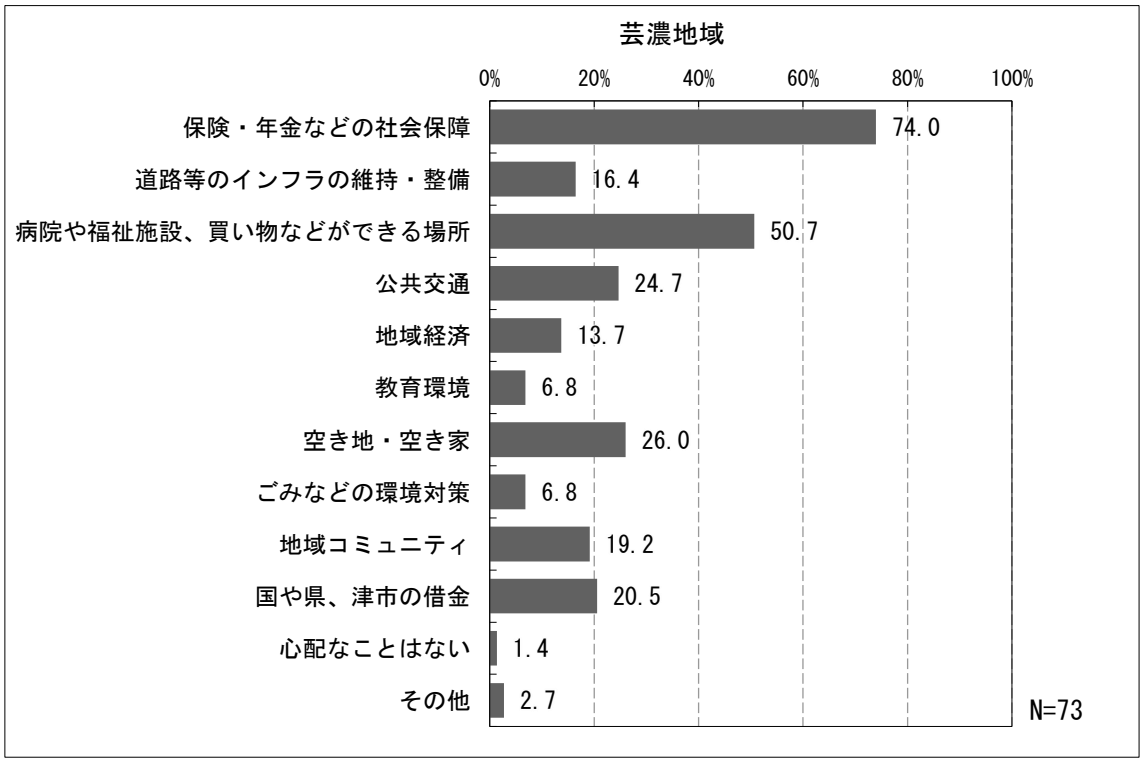
図表Ⅱ-4-14 生活で心配に思うこと(居住地別)



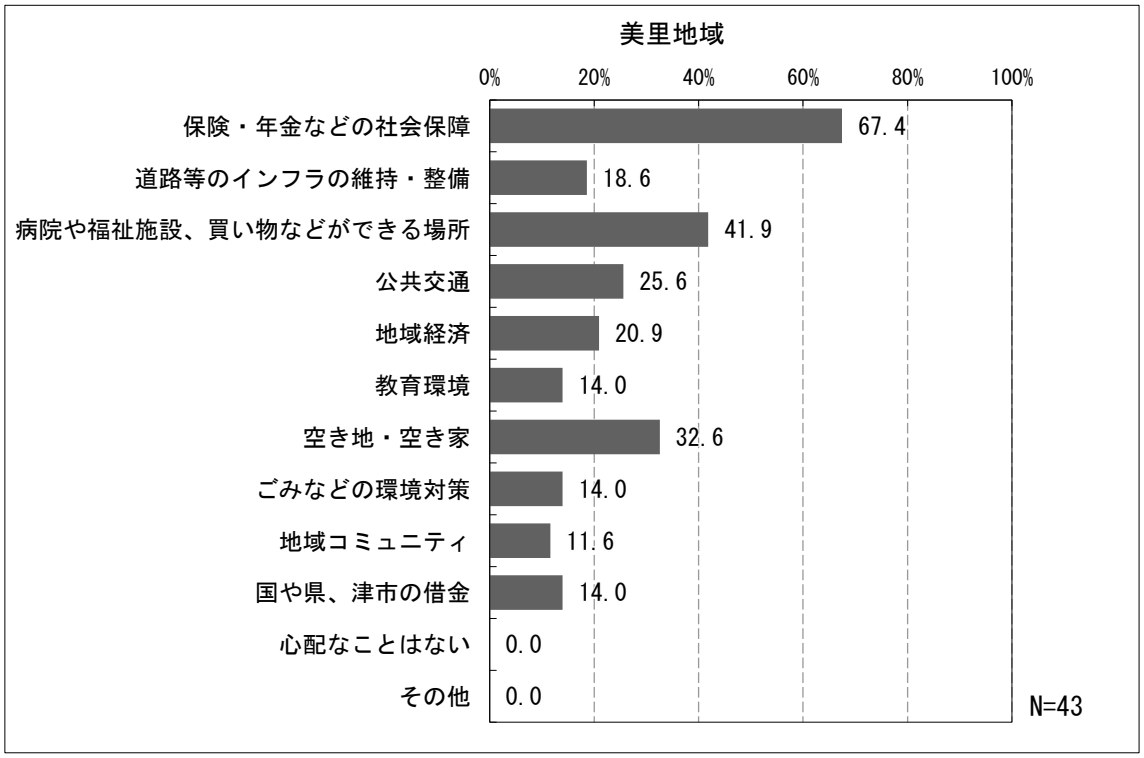


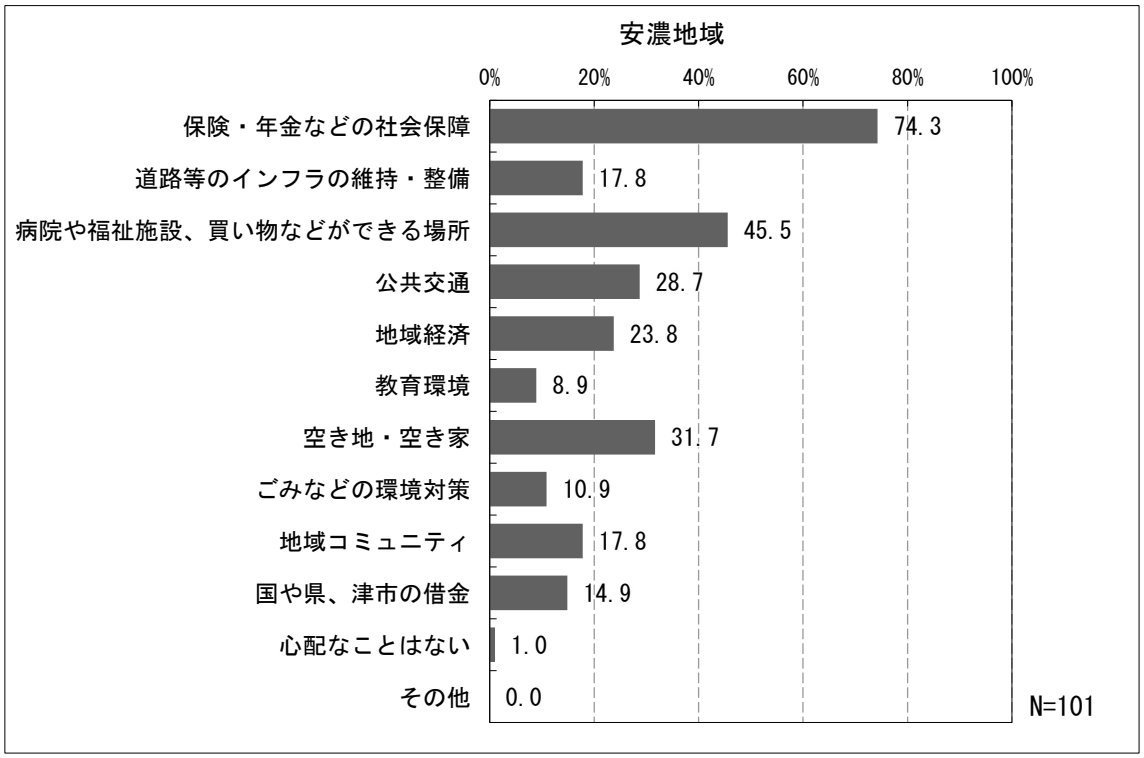
図表Ⅱ-4-14 生活で心配に思うこと(居住地別)



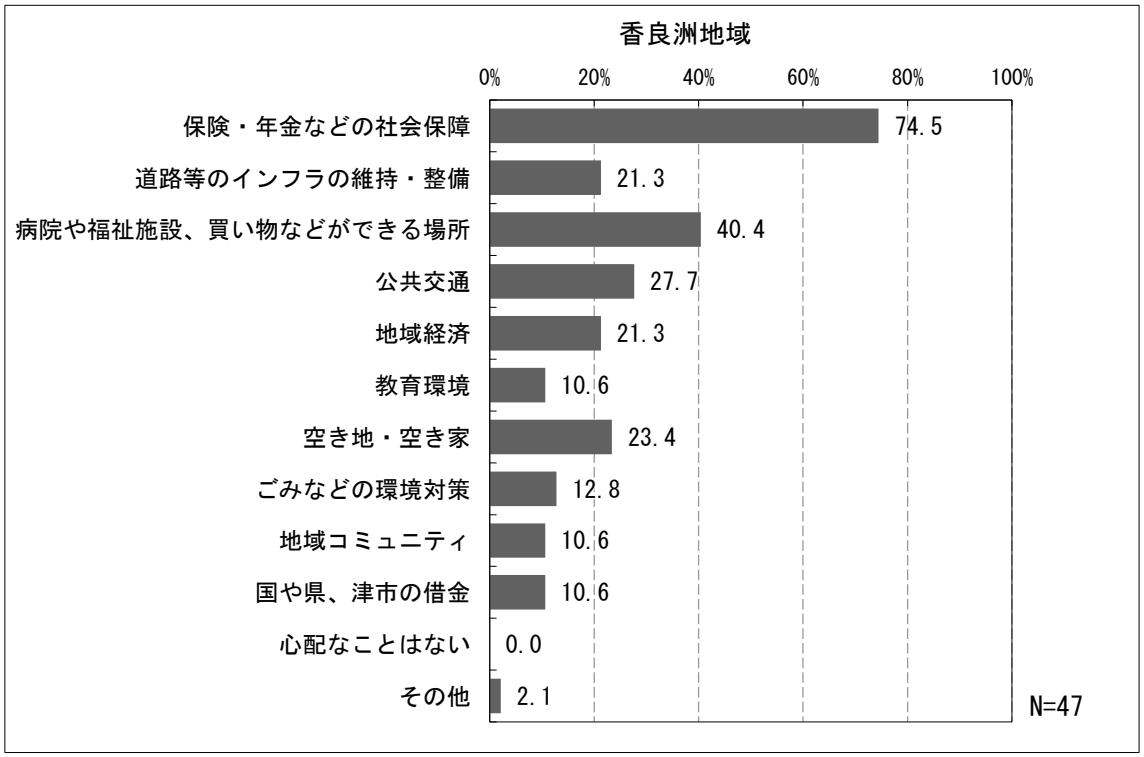


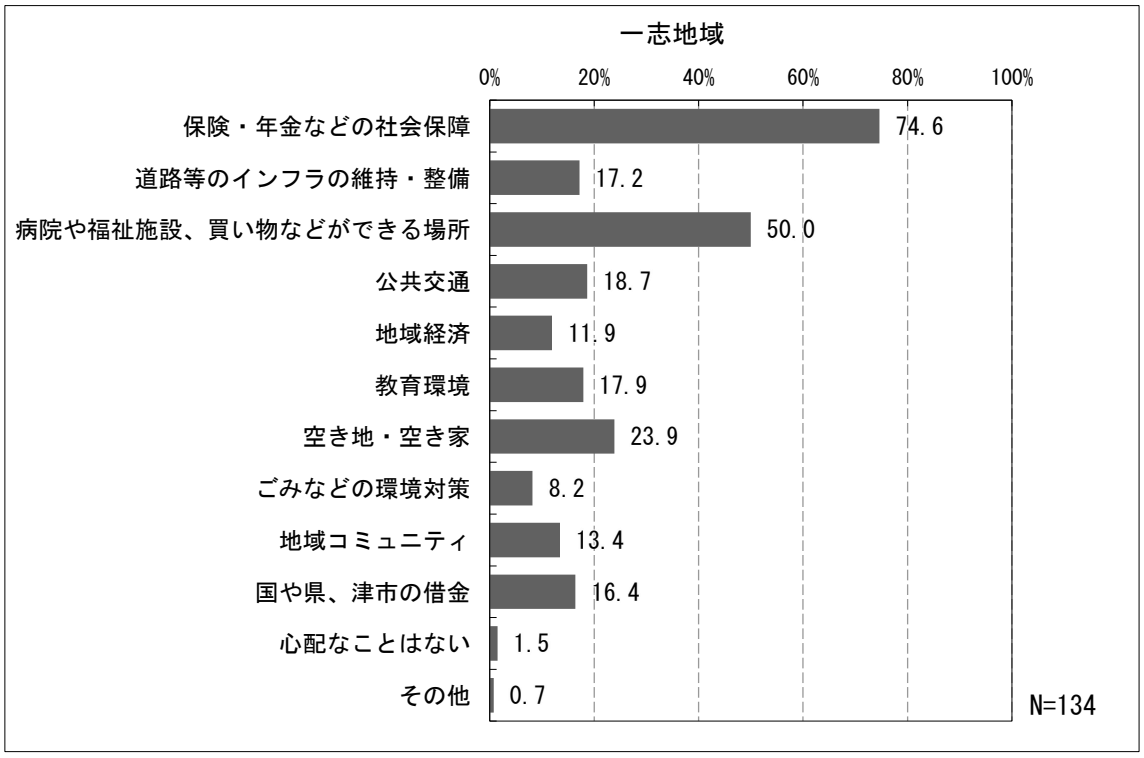
図表Ⅱ-4-14 生活で心配に思うこと(居住地別)



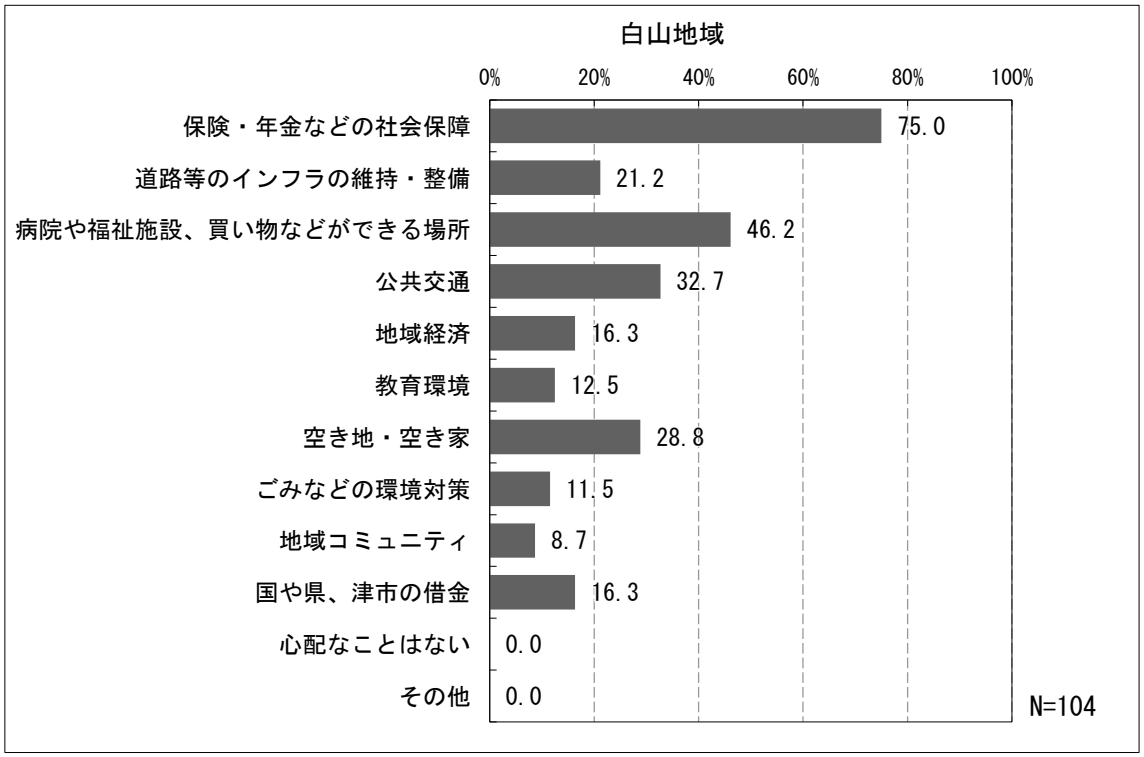


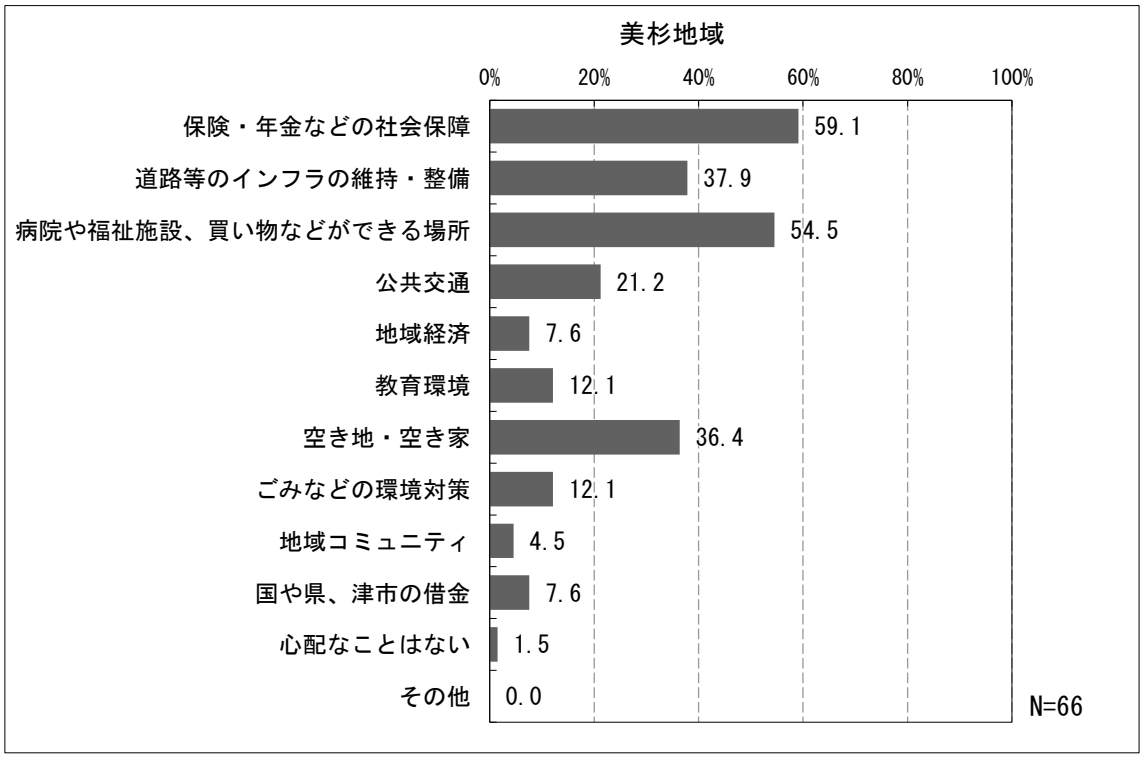
図表Ⅱ-4-14 生活で心配に思うこと(居住地別)





図表Ⅱ-4-14 生活で心配に思うこと(居住地別)



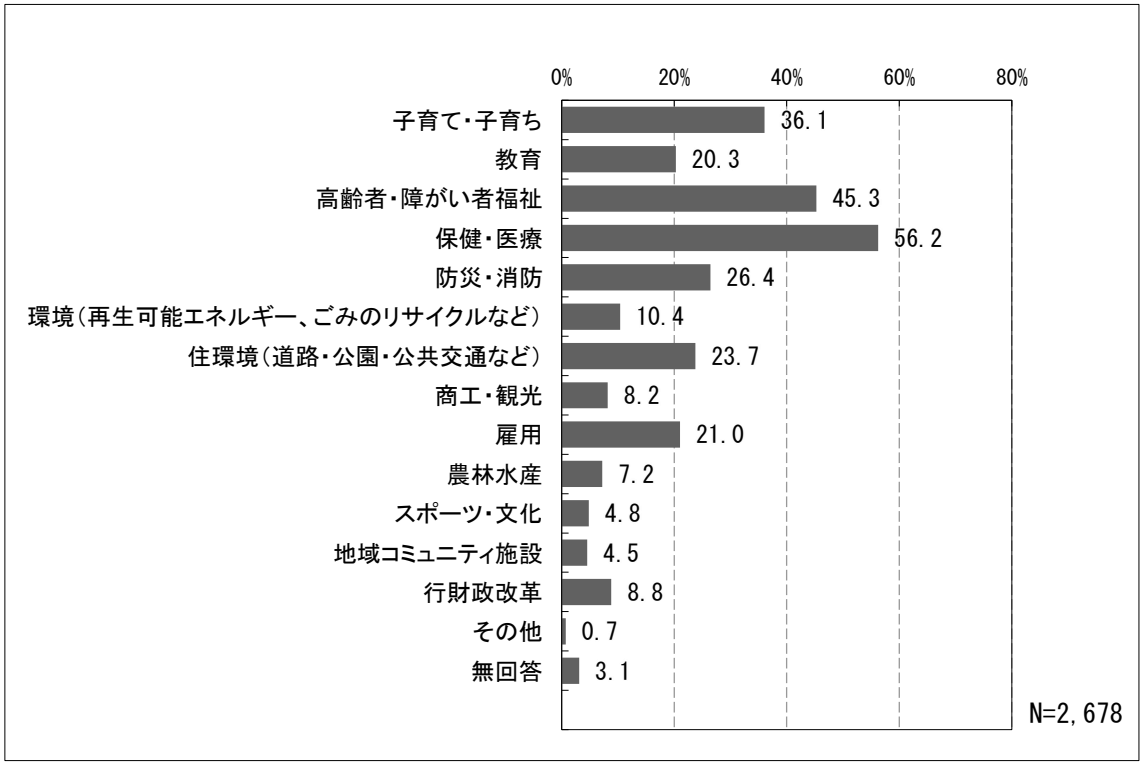


（５）優先順位が高い分野

設問 17　今後予想される社会経済情勢のもと限られた財源の中で、優先的に力を入れてほしい分野を３つまで選んでください。＜３つまでに○印＞

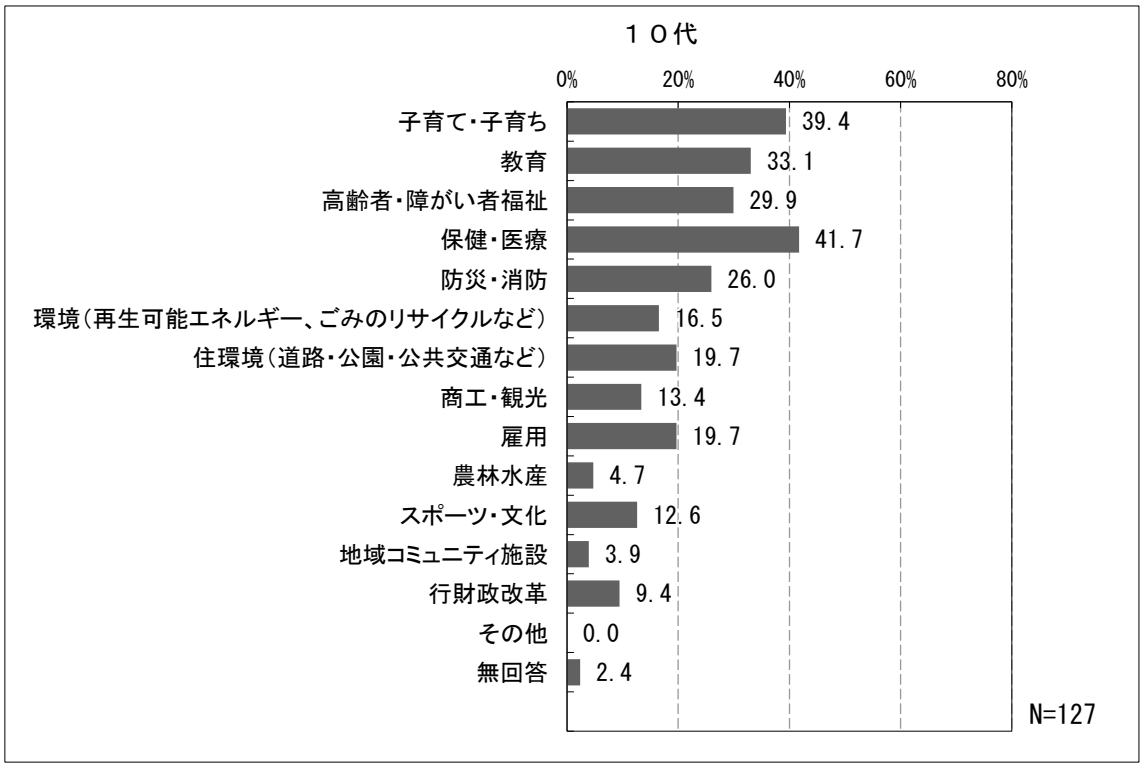
限られた財源の中で優先的に力を入れてほしい分野としては、「保健・医療」が 56.2%で最も多く、次いで「高齢者・障がい者福祉」（45.3%）、「子育て・子育ち」（36.1%）となっています。

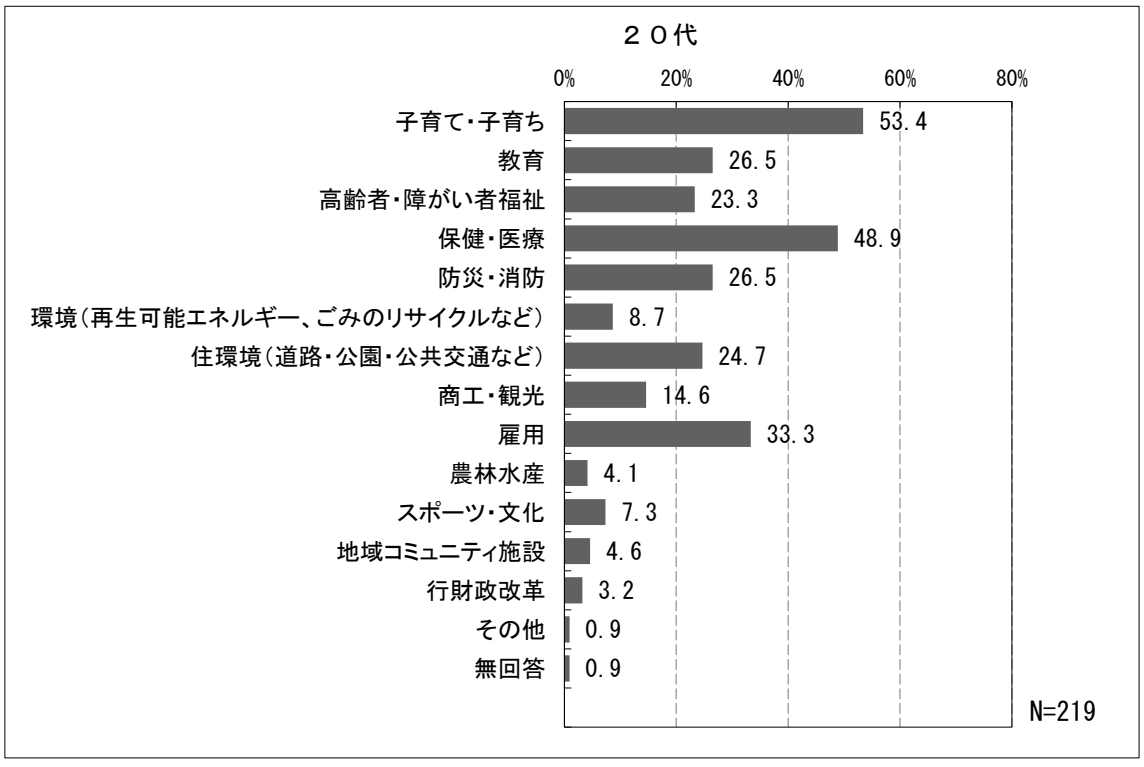
図表Ⅱ-4-15　限られた財源の中で優先的に力を入れてほしい分野（全体）



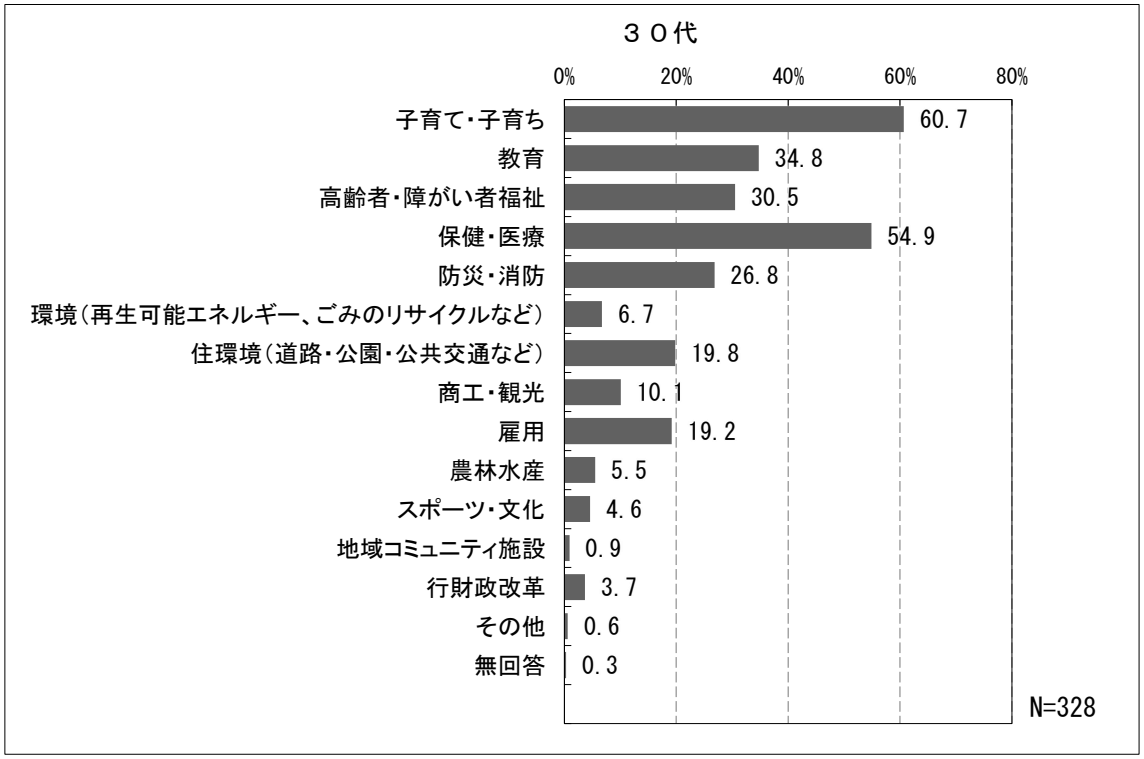
年代別にみてみると、全体では３番目となっている「子育て・子育ち」に関して、20代、30代では最も高い割合となっており、７０歳以上では「高齢者・障がい者福祉」が、その他の世代では「保健・医療」が最も高くなっています。

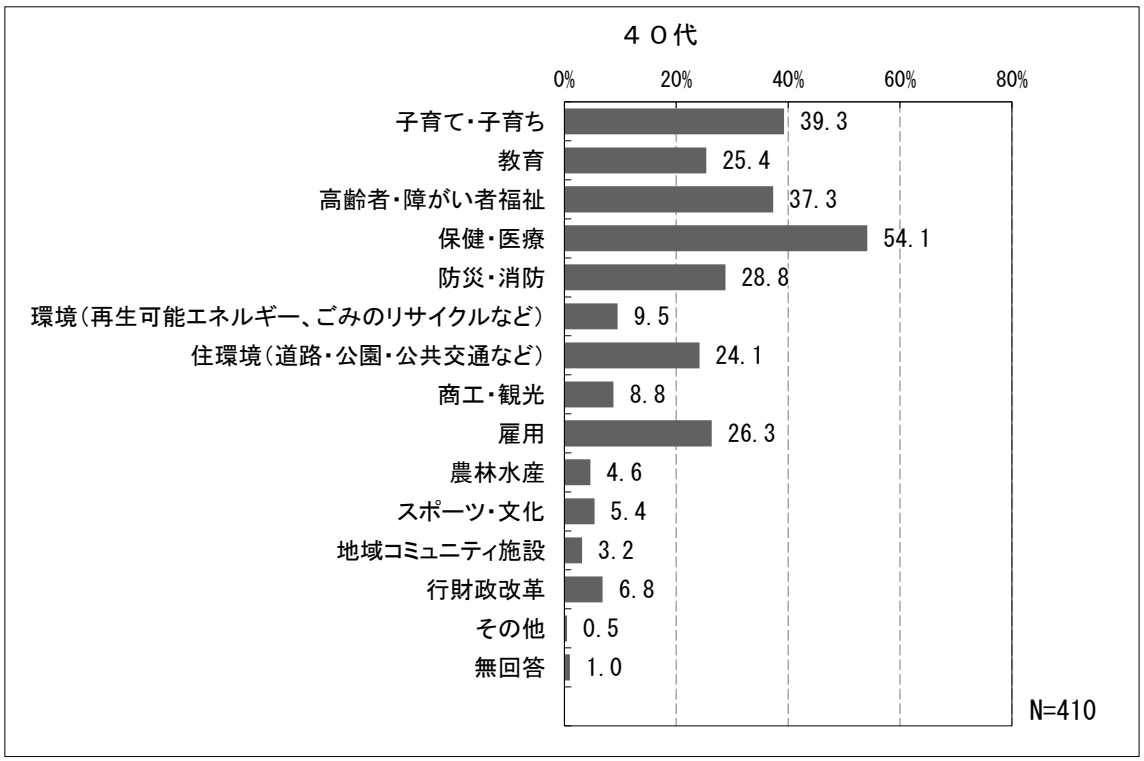
図表Ⅱ-4-16 限られた財源の中で優先的に力を入れてほしい分野（年代別）



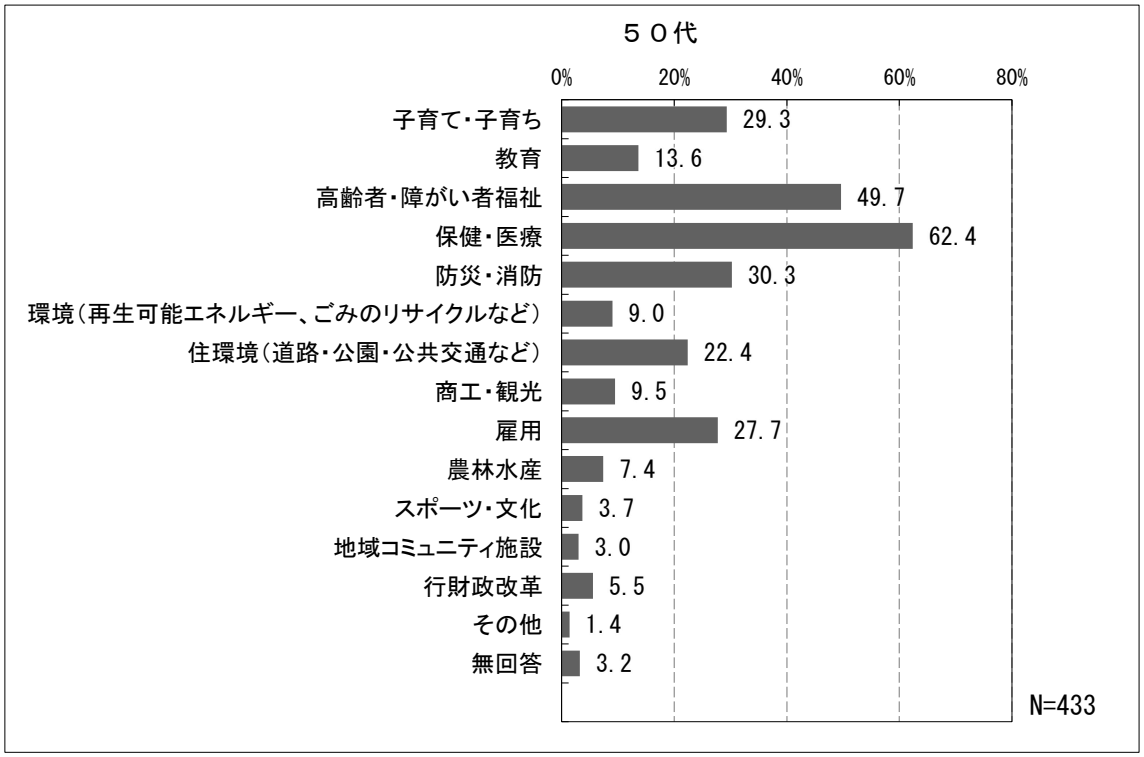


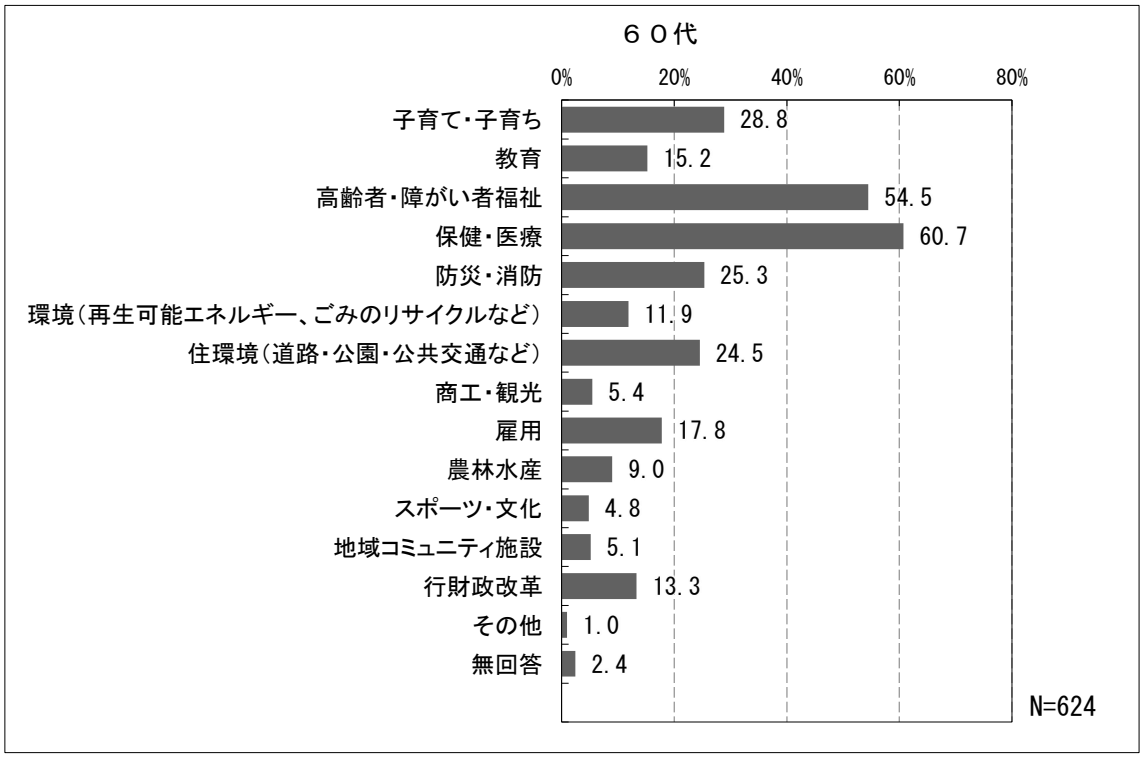
図表Ⅱ-4-16　限られた財源の中で優先的に力を入れてほしい分野（年代別）



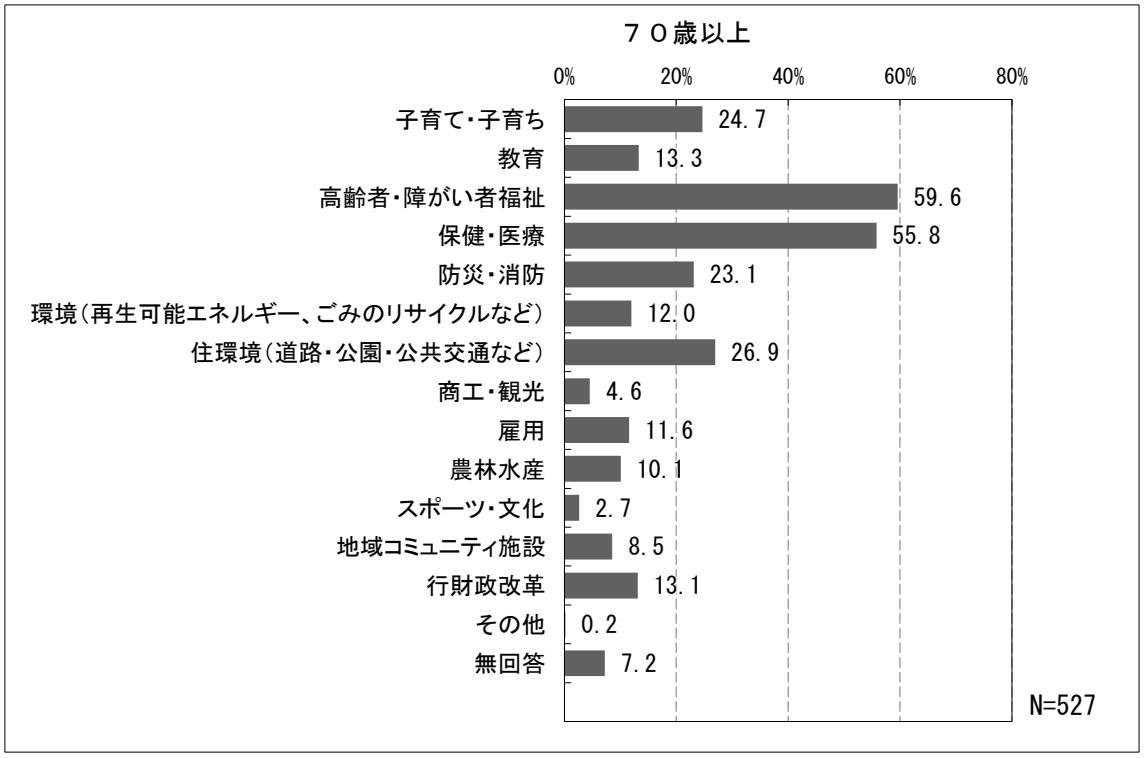


図表Ⅱ-4-16　限られた財源の中で優先的に力を入れてほしい分野（年代別）



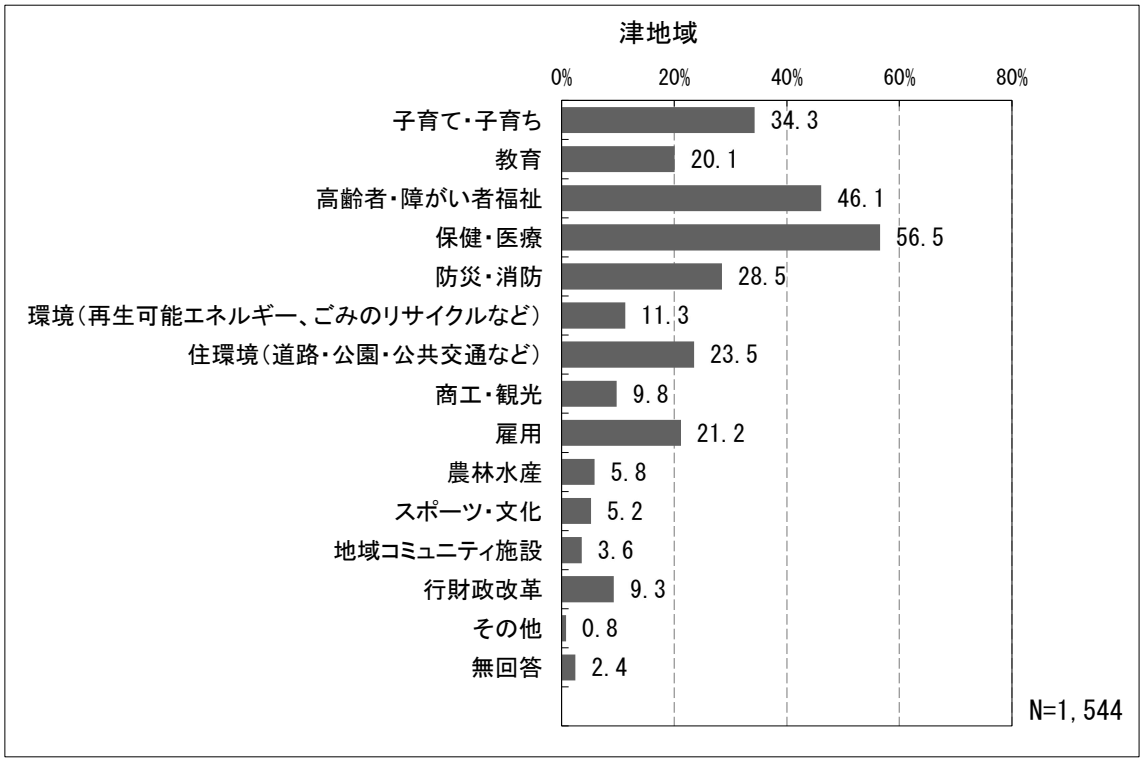


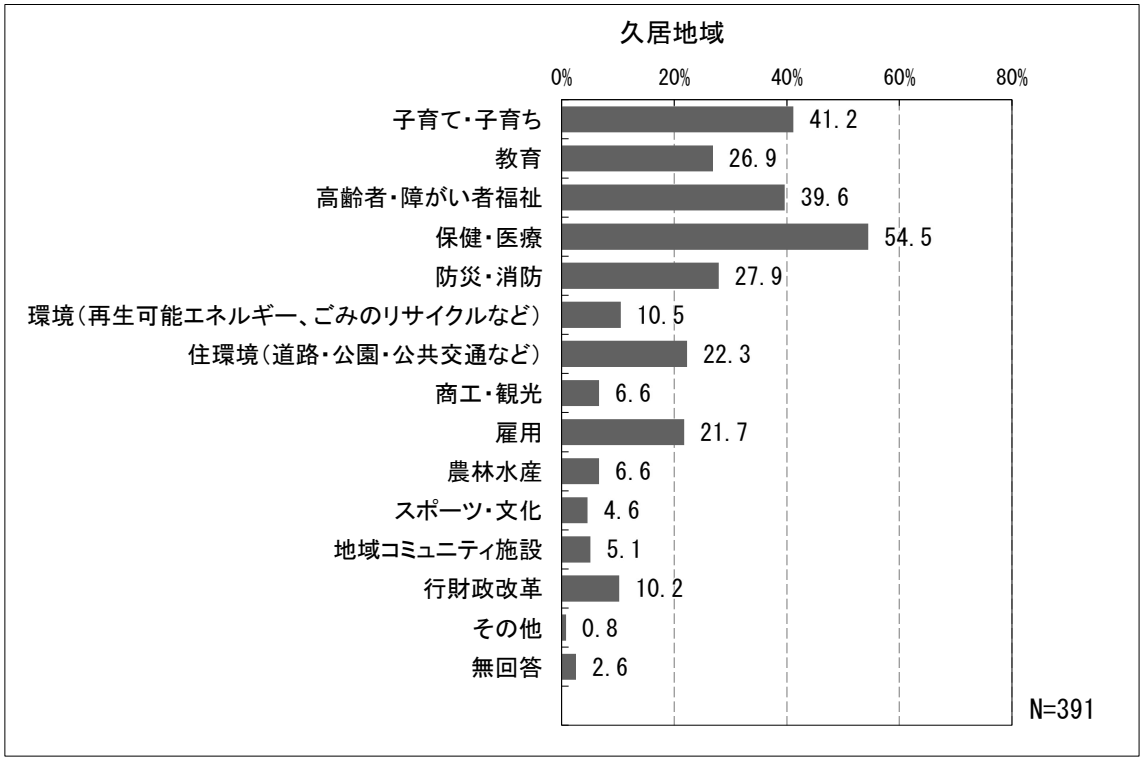
図表Ⅱ-4-16　限られた財源の中で優先的に力を入れてほしい分野（年代別）



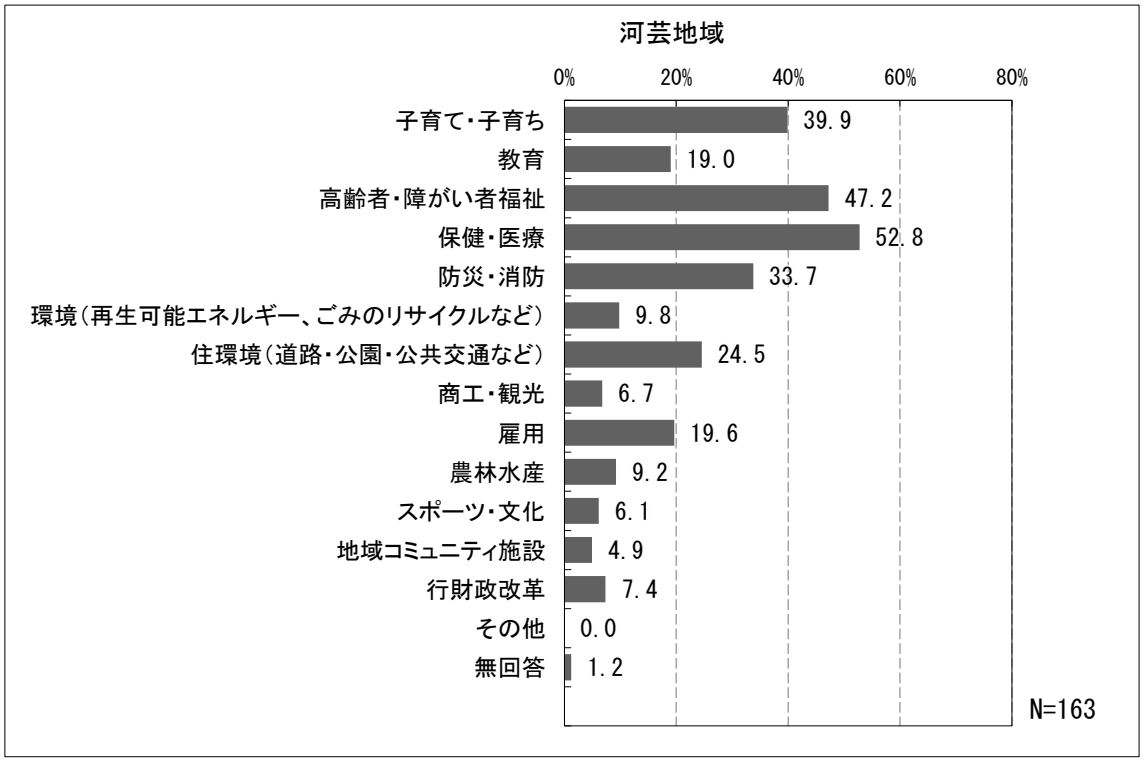
居住地別にみてみると、各地域とも「保健・医療」が最も高く、概ね全体と同様の傾向となっています。

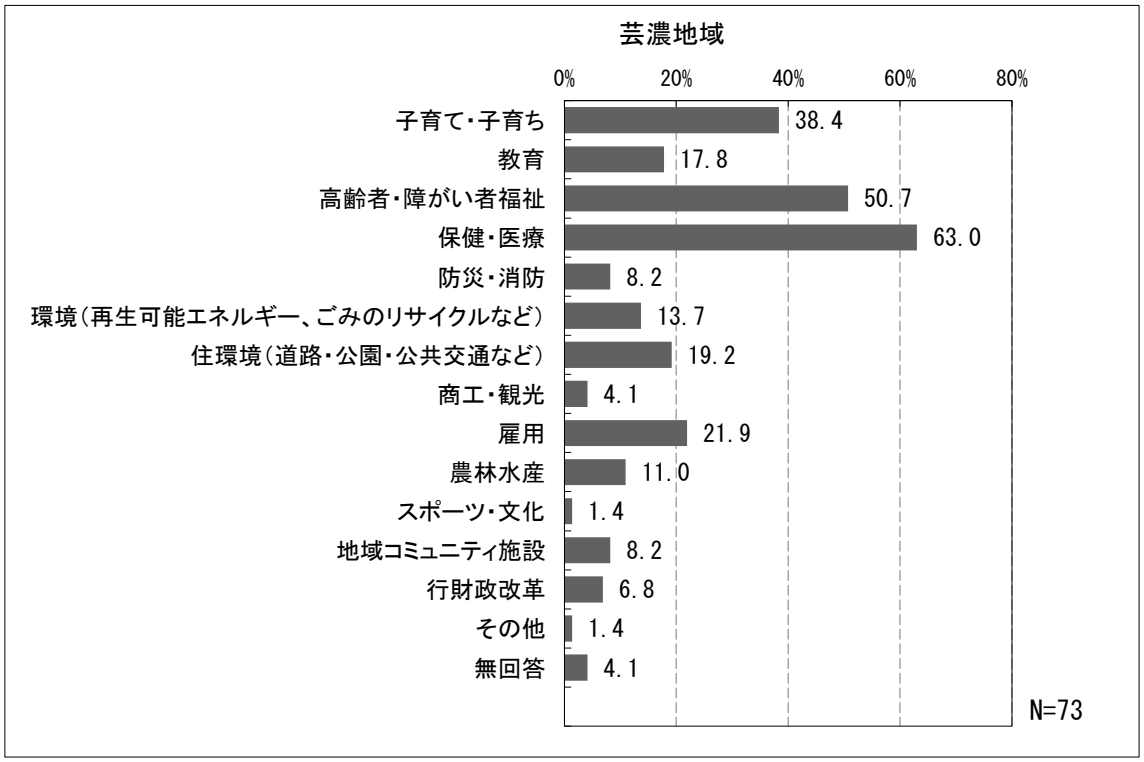
図表Ⅱ-4-17　限られた財源の中で優先的に力を入れてほしい分野（居住地別）



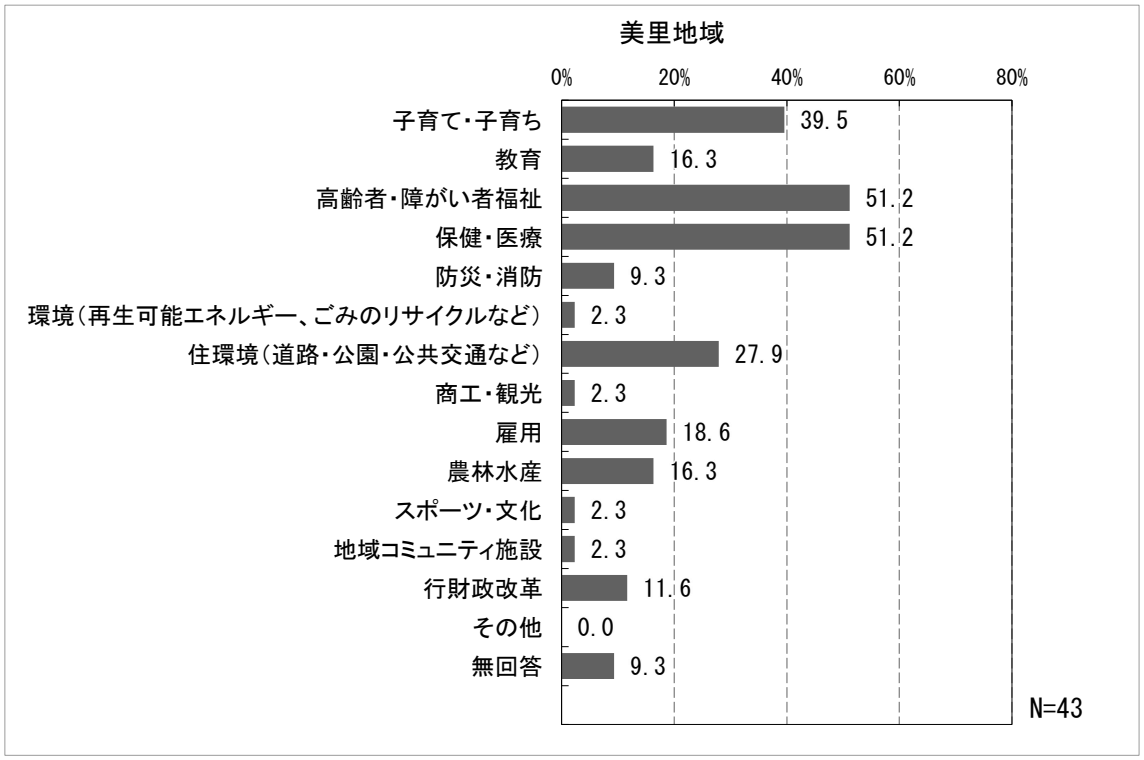


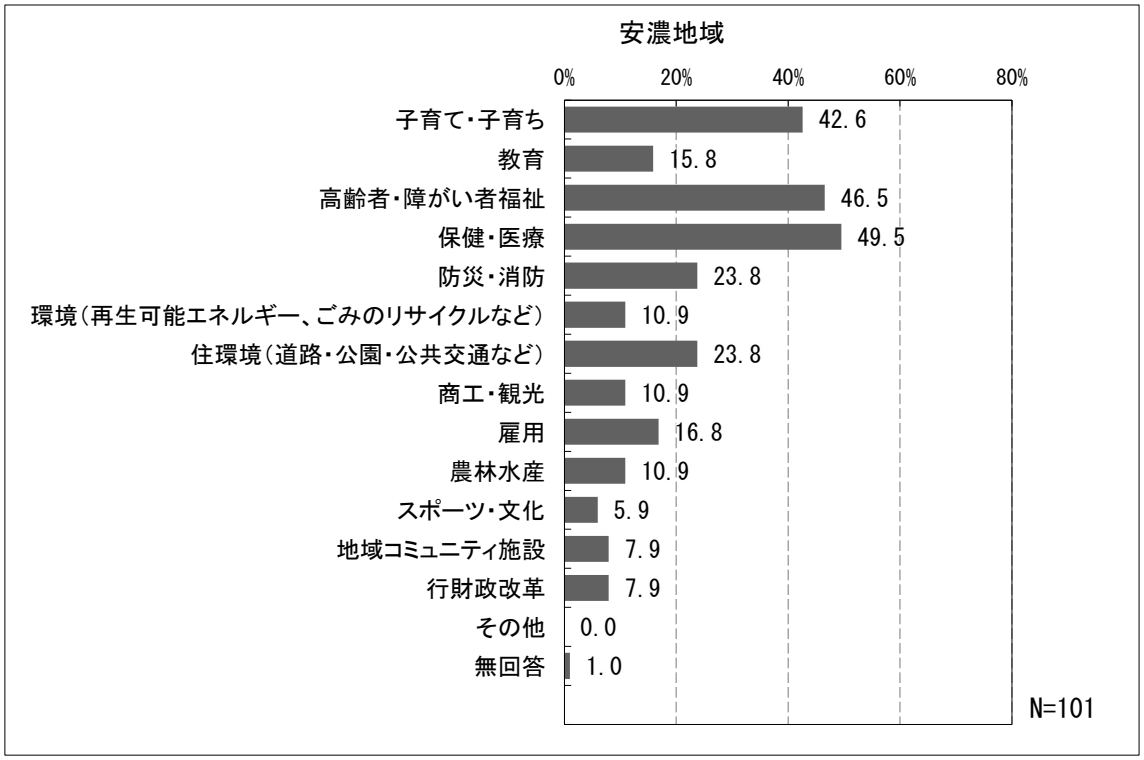
図表Ⅱ-4-17　限られた財源の中で優先的に力を入れてほしい分野（居住地別）



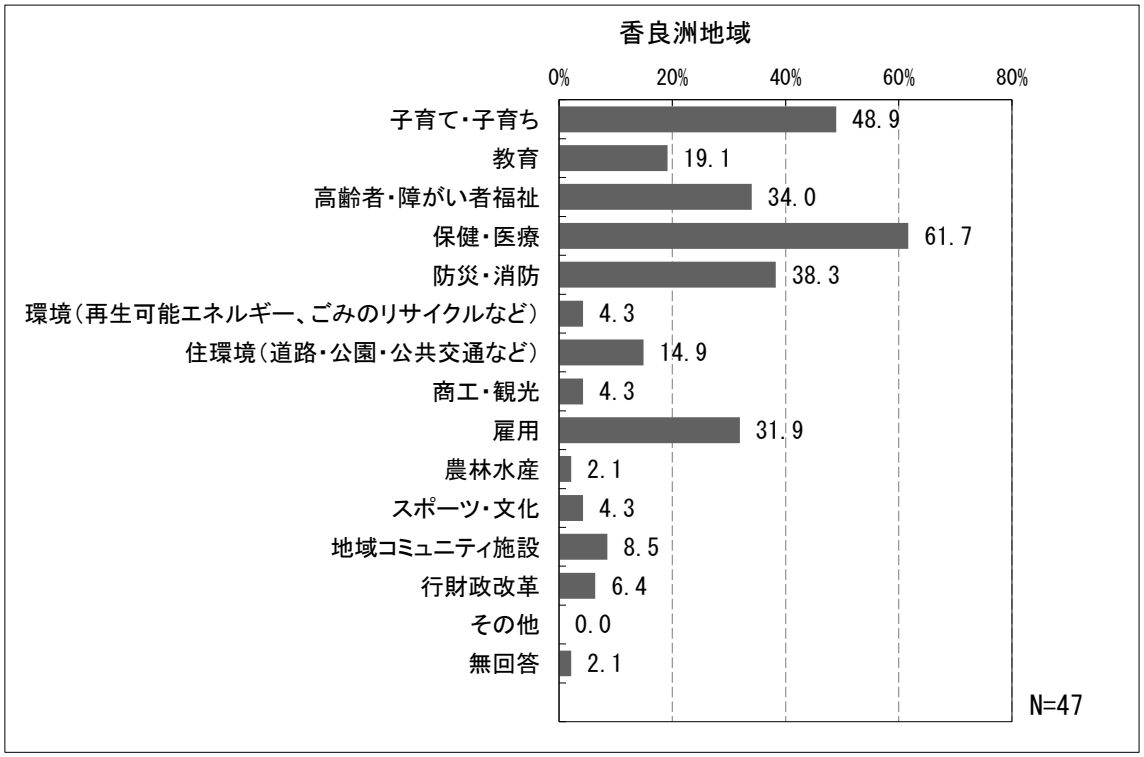


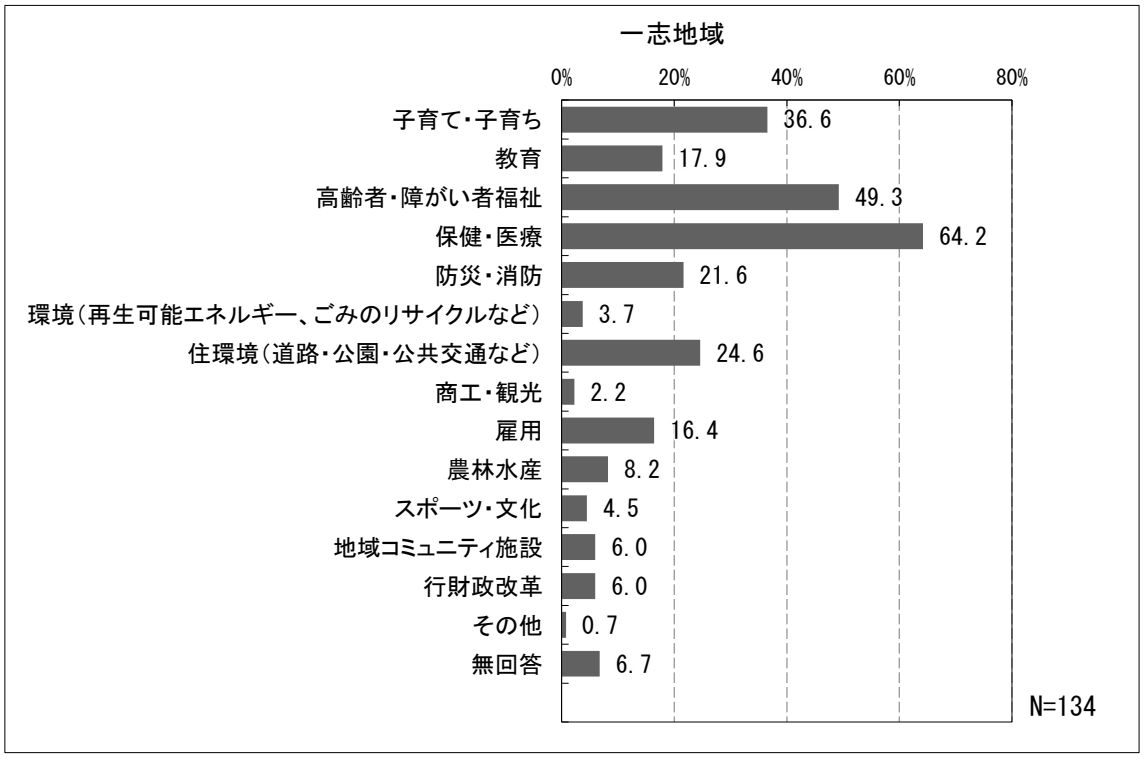
図表Ⅱ-4-17　限られた財源の中で優先的に力を入れてほしい分野（居住地別）



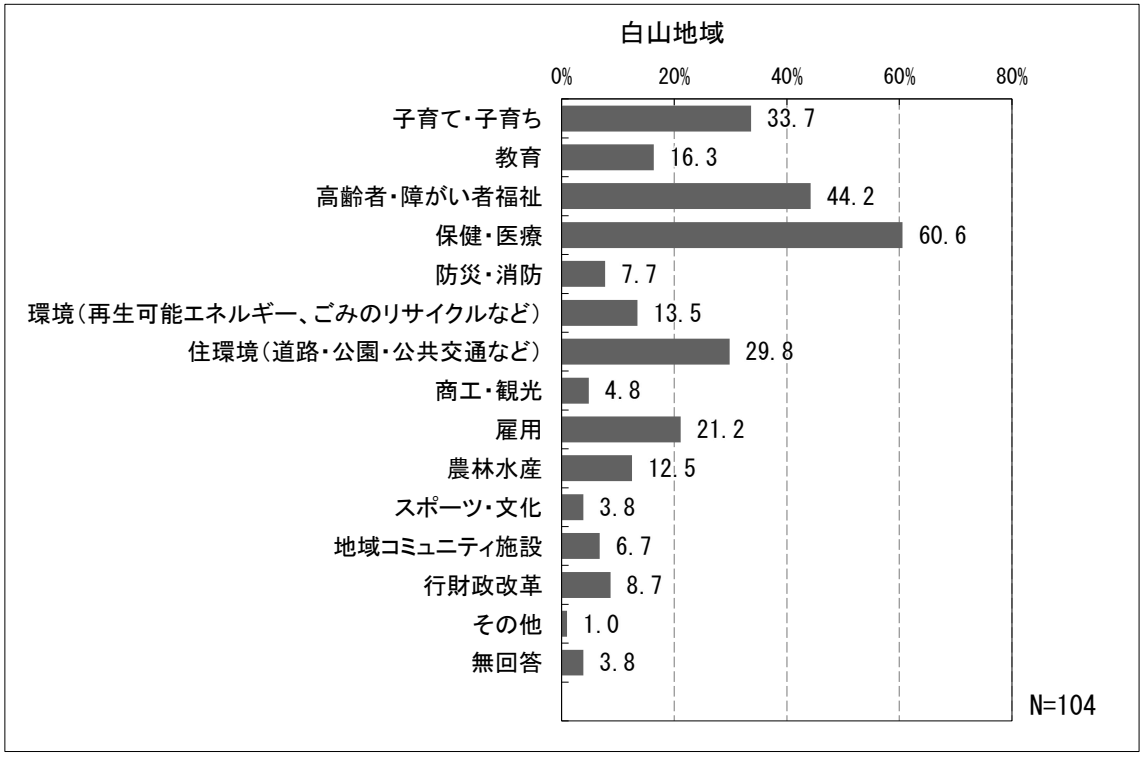


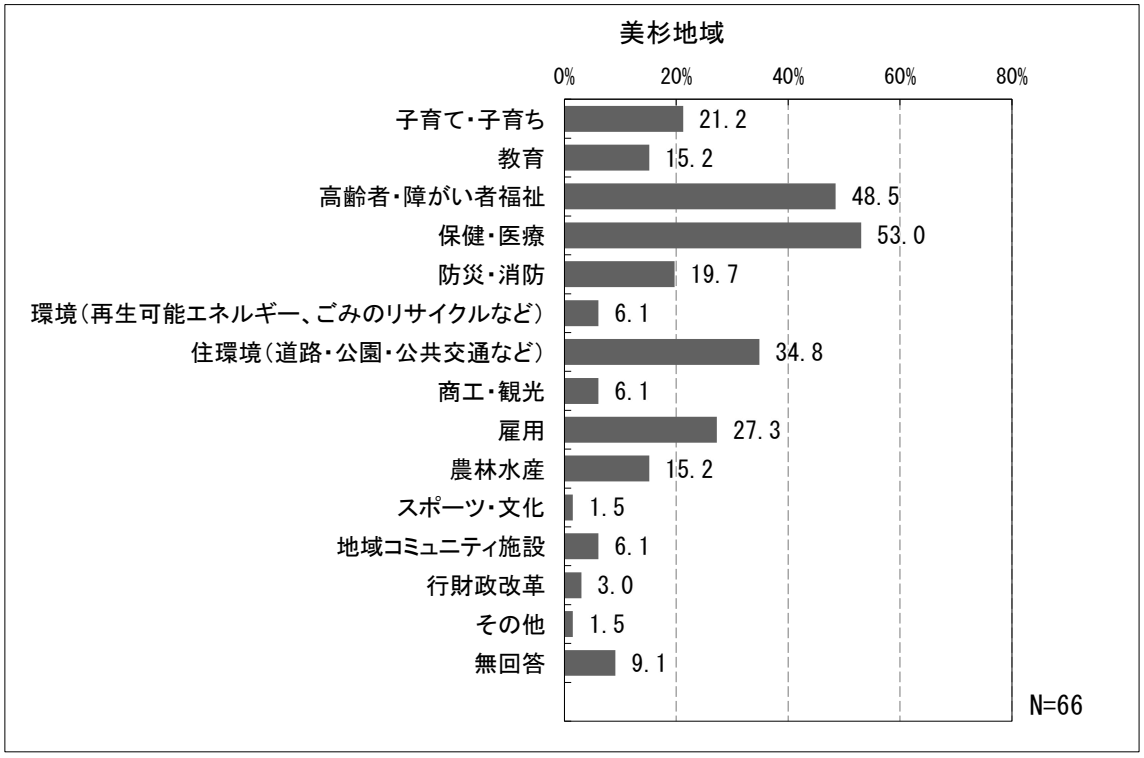
図表Ⅱ-4-17　限られた財源の中で優先的に力を入れてほしい分野（居住地別）





図表Ⅱ-4-17　限られた財源の中で優先的に力を入れてほしい分野（居住地別）



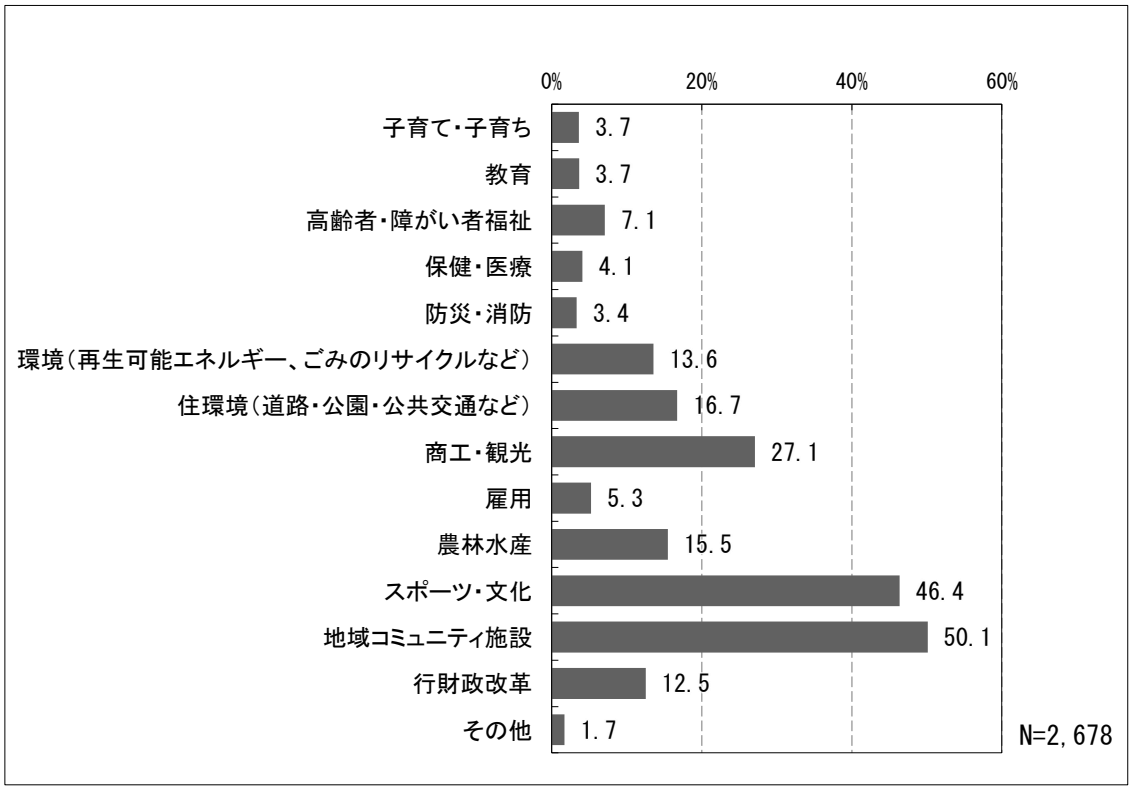


（６）優先順位が低い分野

設問 18　設問 17 で回答いただいた分野に力を入れるために、取り組みを少し後に回してもやむを得ないと思う分野があれば３つまで選んでください。
＜３つまでに○印＞

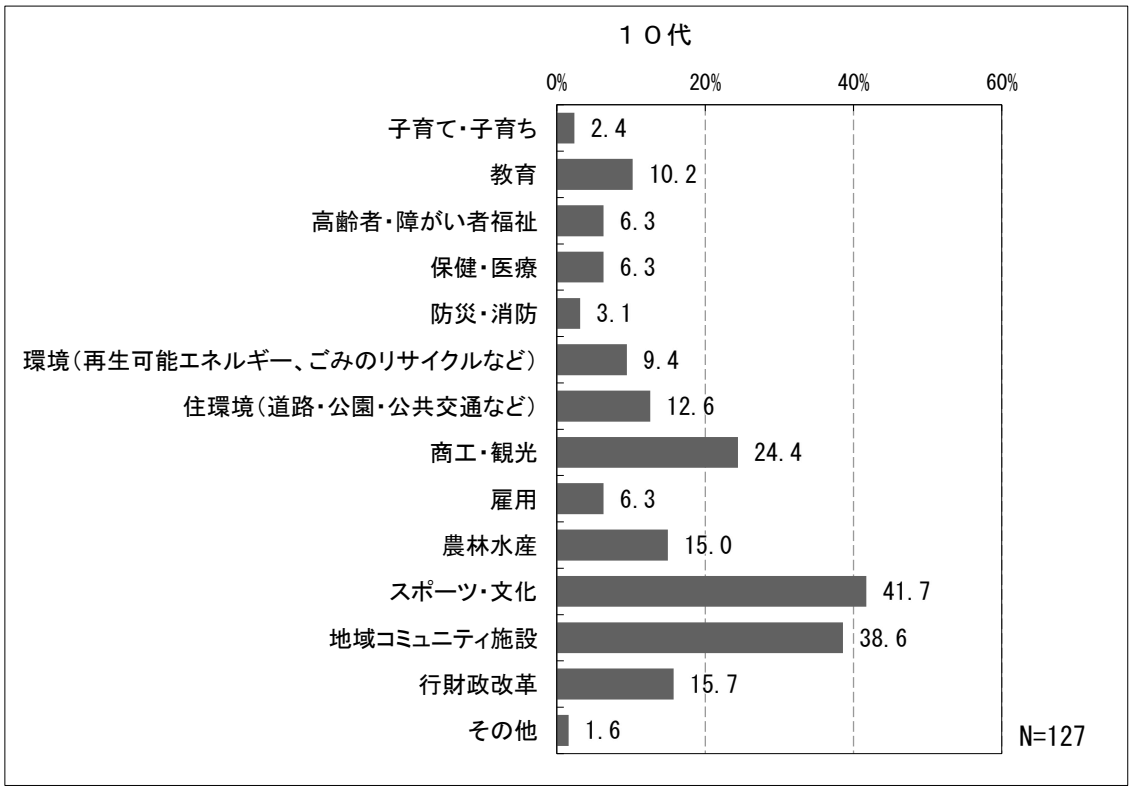
取り組みを少し後に回してもやむを得ないと思う分野については、「地域コミュニティ施設」が 50.1%と最も多く、次いで「スポーツ・文化」(46.4%)、「商工・観光」(27.1%)となっています。

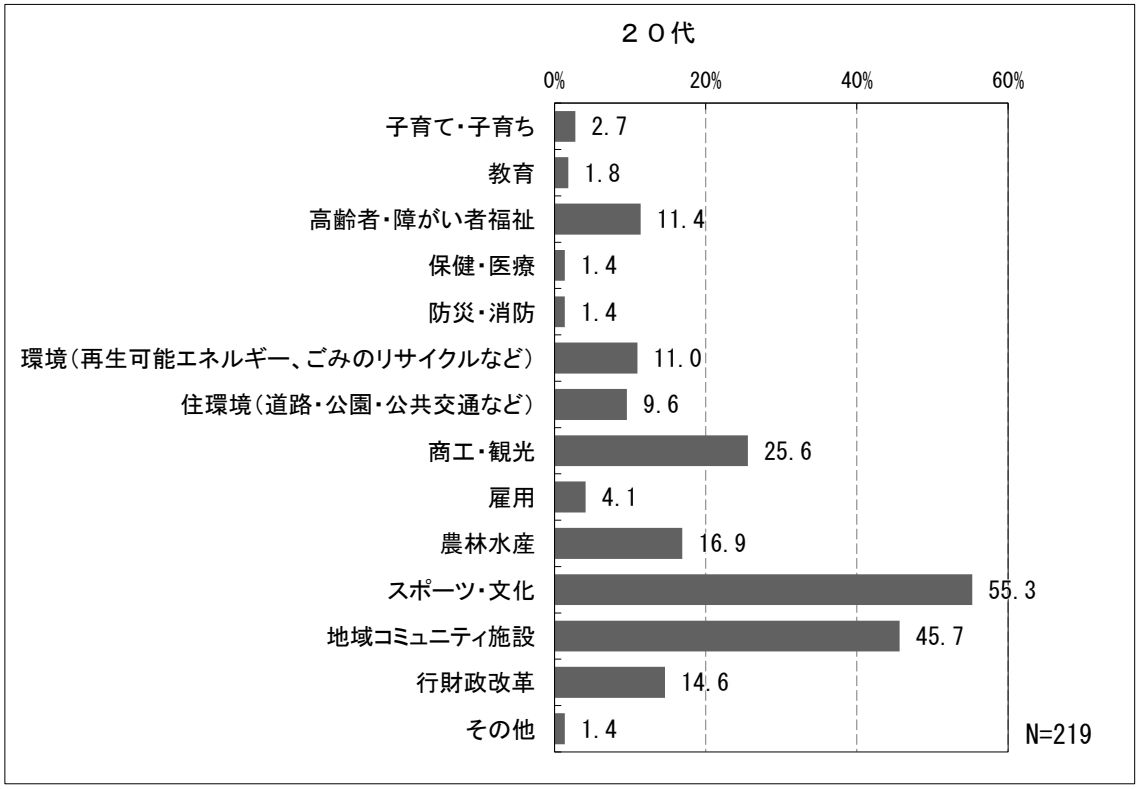
図表Ⅱ-4-18　取り組みを少し後に回してもやむを得ないと思う分野（全体）



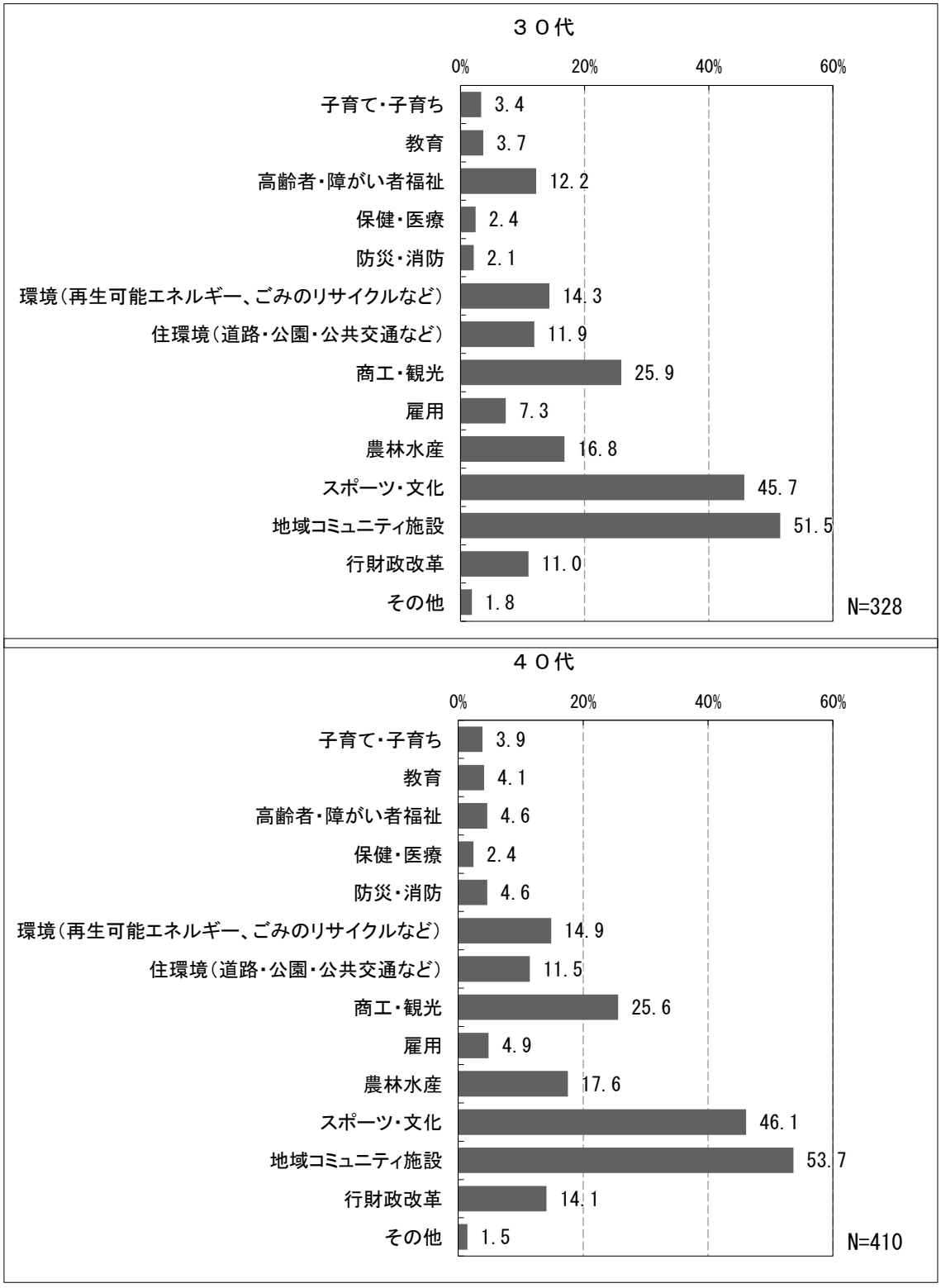
年代別、居住地別にみてみると、それぞれ「地域コミュニティ施設」、「スポーツ・文化」が上位にあり、概ね全体と同様の傾向となっています。

図表Ⅱ-4-19 取り組みを少し後に回してもやむを得ないと思う分野（年代別）

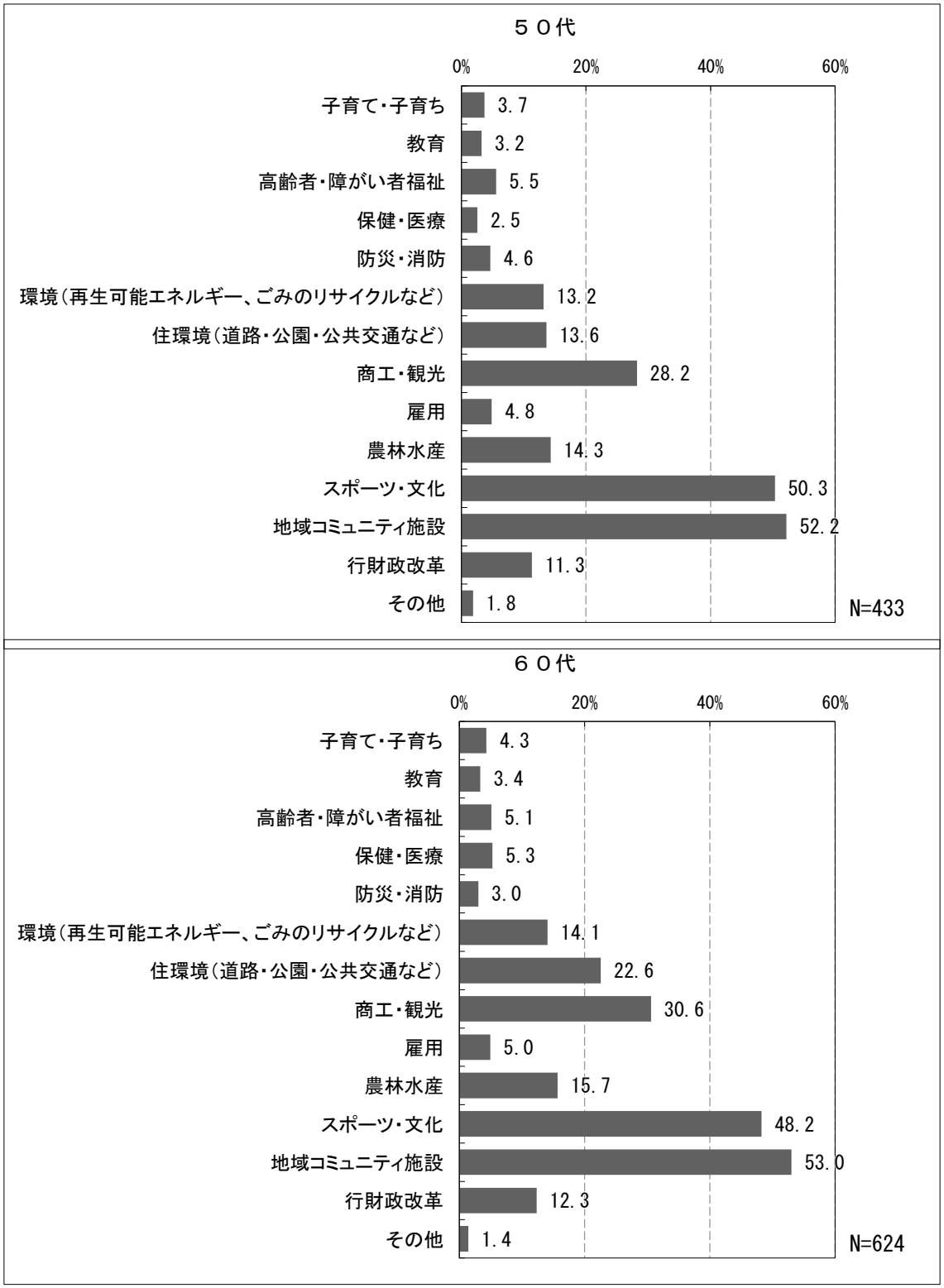




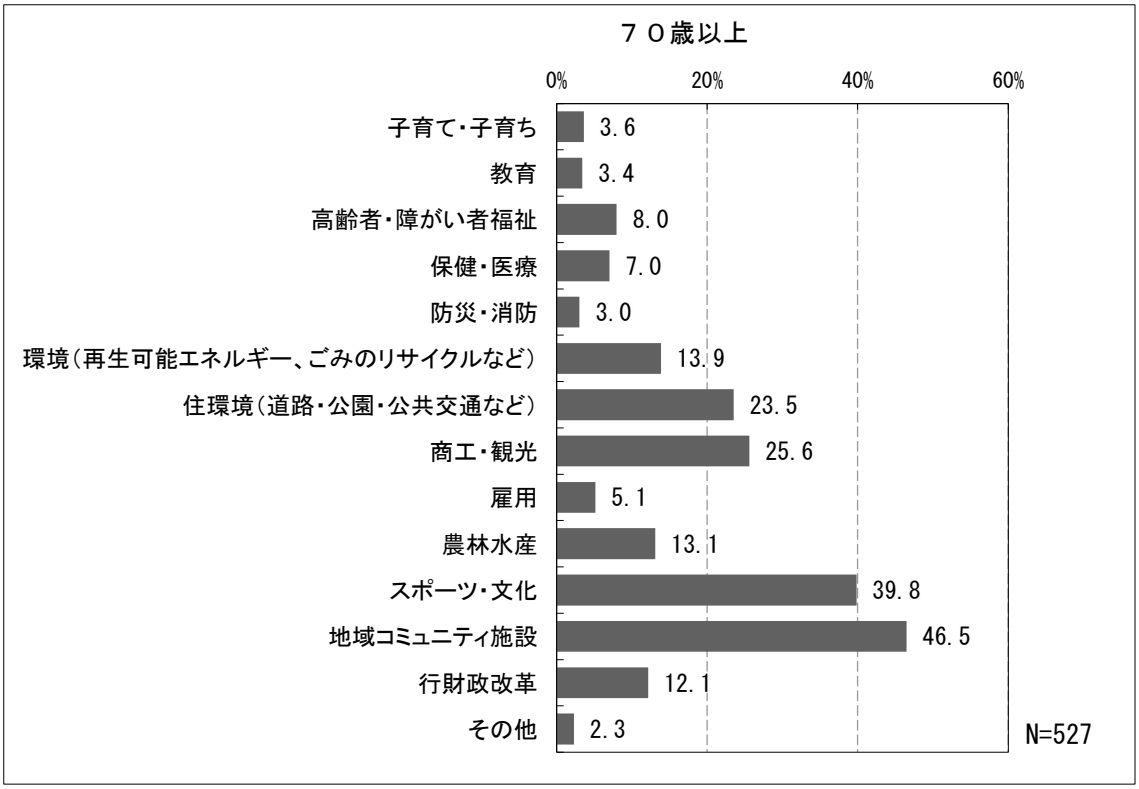
図表Ⅱ-4-19　取り組みを少し後に回してもやむを得ないと思う分野（年代別）



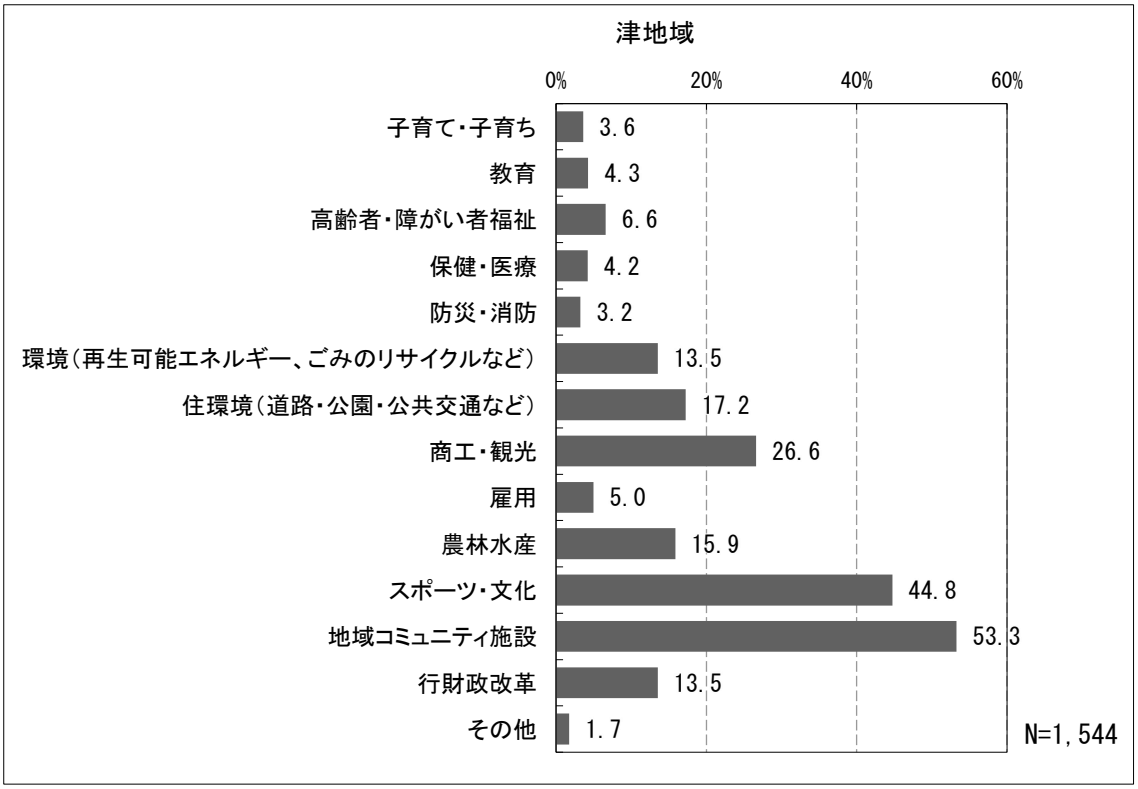
図表Ⅱ-4-19　取り組みを少し後に回してもやむを得ないと思う分野（年代別）

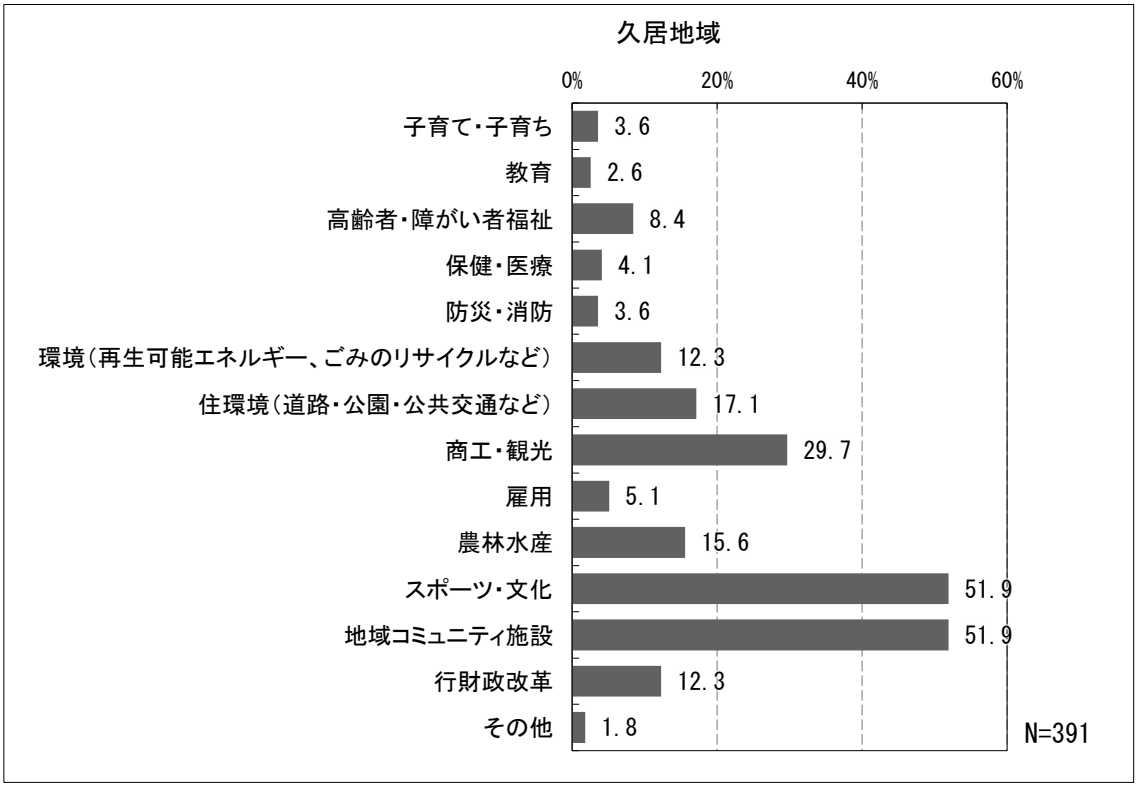


図表Ⅱ-4-19　取り組みを少し後に回してもやむを得ないと思う分野（年代別）

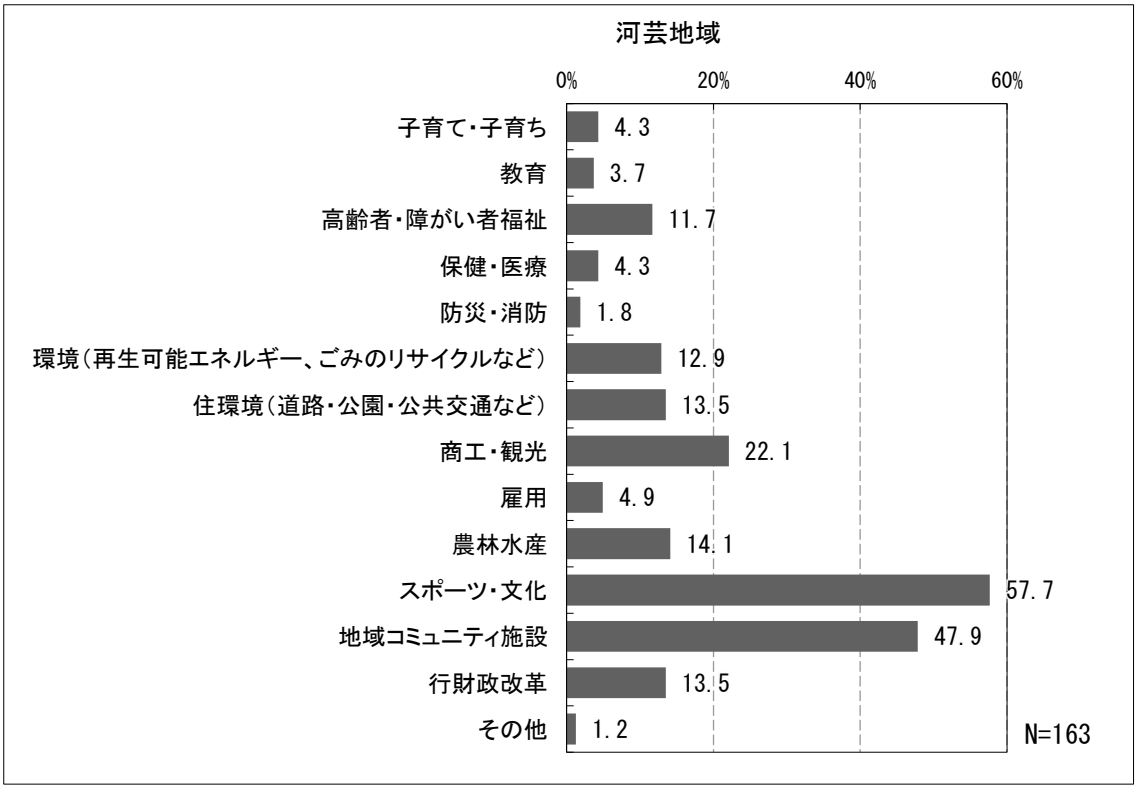


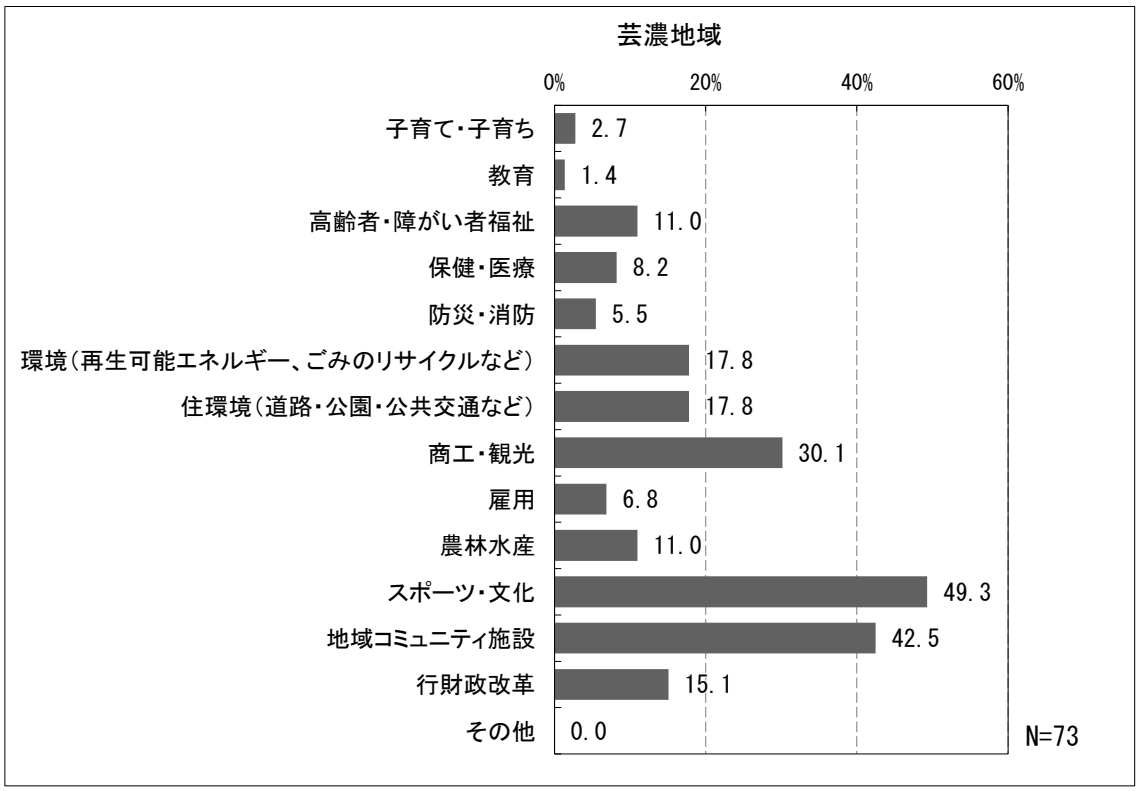
図表Ⅱ-4-20　取り組みを少し後に回してもやむを得ないと思う分野（居住地別）



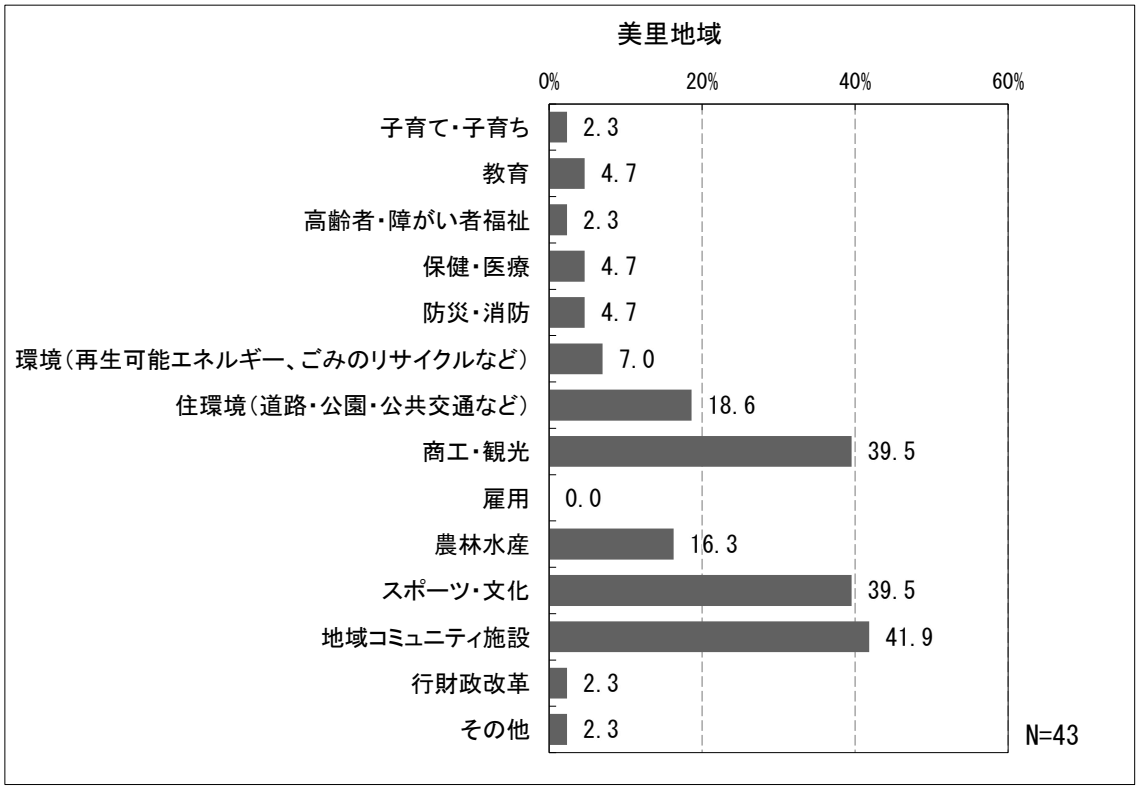


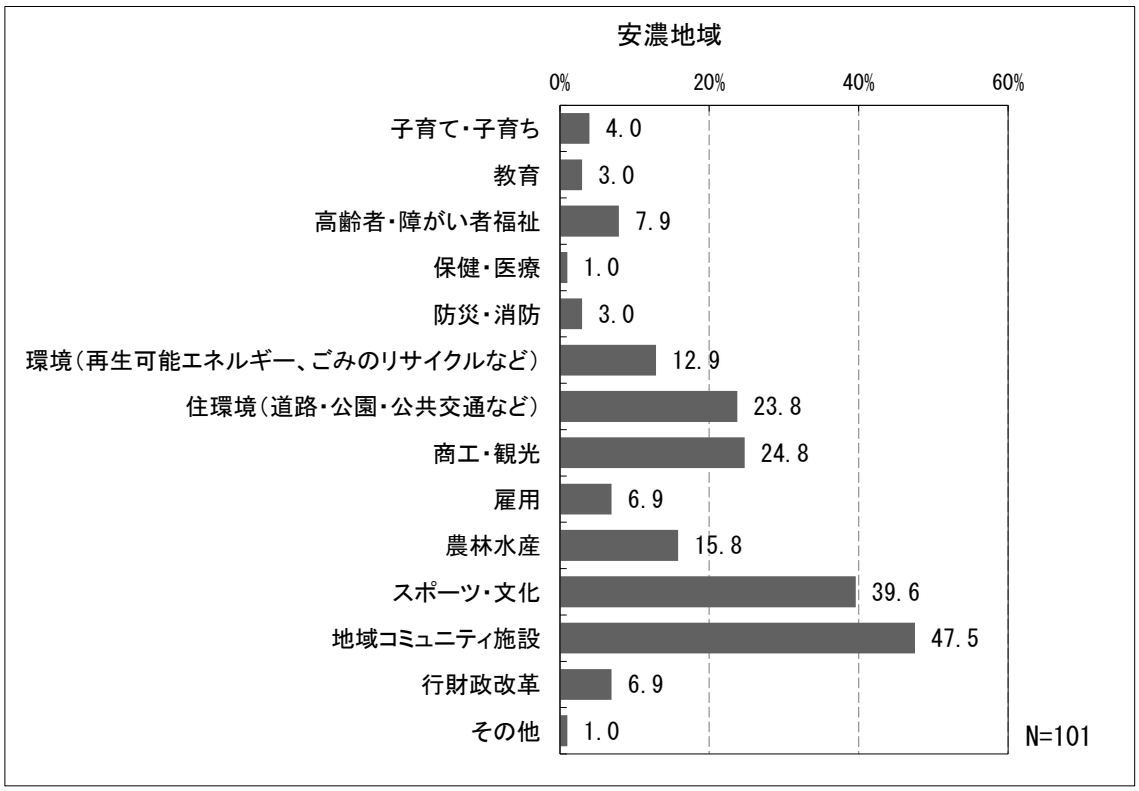
図表Ⅱ-4-20　取り組みを少し後に回してもやむを得ないと思う分野（居住地別）



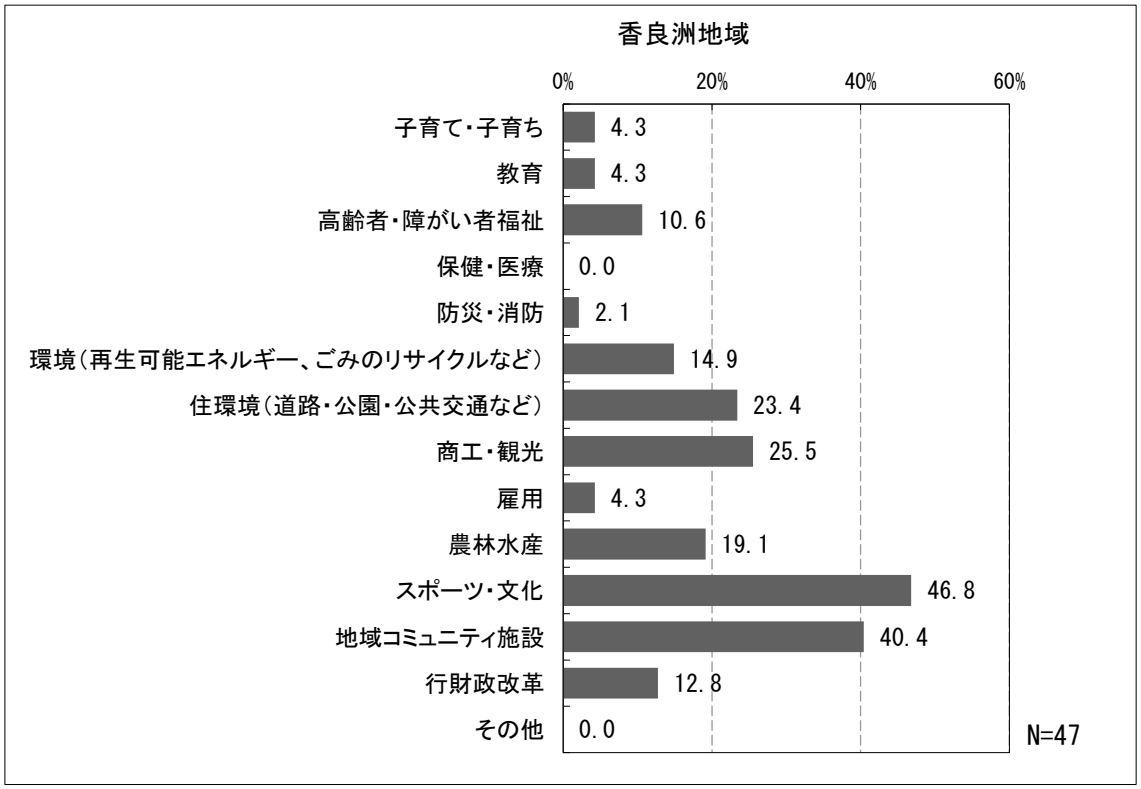


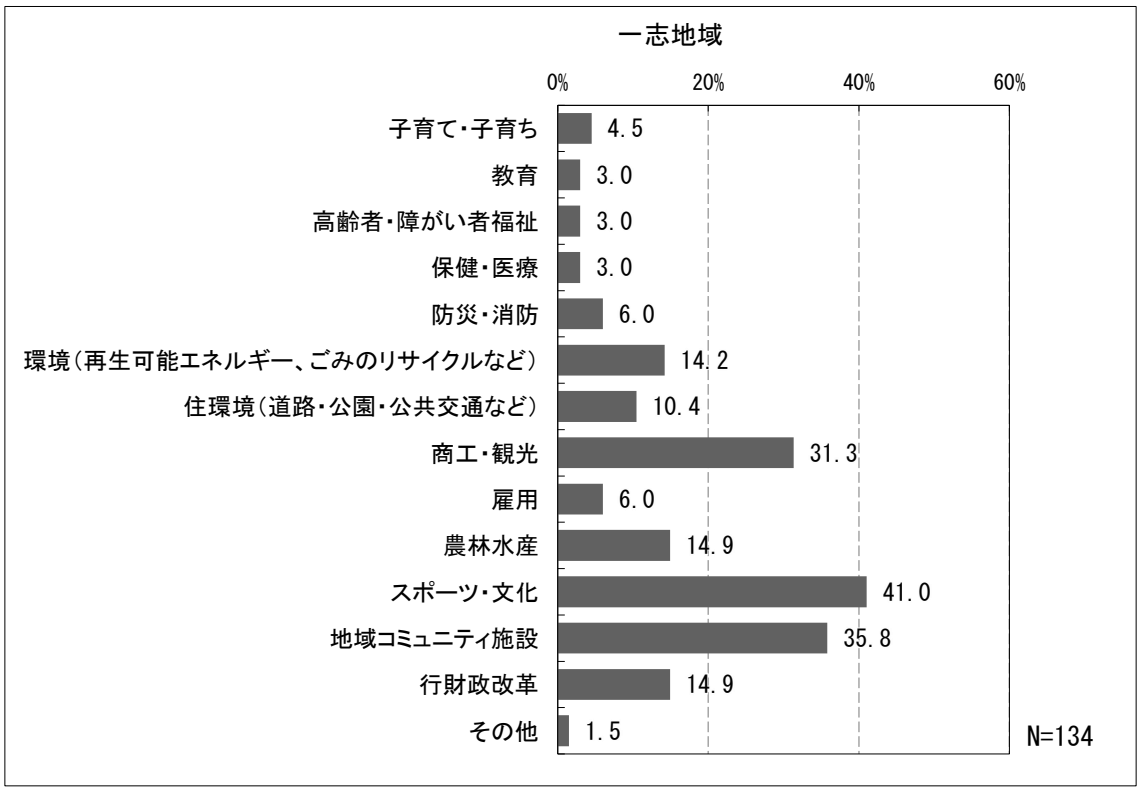
図表Ⅱ-4-20　取り組みを少し後に回してもやむを得ないと思う分野（居住地別）



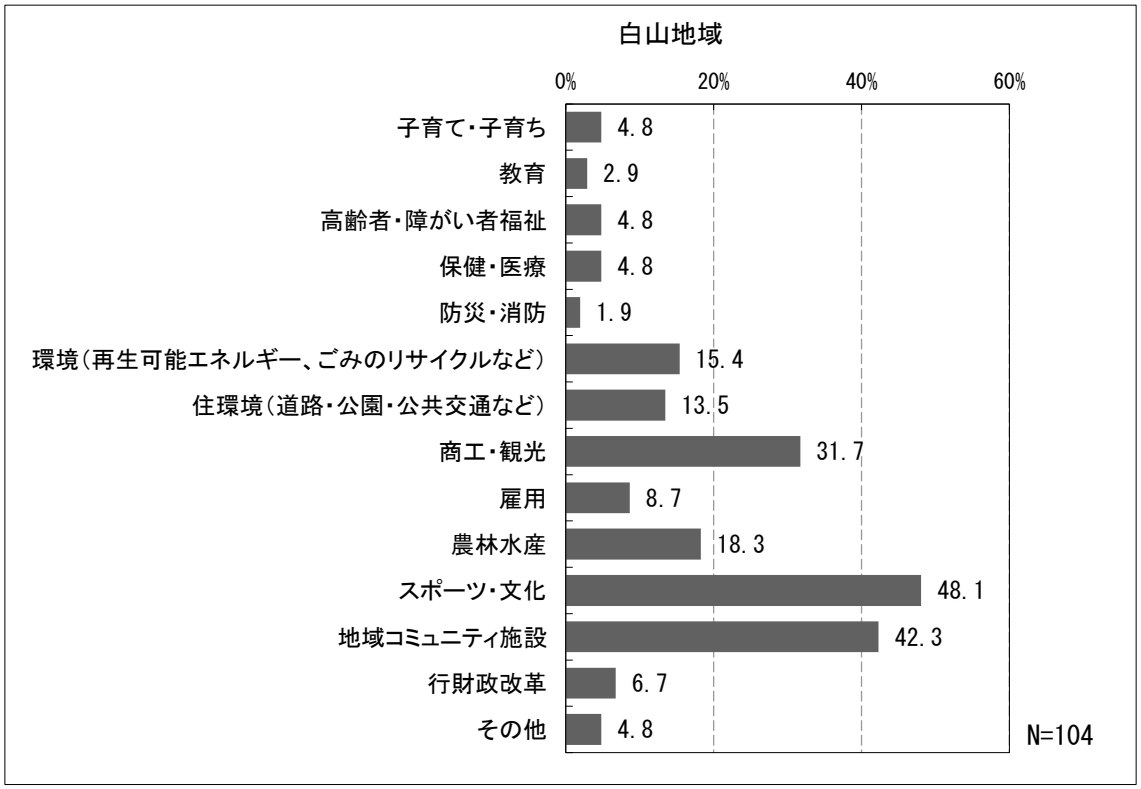


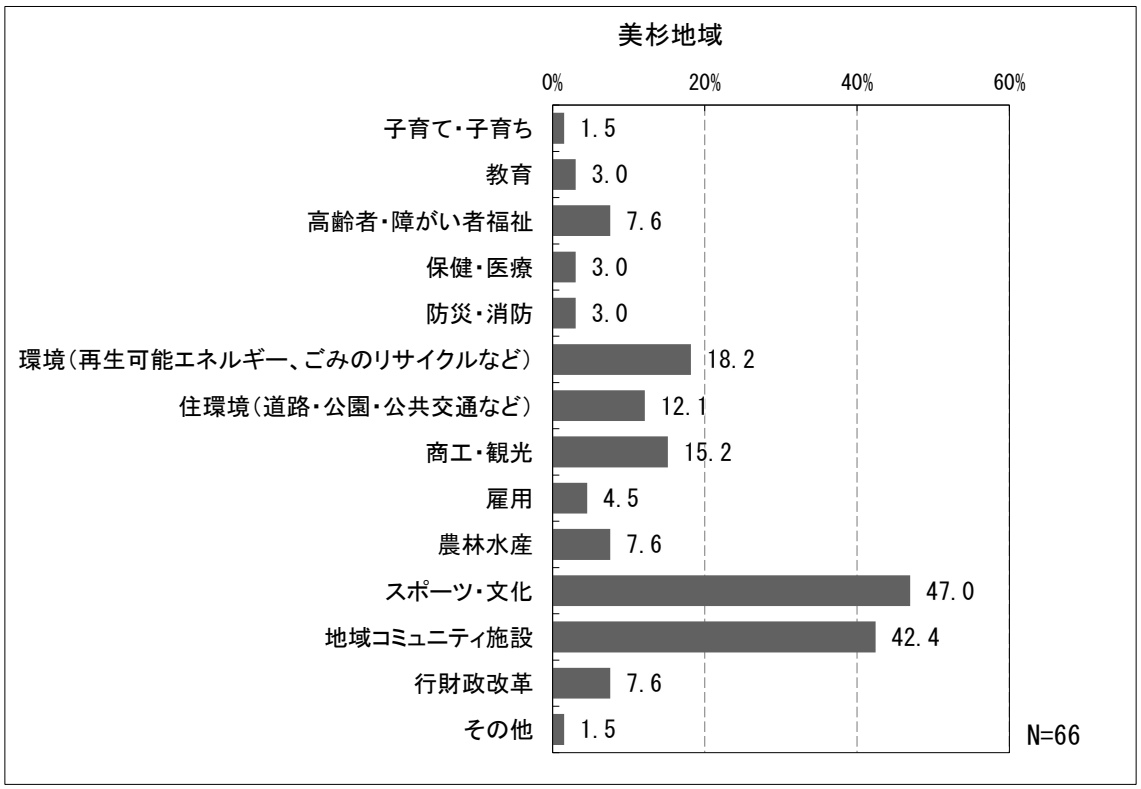
図表Ⅱ-4-20　取り組みを少し後に回してもやむを得ないと思う分野（居住地別）





図表Ⅱ-4-20　取り組みを少し後に回してもやむを得ないと思う分野（居住地別）



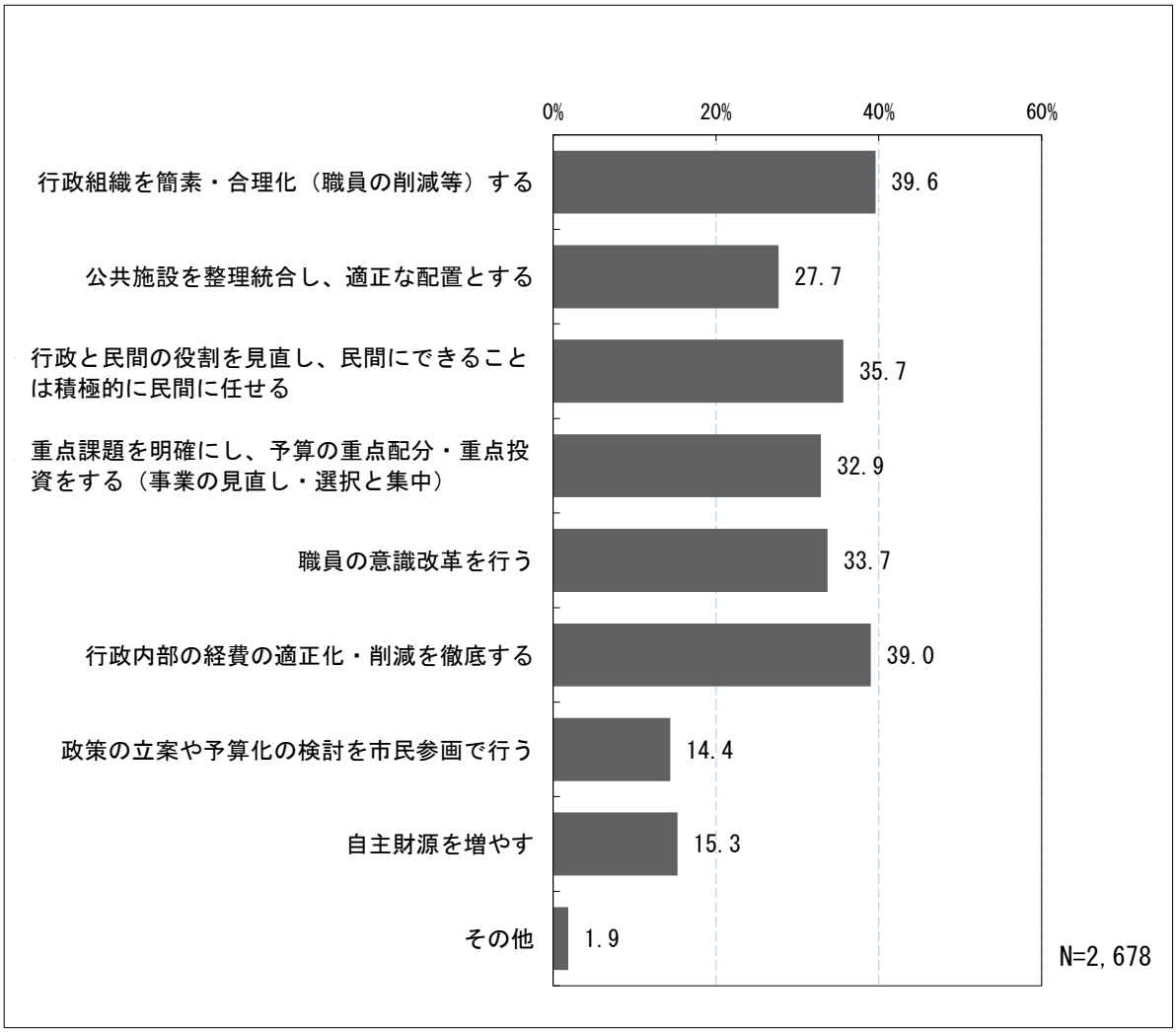


（７）行財政改革で特に進めるべきもの

設問 19　津市においても行財政改革を推進しているところですが、今後特に進めなければならないことがあれば３つまで選んでください。＜３つまでに○印＞

行財政改革として今後特に進めなければならないことについては、「行政組織を簡素・合理化（職員の削減等）する」が 39.6%と最も多く、次いで「行政内部の経費の適正化・削減を徹底する」（39.0%）、「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」（35.7%）なっています。

図表Ⅱ-4-21　今後の行財政改革で特に進めるべきもの（全体）



Ⅲ　自由意見

今後厳しさを増すことが予想される社会経済情勢の中、あなたがこれからの津市のまちづくりを進めるとすれば、特にどのようなことに力を入れますか。アイデア等がございましたらお聞かせください。

○ 自由意見は要点をまとめ、設問１７で設定した「１３分野＋その他」で分類するとともに、内容が類似している御意見については整理して集計しています。また、複数の分野にわたる御意見などは、「その他」としています。

分　類	内　　容	件　数
子育て・子育ち	子育てしやすいまちづくりをしてほしい	8
	少子化対策の充実	6
	子育て環境を充実してほしい	5
	子ども医療費の窓口無料化	3
	子どもたちが住みやすいまちづくりをしてほしい	3
	人口減少対策の充実	2
	子どもの遊び場を充実してほしい	2
	子どもが遊べる公園整備	2
	子育てしやすいまちであることをもっとＰＲすべき	2
	母子家庭の児童扶養手当審査を厳しくしてほしい	2
	家庭での子ども教育の重要さと親への啓発	2
	各小学校にそれぞれ学童保育を常設してほしい	2
	子どもの貧困対策に取り組むべき	1
	公園もプールも少なく、子育てしにくいまちだと思う	1
	親子で自然の中で過ごす場所が少ない	1
	子どもも親も安心できるまちづくりをしてほしい	1
	子育て環境が不十分であるため、特区を設けるなどして若い人を呼び込むべき	1
	子育て支援センターにおける学生等のボランティアの積極的な活用	1
	地域で手の空いた人達が見守ってくれるような若い家族にとって暮らしやすい環境を整えてほしい	1
	福祉をもっと充実してほしい（特に子ども）	1
	３人目は保育料を無料にしてほしい	1
	子どもの医療費助成への所得制限を撤廃してほしい（多額の税金を払っているのに恩恵がないのはおかしい）	1
	子育てをしながら働ける環境の整備	1
	ワーク・ライフ・バランスの推進	1
	子育て家庭への支援の充実	1
	子育て支援の一層の充実（保育士の処遇改善、子ども医療費の窓口無料化など）	1
	子育て支援の充実	1
	子どもの多い世帯に対する福祉を充実させてほしい	1
	児童手当の増額、特に第３子以降の大幅な増額	1
	将来ある子どもたちのために予算を使ってほしい	1
	人口減少を抑止するために、認定こども園を増やしてほしい	1
	転勤族が多い場所なのに、子育て環境が不十分	1
	保育料決定はなぜ９月なのか、２年前の収入で決定されると困る	1
	子どもの数を増やし、今後の税収を考えた方がよい	1
	市債を増加させるより、少子化対策、教育などに力を入れてほしい	1
	低所得者の子育て支援	1
	久居地域の保育施設の充実	1
	公園を増やすより保育園を増やしてほしい	1
	公立保育園の保育時間を延ばしてほしい	1
	潜在保育士の復帰支援を充実してほしい	1

分　類	内　　容	件　数
	病児保育が不十分	1
	保育所の充実	1
子育て・子育ち　集計		69
教育	学校教育の充実	5
	地域間の教育格差をなくしてほしい	3
	弱者を思いやる心を育む教育の充実	2
	子どもの学力向上	2
	小中学校の空調設備の整備	2
	図書館に自習室を完備するなど、勉強できる場所の確保	2
	郷土愛を育む教育の充実	1
	公立の中高一貫校の整備	1
	お金の使い方に関する教育の充実	1
	学校ごとの特色ある教育の充実	1
	学校教育への高齢者ボランティアの活用	1
	教育は子どもだけでなく、保護者(特に母親）に対しても重要	1
	公立の中学校までの学費無償化	1
	子どもたちが皆で助け合っていってほしい	1
	子どもの心を大切にする教育の充実	1
	子どもの教育環境を充実してほしい	1
	子どもの夢を育てる教育の充実	1
	塾に頼り過ぎないよう、学校教育を充実してほしい	1
	小学校の教育でスマホよりも大切なことを教えてほしい	1
	小中学生のあいだに地元の歴史、文化を広く知る機会を作り、郷土の魅力を知ってほしい	1
	政治に関心を持つような教育の充実	1
	担任の先生以外のサポートする先生を充実させてほしい	1
	幼児教育の充実	1
	外国人の教育の改革	1
	寄附金を活用した教育の充実	1
	高校の授業料無償化	1
	高等教育の無償化	1
	大学の奨学金は親の所得に関係なく無利子で借りられるようにしてほしい	1
	三重短期大学の廃止を考える必要があると思う	1
	学校教育現場が劣悪	1
	学習環境の向上	1
	給食メニューの栄養バランスが悪い	1
	幼稚園の整備	1
	まちづくりの中心を決めて、それに見合った人材を育成する教育を実践してほしい	1
	国公立大学の偏差値向上による優秀な人材の育成	1
	積極的な子育て、教育支援を行い、人材育成に注力してほしい	1
	教育システムが他県や他市よりも劣っている	1
	公立幼稚園の３年保育と給食を実施してほしい	1
	子どもの英語教育の開始時期を早める	1
	市立の幼稚園は給食もなく、保育時間も私立に比べると短い	1
	小学校の土曜授業の分を夏休みに回して夏休みを短くしてほしい	1
	幼稚園を改革すべき（時代に合っていない）	1
	小中学校の遠距離通学対策	1
	園児数の少ない幼稚園は統廃合して税金の無駄遣いをやめてほしい	1
	義務教育学校みさとの丘学園は、小学校３校を統合していて、合理的で経費削減に貢献している	1
	小中学校の統廃合を進めてほしい	1
	市立幼稚園も３歳からにしてほしい	1
教育　集計		57
高齢者・障がい者福祉	高齢者への外出支援（バス代の補助など）	10
	高齢者のボランティア等への活用	6
	高齢者福祉の充実	6
	障がい者福祉の充実	5
	高齢者福祉施設の充実	3

分　類	内　　容	件　数
	高齢者が安心して、元気に暮らせるまちづくりをしてほしい	3
	高齢者、障がい者が安心して暮らせるまちづくりをしてほしい	3
	認知症に対する対策と支援	3
	高齢者の健康づくりの充実	3
	老人が安心して不安のない生涯が暮らせるように願いたい	3
	健康寿命の延長による医療費の抑制	2
	バリアフリー化の推進	2
	一人暮らしの高齢者福祉の充実	2
	高齢化社会に対応出来るまちづくりの充実を	1
	高齢者が安心して暮らせるように	1
	少子化問題に伴い、高齢者が住みやすいまちにしてほしい	1
	津市は高齢者が多いので、病院や施設に任せるばかりでなく、在宅での介護を支援することが肝要	1
	空き地を利用した高齢者の健康づくり	1
	高齢者が交流したり軽い運動ができるような場所があればよい	1
	高齢者の活躍の場を増やし、選択と集中の施策を展開すべき	1
	高齢化社会に対する支援を考えてほしい	1
	入院しても３ヶ月で出される事がないようにしてほしい	1
	老後に対する不安	1
	デイサービスを利用しなくても老人が集える場所の確保	1
	一人暮らしの高齢者が集まる場を作って孤立を防ぐ	1
	一人暮らしの高齢者の安全の確保	1
	一人暮らしの対策を充実させてほしい	1
	家族の介護支援の充実	1
	介護オムツは、現物支給ではなく金券で自由に選べるようにしてほしい	1
	高齢者がいつまでも穏やかに過ごせるまちづくりをしてほしい	1
	高齢者への地域福祉の充実	1
	弱者の立場を重んじて人の痛みに沿った行政をしてほしい	1
	昔のような地域住民の交流を取り戻し、高齢者が生きがいをもって暮らせるまちであってほしい	1
	要介護、要支援の認定をもっと厳しくし、介護保険料が上がらないようにしてほしい	1
	老人家庭への民生委員による家庭訪問は年に２～３回でもよいので、生活の状況等の相談に乗ってほしい	1
	老々介護への対策、支援	1
	安くて入りやすい介護施設を建ててほしい	1
	介護職員を獲得するための給料等待遇面の改善を実施する	1
	高い介護保険を払っているので特別老人介護施設を充実させてほしい	1
	少子高齢化を考え、福祉施設の増設	1
	低年金の人が入居できる介護施設が不足している	1
	廃校、廃園の跡地を利用して高齢者施設を作る	1
	年金からの天引きが多すぎて、安心して老後が過ごせない	1
	年金生活者にゆとりのある生活が送れるように社会保障の見直しをしてほしい	1
	高齢者福祉施設より、障がい者福祉施設を増やしてほしい	1
	手厚い高齢福祉に比べて、障がい者が暮らしにくいように感じるため、障がい者への就労支援をしてほしい	1
	障がい者が住みやすい社会にしてほしい	1
	精神疾患を有する人の生活支援プログラム（就業支援等）	1
	知的障がい者福祉施設の充実（老障介護の現実も見てほしい）	1
	福祉避難所を作ってほしい	1
	空き地、空き家を買い取って高齢者のための菜園を作る	1
	高齢者が社会の中で居心地よく活動できる場を増やす	1
	高齢者ボランティアポイント制度など、先進事例を取り入れてほしい	1
	働く意欲のある高齢者に仕事を任せ、ワークシェアを図るとよい	1
	高齢者が集うことのできる場所が各地域に必要	1
	高齢者にやさしいまちづくりをしてほしい	1
	地域包括ケアシステムの構築	1
	介護士の公務員化	1
高齢者・障がい者福祉　集計		96

分　類	内　　容	件　数
保健・医療	高齢者の健康づくりにより医療費を削減する	4
	市民病院を作ってほしい	4
	救急の受け入れ病院を増やしてほしい	3
	医療費の窓口無料化をしてほしい	2
	在宅医療を充実させてほしい	2
	不妊治療への支援を充実させてほしい	2
	医療を充実させるべき	2
	国民健康保険料が高すぎる	2
	自主財源を増やす努力をして国民健康保険料や介護保険料を下げる	1
	必要以上の通院や薬をなくし、医療費の抑制に努めるべき	1
	子ども医療費の助成はよいが、必要以上の通院などにつながらないよう無料ではなく、少しは自己負担をするべき	1
	休日の救急医療体制が悪い	1
	休日夜間応急診療所の時間、診療科目を拡充してほしい	1
	救急救命センターがないのは津市政の怠慢	1
	松阪市の応急クリニックの取組みがよい	1
	津市では救急車がたらい回しにされることが多い	1
	津市は広域すぎて救急搬送に時間がかかる	1
	医療費を抑制し、地域の活力を高めるため、スポーツを通じた健康づくりを推進してほしい	1
	健康づくりには、ボランティアだけでなく、専門性を持った人材が広くサービス提供できる施策を展開してほしい	1
	高齢者が気軽に行ける運動施設があれば医療費の削減につながる	1
	認知症予防のための体操のＤＶＤを作成し、近所の公園などでできるようにしてほしい	1
	総合病院を建ててほしい	1
	医療や福祉に関してやさしさが足りない	1
	健康づくりや地域医療の充実に力を入れてほしい	1
	県立一志病院の医療設備を充実してほしい	1
	行政が「こころのケア」の部分のサポートをもっとしてほしい	1
	産婦人科、婦人科のみの病院を建ててほしい	1
	津市は医療に関する施設設備が充実しているがうまく活用できていない	1
	病院は本当に具合の悪い人を優先させてほしい	1
	訪問診療を充実させてほしい	1
保健・医療　集計		43
防災・消防	津波対策を強化してほしい	7
	地震対策を強化してほしい	6
	日頃から災害に備え、避難訓練をする	2
	久居地区の水害対策をしっかりやってほしい	2
	防災対策を万全にしてほしい	2
	他の事業より津波対策を優先させるべき	2
	災害時の仮設住宅の候補地として久居駐屯地が最適だと思う	1
	災害時の仮設住宅は空家をリフォームしたらよいと思う	1
	救急車が来るのが遅すぎる	1
	名張への救急搬送をしてほしい	1
	防災行政無線が暴風雨の中で聞こえるかテストする	1
	防災行政無線の音声を聞き取りやすくしてほしい	1
	防災行政無線は日頃から不審者情報なども放送するとよい	1
	治安対策も必要	1
	水害に備え河川のしゅんせつを検討してほしい	1
	水害に備え危険箇所を減らしてほしい	1
	今は復興対策（地籍調査）より防災を優先してほしい	1
	地震に備えインフラを整える	1
	地震時の避難道路の確保	1
	競艇場付近の津波対策が心配	1
	地域によっては避難体制ができていないところがある	1
	日頃から災害に備え、家族で話し合う	1
	日頃から災害に備え、地域の人と交流する	1
	日頃から災害に備え、避難場所を確認しておく	1
	津波避難場所の充実	1
	避難場所をしっかり準備してほしい	1

分　類	内　　容	件　数
	災害時の対応策を市民に公表する	1
	津市で地震が起きた時のシミュレーション動画を作ってほしい	1
	防災に関する情報発信を積極的にしてほしい	1
	防災マップ等の周知を図る	1
	できるだけ小さな地区単位で住民を把握しておくことが必要	1
	市役所の本庁機能を各総合支所に分散して大災害に備える	1
	防災対策と住民の意識向上	1
防災・消防　集計		48
環境	自然環境を保全する	7
	ごみを不法投棄させない対策をしてほしい	4
	ごみ収集方法の改善	3
	リサイクルの推進	3
	ごみの分別について、地区によって基準にばらつきがあり、問題が起きている	1
	ごみを有料化する	1
	ごみ集積場の改善	1
	ごみ焼却炉を強化し、分別の種類を減らしてほしい	1
	ポイ捨て禁止を強化してクリーン活動を広めたい	1
	再生可能エネルギー、ごみゼロ社会に向けて取り組んでほしい	1
	地域のみんなでごみ拾いしてもすぐ増えてしまうので、もっと多くの人が活動を広げ、ごみを減らしたい	1
	長谷山までの道路はごみ道路となっている（以前は掃除していたが、一人では限界がある）	1
	道や山、海にごみがたくさんあるのが気になる	1
	一人ひとりが環境に配慮し、住みやすい津市にする	1
	ここ数年、宅地化により緑が消えている	1
	地球温暖化防止策として日本でも有名なエコ都市となれるようエコ対策を率先して行う	1
	新最終処分場の環境に対する影響は大丈夫か	1
	イベントは市民が楽しめる場でもあるが、ごみや騒音も多く、楽しいことばかりでないことを理解してほしい	1
	リサイクル品の拠点回収、窓口の時間外稼働は好感がもてる	1
	下水処理場の汚泥を使って天然ガスを作り、車の燃料として供給するという神戸市の取組を取り入れてはどうか	1
	津市だけのことではないが、無駄な紙が多すぎるため、リサイクルの前に根本から無駄をなくすべき	1
	産業廃棄物処理業者や解体業者をチェックしてほしい	1
環境　集計		35
住環境	道路の交通安全対策の推進	15
	公共交通機関の利便性向上	15
	公共交通ネットワークの充実	12
	誰もが楽しめる公園・緑地の整備	11
	下水道整備の地域間格差の是正と早期整備推進	11
	倒壊や火災等の危険のある空き家・空き地への対策強化	10
	道路ネットワークの形成に向けた計画的な整備推進	10
	コミュニティバス等の充実	9
	道路整備の推進	8
	交通渋滞解消に向けた取組の充実	7
	道路の定期的な点検・補修と交通安全対策	6
	市民が安全、安心に暮らせるまちにしてもらいたい	6
	街灯を設置してほしい	4
	交通マナーの改善に向けた取組の強化	4
	防犯対策の推進	3
	大雨等に備えた雨水排水対策の推進	3
	津インターチェンジ周辺の開発の推進	3
	子育てしやすく、若い人が住みたいと思える住環境の整備	3
	津駅周辺のターミナル駅としての機能強化と景観整備を図る	3
	公共交通機関の利用促進に向けた取組	3
	コンパクトシティの推進	2
	交通渋滞解消に向けた取組	2
	良好な道路環境の整備	2

分　類	内　　容	件　数
	空き家・空き地の有効活用	2
	バリアフリー化の推進	2
	上水道の水質改善	2
	若い人向けの安く借りられる住居があるとよい	2
	「オンデマンド方式」の乗り合いバスを津市にも実現させてほしい	1
	どこにバスが必要か見直すべき	1
	バスなどの利用料金を安くして、気軽に利用できるようにすべき	1
	バスの定時性確保のためのバスレーンの導入やパークアンドライドの活用を進めてほしい	1
	まち全体が暗く大きな通り（２３号線など）も寂れている	1
	リニア新幹線の停車駅を津市に誘致してほしい	1
	飲食やレジャーの出来るメイン道路がないので、津インターチェンジ付近を開発してほしい	1
	沿道景観を整備すれば、通行する人の気持ちの安らぎにもなり、津市を訪れる人も増えるのでは	1
	過疎地域の巡回タクシーなどを実現すれば山間部にも活気が戻ると思う	1
	既存宅地の活用	1
	居住地区の再編	1
	景観整備による交流人口の増加に向けた取組	1
	交通の便が悪く、魅力的なスポットやイベントがない	1
	交通事故・交通災害の防止	1
	交通犯罪や軽犯罪を減らす取組をしてほしい	1
	公園・緑地の適正な維持管理	1
	公園等の樹木の適切な剪定・伐採を行ってほしい	1
	公園内へのドッグランの整備	1
	荒れた土地や山から道に下がってきている木の枝、雑草を処理してほしい	1
	県立美術館周辺の樹木の伐採、草刈りなど景観を整備してほしい	1
	高層ビルを建てるのではなく、低層で整ったまち並みがよい	1
	国道２３号中勢バイパスの交通渋滞解消に向けた立体交差化、４車線化の推進	1
	市の中心部に四日市市の駅前のような地下駐車場があればよい	1
	自然環境を保全しつつ、開発する所は開発する	1
	自転車専用路線を設置してほしい	1
	車がないと生きていけない社会	1
	周辺環境整備の前にきちんと基盤整備を実施すべき	1
	住宅の安定供給	1
	住宅街周辺道路での交通を規制し、静かな住環境を守ってほしい	1
	人家の近くで太陽光発電パネルの設置を行う場合は、設置の基準を設けてほしい	1
	地域、関係機関が連携した高齢者を対象とした犯罪	1
	地域の新たな交通手段を検討すべき	1
	中勢バイパスは失敗だと思う	1
	長谷山登山道の維持、管理を行ってほしい	1
	津インターチェンジにトイレ、休憩所を作ってほしい	1
	津駅、津新町駅等、マイカー送迎のスペースを作ってほしい	1
	津駅周辺は学校が多いため、自転車置き場の整備やバスの便を増やすなどの通学対策に取り組んでほしい	1
	津駅前の駐車場は多くあるが無駄だ	1
	津市だけでなく、県内の高速道路のインターチェンジや土手に花木をいっぱい植えられないか	1
	津市の中心地として津インターチェンジ周辺の開発に取り組んでほしい	1
	津市の歴史的な建物、観光地への交通の便を改善し、アピールすべき	1
	津新町駅から大門を通りなぎさまちまでの路面電車を引く	1
	道路の定期的な点検・補修	1
	道路の排水やごみ、雑草への対策など適切に行ってほしい	1
	道路は新たに新設せず、現状の維持補修で十分	1
	道路や下水道をよくして住みやすくすることで、移住人口増加、税収増を図る	1
	背伸びをせず生活第一のまちづくりの推進	1
	買い物しやすい環境の整備	1

分　類	内　　容	件　数
	白塚漁港近隣の空き地にドックランを作り、ペットを通じて市民交流を図る	1
	犯罪の抑制に効果のある青色の街路灯を設置してほしい	1
	無駄な道路整備計画は廃止すべき	1
	名松線を奥津から名張まで延伸してほしい	1
	名松線を利用した観光、レジャー、スポーツ施設の充実	1
	夜間の騒音対策として、住宅街周辺道路でのスピード違反の取締り強化に取り組んでほしい	1
	緑化の推進	1
	路上駐車の取り締まりを強化し、緊急車両がスムーズに通行出来るようにすべき	1
	老巧化した上下水道管の耐震化工事を早急に行う	1
住環境　集計		217
商工・観光	津駅周辺を活性化してほしい	13
	企業誘致	9
	商店街を活性化する	7
	大きな商業施設を作ってほしい	4
	レジャー施設を作ってほしい	3
	名産、名所など何か一つ強く推せるものがあればよい	3
	観光に力を入れてほしい	3
	津市の特徴を活かした観光	3
	大門商店街を活性化してほしい	3
	豊かな自然のイメージをアピールして観光客を増やしてほしい	2
	観光や津市のＰＲに力を入れてほしい	2
	食べ物など地元の物をＰＲすべき	3
	工業振興	2
	若い人が遊べる施設を作れば人が集まると思う	2
	津観音、高田本山などを中心とした観光開発	2
	城中心にまちづくりをすれば他県からの観光客が見込める	2
	大門付近の駐車場を整備してほしい	2
	デパートやウィンドウショッピングをしたいと思えるところがなく、購買意欲がわかない	2
	他県から人が来るような大型商業施設や遊園地などを作ればよいと思う	2
	もっと津市のＰＲをして、観光地とし、経済を循環させてほしい	2
	津市出身や津市にゆかりのある人物を活かした観光振興	2
	「いちご大福」「天むす」など津市元祖のものをアピールした方がよい	1
	アーケード街の空き店舗を活用する	1
	イベントを行って他県から人を呼び込むべき	1
	インターチェンジ周辺にアウトレットモールを作る	1
	カジノを作って観光客を増やすのはどうか	1
	カフェやサロン、大型ショッピングセンターなどついつい出かけたくなるまちづくり	1
	サイエンスシティに商業施設を誘致して地域を活性化してほしい	1
	サオリーナができれば若者が集まるので飲食店やスポーツ店などもできればよい	1
	サオリーナなどをもっとアピールし、観光客を呼び込む	1
	シーサイドを利用した集客施設ができるとよい	1
	せっかくきれいな海岸線があるので、季節にあわせた海でのレジャーやイベントを作って、人を集めてはどうか	1
	テーマパークがあれば観光客が増えると思う	1
	なぎさまちを活用してイベントやコンサートを行い、人を呼び込んではどうか	1
	ふるさと納税制度を活用し、官学民一体で地域産業の活性化、新産業の育成を推進していく	1
	まちの駐車場を無料にして人を集め活性化する	1
	ラーメン横丁などの集客が見込めそうな場所を作る	1
	レジャー施設を増やしてメディアに取り上げてもらう	1
	駅周辺にショッピングモールがない	1
	駅周辺に買い物ができるところがあれば便利	1
	駅前の活性化	1

分　類	内　　容	件　数
	温泉、レジャー、ショッピングなどが楽しめる複合型施設の建設	1
	海・山・川がそろう自然豊かな場所なので、これを観光資源として環境整備をすべき	1
	海岸から青山高原までの観光ルートを作成し、県外から集客してほしい	1
	学生など地域を巻き込んで観光を活性化させるような工夫が必要	1
	観光客から愛される活気あるまちにしてほしい	1
	観光施設を増やす	1
	競艇事業の活性化と周辺海岸の整備を行って観光客を増加させる	1
	月に一度朝市を開催	1
	県外からも人が来るような大きな商業施設などを作る	1
	郊外に大型商業施設を誘致する	1
	高齢者が住めるよう日常の買い物ができる店が近くにほしい	1
	国道３６８号線の川沿いの杉を手入れして美しい川の景観を見られるようにすれば、津市を訪れる人が増えると思う	1
	今ある施設を充実させて、市外からも人が来てもらえるようにする	1
	祭や観光で人を呼べるよう力を入れてほしい	1
	三重に本社がある企業への支援	1
	子育て支援、雇用の場を確保して、若者の購買力を増やして地域経済を発展させてほしい	1
	市が企業と連携し、他市からみても魅力的だと思われるような施設やイベントを作れないか	1
	市の中心部に集客できる施設を作って活性化する	1
	自然環境や観光資源など素晴らしいところがあるのに活かせていない	1
	若い人が大門商店街で魅力的な店を作れるようサポート体制を整えてほしい	1
	若い人を呼び込むイベントを開催する	1
	若者からお年寄りまで参加できるイベントをたくさん開催する	1
	若者が買い物できるような大きな商業施設を作ってほしい	1
	商業振興や観光については、専門家の力を借りて斬新なプロジェクトに挑戦してほしい	1
	商店街が寂しすぎるので、元気で明るい津市にしてほしい	1
	商店街へ若者に人気の店を入れ、流行の発信源にする	1
	商店街や個人商店の活性化対策をしてほしい	1
	商店街を活性化し、観光客を増やす	1
	商店街を活性化するか大きな商業施設を作ってほしい	1
	小さくてもキラリと光る産業や企業が必要	1
	小規模店舗が経営していけるようデフレの解消が必要	1
	小中学生にもっと地元の歴史文化を知ってもらい、将来津市から出た時に情報発信をしてもらえば、広く津市をＰＲできる	1
	植樹や海岸線整備などにより人を呼び込めればまちが活性化する	1
	色々な種類の店を作ってほしい	1
	新しいアイデアを持った若者を支援していくべき	1
	新最終処分場の見学ツアーを実施して美杉町をアピールしてほしい	1
	新町通りや丸之内周辺から大門までの道のりを活性化すると賑やかなまちになると思う	1
	対外的に何を目玉にして津市をアピールするのかを明確にしなければ、まちは衰退する	1
	大きなショッピングセンターが市の中心部にあれば活性化する	1
	大型バスの駐車場整備が必要	1
	大型商業施設などを作って観光客を増やし、雇用や税収の増加につなげる	1
	大手スーパーが少なく、空き店舗が多い	1
	大門アーケード内のシャッターが気になる	1
	大門か津駅あたりを人が集まる場所にしてほしい	1
	大門のアーケード街を建て直し、演劇鑑賞などができる観光地にする	1
	大門を市が再開発して移住者を受け入れたり、魅力ある店を入れたりして人の集まる場所にするべき	1
	大門商店街の活性化とイベントへの補助をしてほしい	1
	地域経済の活性化	1
	地元の祭などを増やしてほしい	1
	地元の人も観光客も行きやすい場所にアミューズメント要素がいっぱいの道の駅を作る	1

分　類	内　　容	件　数
	地元企業の知名度を上げる	1
	津と久居の花火を合同で開催する	1
	津まつりにたくさん人が集められるような有名人を呼ぶ	1
	津まつりや花火大会は市民が楽しめる場ではあるが、迷惑な面もあることを理解してもらいたい	1
	津まつり以外にもよさこいの大会を開催して人を呼びたい	1
	津駅、大門、津新町が分散しているので、３つの地域を活性化して人の流れを作る	1
	津駅と丸之内地区が離れていることが大きな問題	1
	津駅をもっと近代的で県庁所在地らしくしてほしい	1
	津駅前の活性化や観光地への投資などで新たな人の流れを作る	1
	津市で行われるイベントをもっと宣伝した方がよい	1
	津市のよいところを活用して利益につなげる	1
	津市の観光地をもっとアピールし、交通の便も改善するとよい	1
	津市の情報発信が必要	1
	津市の物産を海外で売れるよう、市がバックアップする	1
	津市の魅力を全国にアピールして観光客を集めてほしい	1
	津市は自然が豊かなので、海と山に絞って見どころを作ってはどうか	1
	津市は知名度が低いのでもっと地域活性化に力を入れるべき	1
	津市を昔のような活気あるまちにしたい	1
	伝統工芸やグルメなど、津市ならではの名産を作る	1
	動物園や水族館のような家族で行けるような場所を作ってほしい	1
	道の駅のような施設を増やし、地元の若い力を活用してほしい	1
	福岡の屋台を参考に津の屋台を作る	1
	雰囲気が良ければ人は集まると思う	1
	本格的に具体的な計画を持って観光に力をいれるべき	1
	魅力ある道の駅を作ってほしい	1
	優秀な人材を呼び込み、経済を活性化する	1
商工・観光		169
雇用	雇用対策の充実	11
	雇用対策としての企業の誘致	8
	保育士の待遇改善	5
	高齢者が働ける場所を作ってほしい	5
	賃金の底上げ	2
	カジノの誘致	1
	家賃相場はそれほど高くないが仕事が少ない	1
	外国人労働者の受け入れ	1
	看護師の待遇改善	1
	観光資源は少ないが、住みやすいので、雇用があれば移住も増えるのでは	1
	航空産業や食品など長期的に安定した雇用につながる産業を誘致する	1
	高校を卒業し、進学のために多くが県外流出してしまうので、帰ってきて働きたいと思える場が必要	1
	子育てしながら働く女性をもっと採用してほしい	1
	生活保護受給者への就労支援の充実	1
	地元で遊ぶ場所、働く場所がなく、地元の人間が地元で生活できない	1
	津市には企業の本社がないため県外に若い人が流出している	1
	津市には雇用がなく、派遣、請負業が多いため、不安定であり、人口が年々減少してしまう	1
	働く場所が少なくなってきていると思う	1
	農業や水産業、社会福祉などの分野の人材育成に予算を使ってほしい	1
	農村地域へ企業を誘致し、工業化する	1
	無理のない働き方できるよう、思いやりのある人材育成と正当な賃金を支払う優良企業の育成	1
	労働しやすい環境づくり	1
雇用　集計		48
農林水産	農林業の振興	3
	獣害対策	2
	バイオマスの利用	2
	休耕田対策	2

分　類	内　　容	件　数
	耕作放棄地の有効活用	2
	森林資源の活用	2
	ジビエ料理を手軽に食べられるようにする	1
	林業の実践学習を中学生に体験させるなど、地域の仕事を知り地域で働く選択肢を与えてみる	1
	農業のシステムを変え、若い人が担い手となれるようにする	1
	農業振興計画を見直すべき	1
	農業人口の減少対策	1
農林水産　集計		18
スポーツ・文化	誰もが楽しめるスポーツ施設を新設・充実してほしい	7
	津城の再建と周辺の景観整備に取り組んでほしい	4
	プロスポーツ（野球、サッカー）が観戦できるような大型スポーツ施設がほしい	3
	文化施設の新設・充実を図ってほしい	3
	津球場、津体育館の移転、改修等	2
	歴史、文化の保存、継承に力を入れてほしい	2
	サオリーナ周辺の環境を整備してほしい	1
	スポーツ、健康増進分野の市職員を増やし、健康で明るいまちにしてほしい	1
	スポーツ振興や施設の老朽化対策については、寄附を募るなど、行政任せにせず、地域、市民でできることは積極的に取り組む	1
	球場や体育館などスポーツ施設が少なく、予約が面倒	1
	子どもたちが本物の芸術・文化に触れることのできる環境を作ってほしい	1
	将来、スポーツで活躍する子どもたちを育てるため、スポーツ教育に力を入れてほしい	1
	全天候型の陸上競技場など、屋内、屋外を問わず集約・複合型のスポーツ施設を整備してほしい	1
	大人と子どもが楽しめるスポーツ交流を進めてほしい	1
	津球場を屋根付きの球場（ドーム型）にしてほしい	1
	津市は公共施設が整っているので文化面でも住みやすい	1
	文化、伝統を活かしたまちづくり	1
	豊かな自然環境を保全し、文化、芸術レベルの向上を目指した心豊かに過ごせるまちづくりの推進	1
スポーツ・文化　集計		33
地域コミュニティ施設	地域コミュニティ施設を増設してほしい	2
	風呂を備えた施設を整備し、利用者からの利用料を市の財源にする	1
	地域の交流の場として小中学校の空き教室を開放してほしい	1
地域コミュニティ施設　集計		4
行財政改革	市職員の意識改革の推進と市民目線に立ったサービスの提供	20
	コスト節減に向けた業務や事業の見直しを行うべき	5
	誰もが市民活動に参加でき、市政や津市の将来について意見交換できる機会を作ってほしい	5
	安定した財源の創出、確保	4
	広報津の発行回数を月１回にすべき	2
	競艇事業の売り上げ向上に向けた取組の推進	2
	行政と民間の役割分担を見直し、民間活力を活用する	2
	行政施設の複合化・合理化を進めてほしい	2
	市議会の意識改革が重要	2
	各地域の個性を尊重し、地域特性に応じた取組を推進してほしい	2
	総合支所の利便性を向上させてほしい	2
	ＩＴの活用により人件費を削減すべき	1
	イベント等は有志や民間に任せて公費の支出は行わない	1
	スポーツ、健康に関する仕事の市職員を増やし健康で明るいまちにしてほしい	1
	競艇事業の活性化	1
	競艇場は不要であるため、廃止すべき	1
	競艇場を広く市民に開放し、活用できるようにしてほしい	1
	広報津を前のスタイルに戻してほしい	1
	合併により何事にも時間がかかるようになった	1
	国、県、市の公共事業の不満	1
	市職員、市議会議員の人数を削減し、ボランティアを活用する	1

分　類	内　　容	件　数
	市長、市会議員、市役所の１年間の取組内容を報告してほしい	1
	市民にわかりづらい制度等について、口頭で詳しく分かりやすく説明してほしい	1
	市民に寄り添い、市民との一体感を強めていく機会を増やしてほしい	1
	市民の意見を聴き、市民の立場に立った行政運営をしてほしい	1
	市民への説明責任を果たし、市民の声に積極的に耳を傾けるなど、市民と行政が常に「つながり」を意識し合い、意見し合える環境を作るべき	1
	市民参画による政策立案や予算の検討を進めてほしい	1
	市民生活の利便性の向上のため、時差勤務を導入し、窓口開設時間を延長してほしい	1
	市役所の駐車場の見直し	1
	若い世代の意見を行政に活かしてほしい	1
	出張所の人員を削減し、誰もが利用できるコミュニティセンターとしてほしい	1
	公務員は色々な面で優遇されている	1
	職員の意識改革と組織の合理化の実施	1
	職員の海外視察は廃止すべき	1
	人員配置の最適化を進めるべき	1
	人件費削減ではなく、本当に無駄なこと、無駄なものを見直してほしい	1
	税金の使途を明確にし、活用の方法の検討に市民が参加できるようなまちづくりを進めてほしい	1
	選挙権が引き下げられたことを受けて、市の政策を市民にわかりやすく伝えてほしい	1
	総合支所に地元出身の職員を配置してほしい	1
	総合支所機能の見直しと本庁舎への機能集約を進めてほしい	1
	総合支所機能を縮小し、デイサービスや児童館など他の用途に活用すべき	1
	談合行為の防止に向けた調査と対策の強化	1
	津市の行政の発想が乏しい	1
	土日を営業日にして、週休日を平日にしてはどうか	1
	本庁と総合支所の機能の統一を進めてほしい	1
	本庁舎機能の総合支所への分散	1
	民間の手法を積極的に導入すべき	1
	民間へのアウトソーシングが多過ぎる	1
	予算の使途をしっかりと見直してほしい	1
	三重短期大学の一部を三重大学に移管して、市の財源を他の分野に投入してほしい	1
行財政改革　集計		87
その他	他県に自慢できる特徴あるまちづくりをしてほしい	9
	県庁所在地なのに活気がない	7
	生活保護受給者の審査をもっと厳しくしてほしい	7
	過疎対策をしてほしい	3
	経済最優先ではなく、多様な個人を認める日本でありたい	2
	差別のないまちづくり	2
	若者にとって魅力あるまちづくりをしてほしい	2
	高齢者よりも若い世代を優先にしてほしい	2
	三重県の中でも、津市には代表的なものがない	2
	２０～３０代が活躍できる場を増やしてまちの活気を作る	1
	なぜ海岸の近くに大学病院を新設したのか考えられない	1
	ネットを活用して若者も参加できるようにする	1
	ボランティアをポイントとして換算し、色んな所でそのポイントを使えるようにする	1
	ボランティア活動をしてもらう仕組みを作る	1
	ボランティア活動を重視する	1
	ユニバーサルデザインのまちづくりを推進してほしい	1
	挨拶できない人が多いので、皆で挨拶をするよう取り組んでほしい	1
	官公庁でもっているまちであり、他に何もないので、オフィス特区を狙う	1
	観光の入込客より定住者の増加（過疎地の産業育成）	1
	喫煙場所をもっと作ってほしい	1
	漁業、農業、工業、商業をバランスよく発展させ、自然豊かな環境を大切にしたまちづくりを進めてほしい	1

分　類	内　　容	件　数
	近所の方とのコミュニケーションなど人とのつながりが重要だ	1
	金を生む社会（産業の振興、空き家への増税）	1
	警察官の資質向上	1
	県庁所在地というだけで、観光・福祉・産業どれも中途半端なので、福祉の充実をしてほしい	1
	雇用創出等、住みやすく人をひきつけるまちづくりをして、人口減少に歯止めをかけほしい	1
	行政によるまちづくりの先進事例を市民に周知し、市民の理解と協力を得る	1
	高齢者、子どもがのびのび暮らせるまちづくりをしてほしい	1
	高齢者が活躍でき、将来の子どもたちのためになることをしてほしい	1
	合併して津市となった地域にも津市民として生活をしている実感が根付くようになってほしい	1
	合併市町村間の格差の是正	1
	国際交流を重視してほしい	1
	今ある施設や広場を活用して、人々が充実感を味わえるようにしてほしい	1
	子どもが見て希望を感じるような姿を大人の言動に求めたい	1
	子どもの頃から多文化共生に関わる機会があればよい	1
	住みやすいまちだが、弱者にもやさしいまちになってほしい	1
	住みやすいまちだが楽しむ場所が少ないので、人を呼べる場所ができるとよい	1
	住みやすいまちづくり	1
	重点的な防災対策により国道から東側の固定資産評価を上げて、税収を確保	1
	少子高齢化に対応した地域振興、産業活性化を図ってほしい	1
	少子高齢化社会に対応した思い切った政策を展開してほしい	1
	松阪市に合併した嬉野は合併後活性化したので津市も頑張ってほしい	1
	食事を提供するお店を出すとき、自宅の台所でも可能にしてほしい	1
	人権、平和施策を推進してほしい	1
	人権が尊重されるまちづくり	1
	人口急減により、集落が消滅しないようにしてほしい	1
	生活保護は必要だが、ジェネリック医薬品を推進するなど、給付にとどまらない対策が必要	1
	全世代での地域交流の機会が少ないので、いつでも自由に参加できるイベントを作り、住民交流を深めてはどうか	1
	他県に比べて津市は活気がないので、今後若い人が住みやすいまちになってほしい	1
	多文化共生の行事を津地区で行う	1
	誰もが平等なまちづくり	1
	誰もが豊かな生活を送ることができるまちづくりをしてほしい	1
	地域の祭も減ってきて、地域の若者と高齢者がふれあう場が少ない	1
	地域住民が田、畑の空き地を利用して、楽しみながら特産品を開発するなど、まちから遊びに来る人がお金を使う仕組みづくり、地域づくりができればよい	1
	地理的に非常によい場所にあるのでますます発展してほしい	1
	津市も広くなったので中心地や山間部の交流がもっとできるとよい	1
	低所得者の所得をしっかりと調べてほしい	1
	田舎であることを自覚すべき	1
	動物たちに優しくすること	1
	物やお金より人間として心豊かで優しいまちづくりを進め、皆が思いやり、共生できる社会にしてほしい	1
	方言の「そうやに」という優しい言葉の似合うまちになってほしい	1
その他　集計		88
総計		1012

あなたの声をお聞かせください

津市総合計画策定のための
市民意識調査のお願い

日頃より市政に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

津市では、平成２０年度からを計画期間とする合併後最初の総合計画を策定し、めざすべき将来像とする「環境と共生し、心豊かで元気あふれる美しい県都」の創造を目指して、まちづくりを進めています。しかし、この総合計画は計画期間を１０年としており、平成２９年度で終了することになります。

このため、現在津市では平成３０年度からを計画期間とする次の総合計画（次期総合計画）の策定を進めています。次期総合計画の策定にあたり、市民の皆様の市の施策に対する評価やこれからのまちづくりに求められていることなどを把握するため、無作為に選ばせていただいた平成２８年７月２５日現在市内にお住いの１５歳以上の男女７，０００人の方を対象に市民意識調査を実施します。今回の調査で得られた結果をもとに、次期総合計画を策定してまいりますので、皆様の貴重な御意見をお聞かせください。

この調査は、平成３０年度からの新しい総合計画づくりに役立てるために行うものです。回答は無記名です。集計結果は公表させていただく予定ですが、個人が特定されることはございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨を御理解のうえ、御協力をお願いします。

平成２８年７月

津市長　前葉 泰幸

御記入にあたってのお願い

- 封筒の宛名の御本人様が回答してください。氏名を記入していただく必要はございません。
- 御回答は設問ごとの指示に従ってください。
- 調査票に御記入いただきましたら、お手数ですが、**平成２８年８月２６日（金）まで**に、同封の返信用封筒に入れて御投函ください（切手は不要です。）。
- ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞　津市政策財務部政策課
電　話：059-229-3101
ＦＡＸ：059-229-3330
E-mail：229-3101@city.tsu.lg.jp

1　あなた自身について

設問１　あなたの性別は？　＜１つだけに○印＞

１．男性　　２．女性

設問２　あなたの年齢は？　＜１つだけに○印＞

１．１０代　　２．２０代　　３．３０代　　４．４０代

５．５０代　　６．６０代　　７．７０歳以上

設問３　あなたのお住まいは？　＜１つだけに○印＞

１．津地域　　２．久居地域　　３．河芸地域　　４．芸濃地域　５．美里地域

６．安濃地域　　７．香良洲地域　８．一志地域　　９．白山地域　10．美杉地域

設問４　あなたの職業は？　＜１つだけに○印＞

１．会社経営・自営（農林水産業含む）　　２．会社員・団体職員

３．公務員　　４．アルバイト・パート　　５．学生

６．無職　　７．その他（具体的に　　）

設問５　通勤・通学先はどこですか？　＜１つだけに○印＞

１．津市内

２．津市以外の三重県内の市町（市町名：　　）

３．三重県以外の市町（市町名：　　）

４．通勤・通学していない

設問６　ご家族の構成は？　＜１つだけに○印＞　※現在のお住まいでお答えください。

１．ひとり暮らし世帯　　２．一世代世帯(夫婦のみ)

３．二世代世帯(親･子)　　４．三世代世帯(親･子･孫)

５．四世代世帯(親･子･孫･ひ孫)　　６．その他(　　)

設問７　居住歴・居住年数を教えてください。

※合併前の旧市町村での居住歴・居住年数を含みます。

７－１居住歴は？　＜１つだけに○印＞

１．生まれてからずっと津市に住んでいる

２．津市の出身だが、一時期市外での居住経験がある

３．県内から転入　　４．県外から転入

７－２居住年数は？

＜数字を記入＞

津市には通算で

＿＿＿＿＿　年

住んでいる

2　津市での暮らしについて

設問 8　あなたは津市に愛着を感じていますか？　＜１つだけに○印＞

1．とても愛着を感じている
2．どちらかというと愛着を感じている
3．どちらかというと愛着を感じていない
4．愛着を感じていない
5．どちらともいえない

設問 9　あなたは今後も津市に住み続けたいですか？　＜１つだけに○印＞

1．ずっと住み続けたい
2．当面は住み続けたい
3．できれば転居したい
4．すぐにでも転居したい
5．わからない

「5．わからない」を選んだ方は次ページの設問１１にお進みください。

転居したい地域は？　＜１つだけに○印＞
1．三重県内の市町（　　）
2．愛知県
3．東京・大阪方面
4．その他（　　）
5．特定の地域はない

設問 10　上記設問（設問 9）で１～４のいずれかの答えを選んだ主な理由は何ですか？　＜３つまで○印を付けてください＞

1．自然や環境が保護されているから（悪化しているから）
2．日常の買い物が便利だから（不便だから）
3．道路状況や交通の便が良いから（悪いから）
4．地域の行事や近所づきあいがあるから（面倒だから）
5．子供の保育・教育の環境が良いから（心配だから）
6．適当な職場があるから（ないから）
7．保健・医療分野のサービスや施設が充実しているから（不十分だから）
8．福祉分野のサービスや施設が充実しているから（不十分だから）
9．スポーツ・レジャー施設や文化施設が充実しているから（不十分だから）
10．上下水道などの整備が充実しているから（遅れているから）
11．良好な宅地の確保など、住環境の整備が充実しているから（遅れているから）
12．消防、防災体制が充実しているから（不十分だから）
13．防犯体制が充実しているから（不十分だから）
14．手頃な住宅があったから（ないから）
15．その他（具体的に：　　）

3　市政に対する評価

設問 11　以下の 58 項目について、満足度と重要度をお答えください。

まちづくりの目標「美しい環境と共生するまちづくり」

これまでの津市の取組みに対する『**満足度**』と今後津市が取り組むことの『**重要度**』についてそれぞれ１～５の中から１つに○印をつけてください。	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
（回答例）○○に関する対策 …… …… ……など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
循環型社会の形成										
1. 資源の循環的利用の推進 ごみゼロ社会に向けた3R(※)推進、再生資源の利用拡大など ※3R: Reduce(リデュース：減らす), Reuse(リユース：再利用), Recycle(リサイクル：再資源化)のこと	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2. 廃棄物等の適正な処理 廃棄物の収集及び処理、新最終処分場の建設、不法投棄対策など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3. 環境への負荷の少ない社会の形成 再生可能エネルギーの創出、省エネルギー対策、新エネルギーの導入促進など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4. 環境共生社会の実現に向けた活動推進 市民の環境意識の高揚や環境学習・環境教育の推進など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
次世代に残す自然環境の保全・創造										
5. 多様な自然環境の保全 森林の保全と活用、親水空間の形成、自然とのふれあいの場の整備など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6. 環境保全対策の推進 大気・水質・騒音などの環境調査、公害防止対策の充実など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
快適な生活空間の形成										
7. 住環境の整備 住宅の円滑な活用促進、定住の促進、公営住宅の改善・改修など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8. 良好な景観の形成 歴史的景観、都心・農村・森林景観等、地域特性に応じた景観の形成など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9. 緑化の推進と公園緑地の整備 緑化の推進や公園緑地の整備・維持・管理など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
生活基盤の整備										
10. 上水道・簡易水道の整備 安全で安定した給水の確保、水道経営の健全化、水道水源の保全など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

これまでの津市の取組みに対する『**満足度**』と今後津市が取り組むことの『**重要度**』についてそれぞれ１～５の中から１つに○印をつけてください。	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
11. 生活排水対策の推進 下水道の整備や普及促進、下水処理場や農業集落排水施設などの下水機能の維持管理など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12. 生活道路の整備 せまい道の拡幅・整備、安全で安心な道路や橋の維持管理など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13. 墓地の維持管理と斎場の整備 墓地や斎場の維持管理など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

御回答いただいた１～１３の取組みのうち、これからの津市のまちづくりでも力をいれるべきと考える施策の番号を３つまでご記入ください。

まちづくりの目標「安全で安心して暮らせるまちづくり」

これまでの津市の取組みに対する『**満足度**』と今後津市が取り組むことの『**重要度**』についてそれぞれ１～５の中から１つに○印をつけてください。	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
安全なまちづくりの推進										
14. 終わりなき防災施策の強化 地域防災力や避難体制、情報収集・伝達体制等の強化など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15. 災害に強いまちづくりの推進 安心して暮らせるまちづくりや治水・治山対策等の推進など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16. 消防力の充実 消火・救急、救助体制の充実、予防体制と地域の消防力の向上など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17. 交通安全対策の推進 交通安全施設の充実や交通安全意識の高揚など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18. 防犯対策の推進 地域の防犯力の向上や暴力追放の推進など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

これまでの津市の取組みに対する『**満足度**』と 今後津市が取り組むことの『**重要度**』について それぞれ１～５の中から１つに○印をつけてください。	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
19. 消費者の保護 消費者相談の充実、悪質商法手口の情報提供など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
健康づくりの推進と地域医療体制の充実										
20. 健康づくりの推進 自らの健康管理意識の向上、こころの健康づくりの推進など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21. 地域医療の推進 地域医療環境の充実や救急医療体制の整備など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
地域福祉社会の形成										
22. 地域福祉の充実 ボランティアの育成、社会福祉協議会、民生委員・児童委員活動の推進等地域における福祉活動の充実など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23. 高齢者福祉の充実 高齢者が安心して生活できる地域社会の推進、高齢者の生きがいづくり・生活支援の充実など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24. 障がい者(児)福祉の充実 安心できる暮らしに向けた生活支援、自立と社会参加の促進など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25. 子育ち・子育て支援の推進 保育内容・保育環境の充実、子育て家庭支援の充実、子どもを育む地域活動の促進など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
26. 一人親家庭に対する福祉の充実 子育て・生活環境の整備、経済的な支援や就業支援など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
27. 公的医療保険の運営 国民健康保険の健全な事業運営、特定健診・特定保健指導の実施など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
28. 低所得者福祉の充実 適切な支援の実施や自立支援体制の充実など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

御回答いただいた１４～２８の取組みのうち、これからの津市のまちづくりでも力をいれるべきと考える施策の番号を３つまでご記入ください。

まちづくりの目標「豊かな文化と心を育むまちづくり」

これまでの津市の取組みに対する『**満足度**』と今後津市が取り組むことの『**重要度**』についてそれぞれ１～５の中から１つに○印をつけてください。	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
生きる力を育む教育の推進										
29. 幼児教育 就学前（小学校に入る前）教育の充実や教育環境の整備、家庭教育支援の充実など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
30. 学校教育 信頼される学校づくりの推進や教育内容の充実、安全で快適な教育環境の整備など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
高等教育機関との連携･充実										
31. 高等教育機関 大学などの高等教育機関との連携や三重短期大学の充実など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
生涯学習スポーツ社会の実現										
32. 生涯学習の推進 学習環境の充実、地域の人材育成、学習施設の整備･充実、地域における人権教育の推進など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
33. スポーツの振興 津市産業･スポーツセンターの整備･運営、競技力の向上、スポーツ･レクリエーション活動機会の充実など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
34. 青少年の健全育成 健全育成活動の充実や放課後児童クラブの充実など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
文化の振興										
35. 文化、芸術活動の充実 市民文化の振興や文化施設の経営改善など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
36. 歴史的資源の保全と活用 文化財の保存･継承や歴史的資源を活かしたまちづくりなど	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
人権尊重社会の形成										
37. 人権・平和施策の推進 人権啓発･擁護のための取組や恒久平和の実現に向けた取組の推進など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

御回答いただいた２９～３７の取組みのうち、これからの津市のまちづくりでも力をいれるべきと考える施策の番号を３つまでご記入ください。

まちづくりの目標「活力あるまちづくり」

これまでの津市の取組みに対する『**満足度**』と今後津市が取り組むことの『**重要度**』についてそれぞれ１～５の中から１つに○印をつけてください。	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
自立的な地域経済の振興										
38. 総合的な産業振興の推進 産業振興基盤の強化や企業立地の促進、地域資源の活用など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
39. 農業の振興 農業経営の強化や農地の保全と活用、農業基盤整備の推進など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
40. 林業の振興 林業経営基盤の強化や森林保全と生産基盤の整備、森林資源の活用促進など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
41. 水産業の振興 漁業基盤の整備や経営基盤の強化など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
42. 工業の振興 生産基盤の強化や重点産業の推進、既存工業の振興・中小企業の育成など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
43. 商業の振興 商店街の振興や新たな商品の魅力づくり、商業経営の安定化支援など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
44. 勤労者福祉と雇用の推進 労働環境の改善や勤労者福祉の増進、雇用機会の創出など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
交流機能の向上										
45. 都市機能の整備 交流の拠点や新都心軸の整備促進など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
46. 道路ネットワークの整備 計画的・体系的な道路網の整備や道路の適切な維持管理など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
47. 港湾・海岸の整備 海岸堤防の整備促進や港湾機能の向上など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
48. 公共交通の充実 コミュニティ交通システムの整備、JR名松線の利用促進や海上アクセスの利便性向上、ヘリポートの活用など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
49. 情報ネットワーク化の推進 情報サービスの充実、行政事務の効率化、情報リテラシー（※）の向上など ※情報リテラシー：情報を十分に使いこなせる能力のこと	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
観光の振興										
50. 観光の振興 交流人口の増加やコンベンション（※）の誘致、津市に来て楽しむ・津の魅力をとどける仕組みづくりなど ※コンベンション：ある特定の目的のために多くの人々が集まる催しや集会	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
51. 競艇事業の活性化 競艇事業の経営強化など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

御回答いただいた３８～５１の取組みのうち、これからの津市のまちづくりでも力をいれるべきと考える施策の番号を３つまでご記入ください。

まちづくりの目標「参加と協働のまちづくり」

これまでの津市の取組みに対する『**満足度**』と今後津市が取り組むことの『**重要度**』についてそれぞれ１～５の中から１つに○印をつけてください。	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
市民活動の促進										
52. 市民活動の推進 市民意識の高揚やニーズに応える市民活動の支援、地域コミュニティの活性化など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
53. 国際・国内交流と多文化共生の推進 国内外の友好都市等との交流推進や外国人住民と地域社会との交流支援など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
54. 男女共同参画の推進 男女共同参画意識の高揚に向けた啓発やワーク・ライフ・バランス(※)の推進など ※ワーク・ライフ・バランス：仕事と生活の調和のこと	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
55. ユニバーサルデザインのまちづくりの推進 ユニバーサルデザイン(※)の浸透、誰もが暮らしやすく社会に参加しやすい環境の整備など ※ユニバーサルデザイン：年齢や障がいの有無などにかかわらず、多くの人が利用できること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
市民との協働の推進										
56. 市民との対話と連携の推進 市民等と市長や職員との対話の推進、多様な媒体を活用した広聴、積極的かつ迅速な情報発信など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
57. 総合支所と地域住民との協働 地域課題の解決に向けた総合支所の機能強化や地域づくりの推進体制の強化など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
58. 市政を総合的に評価した満足度	5	4	3	2	1					

御回答いただいた５２～５７の取組みのうち、これからの津市のまちづくりでも力をいれるべきと考える施策の番号を２つまでご記入ください。

4　これからのまちづくりについて

設問 12　現在の津市に対するイメージを下記から選んでください。

＜３つまでに○印＞

1．三重県の中心的なまち
2．居住・生活環境の整ったまち
3．医療が充実しているまち
4．防災対策が整ったまち
5．犯罪や事故が少ないまち
6．スポーツ・文化活動が盛んなまち
7．産業が盛んなまち
8．交通の便がよいまち
9．買い物・飲食・レジャーに便利なまち
10．働きがいのある仕事が多いまち
11．子育てのしやすいまち
12．教育環境の豊かなまち
13．高齢者・障がい者が暮らしやすいまち
14．行政の取り組みが活発なまち
15．多様な地域の個性があるまち
16．地域・市民活動が活発なまち
17．観光のまち
18．国際性豊かなまち
19．自然が豊かなまち
20．その他（具体的に　　）

設問 13　これからの津市は、どんなまちになると良いと思いますか。設問 12 の項目から該当するものを３つまで選んで、番号をご記入ください。

設問 14　あなたが理想とする津市のすがたについて、連想するキーワードを選んでください。

＜３つまでに○印＞

1．県都としての風格
2．活力・元気
3．自然豊か
4．心豊か
5．安全・安心
6．（自然や多文化等との）共生
7．笑顔
8．挑戦
9．市民の参画・協働
10．ゆとり
11．すこやか
12．生きがい
13．福祉
14．文化・伝統
15．交流
16．その他（具体的に　　）

設問 15　総合的に見て、津市は住みやすいまちだと思いますか？

＜１つだけに○印＞

1．住みやすい
2．どちらかといえば住みやすい
3．どちらかといえば住みにくい
4．住みにくい
5．どちらともいえない

設問 16　少子化や高齢化を伴う人口減少の進展など社会経済情勢が変化しているなか、あなたの生活で心配に思うことを３つまで選んでください。

＜３つまでに○印＞

1．保険・年金などの社会保障
2．道路等のインフラの維持・整備
3．病院や福祉施設、買い物などができる場所
4．公共交通
5．地域経済
6．教育環境
7．空き地・空き家
8．ごみなどの環境対策
9．地域コミュニティ
10．国や県、津市の借金
11．心配なことはない
12．その他（　　）

設問 17　今後予想される社会経済情勢のもと限られた財源の中で、優先的に力を入れてほしい分野を３つまで選んでください。

＜３つまでに○印＞

1．子育て・子育ち
2．教育
3．高齢者・障がい者福祉
4．保健・医療
5．防災・消防
6．環境（再生可能エネルギー、ごみのリサイクルなど）
7．住環境（道路・公園・公共交通など）
8．商工・観光
9．雇用
10．農林水産
11．スポーツ・文化
12．地域コミュニティ施設
13．行財政改革
14．その他（　　）

設問 18　<u>設問 17 で回答いただいた分野に力を入れるために、取り組みを少し後に回してもやむを得ないと思う分野</u>があれば３つまで選んでください。

＜３つまでに○印＞

1．子育て・子育ち
2．教育
3．高齢者・障がい者福祉
4．保健・医療
5．防災・消防
6．環境（再生可能エネルギー、ごみのリサイクルなど）
7．住環境（道路・公園・公共交通など）
8．商工・観光
9．雇用
10．農林水産
11．スポーツ・文化
12．地域コミュニティ施設
13．行財政改革
14．その他（　　）

設問 19　津市においても行財政改革を推進しているところですが、今後特に進めなければならないことがあれば３つまで選んでください。

＜３つまでに○印＞

1．行政組織を簡素・合理化（職員の削減等）する
2．公共施設を整理統合し、適正な配置とする
3．行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる
4．重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）
5．職員の意識改革を行う
6．行政内部の経費の適正化・削減を徹底する
7．政策の立案や予算化の検討を市民参画で行う
8．自主財源を増やす
9．その他（　　）

5　自由記入

今後厳しさを増すことが予想される社会経済情勢の中、あなたがこれからの津市のまちづくりを進めるとすれば、特にどのようなことに力を入れますか。アイデア等がございましたらお聞かせください。

アンケートに御協力いただき、誠にありがとうございました。

お手数ですが、**平成２８年８月２６日（金）**までに、同封の封筒にて投函をお願いいたします。